

2025

TBGU シラバス

Faculty of Business and Law
Department of Business and Law

経営法学部

経

営

法

学

科

目 次

※研究室は変更になる場合があります。

[経営法学部・経営法学科]

授業科目の名称 配当 単位数 担当教員名 (○印は科目代表者) ページ

2025 年度入学者用カリキュラム

基礎科目

・輝ける者	[1 通 選 2]	(○小野部 純・他)……………	1
・生命を考える	[1 前後 選 2]	(○中村 哲也・阿部 玄治・本多ふく代・大庭 みよ・秋本 和宏)…	2
・現代社会を視る	[1 前後 選 2]	(○山尾 貴則・豊田 正利・野崎 瑞樹・鑑 さやか・ 山川 樹・小渕 高志・黒沢 麻美・田中 茜)…	3
・生活の中の科学	[1 前後 選 2]	(○長田 俊明・沈 紅・鈴木 陽一・鈴木 伸夫・八十川 淳・野崎 淳夫・ 須藤 諭・山本 和恵・川村 広則・一條 佑介・二科 妃里・富山 正幸・ 相澤 康弘・古林 俊晃・家名田敏昭・浅井 仁・佐藤 秀隆・工藤 剛実・ 佐々木典子・高橋 るみ・深谷 碧) ……………	4
・経済・法律・世界を視る	[1 前後 選 2]	(○馬内 里美・田邊 文彦・ウォルグレイヴ イーライ) …	5
・社会活動入門	[1 前後 選 2]	(○加藤 由美・石垣 亨・石橋 千賀・未定)……………	6
・英語コミュニケーションⅠ	[1 前 必 1]	(○増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎)…	7
・英語コミュニケーションⅡ	[1 後 必 1]	(○増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎)…	8
・韓国語コミュニケーションⅠ	[1 前 選 1]	(文 慶喆)……………	9
・韓国語コミュニケーションⅡ	[1 後 選 1]	(文 慶喆)……………	10
・中国語コミュニケーションⅠ	[1 前 選 1]	(西貝 定行)……………	11
・中国語コミュニケーションⅡ	[1 後 選 1]	(西貝 定行)……………	12
・海外研修	[1 通 選 2]	(○増井三千代・立花顕一郎・王 元・鄭 舜玉)…	13
・スポーツ実技	[1 前 選 1]	(○犬塚 剛・森田 清美・金田 幸夫・未定)……………	14
・心理学概論	[1 後 選 2]	(山川 樹)……………	15
・生命倫理学	[1 後 選 1]	(高木 大輔)……………	16
・健康科学	[1 前 必 1]	(犬塚 剛)……………	17
・教育学	[1 後 選 2]	(佐々木真由美)……………	18
・哲学	[1 後 選 2]	(菅原 宏道)……………	19
・現代史	[1 前 選 2]	(星野 修)……………	20
・東北の歴史	[1 前 選 2]	(渡邊 洋一)……………	21
・ジェンダー論	[1 後 選 2]	(川口かすみ)……………	22
・生活の中の物理学	[1 後 選 2]	(早川 美德)……………	23
・生活の中の化学	[1 前 選 2]	(○戸田 孝史・堂浦 克美)……………	24
・生活の中の生物学	[1 前 選 2]	(小田切孝人)……………	25
・生活と地球科学	[1 後 選 2]	(千葉 一)……………	26
・データサイエンス入門	[1 前 必 2]	(○河本 進・久保田茂裕・渡邊 晃久)……………	27
・コミュニケーション論	[1 後 選 2]	(呂本 俊亮)……………	28
・憲法と法律	[1 後 選 2]	(淡路 智典)……………	29
・生活と経済	[1 後 選 2]	(奥山 忠裕)……………	30
・教養としての政治学	[1 後 選 2]	(王 元)……………	31
・キャリア入門Ⅰ	[1 前 必 2]	(○王 元・東海林早貴)……………	32
・キャリア入門Ⅱ	[1 後 必 2]	(○王 元・東海林早貴)……………	33

専門基礎科目

・経営学概論	[1 前 必 2]	(田邊 文彦)……………	34
・経済学概論	[1 前 必 2]	(久保田茂裕)……………	35
・法学概論	[1 前 必 2]	(秋山まゆみ)……………	36
・初年次セミナー	[1 前 必 2]	(○秋山まゆみ・文 慶喆・王 元・河本 進・増井三千代・大野 朝子・ 馬内 里美・久保田茂裕・淡路 智典・鄭 舜玉・佐藤 千洋・関口 晃治) ……………	37
・アカデミックスキルズ	[1 後 必 2]	(○秋山まゆみ・文 慶喆・王 元・広原 雄二・河本 進・増井三千代・ 大野 朝子・馬内 里美・久保田茂裕・淡路 智典・鄭 舜玉・佐藤 千洋・ 関口 晃治)……………	38
・経営・経済事情	[1 前 選 2]	(○田邊 文彦・ウォルグレイヴ イーライ)……………	39
・マーケティング論	[1 後 選 2]	(鄭 舜玉)……………	40
・ミクロ経済学	[1 後 選 2]	(久保田茂裕)……………	41
・簿記論Ⅰ	[1 後 選 4]	(日下 儀雄)……………	42

・民法総則	[1 後 選 2]	(秋山まゆみ)	43
・憲法 (人権)	[1 後 選 2]	(淡路 智典)	44
・統計・数理入門	[1 前 選 2]	(河本 進)	45
・経営・経済のための数学	[1 後 選 2]	(河本 進)	46

2021～2024 年度入学者用カリキュラム

教養・基礎科目

・ボランティア探求	[2 通 選 2]	(渡邊 洋一)	47
・現代国語表現	[1 前 必 2]	(大泉 浩一)	48
・芸術論	[1 前 選 2]	(志賀野桂一)	49
・文化人類学	[1 前 選 2]	(岡 恵介)	50
・文学	[1 前 選 2]	(大野 朝子)	51
・宗教学	[1 前 選 2]	(鳥居 建己)	52
・倫理学	[1 前 選 2]	(栗山 勝行)	53
・健康科学	[1 前 選 2]	(犬塚 剛)	54
・現代思想	[1 後 選 2]	(菅原 宏道)	55
・医学総論	[1 後 選 2]	(沼崎 宗夫)	56
・英語Ⅰ	[1 前 選 1]	(○大野 朝子・増井三千代)	57
・英語Ⅱ	[1 後 選 1]	(○馬内 里美・立花顕一郎)	58
・英語Ⅲ	[2 前 選 1]	(馬内 里美)	59
・英語Ⅳ	[2 後 選 1]	(大野 朝子)	60
・フィールドワーク英語Ⅰ	[2 前 選 1]	(立花顕一郎)	61
・フィールドワーク英語Ⅱ	[2 後 選 1]	(増井三千代)	62
・中国語Ⅲ	[2 前 選 1]	(王 元)	63
・中国語Ⅳ	[2 後 選 1]	(王 元)	64
・韓国語Ⅲ	[2 前 選 1]	(文 慶喆)	65
・韓国語Ⅳ	[2 後 選 1]	(文 慶喆)	66
・キャリア戦略Ⅰ (キャリア構想)	[2 前 必 2]	(王 元)	67
・キャリア戦略Ⅱ (キャリア構想)	[2 後 必 2]	(王 元)	68
・キャリア戦略Ⅲ (企業研究)	[3 前 選 2]	(○王 元・東海林早貴)	69
・キャリア戦略Ⅳ (実践)	[3 後 選 2]	(王 元)	70
・企業等インターンシップⅠ	[2 通 選 1]	(渡邊 洋一)	71
・企業等インターンシップⅡ	[3 通 選 1]	(渡邊 洋一)	72

専門基礎科目

・基礎ゼミナールⅠ	[2 前 必 2]	(○未定(常勤)・文 慶喆・広原 雄二・関口 晃治・河本 進・増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・久保田茂裕・淡路 智典・秋山まゆみ・鄭 舜玉・佐藤 千洋・王 元)	73
・基礎ゼミナールⅡ	[2 後 必 2]	(○未定(常勤)・立花顕一郎・文 慶喆・加藤 由美・吉田 裕人・広原 雄二・関口 晃治・河本 進・増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・久保田茂裕・淡路 智典・秋山まゆみ・鄭 舜玉・佐藤 千洋・王 元)	74
・契約法	[2 前 選 2]	(秋山まゆみ)	75
・物権法	[2 前 選 2]	(関口 晃治)	76
・刑法	[2 前 選 2]	(岩田摩美子)	77
・政治学	[2 前 選 2]	(王 元)	78
・社会保障概論	[2 前 選 2]	(小渕 高志)	79
・マクロ経済学	[2 前 選 2]	(久保田茂裕)	80
・経営戦略論	[2 前 選 2]	(佐藤 千洋)	81
・流通論	[2 前 選 2]	(矢口 義教)	82
・簿記論Ⅱ	[2 前 選 2]	(日下 儀雄)	83
・簿記論Ⅲ	[2 後 選 2]	(広原 雄二)	84
・社会学概論	[1 後 選 2]	(我妻 秀栄)	85
・環境論入門	[1 前 選 2]	(萩川 信弘)	86
・地域文化論	[2 前 選 2]	(岡 恵介)	87
・データ分析入門	[1 前 選 2]	(○河本 進・久保田茂裕)	88
・統計学	[2 前 選 2]	(河本 進)	89
・データ解析	[2 後 選 2]	(○河本 進・久保田茂裕)	90

専門科目

・家族法	[2 後 選 2]	(田村 幸一)	91
・消費者法	[2 後 選 2]	(秋山まゆみ)	92
・会社法	[3 前 選 2]	(関口 晃治)	93

・不動産法	[3 前 選 2]	(田村 幸一).....	94
・行政法総論	[3 前 選 2]	(淡路 智典).....	95
・行政学	[3 前 選 2]	(○王 元・淡路 智典).....	96
・労働法	[3 後 選 2]	(上林 佑).....	97
・知的財産権法	[3 後 選 2]	(関口 晃治).....	98
・行政救済法	[3 後 選 2]	(淡路 智典).....	99
・地域行政論	[3 後 選 2]	(石川 享行).....	100
・経営組織論	[2 後 選 2]	(佐藤 千洋).....	101
・経営史	[2 後 選 2]	(三石 誠司).....	102
・現代のマーケティング	[2 後 選 2]	(鄭 舜玉).....	103
・流通政策	[2 後 選 2]	(矢口 義教).....	104
・金融論	[2 後 選 2]	(大塚 芳宏).....	105
・財政学	[2 後 選 2]	(坂本 直樹).....	106
・国際経済学	[3 前 選 2]	(伊鹿倉正司).....	107
・地域経済論	[3 後 選 2]	(奥山 忠裕).....	108
・中小企業論	[3 前 選 2]	(姉齒 一紀).....	109
・ロジスティック論	[3 前 選 2]	(田邊 文彦).....	110
・消費者行動入門	[3 前 選 2]	(鄭 舜玉).....	111
・起業論	[3 後 選 2]	(姉齒 一紀).....	112
・国際経営論	[3 前 選 2]	(三石 誠司).....	113
・経営情報論	[3 後 選 2]	(姉齒 一紀).....	114
・地方財政論	[3 後 選 2]	(貝山 道博).....	115
・財務会計Ⅰ	[2 前 選 2]	(日下 儀雄).....	116
・財務会計Ⅱ	[2 後 選 2]	(広原 雄二).....	117
・管理会計	[3 前 選 2]	(日下 儀雄).....	118
・国際関係論	[2 後 選 2]	(生田目学文).....	119
・持続的農業論	[2 後 選 2]	(萩川 信弘).....	120
・グリーンツーリズム論	[3 前 選 2]	(萩川 信弘).....	121
・アグリビジネス論	[3 後 選 2]	(萩川 信弘).....	122
・東北文化論	[3 後 選 2]	(岡 恵介).....	123
・東北の民俗	[3 後 選 2]	(岡 恵介).....	124
・医療福祉経済論	[3 前 選 2]	(吉田 裕人).....	125
・医療政策論	[3 後 選 2]	(吉田 裕人).....	126
・企業福祉論	[3 前 選 2]	(森田慎二郎).....	127
・医療管理学Ⅰ	[3 前 選 2]	(○加藤 由美・石橋 千賀・石垣 亨).....	128
・医療管理学Ⅱ	[3 後 選 2]	(○加藤 由美・菊地 知憲・土井 孝博).....	129
・非営利組織論	[3 前 選 2]	(桃生 和成).....	130
・多文化共生論	[3 後 選 2]	(大野 朝子).....	131
・韓国研究	[3 前 選 2]	(文 慶喆).....	132
・中国研究	[3 後 選 2]	(王 元).....	133
・アメリカ研究	[3 後 選 2]	(立花顕一郎).....	134
・地域探求Ⅰ	[2 前 選 2]	(渡邊 洋一).....	135
・地域探求Ⅱ	[2 後 選 2]	(渡邊 洋一).....	136
・地域連携Ⅰ	[3 前 選 2]	(渡邊 洋一).....	137
・地域連携Ⅱ	[3 後 選 2]	(渡邊 洋一).....	138
・専門ゼミナールⅠ	[3 前 必 2]	(○立花顕一郎・文 慶喆・王 元・加藤 由美・吉田 裕人・広原 雄二・ 関口 晃治・河本 進・増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・久保田茂裕・ 淡路 智典・秋山まゆみ・鄭 舜玉・佐藤 千洋).....	139
・専門ゼミナールⅡ	[3 後 必 2]	(○立花顕一郎・文 慶喆・王 元・加藤 由美・吉田 裕人・広原 雄二・ 関口 晃治・河本 進・増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・久保田茂裕・ 淡路 智典・秋山まゆみ・鄭 舜玉・佐藤 千洋).....	140
・卒業研究	[4 通 必 4]	(○立花顕一郎・文 慶喆・王 元・加藤 由美・吉田 裕人・広原 雄二・ 河本 進・関口 晃治・増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・久保田茂裕・ 淡路 智典・秋山まゆみ・鄭 舜玉・佐藤 千洋).....	141

授業科目とディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の対応表

【経営法学部 経営法学科】

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）		
① 「知識・理解」	・豊かな教養と人間性を身に付けている。 ・経営学と法学を中心とした社会科学とそれに関連する人文科学等の分野に関して、学際的な知識を有している。 ・社会の対立関係を理解し、調整する能力を持つと同時に、協働の必要性和そのあり方について理解している。	
② 「思考・判断」	・自立した社会人として主体的に判断し、行動することができる。 ・変化する社会環境を的確に分析し、対応することができる。	
③ 「技能・表現」	・経営と法に関する専門的知識と職業的技能を有し、活用できる。 ・自分の意見を持ち、それを他者に伝える表現力を持つ。	
④ 「関心・意欲・態度」	・社会の諸問題に関心を持ち、それらの解決に積極的に取り組むことができる。 ・グローバルなセンスを身に付け、他者との相互理解・信頼に努めようとする意欲を持つ。	

2025 年度以降入学者用カリキュラム

授業科目の名称			配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）対応表 （「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目）			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	探究・理解プロジェクト	輝ける者	1 通		2		○			◎
		生命を考える	1 前・1 後		2		○			◎
		現代社会を視る	1 前・1 後		2		○			◎
		生活の中の科学	1 前・1 後		2		○			◎
		経済・法律・世界を視る	1 前・1 後		2		○			◎
		社会活動入門	1 前・1 後		2		○			◎
	全学共通科目	英語コミュニケーションⅠ	1 前	1			○			◎
		英語コミュニケーションⅡ	1 後	1				◎	○	
		韓国語コミュニケーションⅠ	1 前		1		○			◎
		韓国語コミュニケーションⅡ	1 後		1			◎	○	
		中国語コミュニケーションⅠ	1 前		1		○			◎
		中国語コミュニケーションⅡ	1 後		1			◎	○	
		海外研修	1 通		2			◎		○
		スポーツ実技	1 前		1		○			◎
		心理学概論	1 後		2		○			◎
		生命倫理学	1 後		1		○			◎
		健康科学	1 前	1			○			◎
		教育学	1 後		2		○			◎
		哲学	1 後		2		○			◎
		現代史	1 前		2		○			◎
		東北の歴史	1 前		2		○			◎
		ジェンダー論	1 後		2		○			◎

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 〔◎〕は強く関係する科目、 〔○〕は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	全学共通科目	生活の中の物理学	1 後		2		○		◎
		生活の中の化学	1 前		2		○		◎
		生活の中の生物学	1 前		2		○		◎
		生活と地球科学	1 後		2		○		◎
		データサイエンス入門	1 前	2			○		◎
		コミュニケーション論	1 後		2		○		◎
		憲法と法律	1 後		2		○		◎
		生活と経済	1 後		2		○		◎
		教養としての政治学	1 後		2		○		◎
	キャリア形成	キャリア入門Ⅰ	1 前	2			○		◎
		キャリア入門Ⅱ	1 後	2			○		◎
		キャリア戦略Ⅰ	2 前	2			○	◎	
		キャリア戦略Ⅱ	2 後	2				◎	○
		キャリア戦略Ⅲ	3 前		2			◎	○
		キャリア戦略Ⅳ	3 後		2			◎	○
		業界・企業研究Ⅰ	2 通		1		○		◎
		業界・企業研究Ⅱ	3 通		1			◎	○
専門基礎科目	基幹科目	経営学概論	1 前	2			○		◎
		経済学概論	1 前	2			○		◎
		法学概論	1 前	2			○		◎
		初年次セミナー	1 前	2			○	◎	
		アカデミックスキルズ	1 後	2			○		◎
		プレゼミナールⅠ	2 前	2			○		◎
		プレゼミナールⅡ	2 後	2				◎	○
	経営・経済領域	経営・経済事情	1 前		2		○		◎
		マーケティング論	1 後		2		○	◎	
		ミクロ経済学	1 後		2		○	◎	
		経営戦略論	2 前		2		○	◎	
		マクロ経済学	2 前		2		○	◎	
		簿記論Ⅰ	1 後		4		○	◎	
		簿記論Ⅱ	2 前		2		○	◎	
		簿記論Ⅲ	2 後		2		○	◎	
	法学領域	民法総則	1 後		2		○	◎	
		憲法（人権）	1 後		2		○		◎
		憲法（統治）	2 前		2		○	◎	
		契約法	2 前		2		○	◎	

授業科目の名称			配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、 「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
専門 基礎科目	法学 領域	物権法	2 前		2		○	◎		
		刑法	2 前		2		○	◎		
	分析 手法	統計・数理入門	1 前		2		○			◎
		経営・経済のための数学	1 後		2			◎	○	
		統計学	2 前		2			◎	○	
	外国 語	データ解析	2 後		2			◎	○	
		英語コミュニケーションⅢ	2 前		1		○			◎
		英語コミュニケーションⅣ	2 後		1			◎	○	
		フィールドワーク英語Ⅰ	2 前		1			◎	○	
		フィールドワーク英語Ⅱ	2 後		1			◎	○	
		中国語コミュニケーションⅢ	2 前		1		○			◎
		中国語コミュニケーションⅣ	2 後		1			◎	○	
		韓国語コミュニケーションⅢ	2 前		1		○			◎
		韓国語コミュニケーションⅣ	2 後		1			◎	○	
専門 科目	経営・ 経済 領域	流通論	2 前		2		○	◎		
		中小企業論	2 前		2		○	◎		
		マーケティング戦略論	2 前		2		○	◎		
		財務会計Ⅰ	2 前		2		○	◎		
		経営組織論	2 後		2		○	◎		
		経営史	2 後		2		○	◎		
		マーケティングリサーチ	2 後		2			◎	○	
		ファイナンス・プランニング (FP) 論	2 後		2		○		◎	
		財務会計Ⅱ	2 後		2		○	◎		
		金融論	2 後		2		○	◎		
		財政学	2 後		2		○	◎		
		組織行動論	3 前		2		○	◎		
		ビジネスケース分析	3 前		2			◎		○
		グローバルマーケティング	3 前		2		○	◎		
		管理会計	3 前		2		○	◎		
		国際経済学	3 前		2		○	◎		
		経営情報論	3 後		2		○	◎		
		アントレプレナーシップ論	3 後		2			◎		○
		消費者行動入門	3 後		2		○	◎		
		コーポレート・ファイナンス論	3 後		2		○	◎		
		地域経済論	3 後		2		○	◎		

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、 「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	法学領域	不法行為法	2 後	2		○	◎		
		家族法	2 後	2		○	◎		
		消費者法	2 後	2		○	◎		
		会社法	3 前	2		○	◎		
		不動産法	3 前	2		○	◎		
		行政法総論	3 前	2		○	◎		
		経済法	3 前	2		○	◎		
		国際取引法	3 前	2		○	◎		
		労働法	3 後	2		○	◎		
		知的財産権法	3 後	2		○	◎		
		行政救済法	3 後	2		○	◎		
		民事手続法	3 後	2		○	◎		
	展開科目	応用データ解析	3 前	2			◎	○	
		政治学	3 前	2		○	◎		
		行政学	3 後	2		○	◎		
		医療福祉経済論	3 前	2		○	◎		
		医療政策論	3 後	2		○	◎		
		地域医療マネジメントⅠ	3 前	2		○			◎
		地域医療マネジメントⅡ	3 後	2		○	◎		
		社会保障論	3 前	2		○	◎		
		多文化共生論	3 後	2		○	◎		
		韓国研究	3 前	2		○	◎		
		中国研究	3 後	2		○	◎		
		アメリカ研究	3 後	2		○	◎		
		プロジェクト研究	2 通	4		○			◎
		プロジェクト応用	3 通	4			◎	○	
	専門研究	専門ゼミナールⅠ	3 前	2		○			◎
		専門ゼミナールⅡ	3 後	2			◎	○	
		卒業研究	4 通	4			◎	○	

2021～2024 年度入学用カリキュラム

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、 「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
教養・基礎科目	探求・理解プロジェクト	輝ける者	1 通		3		○		○
		生命を考える	1 前・1 後		2		○		○
		人間文化探求	1 通		2		○		○
		生活の中の科学	1 前・1 後		2		○		○
		地域活動・ボランティア	1 通		2		○	○	
		現代社会を視る	1 前・1 後		2		○		○
		ボランティア探求	2 通		2		○	○	
	教養科目	現代国語表現	1 前	2			◎		
		哲学	1 前		2		◎		
		現代史	1 前		2		◎		
		芸術論	1 前		2		◎		
		文化人類学	1 前		2		◎		
		文学	1 前		2		◎		
		宗教学	1 前		2		◎		
		心理学	1 前		2		◎		
		倫理学	1 前		2		◎		
		健康科学	1 前		2		◎		
		現代思想	1 後		2		◎		
		東北の歴史	1 後		2		◎		
		コミュニケーション論	1 後		2		◎		
		地球科学	1 後		2		◎		
		医学総論	1 後		2		◎		
		スポーツ実技	1 後		1		◎		
教養・基礎科目	外国語	英語基礎Ⅰ	1 前	1			○	○	
		英語基礎Ⅱ	1 後	1			○	○	
		英語Ⅰ	1 前		1		○	○	
		英語Ⅱ	1 後		1		○	○	
		英語Ⅲ	2 前		1		○	○	
		英語Ⅳ	2 後		1		○	○	
		フィールドワーク英語Ⅰ	2 前		1		○		◎
		フィールドワーク英語Ⅱ	2 後		1		○		◎
		中国語Ⅰ	1 前		1		○	○	
		中国語Ⅱ	1 後		1		○	○	
		中国語Ⅲ	2 前		1		○	○	
		中国語Ⅳ	2 後		1		○	○	

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、 「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
教養・基礎科目	外国語	韓国語Ⅰ	1 前	1		○		○	
		韓国語Ⅱ	1 後	1		○		○	
		韓国語Ⅲ	2 前	1		○		○	
		韓国語Ⅳ	2 後	1		○		○	
		海外研修	1・2・3・4 通	2			◎		◎
	特別講座	特別講座Ⅰ	1 前	2		◎			
		特別講座Ⅱ	1 後	2		◎			
	キャリア形成	キャリア入門Ⅰ（入門）	1 前	2			○	○	
		キャリア入門Ⅱ（ライフデザイン）	1 後	2			○	○	
		キャリア戦略Ⅰ（キャリア構想）	2 前	2			○	○	
		キャリア戦略Ⅱ（キャリア構想）	2 後	2			○	○	
		キャリア戦略Ⅲ（企業研究）	3 前	2			○	◎	
		キャリア戦略Ⅳ（実践）	3 後	2			○	◎	
		企業等インターンシップⅠ	2 通	1			○		◎
		企業等インターンシップⅡ	3 通	1			○		◎
専門基礎科目	基幹科目	法学概論	1 前	2		◎	○		
		経済学概論	1 前	2		◎	○		
		経営学概論	1 前	2		◎	○		
		アカデミックスキルズⅠ	1 前	2		○	○		
		アカデミックスキルズⅡ	1 後	2		○	○		
		基礎ゼミナールⅠ	2 前	2		◎	◎		
		基礎ゼミナールⅡ	2 後	2		◎	◎		
	法学領域	民法総則	1 後	2		○	◎		
		憲法	1 後	2		○	◎		
		契約法	2 前	2		○	◎		
		物権法	2 前	2		○	◎		
		刑法	2 前	2		○	◎		
		政治学	2 前	2		○	◎		
		社会保障概論	2 前	2		○	◎		
	経済・経営領域	マーケティング論	1 後	2		○	◎		
		ミクロ経済学	1 後	2		○	◎		
		マクロ経済学	2 前	2		○	◎		
		経営戦略論	2 前	2		○	◎		
		流通論	2 前	2		○	◎		
		簿記論Ⅰ	1 後	4		○	◎		

授業科目の名称			配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、 「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
専門基礎科目	営経済・経 領域	簿記論Ⅱ	2 前		2		○	◎		
		簿記論Ⅲ	2 後		2		○	◎		
	関連科目	社会学概論	1 後		2		◎	○		
		環境論入門	1 後		2		○	◎		
		地域文化論	2 前		2			○	○	
	分析手法	データ分析入門	1 後		2			◎	○	
		政策基礎数理Ⅰ	1 後		2			◎	○	
		政策基礎数理Ⅱ	2 前		2			◎	○	
		統計学	2 前		2			◎	○	
		データ解析	2 後		2			◎	○	
専門科目	法学領域	家族法	2 後		2		○	◎		
		消費者法	2 後		2		○	◎		
		会社法	3 前		2		○	◎		
		不動産法	3 前		2		○	◎		
		行政法総論	3 前		2		○	◎		
		行政学	3 前		2		○	◎		
		労働法	3 後		2		○	◎		
		知的財産権法	3 後		2		○	◎		
		行政救済法	3 後		2		○	◎		
		地域行政論	3 後		2		○	◎		
	経済・経営領域	経営組織論	2 後		2		○	◎		
		経営史	2 後		2		○	◎		
		現代のマーケティング	2 後		2		○	◎		
		流通政策	2 後		2		○	◎		
		金融論	2 後		2		○	◎		
		財政学	2 後		2		○	◎		
		国際経済学	3 前		2		○	◎		
		地域経済論	3 後		2		○	◎		
		中小企業論	3 前		2		○	◎		
		ロジスティック論	3 前		2		○	◎		
		消費者行動入門	3 前		2		○	◎		
		起業論	3 後		2		○	◎		
		国際経営論	3 後		2		○	◎		
		経営情報論	3 後		2		○	◎		
		地方財政論	3 後		2		○	◎		

授業科目の名称			配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、 「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	経済・経営領域	財務会計Ⅰ	2 前		2		○	◎		
		財務会計Ⅱ	2 後		2		○	◎		
		管理会計	3 前		2		○	◎		
	関連科目	国際関係論	2 後		2		○	◎		
		持続的農業論	2 後		2		○		◎	
		グリーンツーリズム論	3 前		2		○	◎		
		アグリビジネス論	3 後		2		○			◎
		東北文化論	3 前		2		○			◎
		東北の民俗	3 後		2		○		◎	
		医療福祉経済論	3 前		2		○	◎		
		医療政策論	3 後		2		○	◎		
		企業福祉論	3 前		2		○	◎		
		医療管理学Ⅰ	3 前		2		○	◎		
		医療管理学Ⅱ	3 後		2		○	◎		
		非営利組織論	3 前		2		○	◎		
		多文化共生論	3 後		2		○	◎		
		韓国研究	3 前		2		○	◎		
		中国研究	3 後		2		○	◎		
		アメリカ研究	3 後		2		○	◎		
	展開科目	地域探求Ⅰ	2 前		2			○		◎
		地域探求Ⅱ	2 後		2			○		◎
		地域連携Ⅰ	3 前		2			○		◎
		地域連携Ⅱ	3 後		2			○		◎
	専門研究	専門ゼミナールⅠ	3 前	2			◎	◎		
		専門ゼミナールⅡ	3 後	2			◎	◎		
		卒業研究	4 通	4			◎	◎		

2025 年度入学者用カリキュラム

科 目 名	輝ける者			担 当 者	○小野部 純・他
科目ナンバリング	108011251				常勤
D P	1,4			教員研究室	3108
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・通年
授 業 形 式	演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本授業は、地元宮城県を支える取り組みを題材とし、次の2つの観点により授業を展開することで、「主体的に考える力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」を高め、「チームワーク・リーダーシップ」、「市民としての社会的責任」に対する基本的態度を育むことを目的とする ① 地元の産業を支えるとは 最前線で活躍している多様なゲストスピーカーの講義により、職業人の社会・地域の発展に対する思いを知ることから、「働くことの意味」を主体的に考える。 ② 地元を支える活動の実践 グループでの地域創生プロジェクトの企画提案を通して、地元の課題を自分自身と結び付けて考え、チームで提案し、地域を巻き込んで実践する。 【学習の到達目標】 社会の中で「輝く」とは何かについて、各自の考えを持つ 「仕事とはなにか」について考え、各自の考えを持つ 【成績評価方法】 ①レポート内容、②各テーマに関する発表内容の2点から総合的に評価する 【課題等のフィードバック方法】 都度、質疑に応答する 【履修上の注意・予習・復習について】 複数時間で実施することが有効な授業内容の場合、土日もしくは長期休業期間に実施することがある 外部との調整の都合上、授業初回時にあらためてスケジュールを提示する 【受講して得られる効果・メリット、その他】 自ら考え、提案し、他者と協働してプロジェクトを実施する力が身につく 【実務家教員担当科目】 地元を支えているゲストスピーカーなどと、質疑・意見交換が可能となっている					
授 業 計 画					
----- 導入編 ----- 1. ガイダンス、グループワーク（アイスブレイク） 2～4. キャリア形成 ----- 地元を支える活動の実践 ----- 5～12. 多様な働き方を学び、考える ・地元企業を知る（働くとは何か） ・企業と地域（ゲストスピーカー） ・グループワーク（企業へのインタビュー準備） ・多様な働き方（アシスタ仙台）、企業担当者へのインタビュー ----- 地元の産業活動を知る ----- 13～26. 夏休み企画 秋保ワイナリーとマルシェ ・マルシェの企画 ・マルシェ運営 ----- まとめ ----- 27、28. グループ発表					
教 科 書	特に指定しない				
参 考 書	必要に応じて指示する				
備 考	質問や問い合わせは、常勤教員が受け付ける 複数時間で実施することが有効な授業内容の場合、土日もしくは長期休業期間に実施することがある 外部との調整の都合上、授業初回時にあらためてスケジュールを提示する				

科 目 名		生命を考える		担 当 者	○中村 哲也・阿部 玄治 本多ふく代・大庭 みよ 秋本 和宏	
科目ナンバリング		108011252			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1427	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 21 世紀に入り日本は本格的な長寿社会を迎えた。加えて、人々には人種・性別・年齢・障害の有無に関わらず自分らしく生きられる社会（多様性のある社会）の実現が求められている。本科目では「ヒトの生命」を主たるテーマとし、「生きること」「死ぬこと」「障害と共に生きること」等について講義を受講しつつ、履修者同士で意見交換を行いながら考える。						
【学習の到達目標】 健康とは何か、「生」そして「死」とは何かについて、他者の意見を踏まえながら自分なりの考えを述べられるようになること。						
【成績評価方法】 ①講義前後の調べ学習、②講義時間中に取り組む小課題、③レポートの 3 点から総合的に評価する。 課題の内容や課される回数、評価方法は担当教員ごとに異なる。						
【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートなど小課題については適宜集計し、翌週以降の講義時間中ないしクラスルームを通じてフィードバックする。						
【履修上の注意・予習・復習について】 原則として毎回出席することが求められる。各テーマで課される最終レポートを全て提出しなければ成績評価の対象とならない。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 より良く生きることの意味について、同年代の学友の多様な意見に触れる機会を得られる。意見交換を経て自分の考えをまとめることによって、今後の生活に対して前向きになることが期待できる。						
【実務家教員担当科目】 看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する担当教員が、実務経験を踏まえた講義をオムニバス形式で行う。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	中村 哲也	科目ガイダンス	予習：シラバスを読む 復習：指定された資料を確認する		4 時間	
2	加賀谷 豊	日常の医療と臨床研究における生命倫理	予習：クラスルームの症例資料を読んでくる 復習：リアクションペーパー、資料を調べる		4 時間	
3	秋本 和宏	病気を抱えている子どもとその家族を通していのちを考える	予習：資料を調べる 復習：リアクションペーパー、発表準備		4 時間	
4	秋本 和宏	病気を抱えている子どもとその家族を通していのちを考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
5	秋本 和宏	病気を抱えている子どもとその家族を通していのちを考える	予習：発表準備 復習：レポート課題		4 時間	
6	本多ふく代	子どもを育てることについて考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
7	本多ふく代	障害児を育てることについて考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
8	本多ふく代	人が育てられる、育てられることについて考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート課題		4 時間	
9	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
10	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
11	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート課題		4 時間	
12	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える 一生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなどー	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
13	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える 一生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなどー	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー		4 時間	
14	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える 一生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなどー	予習：指定された資料を読む 復習：レポート課題		4 時間	
教 科 書		指定なし				
参 考 書		玉井真理子・大谷いづみ（編）（2011）. はじめて出会う生命倫理, 有斐閣アルマ 鮫島浩二（著）植野ゆかり（絵）（2003）. わたしがあなたを選びました、主婦の友社 深澤友紀（著）（2018）. 産声のない天使たち、朝日新聞出版				
備 考		講義の実施スケジュールは担当教員の予定により変更される可能性がある。				

科 目 名		現代社会を視る		担 当 者	○山尾 貴則・豊田 正利 野崎 瑞樹・鑑 さやか 山川 樹・小渕 高志 黒沢 麻美・田中 茜	
科目ナンバリング		108011253			常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	3304	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本科目では、現代社会学部の教員が有する専門的な知識や技術を下敷きとして、「現代社会」をさまざまな角度から「視る」。そのことを通して、社会を知る・捉える・理解する力を培う。基本的には講義形式を取るが、多様な媒体に自分で触れたり、現場で活躍する人々と交流するなど、学内外の活動も含む。最終的には、社会で起きている現象を知るだけでなく、体験したり、問題を見つけて解決方法を考えたり、優れた点を発展させる案を考えることなどができるような力を身につけていく。 【学習の到達目標】 受講生が現代社会における諸問題に自ら関心を持ち、人文社会科学の知識を下敷きとして諸問題に接近し、理解できるようになる。 【成績評価方法】 講義を大きく4つのパートに分け、それぞれのパートにつき、「講義態度、講義への参加の様子」を10点、「3つ課す課題」をそれぞれ5点として5×3＝15点の総点25点とする。4つのパートを合わせて100点満点で評価する。 【課題等のフィードバック方法】 Google クラスルームを使用して受講生からの質問等を受け付け、適宜コメントする。 【履修上の注意・予習・復習について】 私語をしないこと。普段から社会の諸問題に目を向けること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 受講生が現代社会における諸問題に自ら関心を持ち、人文社会科学の知識を下敷きとして諸問題に接近し、理解できるようになる。 【実務家教員担当科目】 該当なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	山尾	ガイダンスー現代社会を「視る」とは	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
2	山川・小渕	現代社会をニュースから視る (1)	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
3	山川・小渕	現代社会をニュースから視る (2)	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
4	山川・小渕	現代社会をニュースから視る (3)	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
5	豊田・鑑	現代の地域を視る (1)	受講生自らが自分の住む地域にどのような歴史と課題があるのかを図書館等で調べる。		4 時間	
6	豊田・鑑	現代の地域を視る (2)	受講生自らが自分の住む地域にどのような歴史と課題があるのかを図書館等で調べる。		4 時間	
7	豊田・鑑	現代の地域を視る (3)	受講生自らが自分の住む地域にどのような歴史と課題があるのかを図書館等で調べる。		4 時間	
8	野崎・黒沢	現代の仕事を視る (1)	受講生自らが働くとは何か、社会に出るとはどのようなことかについて考える。		4 時間	
9	野崎・黒沢	現代の仕事を視る (2)	受講生自らが働くとは何か、社会に出るとはどのようなことかについて考える。		4 時間	
10	野崎・黒沢	現代の仕事を視る (3)	受講生自らが働くとは何か、社会に出るとはどのようなことかについて考える。		4 時間	
11	田中・山尾	現代の生（ライフ）を視る (1)	受講生自らが自分自身の人生（ライフ）をふり返り、自分の姿を見つめ直してみる。		4 時間	
12	田中・山尾	現代の生（ライフ）を視る (2)	受講生自らが自分自身の人生（ライフ）をふり返り、自分の姿を見つめ直してみる。		4 時間	
13	田中・山尾	現代の生（ライフ）を視る (3)	受講生自らが自分自身の人生（ライフ）をふり返り、自分の姿を見つめ直してみる。		4 時間	
14	山尾	ふり返りー現代社会はどう視えたか	講義全体を通して受講生が何を学んだかをまとめる		4 時間	
教 科 書		指定無し。				
参 考 書		講義内で適宜紹介する。				
備 考						

科 目 名		生活の中の科学		担 当 者	○長田 俊明・沈 紅 鈴木 陽一・鈴木 伸夫 八十川 淳・野崎 淳夫 須藤 諭・山本 和恵 川村 広則・一條 佑介 二科 妃里・富山 正幸 相澤 康弘・古林 俊晃 家名田敏昭・浅井 仁 佐藤 秀隆・工藤 剛実 佐々木典子・高橋 るみ 深谷 碧	
科目ナンバリング		108011254			常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	1421	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク □プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 生活の「安全・安心・便利・豊かさ」をキーワードに、現在の科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているか、また科学技術の将来あるべき姿について学ぶ。 具体的には、生活の中の電気、命を守る AED（自動体外式除細動器）、住まいや都市の安全・安心技術、災害の減災・復旧に有用な施設整備、生活を便利で豊かにする情報技術、等である。授業の半分程度は基礎知識の修得、半分程度がグループワークや実習・フィールドワーク・アイデアソン・ディスカッション等のアクティブラーニングスタイルで進められる。 【学習の到達目標】 科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているかを理解する。科学技術がもたらす「安全・安心・便利・豊かさ」について、能動的に活用できるようになる。 【成績評価方法】 毎回のテーマに対するミニレポートと科目全体に対する総合レポート、双方向授業における主体的取り組みを総合して評価する。 【課題等のフィードバック方法】 授業では、都度質問を受け回答する。ミニレポートや Google Classroom への質問コメントについては、個別あるいは全体コメントにてフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業に関連する資料は、主として Google Classroom を利用して配信する。全 14 回の授業に出席することが大原則である。やむを得ず出席できなかった授業については、これらの資料や動画・音声データを利用して学習し、次回授業に臨むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 科学技術・工学分野における様々な専門領域における本学の専任教員から、多面的なテーマについて講義・実習指導を受けることができる。科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているかを理解し、その認識から個々の専門分野において活用することが期待できる。 【実務家教員担当科目】 科学技術・工学分野における様々な専門領域における本学の実務家教員も担当し具体的指導を行う。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	鈴木（陽）・長田・八十川・相澤	ガイダンス	シラバスの確認、授業の進め方、成績評価の方法		4 時間	
2	浅井 仁	生活の中の電気（100 V、200 V、直流？）	コンセントの交流と電池の直流の違いを調べる。＜ミニレポート＞		4 時間	
3	家名田敏昭	生活の中の電気（発電所から送電、家庭までの経路）	発電の方法や電気を送る送電線について調べる。＜ミニレポート＞		4 時間	
4	相澤 康弘	医療で用いられる電気（人体へ作用する電気）	生体電気の種類、生体電気刺激、治療に用いる電気を調べる。＜ミニレポート＞		4 時間	
5	須藤 諭・川村 広則	安全・安心のための都市環境整備技術	身近な省エネルギー、居住地のハザードマップについて調べる。＜ミニレポート＞		4 時間	
6	野崎 淳夫・富山 正幸	安全・安心のための都市と建築	安全・安心のための都市と建築について、自分の身の回りの実例を調べる。＜ミニレポート＞		4 時間	
7	八十川 淳・二科 妃里	災害と水	災害応急用井戸、水害とマチ、避難生活と水について調べる。＜ミニレポート＞		4 時間	
8	臨床教員・建築教員	AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習、班別実技演習の準備学習	AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習＜ミニレポート＞		4 時間	
9	臨床教員・建築教員	AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習、班別実技演習	AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習＜ミニレポート＞		4 時間	
10	知能情報教員	生活を便利で豊かにする情報アプリ：概要、準備学習	情報システム構築の流れを学び、グループごとに準備を行う。＜ミニレポート＞		4 時間	
11	知能情報教員	アイディアソン演習 1：提案アプリの案出と具体化の検討	前週の検討に基づきアプリの機能等の決定とプレゼンの準備を行う。＜ミニレポート＞		4 時間	
12	知能情報教員	アイディアソン演習 2：アプリの設計とプレゼンの準備	前週検討したアプリの機能を実現するアプリの設計とプレゼンの準備を行う。＜ミニレポート＞		4 時間	
13	知能情報教員	生活を便利で豊かにする情報アプリ：成果発表	提案するアプリに関するプレゼンをグループごとに行う。＜投票、ミニレポート＞		4 時間	
14	鈴木（陽）・長田・八十川・相澤	表彰 課題の出題と総括	アイディアソンの高評価グループ表彰 課題をテーマにレポート作成		4 時間	
教 科 書		特に指定しない。				
参 考 書		その都度必要に応じて紹介する				
備 考		なし				

科 目 名		経済・法律・世界を視る		担 当 者	○馬内 里美・田邊 文彦 ウォルグレイヴ イーライ	
科目ナンバリング		108011255			常勤・非常勤	
D	P	1,4		教員研究室	1129	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 In this class, students will explore a number of concepts based around Economic, Legal, and International aspects of society and their place within it. この科目は、自分と経済、法律、国際社会との関わりを学ぶ科目				【課題等のフィードバック方法】 Questions will be taken after each class. Your work may be shared for everyone’s learning. 毎回の授業終了後に、質問を受けつける。全員の学修の為に内容を共有することあり		
【学習の到達目標】 1.Form and share own opinions 意見を形成・他者と共有できる / 2. Research and present about an issue of personal interest and impact to them 内容を調べ発表できる / 3.Develop English reading skills in a bilingual class. 英語で伝えられる				【履修上の注意・予習・復習について】 Late arrivals will be deducted from the grade / 5 or more absences will result in a grade of “F” / Homework must be submitted next time / Final assignment carried out 遅刻は減点もあり／ 5 回以上欠席 F 評価 / 宿題を次回提出／最終課題の実施が必要		
【成績評価方法】 Class Activities 活動参加 30%, Homework = 宿題 50% Personal Presentation プレゼン 10%, Final Reflection 振り返り・改善 10%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 Proactive attitude, Communication skills and Logical thinking skills. 「主体的な態度」「コミュニケーション力」「論理的思考力」が身につく		
				【実務家教員担当科目】 コンサルティングファームで 20 年間の企業／公共体に対する調査およびコンサルタント経験有り		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Class Introduction Writing and Presenting クラス紹介	授業時間の 2.5 倍準備学修（予習・復習等）			4 時間
2	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	River Crossing Game 川渡りゲーム	同上			4 時間
3	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Teamwork Writing and Presenting チームワーク 作文と発表	同上			4 時間
4	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Mistakes Group Discussion 間違い探しグループディスカッション	同上			4 時間
5	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Chase the Dragon’s Tail Game ドラゴンのしっぽゲーム	同上			4 時間
6	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Cooperation and Competition Writing and Presenting 協力と競争 作文と発表	同上			4 時間
7	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Conflict Group Discussion 対立グループディスカッション	同上			4 時間
8	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Tiger and Rabbit Ball Game 虎とウサギのボールゲーム	同上			4 時間
9	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Change Writing and Presenting 変化 作文と発表	同上			4 時間
10	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Complexity Group Discussion 複雑性グループディスカッション	同上			4 時間
11	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Team Battle Game チームバトル ゲーム	同上			4 時間
12	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Personal Presentation Preparation 個人プレゼンテーションの準備	同上			4 時間
13	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Personal Presentation 個人プレゼンテーション	同上			4 時間
14	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Feedback and Reflection 振り返り	同上			4 時間
教 科 書		なし。教材は授業ごとに配布する				
参 考 書		授業中に提示				
備 考		全学の選択必修科目の 1 つ。英語で行動・表現・話すことを重視。				

科 目 名		社会活動入門			担 当 者	○加藤 由美・石垣 亨 石橋 千賀・未定	
科目ナンバリング		108011256				常勤、非常勤	
D P		1,4			教 員 研 究 室	1301	
学 科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 この科目では社会活動を「社会貢献を目的として社会に参加または参画して行う活動」と位置づけ、ボランティア活動をはじめ企業の CSR（Corporate Social Responsibility）活動など多様で広範な諸活動を扱う。各学科専攻の教員及び外部講師がそれぞれの切り口で捉えた社会活動について講義する。授業ではグループワーク、プレゼンテーション等を通じて履修生の主体的な学びを促す。					【課題等のフィードバック方法】 授業毎に担当教員が説明する。		
【学習の到達目標】 ①社会活動の今日的意義を理解している ②自身の考えを適切に表現することができる ③自分らしい社会参画の形を具体的に考察できる					【履修上の注意・予習・復習について】 課題の提出期限を厳守すること（原則として期限後の提出は不受理）		
【成績評価方法】 授業毎に到達目標①②③の達成度を評価し（小テスト、小レポート、コメントなど授業によって評価方法は異なる）、それらの平均点を以て科目の成績評価とする。 到達目標の達成度評価の配点は次のとおり。 ①社会活動の今日的意義を理解している（40 点） ②自身の考えを適切に表現することができる（30 点） ③自分らしい社会参画の形を具体的に考察できる（30 点）					【受講して得られる効果・メリット、その他】 社会活動の今日的意義を理解し、自分らしい社会参画の形を見出す一助となる。 グループワーク等を通して、他者と協同して物事に取り組む力が育まれる。 自身の考えを適切に表現する力が涵養される。		
【実務家教員担当科目】 NPO 法人 COO・経営者・行政・医療福祉系免許所有者など幅広い実務家が、それぞれの立場で社会活動の今日的意義を講義する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	加藤 由美（地域連携センター長）	科目オリエンテーション	予習：シラバスを熟読し、科目概要を理解する。 復習：オリエンテーション内容に即した学修をスタートさせる				4 時間
2	石垣 亨（NPO 法人 H × Imagine）	地域を活性化させる住民主体の社会活動 ～ NPO 法人 H × Imagine の取り組み	予習：住民が主体となって地域の活性化に取り組んでいる事例を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
3	三木 千栄（医療福祉学部リハ学科理学療法専攻）	地域の介護予防・健康増進活動をデザインする	予習：地域の介護予防や健康増進の取り組み事例を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
4	香山 明美（医療福祉学部リハ学科作業療法専攻）	認知症サポーター養成活動 ～誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられることを皆で支える	予習：認知症サポーターについて調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
5	高卓 輝、他（医療福祉学部リハ学科言語聴覚専攻）	事例に基づき、自分たちが取り組みたい社会活動を考える	予習：日本の技術が他国の発展に貢献した事例を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
6	石川奈津美（医療福祉学部リハ学科視覚機能専攻）	社会の伸びしろとは？ ～ゆるスポーツの取り組み	予習：ゆるスポーツについて調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
7	佐藤 大輔（医療福祉学部看護学科）	臓器提供に関する諸活動を考える	予習：臓器提供の種類を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
8	石橋 千賀（株式会社 KMSI 代表取締役）	誰もがよりよく生きぬける社会への挑戦	予習：自分にとって「よりよく生きぬく」とはどのようなことかを具体的に考える。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
9	鈴木 陽一（工学部知能情報システム学科）	レジリエントな情報通信技術（ICT） ～災害に強い ICT の社会実装	予習：レジリエンスについて、特に ICT との関連を含めて調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深め、小レポートに取り組む。				4 時間
10	岡 恵介（現代社会学部社会学専攻）	災害救助犬と地域の安心安全 ～災害救助犬の活動	予習：災害救助犬について調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
11	徳田 律子（現代社会学部社会福祉学専攻）	視覚に障害のある方とアートを楽しむ ～アートミーツケア活動	予習：障害者とアート活動について調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
12	大野 朝子（経営法学部経営法学科）	学生によるボランティア活動 ～社会にどうコミットするかを考える	予習：興味関心のあるボランティア活動を挙げ、その理由を考える。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
13	梅岡 恒治（工学部建築環境学科）	建築・都市の分野に関わるまちづくり実践 ～街の将来ビジョンに関わる社会参加のありかた	予習：自身が魅力的だと考える公共空間事例を調べ、魅力的だと考える理由を考察する。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
14	相澤 康弘（工学部臨床工学科）	臓器移植の現状と課題を考える	予習：我が国の臓器移植の現況を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
教 科 書		なし					
参 考 書		必要に応じて適宜指示する					
備 考		なし					

科 目 名		英語コミュニケーションⅠ		担 当 者	○増井三千代・馬内 里美 大野 朝子・立花顕一郎	
科目ナンバリング		108021257			常勤	
D P		1,4		教員研究室		1328
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		1 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 この授業では、英語を用いた円滑なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。そのために、英会話での受け答えの練習に加え、トピックを深く理解するための読解力やボキャブラリーの習得、リスニングスキルの向上を図る。また、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、他者と英語で意見を交換する。				【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業時に学生から質問やコメントを受け、当該授業や次回以降の授業で適宜回答する。		
【学習の到達目標】 様々な文化的背景を持つ海外の人と意見を交換し、互いの文化に対する相互理解を深めるための英語力を身につける。 ・日常的な簡単な質問や応答を、口頭でスムーズに行えるようになる。 ・他者の発話を聞いて理解し、自らの考えを適切な表現で積極的に伝えることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・学生同士の積極的な交流を通じて英語のスキルアップを目指してください。 ・全 14 回の授業のうち 10 回以上出席してください。遅刻に関しては、遅延の度合いによって欠席扱いとなります。		
【成績評価方法】 成績評価は以下を総合的に判断する。 ・授業中のディスカッションにおける積極的発話 50% ・各授業で学んだボキャブラリーの修得実績 30% ・授業で行う簡潔なプレゼンテーションのクオリティー 20%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 基本的な英会話力、教材を読んで内容を詳しく理解するための語彙力、外国人と円滑に意思疎通を図るためのコミュニケーション力が身につく。		
				【実務家教員担当科目】 該当なし		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間		
				予習・復習		学修時間
1	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	イントロダクション：授業の目的、進行方法、評価基準を説明する。自己紹介を兼ねた簡単な英会話アクティビティを行う。		予習：自己紹介表現を確認する。 復習：新しいフレーズや語彙を練習する。		1 時間
2	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	日常会話の基礎（1）：簡単な挨拶や自己紹介の表現を練習し、ペアワークでロールプレイを行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
3	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	日常会話の基礎（2）：質問と応答のパターン練習（例：趣味、家族など）を行い、ディスカッション形式で意見交換をする。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
4	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	リスニングスキル向上（1）：日常生活をテーマにした短い英会話音声聞き、内容理解を問うクイズを実施する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
5	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	リスニングスキル向上（2）：会話音声聞いて詳細な内容を理解し、ペアで要約して相手に説明する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
6	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	トピックディスカッション（1）：「私の街の紹介」をテーマに短いスピーチを準備し、ペアまたはグループで共有する。質疑応答の練習も行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
7	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	トピックディスカッション（2）：「好きな映画や本」をテーマに短いスピーチを準備し、クラス全体でディスカッションと意見交換を行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
8	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	読解スキル向上（1）：短い英語の記事を読み、重要な単語やフレーズを確認した後、内容を簡単に要約する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
9	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	読解スキル向上（2）：意見を問う記事（例：テクノロジーや環境問題）を読み、要約し、自分の意見を書く練習をする。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
10	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	ボキャブラリー強化（1）：日常会話で役立つ英単語や表現を学び、内容理解を問うクイズを実施する。関連する会話練習も行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
11	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	ボキャブラリー強化（2）：より高度な単語や表現（例：感情表現や意見の述べ方）を学び、短い会話の中で活用する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
12	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	プレゼンテーションの準備：自分で選んだトピックについて、3～5 分のプレゼンテーションを準備する。構成やスライド作成のポイントを学ぶ。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
13	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	プレゼンテーションの発表：各学生がプレゼンテーションを発表し、クラスメイトと質疑応答を行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間
14	増井三千代・馬内 里美・大野 朝子・立花顕一郎	今学期のまとめ：学期全体を振り返り、各スキルの向上度を自己評価する。個別のフィードバックを実施する。		予習：最終日に確認する疑問点をまとめる。 復習：学期中に学んだ英語コミュニケーションスキルを総括する。		1 時間
教 科 書		担当教員の指示に従ってください。				
参 考 書		適宜、授業で指示する。				
備 考		特になし				

科 目 名		英語コミュニケーションⅡ		担 当 者	○増井三千代・大野 朝子 馬内 里美・立花顕一郎	
科目ナンバリング		108021258			常勤	
D P		2,3		教員研究室	1328	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この授業では、「英語コミュニケーションⅠ」で学んだ基本的なスキルに加え、より円滑なコミュニケーション能力を養うために、英会話、読解力、ボキャブラリー、およびリスニングの応用スキルを学ぶ。 【学習の到達目標】 異なる文化的背景を持つ外国人と、円滑かつ継続的にコミュニケーションを図るための英語力を身につける。 ・個人的に興味のあるテーマや社会的トピックについて、キーワードや具体例を用いて意思疎通を図ることができる。 ・聞き返しや言い換え、要約などのコミュニケーションストラテジーを活用し、自分の理解を相手に確認しながら会話を続けることができる。 【成績評価方法】 成績評価は以下を総合的に判断する。 ・授業中のディスカッションにおける積極的発話 50% ・各授業で学んだボキャブラリーの修得実績 30% ・授業で行う簡潔なプレゼンテーションのクオリティー 20% 【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業時に学生から質問やコメントを受け、当該授業や次回以降の授業で適宜回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・学生同士の積極的な交流を通じて英語のスキルアップを目指してください。 ・全 14 回の授業のうち 10 回以上出席してください。遅刻に関しては、遅延の度合いによって欠席扱いとなります。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ある程度の詳細な英会話力、難易度の高い教材を読み解く語彙力、外国人と比較的長く意思疎通を図るためのコミュニケーション力が身につく。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	イントロダクション：授業の目的、進行方法、評価基準を説明する。「英語コミュニケーションⅠ」で学んだ内容を振り返り、自己紹介アクティビティを実施する。	予習：自己紹介表現を確認する。 復習：新しいフレーズや語彙を練習する。		1 時間	
2	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	コミュニケーションストラテジー（1）：聞き返し、言い換え、確認の方法を学び、ロールプレイを通じて実践する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
3	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	コミュニケーションストラテジー（2）：意見の対立や誤解が生じた際の対応スキルを学び、ディスカッションを通じて実践する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
4	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	リスニング応用スキル（1）：ニュースやインタビューの音声を使い、主旨と詳細を聞き取る練習を行う。重要なフレーズを抜き出して要約する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
5	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	リスニング応用スキル（2）：長めの英語音声を取り、要点とスピーカーの意見を整理する。ペアで音声の内容について議論する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
6	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	トピックディスカッション（1）：「旅行と異文化体験」をテーマに、各自の経験や考えについてディスカッションを行い、文化的な違いへの気づきを共有する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
7	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	トピックディスカッション（2）：「グローバルな課題（例：気候変動や国際支援）」をテーマに議論し、自分の立場を明確に示しながら意見を述べる。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
8	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	読解応用スキル（1）：英語の記事を読み、文脈から単語の意味を推測する練習を行う。内容を要約し、自分の意見を短い文章で表現する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
9	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	読解応用スキル（2）：社会問題に関する記事（例：環境問題や AI の影響）を読み、グループで意見交換を行う。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
10	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	ボキャブラリー応用（1）：複雑な感情表現や意見を述べる際に使える語彙を学び、実際の会話で活用する練習を行う。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
11	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	ボキャブラリー応用（2）：アカデミックなトピックに関連する英単語や表現を学び、リスニングやスピーキングに応用する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
12	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	プレゼンテーションの準備：自分で選んだトピックについて、3～5 分のプレゼンテーションを準備する。構成やスライド作成のポイントを学ぶ。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
13	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	プレゼンテーションの発表：各学生がプレゼンテーションを発表し、クラスメイトと質疑応答を行う。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		1 時間	
14	増井三千代・大野 朝子・馬内 里美・立花顕一郎	今学期のまとめ：学期全体を振り返り、各スキルの向上度を自己評価する。個別のフィードバックを実施する。	予習：最終日に確認する疑問点をまとめる。 復習：学期中に学んだ英語コミュニケーションスキルを総括する。		1 時間	
教 科 書		担当教員の指示に従ってください。				
参 考 書		適宜、授業で指示する。				
備 考		特になし				

科 目 名		韓国語コミュニケーションⅠ		担 当 者	文 慶 詰	
科目ナンバリング		108021259			常勤	
D P		1,4		教員研究室		1322
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		1 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 現代社会を生きる私達に、外国語の必要性は益々増加しつつあります。情報化時代に生き残るためにも、外国語を理解し、そこから必要な情報をゲットする必要もあります。この授業では、韓国語の基礎を学びます。最初は文字の書き方を覚え、読み方と基本語彙の習得をし、「書く」、「読む」ことに重点をおきます。また、すぐ使える基本表現の習得を目指しますが、合わせて生の韓国語に触れるために授業中は話題の韓国ドラマや映画も取り入れて行います。						
【課題等のフィードバック方法】 ・課題は添削し、重要ポイントをつけて返す。・質問は出席表で受け付け、その都度答える。						
【履修上の注意・予習・復習について】 授業の進捗に沿って予習、復習のための適切な課題を出します。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 日本語に一番近い韓国語を学ぶことによって日本語や日本文化の源流を理解するのは勿論、より広い視野の情報の習得やグローバル的な考え方を身につけることができます。学習効果を高めるため韓国ドラマや韓国料理なども取り入れて行います。						
【実務家教員担当科目】 韓国語のネイティブでありながら、日本語と韓国語の領域において通訳や翻訳などで多くの経験を有している。						
【成績評価方法】 小テスト・課題など 50% 期末試験 50%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	文 慶 詰	韓国語を学ぶ意義と韓国語について	予習；韓国語について 復習；韓国語を学ぶ意義と見えてくる世界			1 時間
2	文 慶 詰	文字と発音	予習；ハングルの母音と子音 復習；ハングル母音と子音の書き方			1 時間
3	文 慶 詰	文字と発音：合成母音	予習；合成母音が入っている語彙の発音 復習；ハングル基本母音と合成母音が入っている語彙の発音			1 時間
4	文 慶 詰	文字と発音：받침（パッチム）	予習；パッチムのある語彙の発音 復習；開音節と閉音節について			1 時間
5	文 慶 詰	日本語のハングル表記	予習；日本語のハングル表記練習 復習；日本語の人名・地名のハングル表記練習			1 時間
6	文 慶 詰	第一課韓国人ですか。	予習；第一課の語彙と文法 復習；第一課の本文と練習問題			1 時間
7	文 慶 詰	第二課学生ですか。	予習；第二課の語彙と文法 復習；第二課の本文と練習問題			1 時間
8	文 慶 詰	第三課何時ですか。	予習；第三課の語彙と文法 復習；第三課の本文と練習問題			1 時間
9	文 慶 詰	第四課野球選手ではありません。	予習；第四課の語彙と文法 復習；第四課の本文と練習問題			1 時間
10	文 慶 詰	第五課これは何ですか。	予習；第五課の語彙と文法 復習；第五課の本文と練習問題			1 時間
11	文 慶 詰	第一課から第五課までのまとめ	予習；第一課から第五課までの語彙と練習問題 復習；第一課から第五課までの文法と練習問題			1 時間
12	文 慶 詰	第六課どこにありますか。	予習；第六課の語彙と文法 復習；第六課の本文と練習問題			1 時間
13	文 慶 詰	第七課何をしますか。	予習；第七課の語彙と文法 復習；第七課の本文と練習問題			1 時間
14	文 慶 詰	第八課何時に起きますか。	予習；第八課の語彙と文法 復習；第八課の本文と練習問題			1 時間
教 科 書		『かんたん！韓国語』 文 慶 詰他 朝日出版社				
参 考 書		授業中、その都度紹介する。				
備 考		受講生への要望）授業を休まないこと。声を出して練習すること。				

科 目 名		韓国語コミュニケーションⅡ		担 当 者	文 慶 詰
科目ナンバリング		1080212510			常勤
D	P	2,3		教員研究室	1322
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 現代社会を生きる私達に、外国語の必要性は益々増加しつつあります。情報化時代に生き残るためにも、外国語を理解し、そこから必要な情報をゲットする必要もあります。この授業では、韓国語の基礎を学びます。最初は文字の書き方を覚え、読み方と基本語彙の習得をし、「書く」、「読む」ことに重点をおきます。また、すぐ使える基本表現の習得を目指しますが、合わせて生の韓国語に触れるために授業中は話題の韓国ドラマや映画も取り入れて行います。 【学習の到達目標】 この授業は、韓国語を始めて学ぶ基礎からの現代韓国語講座です。まずハングルを学び、その読み書きができるようにするのが第一の目標です。次は日本語と比較しながら基本的な文法事項を理解し、最初は自己紹介文から簡単な会話ができるようにします。名詞文と否定形、指示代名詞と疑問形、その答え方、動詞、形容詞の活用、漢語と固有語の教え方、意志表現、過去形などの文法事項を覚え、その運用能力を養うのがこの授業の到達目標です。 【成績評価方法】 小テスト・課題など 50% 期末試験 50%					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	文 慶 詰	第九課朝ご飯は食べません。	予習；第九課の語彙と文法 復習；第九課の本文と練習問題		1 時間
2	文 慶 詰	第十課どこに住んでいますか。	予習；第十課の語彙と文法 復習；第十課の本文と練習問題		1 時間
3	文 慶 詰	第六課から第十課までのまとめ	予習；第六課から第十課までの語彙と文法 復習；第六課から第十課までのまとめ練習問題		1 時間
4	文 慶 詰	第十一課今日、忙しいですか。	予習；第十一課の語彙と文法 復習；第十一課の本文と練習問題		1 時間
5	文 慶 詰	第十二課先生でしたか。 第十三課何をしましたか。	予習；第十二課、十三課の語彙と文法 復習；第十二課、十三課の本文と練習問題		1 時間
6	文 慶 詰	第十四課ご飯食べましたか。	予習；第十四課の語彙と文法 復習；第十四課の本文と練習問題		1 時間
7	文 慶 詰	第十五課何をしたいですか。	予習；第十五課の語彙と文法 復習；第十五課の本文と練習問題		1 時間
8	文 慶 詰	第十一課から第十五課までのまとめ	予習；第十一課から第十五課までの語彙と文法 復習；第十一課から第十五課までのまとめ練習問題		1 時間
9	文 慶 詰	第十六課安くて美味しいです。	予習；第十六課の語彙と文法 復習；第十六課の本文と練習問題		1 時間
10	文 慶 詰	第十七課映画見に行きましょ うか。	予習；第十七課の語彙と文法 復習；第十七課の本文と練習問題		1 時間
11	文 慶 詰	第十八課何をなさいますか。	予習；第十八課の語彙と文法 復習；第十八課の本文と練習問題		1 時間
12	文 慶 詰	第十九課コーヒーを飲みます。	予習；第十九課の語彙と文法 復習；第十九課の本文と練習問題		1 時間
13	文 慶 詰	第二十課何をする予定ですか。	予習；第二十課の語彙と文法 復習；第二十課の本文と練習問題		1 時間
14	文 慶 詰	第十六課から第二十課までのまとめ	予習；第十六課から第二十課までの語彙と文法 復習；第十六課から第二十課までのまとめ練習問題		1 時間
教 科 書		『かんたん！韓国語』 文 慶 詰他 朝日出版社			
参 考 書		授業中、その都度紹介する。			
備 考		受講生への要望）授業を休まないこと。声を出して練習すること。			

科 目 名	中国語コミュニケーション I			担 当 者	西貝 定行
科目ナンバリング	1080212511				非常勤
D P	1,4			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 正しい発音を身につけることに重点をおく。簡単な文法事項を学習する。 【学習の到達目標】 中国語での簡単な日常会話ができるようになる。 【成績評価方法】 期末試験 70％、小テスト、課題提出、発言・質問および授業に臨む態度 30％。 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、不明な点について、質問を受け、解答する。また出席カードに質問を書いてもらい、多く出た質問に関してはその次の授業の冒頭で取り上げる。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の口頭練習には、大きな声を出して、積極的に参加してください。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 簡単な中国語の会話力が身につけられる。文章表現の基礎が固まる。 【実務家教員担当科目】 なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	西貝 定行	ガイダンス	中国の国と言葉について再確認する。		1 時間
2	西貝 定行	第 1 課発音	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
3	西貝 定行	第 2 課発音	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
4	西貝 定行	第 3 課発音	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
5	西貝 定行	第 4 課発音・あいさつ言葉	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
6	西貝 定行	第 5 課	附属の音声を聞き、声を出して練習する。		1 時間
7	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
8	西貝 定行	第 6 課	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
9	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
10	西貝 定行	第 7 課	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
11	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
12	西貝 定行	第 8 課	附属の音声を聞き、発音に慣れる。		1 時間
13	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
14	西貝 定行	総復習	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
教 科 書	『大学生のための初級中国語 24 回』杉野元子・黄漢青著（白帝社）				
参 考 書	授業の中で、必要に応じてアドバイスをしていく。				
備 考	なし				

科 目 名	中国語コミュニケーションⅡ			担 当 者	西貝 定行
科目ナンバリング	1080212512				非常勤
D P	2,3			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 正しい発音を身につけることに重点をおく。簡単な文法事項を学習する。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、不明な点について、質問を受け、解答する。また出席カードに質問を書いてもらい、多く出た質問に関してはその次の授業の冒頭で取り上げる。	
【学習の到達目標】 中国語での簡単な日常会話ができるようになる。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の口頭練習には、大きな声を出して、積極的に参加してください。	
【成績評価方法】 期末試験 70％、小テスト、課題提出、発言・質問および授業に臨む態度 30％。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 簡単な中国語の会話力が身につけられる。文章表現の基礎が固まる。	
				【実務家教員担当科目】 なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	西貝 定行	復習（第 1 課～第 8 課）	復習（第 1 課～第 8 課）		1 時間
2	西貝 定行	第 9 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。		1 時間
3	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
4	西貝 定行	第 10 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。		1 時間
5	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
6	西貝 定行	第 11 課	附属の音声聞き、声を出して練習する。		1 時間
7	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
8	西貝 定行	第 12 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。		1 時間
9	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
10	西貝 定行	第 13 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。		1 時間
11	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
12	西貝 定行	第 14 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。		1 時間
13	西貝 定行	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
14	西貝 定行	総復習	授業で学習した内容を一通り復習する。		1 時間
教 科 書		『大学生のための初級中国語 24 回』 杉野元子・黄漢青著（白帝社）			
参 考 書		授業の中で、必要に応じてアドバイスをしていく。			
備 考		なし			

科 目 名		海外研修		担 当 者	○増井三千代・立花顕一郎 王 元・鄭 舜玉	
科目ナンバリング		1080212513			常勤	
D P		2,4		教員研究室	1328	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・通年	
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	60 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 以下のいずれかの海外プログラムに参加し、現地の人々との交流を通して、異文化に対する理解を深めると同時にコミュニケーション力の向上を目指す。 (1) 長期休業期間に海外（英語圏、中国、韓国）へ渡航し、現地で実施される短期語学研修に参加するグループ研修プログラム (2) 学生個人による現地実習を含む短期語学・異文化理解プログラム（必須条件：所定の計画書の提出、5 日以上の渡航、研究テーマの設定）				【課題等のフィードバック方法】 各プログラムの実施担当教員が随時質問を受け付け、回答する。		
【学習の到達目標】 異文化に対する柔軟性を身につけ、現地の言葉を駆使しながら積極的にコミュニケーションを図る。また、現地の人々の考え方や価値観を通じて、日本を客観的かつ相対的に見る広い視野を身につける。				【履修上の注意・予習・復習について】 1. 実習に伴う参加費、渡航費用等は自己負担となる。 2. 国際情勢の急激な変化により、研修実施が困難になる場合がある。 3. 詳細な日程や費用等については、事前に開催される説明会に出席して確認する。		
【成績評価方法】 単位取得には、以下の全ての活動に参加することが求められる。 1. 研修前に行われる事前研修会、勉強会等への参加、取り組み状況 25% 2. 研修先での授業やその他プログラムへの参加、取り組み状況 50% 3. 帰国後の研修報告書提出および報告会での成果発表 25%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 グループ研修には引率教員が同行するため、海外未経験、語学に不安でも安心して参加できる。また、異文化交流経験は自分の人生の可能性を大きく広げることにつながる。		
				【実務家教員担当科目】 該当なし		
授 業 計 画						
【授業計画】 1～2 事前研修 3～7 実習 1 日目 8～12 実習 2 日目 13～17 実習 3 日目 17～21 実習 4 日目 22～26 実習 5 日目 ※プログラムによっては実習の日数が増える可能性有り 27 報告書作成および報告会準備 28 報告会						
教 科 書		資料を配布する。				
参 考 書		適宜紹介する。				
備 考		各プログラムの申込は履修登録期間外に行うため、Global Education Project（GEP）の Google Classroom に必ず登録し、掲載される申請方法に従って申し込むこと。この申請をもって履修登録を行う。なお、授業内容（2）の個人研修型プログラムについては、申請条件を満たさなければ、履修できない場合があることに留意する。 クラスコード 4yvf7eq				

科 目 名		スポーツ実技		担 当 者	○犬塚 剛・森田 清美 金田 幸夫・未定
科目ナンバリング		1080212514			常勤・非常勤
D	P	1,4		教員研究室	1304
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	45 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 それぞれのライフスタイルや体力や年齢、目的に応じたスポーツを楽しめるよう、自分に適したスポーツを選択し、理論、技術、方法等について継続的に学習して実力の向上を図り、自分の生涯スポーツにつながる基礎的能力を身につけることを目標とする。 【学習の到達目標】 各自の生涯スポーツ種目を見極め、基本的なルールや技術を身につける。スポーツを通じた体力づくりや健康管理の方法について習得する。 【成績評価方法】 成績は、授業中のゲーム遂行や準備に対する積極的な態度、技能テストなどにより評価する 70%、実技内評価・課題レポート 30% 【課題等のフィードバック方法】 適宜、種目ごとに講義内容の振り返りを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 〈服装〉動きやすいスポーツウエア等を着用し、体育館用シューズと屋外用シューズを明確に区別し使用すること。〈授業見学と公欠〉体調のすぐれない者や怪我等により見学を希望する者は授業開始時に申し出ること。但し長期見学の場合は医師の診断書を持参すること。また、親族の不幸やクラブ活動の競技会等により授業を欠席する場合は原則として公欠とするので届け出ること。〈遅刻および早退〉点呼終了後に授業に参加した場合は遅刻と判断する。また事情により授業を早退する場合は必ず理由等を教員に届けること。無断で授業を早退した場合には授業放棄とみなしその後の授業に出席しても単位を出さないこともあるので注意すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 他学部、他学科の学生が集まりスポーツを通じてコミュニケーションを育むことで社会人基礎力として多様な他者とのコミュニケーション能力やチームワーク、チャレンジする精神力などを養うことができる。 【実務家教員担当科目】 高等学校や大学で競技指導実績を持つ教員らが講義を担当する。					
授 業 計 画					
(実施種目) 屋内種目「球技系（バスケットボール・バレーボール）、ラケット系（バドミントン・卓球&レクリエーション）、フィットネス系（トレーニングなど）」屋外種目「サッカー（フットサル）、ソフトテニス（テニス）」以上の実技種目の中から原則 1 種目を選択する。施設設備のスペースや備品の状況により、種目毎に希望者数の上限を設ける予定である。種目希望者数に大きな偏りが生じる場合は、その状況に鑑み、種目の分散などによる人数調整を行う。なお、履修希望者数の状況等により、開講種目が変更される可能性もある。 1.2：オリエンテーション（種目の選択と講義概要および講義中の諸注意などについて） 3～22：各種目毎の実践・技能テスト・レポート課題の作成等 種目ごとに授業内容は異なるが、各種目とも共通にウォーミングアップの方法、基本的技術動作の習得、ルールの習得、戦術の学習などを通じて、各自が多面的にその種目への理解を深めることやゲーム運営をスムーズにこなせることを目標に授業を進める。					
教 科 書		特になし。			
参 考 書		「ビジュアルスポーツ小百科」 大修館書店 （980 円）			
備 考		※ 諸連絡に関しては、クラスルームへ連絡を入れるので確認を怠らないこと。 ※ 急な変更事項に関しては、クラスルームや体育館入口前に掲示を行うので確認すること。 ※ 種目選択については、施設のスペースや希望者数の偏りを見て、種目選択人数調整が入ります。 問い合わせ教員：犬塚 剛、森田清美			

科 目 名		心理学概論		担 当 者	山川 樹	
科目ナンバリング		1080212515			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1204	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 心理学は、人間の活動すべてに関わるものであり、内容は多岐にわたっている。 本講義では、心理学の成り立ち、ひとのこころの基本的な仕組み及びはたらき、その概観を説明していく。心理学の基礎知識を学び、人間行動を科学的に研究する方法や研究領域ごとの特色を理解した上で、こころのとらえ方、メカニズム、こころの問題へのアプローチ方法まで学習する。心理学の実験や現象を参考にしながら、心理学的な問題解決能力を習得することを目標とする。心理学の各領域について講義を通じ、学問としての裾野の広さを理解できるようにする。 基礎心理学の各分野がどのように近接する領域と関連しているかについても、講義を通して紹介する。						
【課題等のフィードバック方法】 講義に関する質問や講義中に課した課題の答えは、Google フォームで受け付ける。そして回収翌週以降の講義時間内や Google クラスルームを通じて適宜フィードバックする。						
【履修上の注意・予習・復習について】 事前に配布されている資料を読んでくることを予習とする。講義中の議論の際には積極的に参加すること。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 学修到達目標が達成されれば、各々の専門とする立場からだけでなく人間をより理解することができるようになると考えられる。						
【実務家教員担当科目】 該当しない						
【学習の到達目標】 (1) 心理学の様々な領域の用語の意味について記述できる。 (2) 心理学の知識をもとに、人間行動を解釈することができる。 (3) 人間を科学的に考える立場から現実社会の問題についての議論に参加できる。						
【成績評価方法】 講義後に毎回課すミニ課題の内容（評価の 40%）、期末試験（評価の 60%）により評価する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	山川 樹	ガイダンス、科学としての心理学、心理学の対象	シラバスを熟読し、心理学とはどんな学問なのか考えてみる。		4 時間	
2	山川 樹	心理学の歴史と方法論	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
3	山川 樹	パーソナリティの理論と測定	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
4	山川 樹	感覚・知覚	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
5	山川 樹	感情の機序と機能	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
6	山川 樹	学習の理論	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
7	山川 樹	認知的学習	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
8	山川 樹	動機づけ	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
9	山川 樹	自己と集団	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
10	山川 樹	幼児・児童の発達	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
11	山川 樹	青年期以降の発達	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
12	山川 樹	発達障害について	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
13	山川 樹	ストレスと健康	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
14	山川 樹	心の病態	予習：事前にスライド資料とテキストの該当箇所を一読する。 復習：配布された資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。		4 時間	
教 科 書		なし				
参 考 書		授業中に適宜紹介する				
備 考		特になし				

科 目 名		生命倫理学		担 当 者	高木 大輔
科目ナンバリング		1080212516			常勤
D	P	1,4		教員研究室	3210
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位
授 業 形 式					選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 生命におけるさまざまな倫理的課題について触れ、他者とのディスカッションを通じて理解を深めていく		【課題等のフィードバック方法】 グループワークの内容を授業の終わりに個別に提出し、次回にそのフィードバックを行う			
【学習の到達目標】 生活の質（QOL）の向上を視野に、生命（人生）における倫理的課題、特に健康・医療との関りのなかで生じる課題について考える力を身に付ける		【履修上の注意・予習・復習について】 授業毎に予習・復習に努めること			
【成績評価方法】 授業内課題によって成績を評価する		【受講して得られる効果・メリット、その他】 生命（人生）における倫理的な課題に関する様々な考え方を学ぶことができる			
		【実務家教員担当科目】 リハビリテーション医療に携わってきた教員が授業を担当する			
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	高木 大輔	健康、病気、生活の質	予習：「健康、病気、生活の質」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
2	高木 大輔	医療倫理の 4 原則	予習：「医療倫理」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
3	高木 大輔	インフォームド・コンセント	予習：「インフォームド・コンセント」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
4	高木 大輔	在宅医療と家族による看取り	予習：「在宅医療と家族による看取り」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
5	高木 大輔	医療としての正しさと患者の価値観	予習：「医療としての正しさと患者の価値観」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
6	高木 大輔	安楽死と尊厳死	予習：「安楽死と尊厳死」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
7	高木 大輔	健康的に生きるとは	予習：「健康的に生きること」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間
教 科 書		各回、授業資料を配布する			
参 考 書		小林亜津子：QOL って何だろう 医療とケアの生命倫理、ちくまプリマー新書 小林亜津子：はじめて学ぶ生命倫理 「いのち」は誰が決めるのか、ちくまプリマー新書			
備 考		なし			

科 目 名		健康科学		担 当 者	犬塚 剛
科目ナンバリング		1080212517			常勤
D P		1,4		教員研究室	1304
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位
		必修 1 単位			
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本授業では、自己の健康づくりのために、病気の予防を含む自身の健康管理に欠かせないさまざまな基礎的な知識を具体的かつ広く学ぶ。そして、一人ひとりが幸福でより良い生活を送るために何をすべきなのか、何をすべきでないのかを考える 【学習の到達目標】 疾病予防と健康管理のために必要な知識を身につけ、健康づくりのための具体的方法が実践できるようになる 【成績評価方法】 授業後確認テスト（各回 10 点×全 7 回⇒ 70 点）と最終授業終了後のレポート課題（30 点）にて成績判定を行う 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後質問を受け付け、次回授業の冒頭等で説明する（classroom での説明など） 【履修上の注意・予習・復習について】 ・規定の出席日数に到達しないものは評価対象外とする ・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること 【受講して得られる効果・メリット、その他】 疾病予防と健康管理のために必要な知識を身につけることができ、実践する力を養うことができる 【実務家教員担当科目】 該当なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	鈴木 誠	・オリエンテーション ・健康について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
2	鈴木 誠	・感染症について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
3	鈴木 誠	・飲酒について ・危険薬物について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
4	鈴木 誠	・メンタルヘルスについて	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
5	鈴木 誠	・生活習慣病について ・がんについて	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
6	鈴木 誠	・喫煙の影響について ・ヒューマンヘルスについて	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
7	鈴木 誠	・運動、栄養、休養について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
教 科 書		授業資料を Google classroom にて配布する			
参 考 書		必要に応じて、各授業時に紹介する			
備 考		不明な点は授業担当者に問い合わせること			

科 目 名			教育学		担 当 者	佐々木真由美	
科目ナンバリング			1080212518			非常勤	
D P			1,4		教員研究室		非常勤講師室
学科（専攻）			経営法学科		配 当 年 次		1 年次・後期
授 業 形 式			講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング			☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用			☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 ・本授業は、教育の目的・意義・方法等についての基本的原則や理論的基礎を学び、身近な教育問題を取り上げながら、学習者の成長に寄り添う教育の在り方について考察していく。							
【学習の到達目標】 ①教育の目的・意義・方法・内容等についての基本的原則や理論的基礎を理解できる。②教育史、教育行政制度、学校経営等の視点から社会の要請に応える教育の意義を理解できる。③いじめ・不登校対策、教育評価、教員の資質能力等の教育者側の視点から教育を考察することができる。							
【成績評価方法】 ・レポート内容及び課題の提出状況・内容を総合的に判断し、評価する。 ・科目の評価項目・基準等を定めたルーブリックに基づいて、評価する。							
【課題等のフィードバック方法】 ・学習過程に復習の時間を位置付け、解説を加える。・グループワークによる振り返りを行う。							
【履修上の注意・予習・復習について】 ・課題がある。・感染症等の感染状況により、授業方法を変更することがある。・平常時の授業においては、双方向性のある授業となる。・発表がある。・制限のある対面授業では、Classroomに参加し、意見交換をする。							
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・社会から求められている資質・能力の習得につながる。 ・多様な教材と学習方法による学びを通し、学び方が身に付く。							
【実務家教員担当科目】 非該当							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	佐々木真由美	オリエンテーション（授業のねらい、授業内容、評価方法等）。アイスブレイク。④ルーブリック	予習：自身の「学び」について振り返る。 復習：学習を振り返り。在学中に必要な学びを文字化する。				4 時間
2	佐々木真由美	教育の目的や意義をふまえ、教育格差等について考える。④教育基本法、教育格差	予習：教育の目的について調べる。 復習：教育による格差・不平等を取り上げ、解決策を提案する。				4 時間
3	佐々木真由美	事例をもとに、子どもの成長・人間の成長について考える。④発達の最近接領域	予習：心がけている / きた学び方についてまとめる。 復習：学友の学び方を参考に、取り組みたい学び方を文字化する。				4 時間
4	佐々木真由美	学びの効果を高める教育方法について考える。④詰め込み教育、ゆとり教育	予習：「教え方がうまい先生とは？」具体的な事例を集める。 復習：ゆとり教育の本質をふまえ、成長を促す学びについてまとめる。				4 時間
5	佐々木真由美	義務教育の歴史を踏まえ、教育を受ける権利について考える。④教育勅語	予習：違いを述べる。「この子らに世の光を、この子らを世の光に。」 復習：今日の教育問題と解決策を提案する。				4 時間
6	佐々木真由美	教育行政制度を理解し、学びを支える仕組みについて考える。④文部科学省、教育委員会等	予習：給食について経験をまとめる。 復習：公教育の学びを支えた仕組みについて振り返る。				4 時間
7	佐々木真由美	居場所となるべき学校の姿を考える。④いじめ防止対策推進法、フリースクール、不登校	予習：いじめ、不登校に関する新聞記事を収集する。 復習：子どもたちが社会とつながって学ぶ居場所について提案する。				4 時間
8	佐々木真由美	社会の要請に応える教育課程について考える。④教育課程、ヒドゥンカリキュラム	予習：指導を受け、身に付いた価値観や生き方をまとめる。 復習：残しておきたい学習内容（教材）とその理由を整理する。				4 時間
9	佐々木真由美	発達の特性に基づいた教育について考える。④発達障がい、インクルーシブ	予習：発達障がい等に関する新聞記事を収集する。 復習：自身ができるインクルーシブな社会をつくる取組をまとめる。				4 時間
10	佐々木真由美	公正な評価、評価方法について考える。④評価規準、評価基準、モデレーション	予習：ルーブリックをもとに自己の学習を評価する。 復習：学習を振り返り、今後注力する評価項目を整理する。				4 時間
11	佐々木真由美	教育効果を高める学校経営について考える。④社会に開かれた教育課程	予習：教員以外からの学びを一覧にする。 復習：学校外での効果的な学びについてマイプランを作成する。				4 時間
12	佐々木真由美	学び（学習）の本質について考える。④生涯教育	予習：カルチャーセンター等の広告やリーフレットを持ち寄る。 復習：「習得・探究」に夢になる理由をまとめる。				4 時間
13	佐々木真由美	社会から求められる資質・能力について知り、今後の学び方を考える。④主体的・対話的で深い学び	予習：資料について意見を述べる。 復習：学友の意見を比較・分析し、学び方を整理する。Society5.0に向けた人材育成。				4 時間
14	佐々木真由美	総括：目指す自分像を実現するための学習方法等を考える。④キャリアデザイン	予習：キャリア形成に関する気付き等をまとめる。 復習：社会人1年目の自分に手紙でエールを送る。				4 時間
教 科 書		適宜プリントを配付					
参 考 書		問いからはじめる教育学（有斐閣ストゥディア）、学制百年史（文部科学省）、教育社会学、教育学原論（ミネルヴァ書房）、カリキュラム論（成文堂）、窓ぎわのトットちゃん（講談社）					
備 考		特になし					

科 目 名		哲学		担 当 者	菅原 宏道	
科目ナンバリング		1080212519			非常勤	
D P		1,4		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 古代から近代までの西洋哲学を、知の形成と変遷の歴史として概観する。また、論理学の基礎と科学的思考を学び、自律的に考えて判断や行為をなすためのリテラシーを学ぶ。						
【学習の到達目標】 (1) 哲学がどのような学的営みであるかを理解できる。(2) 古代から近代までのさまざまな哲学について整理して理解し、知識として定着させることができる。(3) 論理学の基礎と科学的思考を学び、自律的な判断と行為のリテラシーを身につけることができる。						
【成績評価方法】 (a) 課題 50%, (b) 試験 50% 成績評価の基準は「学習の到達目標」(1)～(3)への到達度とします。						
【課題等のフィードバック方法】 Google Classroom や e メールを使用し、提出物や質問などに対して、必要に応じたフィードバックを個別に行います。						
【履修上の注意・予習・復習について】 [重要] Google Classroom や e メールを使用して、履修者全員あるいは個別に連絡をすることがあります。履修者は、常用する PC やスマートフォンなどのデバイスで教員からの連絡を受信できるようにしておいてください。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 古来より、人間、世界、物事などがどのように考えられてきたかを知ることや、自律的な判断と行為のリテラシーを学ぶことは、実生活をよりよく導くためのきっかけを得ることができると思います。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	高山 馨	イントロダクション：哲学と倫理学	[予習] 本科目のシラバスを理解しておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
2	高山 馨	古代哲学 1：ソクラテス	[予習] 知と徳の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
3	高山 馨	古代哲学 2：プラトン、アリストテレス	[予習] 普遍と個別の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
4	高山 馨	中世哲学：アウグスティヌス、トマス・アキナス	[予習] 存在と本質の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
5	高山 馨	近代哲学 1：デカルト、スピノザ	[予習] 観念の由来について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
6	高山 馨	近代哲学 2：ロック、ヒューム	[予習] 経験による知識と信念について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
7	高山 馨	近代哲学 3：カント	[予習] イギリス経験論と大陸合理論についてまとめておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
8	高山 馨	近代哲学 4：啓蒙思想	[予習] 社会契約説について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
9	高山 馨	テーマ別哲学 1：心	[予習] 心と脳について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
10	高山 馨	テーマ別哲学 2：心	[予習] 自由について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
11	高山 馨	テーマ別哲学 3：論理	[予習] 思考について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
12	高山 馨	テーマ別哲学 4：論理	[予習] 演繹について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
13	高山 馨	テーマ別哲学 5：科学	[予習] 帰納について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
14	高山 馨	テーマ別哲学 6：科学	[予習] 科学と社会の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間
教 科 書		レジュメに基づいて講義してゆきます。			
参 考 書		講義の中で紹介してゆきます。			
備 考		オフィス・アワーは、初回の講義と Google Classroom で伝えます。			

科 目 名		現代史		担 当 者	星野 修	
科目ナンバリング		1080212520			非常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 冷戦後の日本と国際社会の変化と現状について、次の 2 つの問題を考察するという講義をします。 一つ目は、「なぜ、日本の政治は、こんなにも面白くないのか」という問題です。近年の国政選挙の投票率は、50% 台前半です。日本の有権者の 4,300 万から 5,000 万人以上が棄権しており、20 代の若者のおよそ 3 人に 1 人しか投票に行きません。日本の投票率の低さ、また若者の政治的関心の低さは、国際的にも群を抜いています。いつから、なぜ、日本の有権者は、政治に関心も期待も持たなくなったのでしょうか。 二つ目の問いは、「国際社会において、民主主義は、なぜ、人気をなくし、専制化する国々が増えているのでしょうか」です。世界の人口の 70% は、現在、専制体制の下で、自由も権利も奪われて生きています。「専制化の第 3 の波」といわれるこの状況は、いつ頃から、またなぜ、生じたのでしょうか。この 2 つの問いに答えるかたちで、現代史の最も重大な問題を考察していきます。 【学習の到達目標】 日本社会と国際社会の、ここ 30 年間ぐらいの動向・変化を理解するための、基礎的知識と社会・政治理論とを習得することです。 【成績評価方法】 中間試験（30 点）と期末試験（70 点）の合計で評価します。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	星野 修	1. 現代日本社会と国際社会の現状——講義の概要について——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、また次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
2	星野 修	2. 日本の有権者の投票行動とその変化——国際比較——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
3	星野 修	3. 選挙制度——中選挙区制から小選挙区・比例代表並立制への転換——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
4	星野 修	4. 政党システムの変遷——選挙制度との関連——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
5	星野 修	5. 統治システム——議院内閣制、大統領制、半大統領制——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
6	星野 修	6. 政治体制の分類——民主制と専制——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
7	星野 修	7. ドイツと韓国との比較考察	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
8	星野 修	8. 国際社会の現状と変化——「民主化の第 3 の波」とその終焉——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
9	星野 修	9. 「専制化の第 3 の波」について	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
10	星野 修	10. 専制化の事例①——東欧諸国——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
11	星野 修	11. 専制化の事例②——南アジア——	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
12	星野 修	12. 専制化の歴考察考察	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
13	星野 修	13. 専制化の現状の考察	講義録 / 配付資料を復習 / 予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
14	星野 修	14. 専制化と再民主化の展望	講義録 / 配付資料を復習し、疑問点をまとめておく。期末試験まえに回答する。		4 時間	
教 科 書		用いない。毎回、講義のレジュメと資料を配付します。				
参 考 書		用いない。（ただし、講義中に、参考文献は、随時、紹介します。）				
備 考		自由な参加・討論型の講義にしたいと思っていますので、学生諸君の活発な発言を期待します。また、しばしば教員からも質問します。				

科 目 名		東北の歴史		担 当 者	渡邊 洋一	
科目ナンバリング		1080212521			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1124	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 歴史学の基礎講座（3 回程度）に始まり、近世の統治機構と都市構造について学びその地方史観から見た中央政権との関係史にいて学ぶ。また、人文科学系の学問の基礎となる史（資）料の読み方・使い方についても解説する 【学習の到達目標】 従来の中央史観からではなく東北から観た地域史観のもと、人文学的な検証を行うことで、広い視野と新たな切り口で現代の社会を見直す目を養う 【成績評価方法】 受講記録やレポートの提出（3 回程度）を求め、その内容で評価する						
【課題等のフィードバック方法】 講義に関する史資料等の把握及び博物館等へも赴くことで歴史学への意識を高めることを希望する 【履修上の注意・予習・復習について】 テキストは授業毎のレジュメと PP 資料により行う。なお、エクスカーシオンを実施（必須）するが、時間割とは別に土曜日等の授業日以外となるので、予め承知すること 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域の歴史・文化等を学ぶことで、近年叫ばれている地域創生の一翼を担う感性を養う 【実務家教員担当科目】 なし						
授 業 計 画						
1. 概要と基礎講座Ⅰ（歴史区分と 2. 基礎講座Ⅱ（貨幣の歴史と度量衡） 3. 基礎講座Ⅲ（暦の歴史と元号・時間 4. 近世の統治機構（幕藩体制における大名統治） 5. 近世の都市構造Ⅰ（江戸と江戸城） 6. 近世の都市構造Ⅱ（仙台と仙台城） 7. 近世の都市構造Ⅲ（米沢城下の構築） 8. 近世の都市構造Ⅳ（会津と若松城下） 9. 奥州抗争史の群像Ⅰ（蝦夷征伐と多賀城） 10. 奥州抗争史の群像Ⅱ（奥州藤原氏と奥州合戦） 11. 奥州抗争史の群像Ⅲ（戊辰戦争の真実） 12. 自治体史（誌）の編纂について 13. 史学概論（歴史史料の読み方・使い方） 14. エクスカーシオン（仙台城址と仙台市博物館）						
教 科 書		エクスカーシオンを除き、毎回レジュメと PP 資料を使用				
参 考 書		東北各県・市町村の自治体史（誌）の他、授業中に参考文献を指示				
備 考		エクスカーシオンの実施については、授業時間外の土曜等を予定するので、予め承知すること				

科 目 名		ジェンダー論		担 当 者	川口かしみ	
科目ナンバリング		1080212522			非常勤	
D P		1,4		教員研究室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この授業では、自分たちが生きていく社会において、他者と尊重し合い、生きやすい社会になるための課題をジェンダーの視点から検討していく。まず、ジェンダーの基礎知識を学習し、次に、現在の日本社会に存在するジェンダー問題とそれに関する法律について学んでいく。				【課題等のフィードバック方法】 提出された課題内容を翌週の授業内で、フィードバックとして共有することがある。		
【学習の到達目標】 (1) ジェンダーとは何かを理解する。 (2) 現在の日本社会に存在するジェンダー問題とそれに関する法律を知る。 (3) 自分たちが生きやすい社会になるための課題をジェンダーの視点から検討する。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業中に伝える。		
【成績評価方法】 毎授業に課す課題（30%）、学期末テスト（70%）により評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 現在の日本社会に存在するジェンダー問題を理解し、それを解決するための方法を考える視点が得られる。自分たちが生きていく社会のために、現在社会が抱え、解決すべきジェンダー問題を分析する力が身に着く。		
				【実務家教員担当科目】 該当なし。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	川口かしみ	イントロダクション/ジェンダーとは何か？	ハンドアウトを復習し、ジェンダー規範とは何かを確認する。		4 時間	
2	川口かしみ	公私二元論とジェンダー	予習では、教科書の第 1 章・2 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
3	川口かしみ	日本の制度とジェンダー	予習では、教科書の第 3 章・4 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
4	川口かしみ	平和とジェンダー	予習では、教科書の第 5 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
5	川口かしみ	国際社会における日本のジェンダー平等	予習では、教科書の第 6 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。特に女性差別撤廃条約の内容について復習する。		4 時間	
6	川口かしみ	労働とジェンダー	予習では、教科書の第 7 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
7	川口かしみ	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	予習では、教科書の 105 ～ 107 頁を読み、自分の考えをまとめる。復習では、教科書の上記頁を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
8	川口かしみ	LGBTQ+/SOGI	予習では、教科書の 108 ～ 110 頁を読み、自分の考えをまとめる。復習では、教科書の上記頁を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
9	川口かしみ	家族とジェンダー	予習では、教科書の第 9 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
10	川口かしみ	信教/学問とジェンダー	予習では、教科書の第 10 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
11	川口かしみ	ポルノグラフィーとメディア	予習では、教科書の第 11 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
12	川口かしみ	売買春と性的自己決定権	予習では、教科書の第 12 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
13	川口かしみ	社会保障/刑事手続とジェンダー	予習では、教科書の第 13 章・14 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
14	川口かしみ	政治参画とジェンダー	予習では、教科書の第 15 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間	
教 科 書		『ジェンダーの視点で学ぶ憲法入門』				
参 考 書		授業中に適宜紹介する。				
備 考		教科書はタイトル通り、憲法を扱ったものであるが、お手に取っていただければ分かるように、ジェンダーについても扱っているものである。この授業ではそのジェンダー問題の部分扱う。				

科 目 名		生活の中の物理学			担 当 者	早川 美徳
科目ナンバリング		1080212523				非常勤
D P		1,4			教員研究室	非常勤講師室
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 私たちの身の回りには、様々な機械、電子機器、ヒトをはじめ様々な動物、天体を含む自然など、さまざまな「物」が存在している。これらの物の動きや機能は、物質の基本的な性質や自然現象を解明しようとする科学的な営みである物理学と深く関係している。本講義では、物理学の基本的な概念や考え方を生活に関係した実例を交えながら紹介し、生活の中の様々な現象や物の動きを物理学に基づいて考えるすべを学修する。あわせて、物理学が今後の生活や社会で果たす役割、影響などについて考えていく。 【学習の到達目標】 ・物理学が身の回りの現象の理解に役立つだけでなく、生活の各所で応用されていることを具体的な事例を伴って考え、理解する。 ・安全で健康的な生活を営むための判断に必要な物理学的な知識や常識を理解する。 【成績評価方法】 ミニ課題 40%、ミニットペーパーの記入状況 40%、最終レポート課題 20%の重みで総合評価する。これらの提出が行われていない回は、出席とみなさないで注意すること。 【課題等のフィードバック方法】 毎回、ミニ課題と講義での気づきや意見・質問をミニットペーパー等で提出する。個別の質問への回答は原則として個別に行い、課題については翌週の授業の最初で振り返りを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 教室での演示実験を行う予定であるので、実施にあたり積極的に協力すること。毎週、前週講義のふり返しをおこなうので復習をしておくこと。やむを得ない理由で遅刻や欠席の場合は事前事後に関わらず担当教員まで連絡すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 私たちの身の回りにある様々な機械、電子機器、ヒトや様々な動物などの機能が理解できるようになる。また、物理学を通して自然や社会を眺めることによって、新しい気づきが生まれ、より豊かな発想や想像力を得ることができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	西澤 哲、 早川 美徳	ガイダンス（授業の進め方の説明）後、物理学とは何かをテーマとして、物理学の対象と研究方法、基本的な物理量とその定義、計測法、単位について学ぶ	当該の講義内容（教科書 1.2.1 項まで）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
2	西澤 哲、 早川 美徳	「物理量の単位はどう表されるか」をテーマに、物の長さ、面積、体積、質量、位置、速度、加速度などを対象に、それらを表す SI 単位系（国際標準）について学ぶ	講義内容（教科書 1.2.2 項と 2.1 節）について予習する。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
3	西澤 哲、 早川 美徳	「物はどのように落ちるか」と「ロケットは何故飛べるか」をテーマに、自由落下と等加速度運動、重力加速度、様々な力とその合成、作用反作用の法則等について学ぶ	講義内容（教科書 2、3 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
4	西澤 哲、 早川 美徳	「ニュートンは何を見つけたのか」をテーマに、ニュートンの運動方程式、加速度運動等について学ぶ	講義内容（教科書 4 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
5	西澤 哲、 早川 美徳	「テブルクロス引きの上達法」をテーマに、摩擦力、慣性の法則等について学ぶ	講義内容（教科書 5 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
6	西澤 哲、 早川 美徳	「ジェットコースターの設計法」をテーマに、力学エネルギーと仕事、エネルギーの保存等について学ぶ	講義内容（教科書 7 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
7	西澤 哲、 早川 美徳	前半のまとめ：物理学の対象と研究方法、基本的な物理量とその定義、計測法、単位と、力学と呼ばれる物理学の分野の考え方を整理する	これまで 6 回の講義内容について復習して、疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
8	西澤 哲、 早川 美徳	「空の色が青い理由」と「シャボンの膜が虹色に見える理由」をテーマに、波動としての光の性質、スネルの法則等について学ぶ	講義内容（教科書 10、11 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
9	西澤 哲、 早川 美徳	「楽器の音程はどう決まるのか」と「救急車のサイレンの音が変わる理由」をテーマに、縦波と横波、音速と波長、固有振動、ドップラー効果等について学ぶ	講義内容（教科書 12、13 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
10	西澤 哲、 早川 美徳	「暑いということとは」と「クーラーは何故涼しいのか」をテーマに、温度の性質と絶対温度、温度による物質の変化、熱と仕事、熱機関の基本原理解等について学ぶ	講義内容（教科書 17、18、19 章）について予習する。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
11	西澤 哲、 早川 美徳	「冬場に静電気が起こる理由」と「コンパスはなぜ南北を指すのか」をテーマに、電荷と電荷に働く力、磁場等について学ぶ	講義内容（教科書 20 章と 21.1 節）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
12	西澤 哲、 早川 美徳	「上手に節電するには」をテーマに、磁場と電流の関係、ローレンツ力、電磁誘導と発電・送電の仕組み等について学ぶ	講義内容（教科書 21.2 節と 22 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
13	西澤 哲、 早川 美徳	「電子レンジで何故食品が温まるのか」と「もし原発事故が起こったら」をテーマに、電磁波の性質、電磁波と物質の相互作用、放射性崩壊と放射線等について学ぶ	講義内容（教科書 23、24 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
14	西澤 哲、 早川 美徳	「生活の中の事象を不思議に思うこと」を軸に、担当教員の研究紹介も交えつつ、講義全体のまとめを行う	予習として、事前に配布する資料を通読しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
教 科 書		齊藤史郎著、日常の中の物理学、学術図書出版社、2019（1600 円＋税）				
参 考 書		真貝寿明著、日常の「なぜ」に答える物理学、森北出版、2015（2200 円＋税） その他、必要に応じて適宜紹介する。				
備 考		資料等は Google Classroom あるいは教室で配布する。				

科 目 名		生活の中の化学		担 当 者	○戸田 孝史・堂浦 克美	
科目ナンバリング		1080212524			非常勤	
D P		1,4		教員研究室		非常勤講師室
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 現在、多くの物質やそれを利用した製品が次々と生みだされており、これらの物質は、私たちの毎日の暮らしを豊かにし、生活に欠かせないものになっている。本講義では、化学の基礎とその役割について学ぶ。 また、高校化学の学修が十分ではない受講者でも理解できるよう平易な解説を行う。 【学習の到達目標】 生活の中の化学では、身の回りの物質とその用途などを通して、化学の基礎的知識を習得する。 【成績評価方法】 ミニレポート：40%、レポート：60% で総合的に評価する。詳細は、授業時に説明する。 【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートや小テストなどの課題は、授業中またはクラスルームで解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 講義のふり返しをおこなうので復習をしておくこと。やむを得ない理由で遅刻や欠席の場合は事前事後に関わらず担当教員まで連絡すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 日常生活で使われる商品（食品含む）を通して化学に親しみ、延いては化学の視点から自然科学現象を分析する素地を養うことにつながる。 【実務家教員担当科目】 該当せず						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	戸田 孝史・堂浦 克美	ガイダンス				4 時間
2	戸田 孝史・堂浦 克美	原子と分子	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
3	戸田 孝史・堂浦 克美	元素の種類と性質	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
4	戸田 孝史・堂浦 克美	化学結合	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
5	戸田 孝史・堂浦 克美	物質量とモル	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
6	戸田 孝史・堂浦 克美	化学反応式	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
7	戸田 孝史・堂浦 克美	レポート作成	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
8	戸田 孝史・堂浦 克美	物質の状態変化：気体の性質 / 溶液の性質	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
9	戸田 孝史・堂浦 克美	酸化と還元	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
10	戸田 孝史・堂浦 克美	非金属元素	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
11	戸田 孝史・堂浦 克美	典型金属元素	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
12	戸田 孝史・堂浦 克美	遷移金属元素	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
13	戸田 孝史・堂浦 克美	脂肪族化合物 / 芳香族化合物	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
14	戸田 孝史・堂浦 克美	レポート作成	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
教 科 書		「商品から学ぶ化学の基礎」 松田勝彦著、化学同人				
参 考 書		特になし				
備 考		特になし				

科 目 名		生活の中の生物学			担 当 者	小田切孝人
科目ナンバリング		1080212525				常勤
D P		1,4			教 員 研 究 室	1319
学 科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 地球という環境の中で生きる我々ヒトが生物学的にどのような存在なのか、そして我々がヒトは生涯を生き抜くために、どのように身体構造と機能を有しているのか、更に、生物としてどのような役割を果たしているのかについて学ぶ 【学習の到達目標】 生物の多様性と共通・ヒトの生物学的特徴・ヒトが生きる役割について修得する 生命の倫理観を理解できる 【成績評価方法】 レポート 60% ミニレポート（小テストに変えることもある） 40% 詳しいことは授業に置いて説明します 【課題等のフィードバック方法】 レポートやミニレポート等の課題は、授業中またはクラスルームで解説する 【履修上の注意・予習・復習について】 予習を重視すること・学修内容を確認しておくこと 復習は資料の整理を怠らないこと 【受講して得られる効果・メリット、その他】 私たちはどのような存在なのかを生物学的に理解し、私たちが生物としてどのような役割を果たしているのかを知ること、人生を健康に生き抜く意義を感じ取ることができる。また人々が健全に生きるための倫理観を習得できる 【実務家教員担当科目】 該当せず						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	小田切孝人	ガイダンス：生物の進化と多様性	予習：生物の進化と多様性について調べておく ※生物の進化の過程と人の誕生について触れないか 復習：授業課題の確認			4 時間
2	小田切孝人	細胞 1：細胞の種類と細胞膜の構造	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
3	小田切孝人	細胞 2：核と細胞小器官	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
4	小田切孝人	細胞 3：栄養と代謝とエネルギー	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
5	小田切孝人	遺伝情報 1：遺伝のメカニズム	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
6	小田切孝人	遺伝情報 2：遺伝病	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
7	小田切孝人	細胞分裂 1：分裂の仕方	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
8	小田切孝人	細胞分裂 2：減数分裂	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
9	小田切孝人	人体の階層構造 1：組織と器官	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
10	小田切孝人	人体の階層構想 2：器官系	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
11	小田切孝人	ホメオスタシス 1：生体の維持のしくみ	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
12	小田切孝人	生体防御機構と免疫	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
13	小田切孝人	成長と老化	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
14	小田切孝人	生命倫理	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認			4 時間
教 科 書		講義時に指示する				
参 考 書		講義時に指示する				
備 考		連絡事項があれば講義時に指示する				

科 目 名		生活と地球科学		担 当 者	千葉 一	
科目ナンバリング		1080212526			非常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 人類は経済活動（利潤追求）を優先するあまり、環境や気候変動の問題を半ば放置して来た。しかしその人類の生態は、大きなパラダイムシフトを迫られている。本講義では、人間の活動が地球環境にどのような影響を与えているのかについて、特に地球温暖化を中心に解説して行く。また、そうした諸問題解決のための思考を深めて行く。 【学習の到達目標】 環境破壊や環境問題を正しく理解することで、人間の過剰性の認知と環境へのグローバルな倫理観を養う。 【成績評価方法】 定期試験による評価と提出物（講義中）で総合評価とする。評価比率：定期試験 70%・提出物 30%。詳しくは、初回講義の際に説明する。 【課題等のフィードバック方法】 提出物やレポートの総括講評を、次の授業で行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 私語・飲食・携帯電話・居眠り・無断退出は禁止する。授業進行に支障をきたす場合は退出してもらう。授業計画のトピックスを参考に資料など情報収集しつつ、授業に臨む。復習を怠らない。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 人類の生命活動のみが大切なのではなく、この地球の営みの中で共に生きる生命活動があって、この地球が存在している。気象や地殻の諸現象や多種多様な生命の絡み合いを理解し、それぞれの存在価値を正しく認識することは、未来の健全な「地球コミュニティ」の在り方にとって必須と考える。 【実務家教員担当科目】 3.11 震災復興に関連した環境破壊やコミュニティ開発を研究しつつ、自然再生活動や社会開発を実践している教員が、地球規模の環境問題について、自然科学と人文科学の枠を超えて講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	千葉 一	教科に関する説明と授業の進め方を説明する。	次回学習内容を予習。		4 時間	
2	千葉 一	人間という種の特異性と環境問題	自己の生活と環境問題の関連を再考する。次回学習内容を予習。		4 時間	
3	千葉 一	経済活動と地球温暖化	経済活動の過剰性についてまとめる。次回学習内容を予習。		4 時間	
4	千葉 一	地球温暖化のメカニズム	温室効果ガスの削減についてまとめる。次回学習内容を予習。		4 時間	
5	千葉 一	地球温暖化に伴う環境の激変	気候変動枠組み条約についてまとめる。次回学習内容を予習。		4 時間	
6	千葉 一	カーボン・サイクルと石灰岩	炭酸カルシウム形成過程を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
7	千葉 一	復習と要点・疑問点の整理	前半 6 回の講義内容を理解・整理する。次回学習内容を予習。		4 時間	
8	千葉 一	化石燃料：炭素の固定と解放	その固定と解放の時間差を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
9	千葉 一	経済成長と自然海岸の破壊	海浜の重要性を認識する。次回学習内容を予習。		4 時間	
10	千葉 一	海洋酸性化と生態系サービス	酸性化メカニズムを理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
11	千葉 一	森林破壊と生態系サービス	急速な森林破壊の現状を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
12	千葉 一	森のネットワークと生物多様性	森林の社会性を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
13	千葉 一	砂漠化と多種共生	多自然主義を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
14	千葉 一	復習と要点・疑問点の整理	後半 6 回の講義内容を理解・整理し、小論文的にまとめる。		4 時間	
教 科 書		特になし。資料を適宜配布する。				
参 考 書		清水美香（編著）2023『レジリエンス－よみがえる力－森・風景・地域・人の交差の中で』、日本評論社。 原慶太郎ほか（編著）2021『自然と歴史を活かした震災復興－持続可能性とレジリエンスを高める景観再生』、東京大学出版会。				
備 考		特になし。				

科 目 名		データサイエンス入門		担 当 者	○河本 進・久保田茂裕 渡邊 晃久
科目ナンバリング		1080212527			常勤・非常勤
D	P	1,4		教 員 研 究 室	1228 (河本)・1227 (久保田)・ 非常勤講師室 (渡邊)
学 科 (専攻)		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし			
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 □該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当する
【授業内容】 現代の高度な情報社会では、情報技術 (IT) に進化と共に、人工知能 (AI) の急速な発展によりビッグデータを活用した様々なサービスが生まれ、社会が大きく変化してきている。本科目では、AI・データサイエンスが社会に変化をもたらしている現実を認識し、どのようにデータを読み取り理解するのか、どんな AI データ技術が利活用されているのか、データ AI を活用する際に何に留意すべきかを理解する。 授業は大学が定める数理データサイエンス AI 教育カリキュラム (リテラシーレベル) に基づいて、1) データサイエンスの基礎知識、2) AI 技術の活用事例、3) データの収集・理解・分析方法、4) データ AI のリスクと倫理、以上を体系的に学ぶ。					【課題等のフィードバック方法】 Google Classroom や Google Form で課題出題、提出、採点後返却、質疑応答などを実施する。
【学習の到達目標】 1) AI によって変化している現実を理解する、2) データ AI がどのような技術で活用されているかを理解する、3) データを読み取り理解する方法を理解する、4) データ AI を活用する際に留意すべきことを理解する。					【履修上の注意・予習・復習について】 学部・学科・専攻により、授業計画の前半 7 回分 (1~7) と後半 7 回分 (8~14) の前後が入替わることがある。授業では BYOD (自己所有のノートパソコンやタブレット型端末) を使用するので必ず持参すること。
【成績評価方法】 全学共通のルーブリック評価に基づく。					【受講して得られる効果・メリット、その他】 数理・データサイエンス・AI 教育カリキュラム (リテラシーレベル) に基づいて体系的に学ぶことができる。
【実務家教員担当科目】 なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	渡邊 晃久	ガイダンス AI・データがもたらす社会変動	予習：情報社会における社会変動を多様な視点で捉えて俯瞰しておくこと。 復習：AI・データの発展による活用分野を理解すること。		4 時間
2	渡邊 晃久	コンピュータと AI	予習：高校情報 I で既習の内容を大まかに捉えておくこと。 復習：情報技術の発展が AI・データによる社会変化を生む基盤であることの理解を深めること。		4 時間
3	渡邊 晃久	社会で活用される AI・データ	予習：AI・データの活用領域の広がり活用方法を捉えておくこと。 復習：AI・データ利活用の事例からデータと AI が関わり新たな価値を創出していることを理解すること。		4 時間
4	渡邊 晃久	AI・データ社会がもたらす諸問題	予習：現在の社会で起きている変化を見据えてビッグデータを活用している分野と活用方法を調べておくこと。 復習：社会システムで活用している AI とビッグデータの関係性を事例と共に理解すること。		4 時間
5	渡邊 晃久	生活の中の生成 AI	予習：生成 AI の利便性や留意すべきことを予め調べておくこと。可能なら実際に使用してみるとよい。 復習：生成 AI の仕組みとプロンプトの重要性を体験的に理解すること。		4 時間
6	渡邊 晃久	生成 AI の活用の今と将来	予習：高校情報 I で既習の情報社会における諸問題を整理し確認しておくこと。 復習：生成 AI の利活用にあたり具体的な留意事項を事例を含めて理解しておくこと。		4 時間
7	渡邊 晃久	社会が求めるデータサイエンス	予習：高校情報 I で既習のデータの収集と分析について予め確認しておくこと。 復習：AI とデータサイエンスが適用できる活用領域の広がり理解すること。		4 時間
8	河本 進・久保田茂裕	学修分野におけるデータサイエンスのガイダンスと情報処理ツールの基礎 1	予習：予め主な情報処理ツール (ワープロ、表計算、プレゼンテーション) の操作に慣れておくこと。 復習：情報やデータを加工・編集・提示する情報処理ツールでの情報の扱いと処理機能を理解すること。		4 時間
9	河本 進・久保田茂裕	情報処理ツールの基礎 2	予習：予め主な情報処理ツール (ワープロ、表計算、プレゼンテーション) の操作に慣れておくこと。 復習：情報やデータを加工・編集・提示する情報処理ツールでの情報の扱いと処理機能を理解すること。		4 時間
10	河本 進・久保田茂裕	データの散らばりを読み取る 1	予習：高校情報 I で既習のデータの収集とデータの分析について予め確認しておくこと。 復習：データを適切に読み解き、かつデータを適切に説明するための手法を理解すること。		4 時間
11	河本 進・久保田茂裕	データの散らばりを読み取る 2	予習：高校情報 I で既習のデータの収集とデータの分析について予め確認しておくこと。 復習：データを適切に読み解き、かつデータを適切に説明するための手法を理解すること。		4 時間
12	河本 進・久保田茂裕	データから全体を推測する 1	予習：予め表計算ソフトで表形式のデータ等を扱えるようにすること。 復習：表計算ソフトで機械判別可能なデータを利用してデータの表現と分析ができるようにすること。		4 時間
13	河本 進・久保田茂裕	データから全体を推測する 2	予習：予め表計算ソフトで表形式のデータ等を扱えるようにすること。 復習：表計算ソフトで機械判別可能なデータを利用してデータの表現と分析ができるようにすること。		4 時間
14	河本 進・久保田茂裕	AI・データ利活用の分野別諸問題	予習：各専門分野において、高校情報 I で既習の情報社会における諸問題を予め整理し確認しておくこと。 復習：各専門分野における AI・データサイエンスの利活用の事例 (留意事項を含む) を理解しておくこと。		4 時間
教 科 書		行場、高谷、渡邊共著「人間中心の AI 社会とデータサイエンス - MDASH リテラシーレベル準拠 -」コロナ社			
参 考 書		適宜紹介する。			
備 考		特になし。			

科 目 名		コミュニケーション論		担 当 者	呂本 俊亮	
科目ナンバリング		1080212528			非常勤	
D	P	1,4		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講 義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 この授業では、心理学をベースにコミュニケーションの基礎と応用を学びます。私たちはふだん、あたりまえのように相手が発した情報を理解し、あたりまえのように自分の考えを表現して相手とコミュニケーションを行っています。しかし、そこには私たち人間のきわめて高度な心理メカニズムが働いています。また、コミュニケーションはどんな場面でもうまくゆくとは限りません。その成否はさまざまな要因に左右されます。その要因の1つが、情報の送り手のコミュニケーション能力です。自分の考えを正確に、そして効果的に他者に伝える能力。それはみなさんの今後の人生において、ますます重要なものとなっていくでしょう。この授業を通して、そのような能力を向上させるためのヒントを獲得してもらえれば幸いです。 【学習の到達目標】 1. 人と人とのコミュニケーションに関する心理学的知識を獲得し、日常生活の中で思い出したり活かしたりできるようになる。 2. 実社会で役立つコミュニケーション能力を向上させるためのきっかけをつかむ。 【成績評価方法】 提出物 5%、小テスト 45%、定期試験 50%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	呂本 俊亮	言葉で伝えることの難しさ	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
2	呂本 俊亮	言葉以外のメッセージ (1)	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
3	呂本 俊亮	言葉以外のメッセージ (2)	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
4	呂本 俊亮	まとめと小テスト 1	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。			4 時間
5	呂本 俊亮	自己とコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
6	呂本 俊亮	会話の成立要件	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
7	呂本 俊亮	言語理解の心理メカニズム	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
8	呂本 俊亮	作文の認知過程	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
9	呂本 俊亮	まとめと小テスト 2	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。			4 時間
10	呂本 俊亮	好きを生み出すコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
11	呂本 俊亮	見せて伝えるコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
12	呂本 俊亮	実社会でのコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
13	呂本 俊亮	コミュニケーションクイズ大会	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。			4 時間
14	呂本 俊亮	小テスト 3 と全体のまとめ	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。			4 時間
教 科 書		呂本俊亮（著）『言葉とコミュニケーション 心理学を日常に活かす』朝倉書店				
参 考 書		なし				
備 考		なし				

科 目 名	憲法と法律			担 当 者	淡路 智典
科目ナンバリング	1080212529				常勤
D P	1,4			教員研究室	1224
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 憲法とは国の根幹を定める法律である。この授業では憲法の基本的な内容を扱う憲法総論、国家によっても侵害されることのない個人の権利を扱う人権論、国家の基本的な仕組みをさだめる統治機構論をそれぞれ見ていく。できるだけ学生に身近な話題を絡めつつ、憲法の基本的な考え方や条文解釈を説明していく。					
【課題等のフィードバック方法】 授業の疑問点を Google classroom に書いてもらい、次の回の授業の冒頭で回答する。					
【履修上の注意・予習・復習について】 スライドを授業前に確認し、わからない法律用語の予習。他の受講生の迷惑になることはしないこと。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 憲法に対する理解を深めることによって、憲法改正をはじめとする具体的な憲法問題に関して、主体的に考えられるようになる。個人の侵害されてはならない基本的人権を理解することにより、社会問題に関して一層深く理解することができるようになる。また一票を持つ主権者として必要な知識と自覚を得ることができる。					
【実績家教員担当科目】 該当しない。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	淡路 智典	ガイダンス・憲法とは	シラバスの内容確認・教科書（判例集）の読み方を理解する		4 時間
2	淡路 智典	憲法概説	スライドを授業前に確認し、憲法の全体像を掴む		4 時間
3	淡路 智典	幸福追求権と法の下での平等	判例を参考にして、包括的基本権や平等権について理解する		4 時間
4	淡路 智典	精神的自由権（内心の自由）	判例を参考にして、思想・良心の自由や信教の自由について理解する		4 時間
5	淡路 智典	精神的自由権（表現の自由）	判例を参考にして、表現の自由の重要性や限界について理解する		4 時間
6	淡路 智典	経済的自由権	判例を参考にして、職業選択の自由や財産権について理解する		4 時間
7	淡路 智典	人身の自由	判例を参考にして、刑事事件で保障される権利等について理解する		4 時間
8	淡路 智典	国務請求権と参政権	判例を参考にして、裁判を受ける権利や参政権について理解する		4 時間
9	淡路 智典	社会権	判例を参考にして、生存権や教育を受ける権利、労働基本権について理解する		4 時間
10	淡路 智典	権力分立の原理と国会	政治思想や歴史的経緯を参考にして、三権分立の概念を理解する		4 時間
11	淡路 智典	内閣	法制度を参考にして、公務員制度を理解する		4 時間
12	淡路 智典	裁判所	法制度を参考にして、裁判や裁判制度について理解する		4 時間
13	淡路 智典	天皇制、平和主義	憲法の条文を参考に、象徴天皇制や平和主義について理解する		4 時間
14	淡路 智典	憲法の保障	憲法の理念を参考に、硬性憲法について理解する		4 時間
教 科 書		岡田順太/淡路智典/今井健太郎編『判例キーポイント憲法』（成文堂、2020 年、ISBN：978-4-7923-0666-3）			
参 考 書		芦部信喜『憲法（第 8 版）』（岩波書店、2023 年、ISBN：9784000616072）			
備 考		特になし。			

科 目 名		生活と経済		担 当 者	奥山 忠裕
科目ナンバリング		1080212530			非常勤
D P		1,4		教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本講義では、生活を取り巻く様々な問題について経済活動を中心に学んでいきます。内容としては、経済の基礎、環境・資源問題、労働、公共政策、まちづくりの思考について学びます。 【学習の到達目標】 到達目標は以下のとおりです。 ①各テーマでの基礎的な知識を身につける ②各テーマでの社会の課題を理解する ③各テーマの内容を説明できるようになる。 【成績評価方法】 初回講義の課題を2点、2回目以降の課題が6点×13回=78点、レポート2回×10点の計100点で評価します。公欠等を除き5回以上の欠席者は単位の取得を認めないことがあります。 【課題等のフィードバック方法】 適宜質問に応じます。 【履修上の注意・予習・復習について】 Google Classroom で毎回配布する講義資料を必ず印刷してもってくること。ニュースや新聞を読み、生活を取り巻く問題に関心をもってください。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 経済や環境、労働、公共政策といった日々の暮らしに近い社会課題の基礎を身につけることができます。関連する専門分野の理解が容易になると思います。 【実務家教員担当科目】 特になし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	奥山 忠裕	ガイダンス、経済の考え方	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習①を行う		4 時間
2	奥山 忠裕	市場の考え方と需要	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習②を行う		4 時間
3	奥山 忠裕	供給と均衡の考え方	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習③を行う		4 時間
4	奥山 忠裕	外部性と環境問題	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習④を行う		4 時間
5	奥山 忠裕	環境問題の分類	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑤を行う		4 時間
6	奥山 忠裕	循環型社会とは	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑥を行う		4 時間
7	奥山 忠裕	公共政策の考え方	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑦を行う		4 時間
8	奥山 忠裕	公共政策の手段	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑧を行う		4 時間
9	奥山 忠裕	公共と協働の取り組み	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑨を行う		4 時間
10	奥山 忠裕	労働市場をみる①	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑩を行う		4 時間
11	奥山 忠裕	労働市場をみる②	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑪を行う		4 時間
12	奥山 忠裕	景気と労働	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑫を行う		4 時間
13	奥山 忠裕	まちづくり～地域再生の事例①	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑬を行う		4 時間
14	奥山 忠裕	まちづくり～地域再生の事例②	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑭を行う		4 時間
教 科 書		特になし			
参 考 書		適宜講義中に指示する			
備 考		特になし			

科 目 名		教養としての政治学			担 当 者	王 元
科目ナンバリング		1080212531				常勤
D P		1,4			教員研究室	1324
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人間は社会的動物である。政治は人間の社会的利害を調整するしくみである。人々が生活する社会における秩序を形成し、維持し、修正し、また時には破壊することを通じて実行される活動と手段である。 政治学は古代ギリシアに誕生して以来、長い歴史を刻んできた。しかし、政治行動の判断基準や結論には必ずしも法則性があるとはいえない。むしろ、政治を担う人の個性やイデオロギー、感情、さらには偶然性に左右される側面もある。総合的に知識や手法も駆使して最善の政策決定を促すところに、政治学の目的や妙味がある。 政治学の基礎知識と発想方法を解説する。政治学の面白さと大切さを伝え、政治現象一般を把握する視点を身に付けてもらうことがこの講義のねらいである。講義形式を基本とする。ただし適宜ビデオ教材を利用する。 【学習の到達目標】 近代社会の特徴、主たる政治思想の歴史、自由主義と民主主義の思想などについて基本的な知識を習得することをめざす。併せて政治現象への洞察力を高め、政治判断の能力を培いたい。 【成績評価方法】 定期試験（70%）、課題提出、授業での発言・質問など（30%）。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	王 元	ガイダンス：政治学概念と体系	政治とは何か 政治学とは何			4 時間
2	王 元	国家と社会、国力	国家と社会の概念、 市民社会・国民国家の成立と政治的統合、国家の規模と国力			4 時間
3	王 元	主権と権力	主権と権力の性質、支配・権威・リーダーシップ・影響とソフトパワー			4 時間
4	王 元	集権と分権	政治集権と中央・地方の権力関係 地方自治の意義・過疎と過密			4 時間
5	王 元	政治参加と投票行動	代表制の類型と選挙制度、選挙の諸原則、投票行動と政治無関心			4 時間
6	王 元	政党政治	代議制民主主義における政党の機能と組織 議会の機能・審議過程と野党の役割			4 時間
7	王 元	世論と政治	マスメディアと世論の形成 圧力団体発生の原因と活動			4 時間
8	王 元	官僚制	政治と行政 官僚制の概念と官僚制化			4 時間
9	王 元	民主主義と権威主義	政治的意識形態と有効性 民主主義の維持と拡大			4 時間
10	王 元	代表的な政治体制Ⅰ	議院内閣制、大統領制と党国体制 米国、英国、日本などそれぞれの特徴			4 時間
11	王 元	代表的な政治体制Ⅱ	権威主義的な政治体制 中国、ロシアなどそれぞれの特徴			4 時間
12	王 元	国際政治	国際政治と国内政治、グローバルゼーション、国際組織			4 時間
13	王 元	地理政治学	国際競争、地理的な視点から人類政治を巨視的に見る			4 時間
14	王 元	現代政治の課題	福祉国家の成立、維持と発展			4 時間
教 科 書		教科書は用いず、適宜プリントを配布する。				
参 考 書		堀江湛・岡沢憲夫編『現代政治学』（法学書院、2011）。				
備 考		日々の新聞を読み、国内と国際政治情勢の把握に努められたい。				

科 目 名	キャリア入門Ⅰ			担 当 者	○王 元・東海林早貴
科目ナンバリング	1080212532				常勤
D P	1,4			教員研究室	1324
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人生 100 年時代においての各個人のキャリアデザインの土台となりうる考え方や学び方、とその実践方法を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問やコメントを受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 長期的・大局的・多様な視点から自分のキャリアデザインの輪郭を描き、各分野で各々が自己実現を目指す方法を獲得する。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・平常点は各回次の本人による出席コメント提出によって認められる。代理での提出は認めない。（全部または一部の出席をしても提出がない場合は、欠席扱いとする） ・講義中は私語厳禁。教室内での飲食は認めない。（最低限の水分補給は認める） ・スマートフォンや携帯電話は指示以外での使用は原則禁止とする。 ・全 14 回の講義中 10 回以上の出席を単位認定要件とする。	
【成績評価方法】 毎回のレポート 84%、最終レポート等 16%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 長期的・大局的・多様な視点を身につけることで、自己の将来的なキャリアデザインの輪郭を描き、自己実現の方向性を見出すことが可能になる。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	東海林早貴	オリエンテーション	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。		4 時間
2	東海林早貴	キャリアとはなにか～豊かな人生のつくり方	キャリアの定義を復習する。		4 時間
3	東海林早貴	キャリアデザインとはなにか	キャリアデザインの定義を復習する。		4 時間
4	東海林早貴	キャリア形成を意識した大学生活の過ごし方	大学生生活の過ごし方を計画する。		4 時間
5	東海林早貴	学ぶことの意味とはなにか	学ぶことの意味・意義を考える。		4 時間
6	東海林早貴	働くことの意味とはなにか	働くことの意味・意義を考える。		4 時間
7	東海林早貴	余暇の意味とは、資格・免許をとることの意義	余暇の過ごし方や、取るべき資格等を検討する。		4 時間
8	東海林早貴	「社会人」と「学生」の違いとはなにか	「社会人」と「学生」の違いを多角的に比較する。		4 時間
9	東海林早貴	社会人基礎力とはなにか	社会人基礎力の定義の確認をする。		4 時間
10	東海林早貴	アイデア構想力を磨こう	新たなアイデアを組み立ててみる。		4 時間
11	東海林早貴	コミュニケーション力・プレゼン力を磨こう①	学習内容を復習するとともに次回に向けての準備をする。		4 時間
12	東海林早貴	コミュニケーション力・プレゼン力を磨こう②	相互フィードバックの結果をしっかりと分析する。		4 時間
13	東海林早貴	聴く力・質問力を磨こう	相互フィードバックの結果をしっかりと分析する。		4 時間
14	東海林早貴	まとめ・職務適性検査・レポート	半年間学習した内容を基に、残りの学生生活の過ごし方を計画する。		4 時間
教 科 書	キャリアタス就活『就活支援ブック キャリア入門編』				
参 考 書	『新・大学でなにを学ぶか』上田紀行編著（岩波ジュニア新書） 『働き方の哲学』村山昇（ディスカヴァー・トゥエンティワン）				
備 考	なし				

科 目 名	キャリア入門Ⅱ			担 当 者	○王 元・東海林早貴
科目ナンバリング	1080212533				常勤・非常勤
D P	1,4			教員研究室	1324
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 「キャリア入門Ⅰ（入門）」で学んだ内容を基に、自己の経験 や能力を土台としたライフデザインの骨格を考えるとともに、さらに身につけるべき能力・スキルを発見していく。 【学習の到達目標】 自分の過去、現在を踏まえ未来になすべきことを考える。また、様々な方法で社会に対する視野を広げることを目指す。 【成績評価方法】 毎回のレポート 84%、最終レポート等 16% 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問やコメントを受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・平常点は各回次の本人による出席コメント提出によって認められる。代理での提出は認めない。（全部または一部の出席をしても提出がない場合は、欠席扱いとする） ・講義中は私語厳禁。教室内での飲食は認めない。（最低限の水分補給は認める） ・スマートフォンや携帯電話は指示以外での使用は原則禁止とする。 ・全 14 回の講義中 10 回以上の出席を単位認定要件とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・客観的指標で自己理解が促進される。 ・長期的・大局的・多様な視点で社会理解が促進される。 【実務家教員担当科目】 該当しない					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	東海林早貴	オリエンテーション	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。		4 時間
2	東海林早貴	「人生 100 年時代」のライフデザインとは	「人生 100 年時代」が注目される理由を多面的に考えてみる。		4 時間
3	東海林早貴	ライフデザインを意識した大学生生活の過ごし方	大学生生活で活用できる場所や機会、コミュニティなどを調べてみる。		4 時間
4	東海林早貴	自己理解をしよう①性格・適性を知る	自分の性格や適性等を分析・把握する。		4 時間
5	東海林早貴	自己理解をしよう②能力を知る	自分の経験や能力等を分析・把握する。		4 時間
6	東海林早貴	過去を振り返る	自分史を記録する。		4 時間
7	東海林早貴	現在をみつめる	自分の興味関心や能力、自己特性を記録する。		4 時間
8	東海林早貴	未来を考える	未来履歴書を記録する。		4 時間
9	東海林早貴	視野を広げる①グローバル 社会の中で	グローバル社会の現状と課題を調査する。		4 時間
10	東海林早貴	視野を広げる② AI/SDGs 時代の中で	AI や SDGs などの現状と課題を調査する。		4 時間
11	東海林早貴	社会的課題を知る	国内外の社会的課題を調査する。		4 時間
12	東海林早貴	他者の生き方から学ぶ	他者の話を聴いて気づいた点を記録する。		4 時間
13	東海林早貴	「自己実現」を目指して	現時点での「あるべき 自己の姿」を記録する。		4 時間
14	東海林早貴	まとめ・レポート	半年間学習した内容を基に、残りの学生生活の過ごし方を計画する。		4 時間
教 科 書	キャリアタス就活『就活支援ブック キャリア入門編』				
参 考 書	『新・大学でなにを学ぶか』上田紀行編著（岩波ジュニア新書） 『働き方の哲学』村山昇（ディスカヴァー・トゥエンティワン）				
備 考	なし				

科 目 名		経営学概論		担 当 者	田邊 文彦	
科目ナンバリング		1080322540			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1222	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この科目は、経営学を初めて学ぶ人の導入科目。 特に「自分と経営」との関係性を学ぶことを重視。 そのため、広い経営学の範囲の中で、1 会計学・企業ファイナンス、2 経営戦略、3 経営組織、4 マーケティングの 4 テーマに絞って、「自分ごと」でビジネス課題を考える授業。		【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に質問を受けつける。提出課題は全員の学修のために共有することがある 【履修上の注意・予習・復習について】 経営法学部 1 年次配当の必修科目 「自分ごと」として授業参加することを最重要視。4 つのテーマに「自分ごと」で取り組むあなたの姿勢と、あなたのアウトプットで評価。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 この科目で、「経営学」と仲良くなれば、将来就職する場合にも、将来起業する場合にも役に立ち、自分に返ってくる。				
【学習の到達目標】 1. 自分と経営との関係が分かること / 2. 自分と「経営学」との関係が分かること / 3. その関係を他の人に説得的に説明し、信頼感を得えられること		【実務家教員担当科目】 コンサルティングファームで 20 年間の企業／公共体に対する調査およびコンサルタント経験有り				
【成績評価方法】 （前提）欠席が 5 回以上になると F 評価／遅刻減点の場合あり／ 1. 授業課題提出と中間レポート 4 つ提出 20 点× 4 = 80 点／ 2. 最終レポート作成・提出 20 点						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	田邊 文彦	イントロダクション 授業の進め方、成績評価、経営学の全体像	専門の内容を日常で考える体験型課題		4 時間	
2	田邊 文彦	あなたとお金と会計学・企業ファイナンス 1	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
3	田邊 文彦	あなたとお金と会計学・企業ファイナンス 2	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
4	田邊 文彦	中間レポート 1（お金の記録と運用計画）	自分の事業提案シートを作成・発表		4 時間	
5	田邊 文彦	あなたと会社と経営戦略 1	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
6	田邊 文彦	あなたと会社と経営戦略 2	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
7	田邊 文彦	中間レポート 2（企業戦略策定）	自分の事業提案シートを作成・発表		4 時間	
8	田邊 文彦	あなたと職場と経営組織 1	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
9	田邊 文彦	あなたと職場と経営組織 2	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
10	田邊 文彦	中間レポート 3（事業推進チーム提案）	自分の事業提案シートを作成・発表		4 時間	
11	田邊 文彦	あなたと顧客とマーケティング 1	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
12	田邊 文彦	あなたと顧客とマーケティング 2	予習として動画視聴し課題をやってくる		4 時間	
13	田邊 文彦	中間レポート 4（顧客提案）	自分の事業提案シートを作成・発表		4 時間	
14	田邊 文彦	最終レポート作成・提出	教室で作成・提出		4 時間	
教 科 書		ISBN 9784046017659「大学 4 年間の経営学が 10 時間でざっと学べる」（角川文庫）660 円税込（購入要）				
参 考 書		授業中に紹介				
備 考		経営法学部 1 年次の必修科目。経済学概論、法学概論と並ぶ、経営法学科の専門基礎科目の中心となる科目。とにかく経営学が「自分ごと」になるように学びましょう。				

科 目 名		経済学概論		担 当 者	久保田茂裕	
科目ナンバリング		1080322541			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1227	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本講義は大学で学習する経済学の入門講義である。本講義で扱うのは社会科学としての「経済学」であり、近代経済学にもとづく経済理論の基礎を学習する。とりあげる内容はミクロ経済学、マクロ経済学及び経済政策のなかから、最初の一步としてふさわしい内容を選別する。この科目を通して今後履修していく経済系科目の基礎固めをはかる。						
【課題等のフィードバック方法】 適宜、質問を受け付け解答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 本講義で学ぶ経済学は経済理論であるため、論理的な思考能力が必要になる。数学を学ぶような態度で、一歩ずつ地道な学習をこころがけることが重要になる。そのため、一度講義を休むと授業についていくのが困難になるので、毎回の出席が必要である。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 本科目は経済系科目の基礎である。そのため、本科目をしっかり学習すれば、今後履修していく経済系科目の理解がよりすすむ。なお、本講義で扱う内容は公務員試験（教養・専門）をはじめとする各種公的試験等で出題される「経済原論」や「経済学」の出題範囲に該当する。これらの試験に関心がある学生にとっては、単位取得以上のメリットが得られる。						
【成績評価方法】 課題 25 点、レポート 25 点及び定期試験 50 点の合計 100 点満点で評価する。合計 5 回以上欠席した場合には、授業を放棄したものと看做す。						
【実務家教員担当科目】 特になし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	久保田茂裕	経済学への招待（序章）	テキストの序章予習 講義の「経済学への招待（序章）」について復習			4 時間
2	久保田茂裕	選択と取引①（第 1 章）	テキストの第 1 章第 1・2 節予習 講義の「選択と取引①（第 1 章）」について復習			4 時間
3	久保田茂裕	選択と取引②（第 1 章）	テキストの第 1 章第 3・4 節予習 講義の「選択と取引②（第 1 章）」について復習。テキスト第 2 章の演習問題を解く			4 時間
4	久保田茂裕	需要・供給分析の基礎①（第 2 章）	テキストの第 2 章第 1・2 節予習 講義の「需要・供給分析の基礎①（第 2 章）」について復習			4 時間
5	久保田茂裕	需要・供給分析の基礎②（第 2 章）	テキストの第 2 章第 3・4 節予習 講義の「需要・供給分析の基礎②（第 2 章）」について復習。テキスト第 2 章の演習問題を解く			4 時間
6	久保田茂裕	需要・供給分析のビジネスと政策への応用①（第 3 章）	テキストの第 3 章第 1・2 節予習 講義の「需要・供給分析のビジネスと政策への応用①（第 3 章）」について復習			4 時間
7	久保田茂裕	需要・供給分析のビジネスと政策への応用②（第 3 章）	テキストの第 3 章第 3・4 節予習 講義の「需要・供給分析のビジネスと政策への応用②（第 3 章）」について復習。テキスト第 3 章の演習問題を解く			4 時間
8	久保田茂裕	まとめ（ミクロ経済学）	演習問題の復習			4 時間
9	久保田茂裕	GDP・物価・失業①（第 4 章）	テキストの第 4 章第 1・2 節予習 講義の「GDP・物価・失業①（第 4 章）」について復習			4 時間
10	久保田茂裕	GDP・物価・失業②（第 4 章）	テキストの第 4 章第 3・4 節予習 講義の「GDP・物価・失業②（第 4 章）」について復習。テキスト第 4 章の演習問題を解く			4 時間
11	久保田茂裕	経済成長と安定化政策①（第 5 章）	テキストの第 5 章第 1・2 節予習 講義の「経済成長と安定化政策①（第 5 章）」について復習			4 時間
12	久保田茂裕	経済成長と安定化政策②（第 5 章）	テキストの第 5 章第 3・4 節予習 講義の「経済成長と安定化政策②（第 5 章）」について復習			4 時間
13	久保田茂裕	経済成長と安定化政策③（第 5 章）	講義の「経済成長と安定化政策③（第 5 章）」について復習 テキストの第 5 章の演習問題を解く			4 時間
14	久保田茂裕	まとめ（マクロ経済学）	演習問題の復習			4 時間
教 科 書		矢口和宏・坂本直樹編著『経済学概論』（株式会社みらい）				
参 考 書		・岩田規久男『経済学を学ぶ』（ちくま新書） ・伊藤元重『入門経済学（第 4 版）』（日本評論社） ・グレゴリー・マンキュー『マンキュー 入門経済学（第 4 版）』（東洋経済新報社）				
備 考		教科書は一括購入するので、必ず購入申し込みを行うこと。授業中の私語、携帯電話・スマホの使用、途中の無断退出は厳に慎むこと。				

科 目 名		法学概論		担 当 者	秋山まゆみ	
科目ナンバリング		1080322542			常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	1121 研究室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 法学は、法を対象とし、それを理論的体系的に理解するための学問ですが、これは特殊な人が学ぶものではありません。社会に生きる人は、意識するとしないとを問わず、日常生活の活動の中に法的な側面をもっているので、人は誰しも社会生活を営み限り、法に対する正しい知識が必要となるわけです。 本講義では、法に対する正しい知識を身につけるため、基礎的な法学の知識を習得すると同時に、法的なものの見方、考え方を身に付け、法律に基づいて紛争を解決するための手段を理解していくことを目標とします。また、今後習うであろう憲法、民法、刑法等の法律科目への橋渡しとなる講義を目指します。						
【学習の到達目標】 ①基礎的な法学の知識の習得 ②紛争を解決するための手立てを理解する						
【成績評価方法】 定期試験・レポート提出等 70% 練習問題、ミニッツペーパーの提出等で判断 30%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	秋山まゆみ	ガイダンス 法とは何か	①下記内容の予習・復習を行う 法と社会生活、法律の役割、法の目的、権利と義務		4 時間	
2	秋山まゆみ	法にはどのような形式のものがあるか	①下記内容の予習・復習を行う 法源、法の分類		4 時間	
3	秋山まゆみ	実際に法律を使うためには	①下記内容の予習・復習を行う 法の解釈、法と裁判官、法の解釈の方法		4 時間	
4	秋山まゆみ	法律に基づいて紛争を解決するためには	①下記内容の予習・復習を行う 法と裁判、裁判制度、公正な裁判を行うための裁判の諸原則		4 時間	
5	秋山まゆみ	民法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 契約、意思表示、無効、取消し		4 時間	
6	秋山まゆみ	民法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 制限行為能力者、意思の欠缺		4 時間	
7	秋山まゆみ	消費者法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 特定商取引法の制定背景、目的		4 時間	
8	秋山まゆみ	消費者法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 特定商取引法の規制内容		4 時間	
9	秋山まゆみ	民法（3）	①下記内容の予習・復習を行う 不法行為		4 時間	
10	秋山まゆみ	刑法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 犯罪、罪刑法定主義、故意犯処罰の原則		4 時間	
11	秋山まゆみ	刑法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 刑事手続きの流れ		4 時間	
12	秋山まゆみ	憲法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 選挙権、国会、内閣		4 時間	
13	秋山まゆみ	憲法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 個人情報、プライバシー権、知る権利		4 時間	
14	秋山まゆみ	まとめ	①下記内容の予習・復習を行う 総まとめ		4 時間	
教 科 書		「プレステップ法学」弘文堂				
参 考 書		六法全書を持ってこることが望ましい。				
備 考		履修者が教室のキャパシティを超えた場合は、必修ではない学生の履修を制限する場合があります。				

科 目 名		初年次セミナー		担 当 者	○秋山まゆみ・文 慶祐 王 元・河本 進 増井三千代・大野 朝子 馬内 里美・久保田茂裕 淡路 智典・鄭 舜玉 佐藤 千洋・関口 晃治	
科目ナンバリング		1080312543			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1121	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 大学としての学習方法をサポートするために、初年次の学生に対してノートテイキング、図書館の利用法をはじめとした情報検索スキル、ワード・エクセルの使い方、レポートの書き方、パワーポイントでの発表方法など、大学生活に必要なスキルを身につけさせる。SA を中心とした少人数のグループでの活動を基本としていることから、実践重視の科目であり、全員がレポートを実際に書き、発表を行うことにより、個々の学生の力を伸ばす。 【学習の到達目標】 大学生活に関することから大学での基本的な学習方法について理解し、互いに関わり合いながらコミュニケーション能力を培うことを大きな目的とする。そして、同科目で得たスキルは後期の必修科目である「アカデミックスキルズ」で行うグループワークの素地となる。同科目は導入科目であり必修科目であることから、DP の 4 つの項目「知識・理解」、「思考・判断」、「技能・表現」、「関心・意欲・態度」すべてを網羅している。 【成績評価方法】 毎回の授業での提出物、レポート課題の提出（ワード）、プレゼンテーションおよび発表資料（パワーポイント）を中心とする。 【課題等のフィードバック方法】 提出された課題等について、SA 担当教員が確認し、適宜指導を行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 テストは行わず日々の課題提出状況や、レポート課題などで評価するので、課題提出などはきちんと期限内に行うこと。必修科目となるので必ず履修すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 大学生活にスムーズに入るために必要な知識を得るだけでなく、SA 教員を中心とした少人数グループでの活動が中心となるため、友人関係の構築などでもできる。 【実務家教員担当科目】 特になし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	教務委員/SA	ガイダンス アイスブレイク・面談	授業概要の説明、アイスブレイク、履修指導、ポートフォリオ①		4 時間	
2	教務委員/SA 学生相談室	ヘルスケア研修	メンタルヘルス研修		4 時間	
3	教務委員/SA	PC セットアップ等	PC セットアップなど学習環境の整備		4 時間	
4	教務委員/SA	スタディースキル①	大学生活とノートのとり方（テキスト 1 章）		4 時間	
5	教務委員/SA	スタディースキル②	テキストの読み方（テキスト 2 章 3 章）		4 時間	
6	教務委員/SA	スタディースキル③	レポートの書き方（テキスト 4 章 5 章）各自レポートのテーマを決める		4 時間	
7	教 務 委 員/SA 図書委員	図書関連	図書館の利用方法などについて知る。（テキスト 6 章 7 章）		4 時間	
8	教務委員/SA	ICT スキルズ	ワード・エクセル・パワーポイントの使い方について（テキスト第Ⅱ部）		4 時間	
9	教務委員/SA	レポート作成	各自のテーマでレポートを作成し提出する。		4 時間	
10	教務委員/SA	スタディースキル④	ゼミ発表の仕方（テキスト 8 章 9 章）		4 時間	
11	教務委員/SA	スライドの作成①	パワーポイント資料の作成		4 時間	
12	教務委員/SA	スライドの作成②	パワーポイント資料の作成・提出		4 時間	
13	教務委員/SA	発表	各自の発表		4 時間	
14	教務委員/SA	履修状況の確認など後期に向けての準備	発表予備日、前期の振り返り、ポートフォリオ②		4 時間	
教 科 書		『大学生 学びのハンドブック（6 訂版）』（世界思想社・2024 年）				
参 考 書		開講時に指示する。				
備 考		この授業は必修科目であり、すべての 1 年生が履修する大人数の科目であることから、シラバスの授業内容は暫定的な予定となるので、クラスルームを通じて行われる連絡を毎回必ず確認して受講すること。				

科 目 名	アカデミックスキルズ			担 当 者	○秋山まゆみ・文 慶祐 王 元・広原 雄二 河本 進・増井三千代 大野 朝子・馬内 里美 久保田茂裕・淡路 智典 鄭 舜玉・佐藤 千洋 関口 晃治
科目ナンバリング	1080322544				常勤
D P	1,4			教 員 研 究 室	1121 研究室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 初年次セミナーで身につけた基礎力を前提として、本授業では大学生として必要なコミュニケーション能力を伸ばすためにグループワークを中心に行う。ディスカッションを通じて、個々の学生に協調性と交渉力を身につけさせる。学生間の議論によって具体的なテーマを決め、実地調査を行うことにより、課題発見力・問題解決力を養う。				【課題等のフィードバック方法】 提出された課題等について、SA 担当教員が確認し、適宜指導を行う。	
【学習の到達目標】 一つの課題やテーマに対して、複数の人数でコミュニケーションを取り、協力して作業を進めることができるようになっていること。				【履修上の注意・予習・復習について】 テストは行わず日々の課題の達成状況などで評価するので、課題提出などはきちんと期限内に行うこと。	
【成績評価方法】 提出された課題、グループワーク参加状況、プレゼンテーション内容によって判断する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 他人とコミュニケーションを取り協力して調査・研究を進めるといった基礎的なアカデミックスキルを得ることにより、大学生に必要な学士力の基礎固めができる。また、グループワークやディスカッションの方法なども習得できる。	
				【実務家教員担当科目】 特になし	

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	教務委員 SA 担当教員	ガイダンス ポートフォリオ①	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。	4 時間
2	SA 担当教員	プレゼン①	プレゼンのガイダンス	4 時間
3	SA 担当教員	プレゼン②	各自のテーマに従ってプレゼンテーション資料の作成を行う。	4 時間
4	SA 担当教員	プレゼン③	作成した資料を用いてプレゼンテーションの実施を行う。	4 時間
5	就職委員 SA 担当教員	就職関連①	外部講師を招いてグループワークについて学ぶ。	4 時間
6	就職委員 SA 担当教員	就職関連②	外部講師を招いてグループワークについて学ぶ。	4 時間
7	教務委員 SA 担当教員	税務講座	外部講師を招いて税務について学ぶ。	4 時間
8	SA 担当教員	ポートフォリオ②	SA ごとに分かれて、現状について話し合う	4 時間
9	立花、増井、秋山 SA 担当教員	グループワーク①	グループワークのガイダンス	4 時間
10	立花、増井、秋山 SA 担当教員	グループワーク②	グループごとにプレゼンテーションテーマについて決める。	4 時間
11	立花、増井、秋山 SA 担当教員	グループワーク③	グループごとにプレゼンテーション資料を作成する。	4 時間
12	立花、増井、秋山 SA 担当教員	グループワーク④	グループごとにプレゼンテーションを行う。	4 時間
13	立花、増井、秋山 SA 担当教員	グループワーク⑤	グループごとにプレゼンテーションを行う。	4 時間
14	SA 担当教員	ポートフォリオ③	自身の学習状況を把握する。	4 時間
教 科 書		開講時に指示する。		
参 考 書		開講時に指示する。		
備 考		特になし		

科 目 名		経営・経済事情			担 当 者	○田邊 文彦・ウォルグレイヴ イーライ	
科目ナンバリング		1080312547				常勤・非常勤	
D P		1,4			教員研究室		1222
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次		1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 The purpose of this class is to form behaviors and attitudes that are prerequisites for learning management and economic theory. These behaviors and interactions with others will be learned by doing bilingual assignments in English. 本クラスは、経営と経済の理論を学ぶ前提となる、行動や態度の形成を目的としている。これらの他者との関りや行動は、英語のバイリンガルの課題を行うことで学ぶ。 【学習の到達目標】 1.Think about issues as your own business / 2. Organize your thoughts / 3. Communicate your opinions to others.1. 自分ごととして、経営と経済の課題を考えられる／ 2. 自分の考えを整理できる／ 3. 他の人に自分の意見を伝えられる 【成績評価方法】 Class Activities 活動参加 40% Homework 宿題提出 30% Final assignment 最終課題の実施と提出 30%							
【課題等のフィードバック方法】 Questions will be taken after each class. Your work may be shared for everyone's learning. 毎回の授業終了後に質問を受けつける。全員の学修の為に内容を共有することあり。 【履修上の注意・予習・復習について】 Late arrivals will be deducted from the grade / 5 or more absences will result in a grade of "F" / Homework must be submitted next time / Final assignment carried out 遅刻減点の場合あり／ 5 回以上欠席 F 評価／宿題を次回提出／最終課題の実施が必要 【受講して得られる効果・メリット、その他】 There are advantages in developing attitudes and behaviors that allow people to think about management and economic issues as their own. 経営や経済の課題を自分事として考える態度、行動が身に付くメリットがある 【実務家教員担当科目】 コンサルティングファームで 20 年間の企業／公共体に対する調査およびコンサルタント経験有り							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Introduction : Some kind of self-introduction activity. イントロダクション自己紹介	授業時間の 2.5 倍準備学修（予習・復習等）				4 時間
2	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Activity : River-Crossing Game 活動 川渡りゲーム	同上				4 時間
3	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Discussion : Conceptual questions about strategy and decision making. 討議 戦略と意思決定	同上				4 時間
4	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Content : Organizational Communication 内容 組織とコミュニケーション	同上				4 時間
5	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Activity : Rabbit and Tiger Ball Passing Game 活動 ウサギとトラゲーム	同上				4 時間
6	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Discussion : Conceptual questions about values. 討議 価値観	同上				4 時間
7	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Content: Communication Design/ Organizational Improvisation 内容：組織内のコミュニケーション	同上				4 時間
8	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Activity : Pool Noodle Sword Fight Game 活動 ファイトゲーム	同上				4 時間
9	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Discussion : Risk and Reward 討議 リスクと報酬	同上				4 時間
10	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Content : Finding Holes and Building Bridges in an Organization 内容 組織の問題発見と解決模索	同上				4 時間
11	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Final assignment preparation - Interview sheet 最終課題準備 インタビューシート記入	同上				4 時間
12	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Final assignment preparation - Interview practice 最終課題準備 インタビュー練習	同上				4 時間
13	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	Final assignment - Interview : 最終課題インタビュー実施	同上				4 時間
14	ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦	continue 続き	同上				4 時間
教 科 書		なし。授業中に資料配布					
参 考 書		授業中に提示					
備 考		2025 年度入学生対象の新規カリキュラム科目。履修者数によって内容変更の場合あり。英語で行動・表現・話すことを重視。					

科 目 名		マーケティング論		担 当 者	鄭 舜玉	
科目ナンバリング		1080322548			常勤	
D P		1,2		教員研究室		1226
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 作れば売れる大量生産・大量消費の時代には「販売」がより重視されていた。しかし、市場の成熟化、競争の激化、消費者の多様化、デジタル化が進んだ今日においては、ビジネスの成功のカギは「マーケティング」と言っても過言ではないほど、企業活動の中で最も重視される分野になっている。 本講義では、マーケティングの定義・意義マーケティングミックス、諸戦略（製品・価格・流通・プロモーション戦略）、消費者の購買意思決定などマーケティングを基礎から学び、企業活動を理解する。				【課題等のフィードバック方法】 毎回の講義終了後に、質問を受け付け回答する。 授業中の小テストの結果は、次の授業で回答・解説する。		
【学習の到達目標】 ①企業活動・消費者行動についての知識・理解が身につく。 ②自らマーケティングに関するデータや情報を収集することができる。 ③マーケティングに基づいた考え方やものの見方が身につく。				【履修上の注意・予習・復習について】 本講義は「理論を学ぶ」「自ら考える」「意見を述べる」という3つのスタンスに基づいた双方向型の授業を行なうため、講義中の問いかけに対する応答・発言など積極性を重視する。毎回授業の始めには前回講義の重要ポイントを復習するため、講義内容は必ず復習しておく。 授業中の私語はもちろんスマートフォンの使用、パワーポイントスライドの撮影を厳禁する。		
【成績評価方法】 定期試験（70%）、中間小テスト2回（15%、15%）				【受講して得られる効果・メリット、その他】 マーケティングに基づく思考力は、洞察力・問題解決力・企画力に結び付くとともに、殆どのビジネス分野で必要とされるため、進路選択や仕事に活用できる。		
【実務家教員担当科目】 飲食および語学ビジネスのオーナー経営など、起業の経験を有する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	鄭 舜玉	ガイダンス（講義概要および成績評価基準の説明）	シラバスを熟読すること、初回の授業で教員に聞きたい事柄を整理しておくこと			4 時間
2	鄭 舜玉	マーケティングの定義・役割、コンセプト、顧客志向	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
3	鄭 舜玉	マーケティング手法：マーケティングミックス、Push 戦略、Pull 戦略	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
4	鄭 舜玉	市場のダイナミックス：産業および製品ライフサイクルとマーケティング	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
5	鄭 舜玉	マーケティング環境分析：企業を取り巻く内部・外部環境、3C 分析、SWOT 分析	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
6	鄭 舜玉	中間小テスト 1、マーケティング近視眼・遠視眼	小テストに備え、第 2 回～5 回までの授業内容を徹底的に復習しておくこと			4 時間
7	鄭 舜玉	製品ポートフォリオ管理	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
8	鄭 舜玉	マーケティング・マネジメント：STP	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
9	鄭 舜玉	消費者行動と購買意思決定プロセス、消費者関与度	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
10	鄭 舜玉	中間小テスト 2、製品戦略	小テストに備え、第 6 回～9 回までの授業内容を徹底的に復習しておくこと			4 時間
11	鄭 舜玉	価格戦略	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
12	鄭 舜玉	流通チャネル戦略	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
13	鄭 舜玉	流通と情報：情報システムの標準化、チェーンストア、POS システム	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
14	鄭 舜玉	マーケティング・コミュニケーション戦略	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
教 科 書		篠原淳、鄭 舜玉他『マーケティング概論』学文社、2023 年。				
参 考 書		小川孔輔『マーケティング入門』日本経済新聞出版社、2009 年。 嶋口充輝、余田拓郎、石井淳蔵、栗木契『ゼミナールマーケティング入門』日本経済新聞社、2004 年。				
備 考		毎日、新聞やニュースを見て、日常的に経済活動や企業のマーケティング関連ニュースに関心を持つこと。				

科 目 名		ミクロ経済学		担 当 者	久保田茂裕						
科目ナンバリング		1080322549			常勤						
D P		1,2		教員研究室	1227						
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期						
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位					
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし									
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない						
【授業内容】 経済学は伝統的にミクロ経済学とマクロ経済学の二つの分野に大きく分けられるが、この講義では前者のミクロ経済学について、その基礎的な概念や分析方法を学んでいく。ミクロ経済学は、需要と供給から価格がどう決まり、その価格の元で個々の家計や企業がどのように経済活動を行い、その結果限られた資源がどのように配分されるか、などを解明する学問である。講義ではミクロ経済学の基礎理論だけでなく、世の中で実際に起きている現象や身近な事例にも触れながら、ミクロ経済学の考え方を具体的に解説したい。 【学習の到達目標】 基本的なミクロ経済学の知識を身に付け、どのように現実の経済問題に応用できるか、考えることができる。 【成績評価方法】 定期試験 90%、確認テスト 10%						【課題等のフィードバック方法】 授業内で確認テストの解答解説を行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・教科書に沿った配布プリントで授業を進める。 ・私語、携帯電話の使用など、他の受講生に迷惑になる行為は厳禁である。守られない場合は退出を求める。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・自分の関心のある具体的課題とミクロ経済学の考え方を結び付けられる。 ・マクロ経済学とともに、ミクロ経済学の基礎理論を修得することによって、専門科目の学習がスムーズになる。 【実務家教員担当科目】 特になし					
授 業 計 画											
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間								
			予習・復習		学修時間						
1	久保田茂裕	ガイダンス：授業の概要、経済学とはどのような学問か（0章）	予習：教科書 0 章を読む 復習：シラバスを熟読し、履修の計画を立てる		4 時間						
2	久保田茂裕	需要と供給（1 章）：需要・供給分析の例	予習：教科書 1 章の p.19 ～ p.29 を読む 復習：需要曲線（消費者の見方）と供給曲線（生産者の見方）を理解する		4 時間						
3	久保田茂裕	需要と供給（1 章）：需要・供給分析の応用	予習：教科書 1 章の p.30 ～ p.36 を読む 復習：教科書の需給分析の例、価格弾力性を理解する		4 時間						
4	久保田茂裕	需要曲線と消費者行動（2 章）：需要曲線とは	予習：教科書 2 章の p.41 ～ p.52 を読む 復習：需要曲線のすべての性質を理解する		4 時間						
5	久保田茂裕	需要曲線と消費者行動（2 章）：需要曲線と消費者余剰	予習：教科書 2 章の p.53 ～ p.63 を読む 復習：需要曲線と消費者余剰を理解する		4 時間						
6	久保田茂裕	需要曲線と消費者行動（2 章）：供給曲線とは	予習：教科書 3 章の p.67 ～ p.70 を読む 復習：需要曲線との対比で、供給曲線のすべての性質を理解する		4 時間						
7	久保田茂裕	費用の構造と供給行動（3 章）：費用の構造と供給行動	予習：教科書 3 章の p.71 ～ p.76 を読む 復習：各費用の違いを理解する		4 時間						
8	久保田茂裕	費用の構造と供給行動（3 章）：利潤最大化と供給行動	予習：教科書 3 章の p.77 ～ p.84 を読む 復習：完全競争下での企業の供給行動を理解する		4 時間						
9	久保田茂裕	費用の構造と供給行動（3 章）：需給均衡と余剰分析	予習：連立方程式の計算をできるようにしておく 復習：余剰分析の計算問題をできるようにする		4 時間						
10	久保田茂裕	市場取引と資源配分（4 章）：市場と価格メカニズム	予習：教科書 4 章の p.91 ～ p.97 を読む 復習：市場均衡が資源配分の最適性を保証することを理解する		4 時間						
11	久保田茂裕	市場取引と資源配分（4 章）：資源配分のゆがみ	予習：教科書 4 章の p.98 ～ p.107 を読む 復習：余剰分析の計算問題（応用）をできるようにする		4 時間						
12	久保田茂裕	ゲームの理論入門（8 章）：囚人のディレンマ	予習：教科書 8 章の p.205 ～ p.212 を読む 復習：ゲーム理論の基本である囚人のディレンマを理解する		4 時間						
13	久保田茂裕	ゲームの理論入門（8 章）：チキンゲーム、異性間のあつれき	予習：教科書 8 章の p.215 ～ p.222 を読む 復習：利得表から均衡を求められるようにする		4 時間						
14	久保田茂裕	ゲームの理論入門（8 章）：参入阻止行動	予習：教科書 8 章の p.233 ～ p.239 を読む 復習：展開型のゲームの均衡を求められるようにする		4 時間						
教 科 書		伊藤元重 『入門経済学 第 4 版』 日本評論社									
参 考 書		伊藤元重 『ミクロ経済学 第 2 版』 日本評論社 井堀利宏 『入門 ミクロ経済学 第 3 版』 新世社 安藤至大 『ミクロ経済学の第一歩』 有斐閣 矢口和宏・坂本直樹編 『経済学概論』 みらい									
備 考		特になし									

科 目 名		簿記論 I		担 当 者	日下 儀雄
科目ナンバリング		1080322552			常勤
D P		1,2		教 員 研 究 室	1303
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	60 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本講義では、簿記の習得に際して必要な基本的な用語や考え方を学ぶ。それとともに、利益の計算が行われるプロセスについて順を追って習得していく。		【課題等のフィードバック方法】 課題等実施の際、解答のポイントおよび出題意図を説明する。			
【学習の到達目標】 簿記の基本的な概要を理解して、決算書の仕組みを理解する。		【履修上の注意・予習・復習について】 特になし			
【成績評価方法】 課題提出及び確認試験並びに期末試験から、学則および試験規則に従い、総合的に評価します 期末試験 50%+ 授業時の確認試験 50%		【受講して得られる効果・メリット、その他】 決算書の仕組みを理解できる。			
		【実務家教員担当科目】 該当無			
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	広原 雄二	簿記の目的と種類	授業を受講するまでに授業内容を、シラバス等で確認しておく。		4 時間
2	広原 雄二	簿記の基本概念	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
3	広原 雄二	取引と勘定記入	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
4	広原 雄二	仕訳	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
5	広原 雄二	転記	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
6	広原 雄二	仕訳帳	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
7	広原 雄二	総勘定元帳	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
8	広原 雄二	合計試算表	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
9	広原 雄二	残高試算表	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
10	広原 雄二	合計残高試算表	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
11	広原 雄二	精算表の中の損益計算書	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
12	広原 雄二	精算表の中の貸借対照表	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
13	広原 雄二	決算手続き	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
14	広原 雄二	中間テスト	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
15	広原 雄二	有価証券の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
16	広原 雄二	固定資産処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
17	広原 雄二	減価償却の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
18	広原 雄二	約束手形の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
19	広原 雄二	為替手形の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
20	広原 雄二	その他の債権債務の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
21	広原 雄二	資本取引と税金の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
22	広原 雄二	貸倒引当金の処理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
23	広原 雄二	費用・収益の繰延べ	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
24	広原 雄二	費用・収益の見越し	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
25	広原 雄二	その他の決算整理事項	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
26	広原 雄二	伝票会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
27	広原 雄二	精算表の作成	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
28	広原 雄二	損益計算書と貸借対照表	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間
教 科 書		「検定簿記講義 /3 級商業簿記」中央経済社 「検定簿記ワークブック /3 級商業簿記」中央経済社			
参 考 書		特になし			
備 考		特になし			

科 目 名		民法総則		担 当 者	秋山まゆみ	
科目ナンバリング		1080322555			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1121 研究室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 民法は私達の日常生活に最も深く関係する法律で、売り買い・貸し借りなどの契約、交通事故による損害賠償請求など「財産」をめぐる関係や、血のつながりや婚姻により生ずる「身分」をめぐる関係についてのルールを定めています。本講義ではこのような財産関係と身分関係に共通する原則である民法総則について学びます。 総則には、法律上の権利を持ち義務を負うのは誰か（権利能力）、法律上の権利を行使できる人はどのような人か（行為能力者）、どのような原因で権利や義務が発生・消滅するのか（法律行為）などについて定められています。本講義ではなるべく身近な事例を使いながらわかりやすい講義を目指します。						
【課題等のフィードバック方法】 講義中にオンラインでミニッツペーパーを配り、疑問点を書いてもらったりミニテスト等に活用します。次回以降の講義の中で回答・解説等を行います。						
【履修上の注意・予習・復習について】 法学概論を履修していることが望ましい。 教科書の指定されたページを事前に読んで、予習しておいてください。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 民法全般を概観でき、物権法、契約法等の前提となるような基礎的知識が身に付きます。 法的紛争に巻き込まれた際に、自ら解決へと導くことができるような知識が身に付きます。 資格試験、公務員試験、就職試験等で役立つ知識が修得できます。						
【成績評価方法】 定期試験・レポート提出 70% 練習問題、ミニッツペーパーの提出等で判断 30%						
【実務家教員担当科目】 なし						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	秋山まゆみ	ガイダンス	①下記の内容の予習・復習を行う 民法とは何か	4 時間	
2	秋山まゆみ	私権	①下記の内容の予習・復習を行う 法律関係と権利・義務、私権の分類、私権行使についての原則	4 時間	
3	秋山まゆみ	人（1）	①下記の内容の予習・復習を行う 権利能力	4 時間	
4	秋山まゆみ	人（2）	①下記の内容の予習・復習を行う 意思能力と行為能力、行為能力の制限	4 時間	
5	秋山まゆみ	法人	①下記の内容の予習・復習を行う 法人の設立、機関、法人の取引行為	4 時間	
6	秋山まゆみ	物	①下記の内容の予習・復習を行う 客体としての物、物の分類	4 時間	
7	秋山まゆみ	法律行為と意思表示（1）	①下記の内容の予習・復習を行う 法律行為と意思表示、意思表示の到達と受領	4 時間	
8	秋山まゆみ	法律行為と意思表示（2）	①下記の内容の予習・復習を行う 不完全な意思表示	4 時間	
9	秋山まゆみ	法律行為の自由と制約	①下記の内容の予習・復習を行う 適法性、社会的妥当性	4 時間	
10	秋山まゆみ	無効と取消し	①下記の内容の予習・復習を行う 無効、取消し	4 時間	
11	秋山まゆみ	条件・期限	①下記の内容の予習・復習を行う 条件、期限	4 時間	
12	秋山まゆみ	代理	①下記の内容の予習・復習を行う 代理権、代理行為、無権代理、表見代理	4 時間	
13	秋山まゆみ	期間	①下記の内容の予習・復習を行う 期間	4 時間	
14	秋山まゆみ	時効	①下記の内容の予習・復習を行う 取得時効、消滅時効、時効の共通原則	4 時間	
教 科 書		『民法入門・総則 -- エッセンシャル民法 1』有斐閣ブックス			
参 考 書		六法全書を持ってくることが望ましい。			
備 考		なし			

科 目 名		憲法（人権）		担 当 者	淡路 智典	
科目ナンバリング		1080322556			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1224	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この授業では、憲法・人権における様々な「答えのない問題」について考えてみる。法律条文の知識は実際の問題を解くための前提ではない。真に重要なことは、条文をいかに理解して具体的な問題に適用していくかである。表現の自由に関する条文とプライバシー権に関する条文を知っていたとして、一義的な答えがでてくるとは限らないのである。しかし、一義的な答えがないからといって、我々は各種の法律問題に目を背けてはいけない。なぜなら、変動する社会が決断を求めてくるからだ。それゆえ、我々は考えなければならない。場合によっては、最終的な解答ではないかもしれないが一定の結論を出さないとけない。そのためには、情報を集めて精査し、時には他者と協調したり対立したりしながら、意見を形成できなければならない。講義やグループワークを通じて、そのような能力を高めていくことを目標としている。						
【課題等のフィードバック方法】 各テーマについて、優秀なものを取り上げて、授業内で共有しフィードバックを行う。						
【履修上の注意・予習・復習について】 通常の法律系科目のような講義中心の授業ではない。様々なテーマで意見交換をするので、積極的な受講態度が求められる。静かに座って聞いているだけで対応できる授業ではないので、受講する際はそれを踏まえて登録してもらいたい。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 多様に意見が分かれている問題に対して、問題解決のためのアプローチ方法を知ることができる。						
【学習の到達目標】 現代の多様な人権問題に対して、必要な条文を確認したうえで、自分で情報収集し、考察し、態度決定をできるようになること。						
【実務家教員担当科目】 該当なし。						
【成績評価方法】 各テーマでの積極的な発言やグループワークへの貢献度などの毎回の課題、レポートでの評価が 50 点。レポートの評価点は①論理性・首尾一貫性、②参考資料等の提示、③表現の適切性・正確性。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	淡路	複雑な憲法問題・人権問題について、いかに対応するのか	現代における社会問題に関して、いかに態度決定をするかを考える。		4 時間	
2	淡路	法の下での平等と男女平等について (1) 課題提示	憲法第 14 条の「法の下での平等」と現代社会の男女平等の実態について、データを提示する。		4 時間	
3	淡路	法の下での平等と男女平等について (2) グループワーク	現代社会の男女平等に関してグループで議論を行う。討論終了後、各グループの意見を共有する。		4 時間	
4	淡路	法の下での平等と男女平等について (3) フィードバックと検討	レポートの中から優れた見解や面白い見解を共有して、フィードバックを行い、全体で検討する。		4 時間	
5	淡路	表現の自由とプライバシーの権利 (1) 課題提示	憲法第 21 条の表現の自由とプライバシーの権利の限界について、具体的実例を提示する。		4 時間	
6	淡路	表現の自由とプライバシーの権利 (2) グループワーク	表現の自由とプライバシーの権利に関してグループで議論を行う。討論終了後、各グループの意見を共有する。		4 時間	
7	淡路	表現の自由とプライバシーの権利 (3) フィードバックと検討	レポートの中から優れた見解や面白い見解を共有して、フィードバックを行い、全体で検討する。		4 時間	
8	淡路	社会正義と貧富の格差 (1) 課題提示	世界的にも国内的にも貧富の格差が広がっている現代において、憲法第 29 条の財産権と累進課税等の再分配政策について提示する。		4 時間	
9	淡路	社会正義と貧富の格差 (2) グループワーク	貧富の格差に関してグループで議論を行う。討論終了後、各グループの意見を共有する。		4 時間	
10	淡路	社会正義と貧富の格差 (3) フィードバックと検討	レポートの中から優れた見解や面白い見解を共有して、フィードバックを行い、全体で検討する。		4 時間	
11	淡路	命より大事なものはあるのか (1) 課題提示	政治的信念・宗教的信念・友情・愛情・金銭等々、社会には価値のあるものがたくさんある。我々が会おうかもしれない一例として、宗教的信念に基づく輸血拒否の事例を取り上げ、命の問題について提示する。		4 時間	
12	淡路	命より大事なものはあるのか (2) グループワーク	宗教的信念に基づく輸血拒否に関してグループで議論を行う。討論終了後、各グループの意見を共有する。		4 時間	
13	淡路	命より大事なものはあるのか (3) フィードバックと検討	レポートの中から優れた見解や面白い見解を共有して、フィードバックを行い、全体で検討する。		4 時間	
14	淡路	まとめ	憲法問題・人権問題が現代の社会問題と繋がっていることを伝え、社会問題と対峙する際の指針を示す。		4 時間	
教 科 書		岡田順太 / 淡路智典 / 今井健太郎編『判例キーポイント憲法』（成文堂、2020 年、ISBN：978-4-7923-0666-3）				
参 考 書		テーマごとに随時提示していく。				
備 考		受講人数や遠隔授業対応で変更があるかもしれません。変更の有無等を初回授業で確認してください。				

科 目 名		統計・数理入門			担 当 者	河本 進
科目ナンバリング		1080312561				常勤
D	P	1,4			教員研究室	1228
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 数理的手法＝理系というイメージがあるかも知れないが、社会科学においてもデータを分析したり、社会現象を定式化したりするのに数理的手法が用いられている。本科目では、データを分析するために必要な記述統計の基礎と、社会現象を定式化して表すのに必要な関数（1 次関数、指数関数など）と、これらの関数を使った応用事例に関する講義を行う。 【学習の到達目標】 ・統計学の基礎知識（用語）と基本的な考え方を身に付けること。 ・社会現象を数式で表現するのに必要な基本的な道具を理解すること。 【成績評価方法】 定期試験（50%）、小テスト（36%）、講義中に課す演習課題の取り組み状況（14%）で総合的に評価する。 ※第 3 講から第 14 講の講義で、前回までに学んだ内容を試験範囲にした小テストを行う。 ※出席時間数が 3 分の 2 に達していない者の（5 回以上欠席した者の）成績評価は、履修放棄（F）とする。 【課題等のフィードバック方法】 授業毎に課す小テストは、次の授業で返却する。 【履修上の注意・予習・復習について】 知識を積み上げていく講義なので、講義を理解するには「休まず出席すること」と「復習を欠かさないこと」が重要である。また、理解を深めるためには、基本的事項の計算を繰り返し行うことが必要不可欠である。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・「データサイエンス入門（必修科目）」は、記述統計の基礎知識を前提にした講義をする。 ・「経営・経済のための計学」と「統計学」は、本科目で学んだことを前提に講義をする。 ・就職試験でも数理的思考が必要な問題が出題されるので、数理的思考に慣れ親しむことは就職試験を勝ち抜くためにも重要である。 【実務家教員担当科目】 該当なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	河本 進	ガイダンス、統計データ (教科書 1 章)	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
2	河本 進	度数分布とヒストグラム (教科書 2 章)	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
3	河本 進	代表値 (教科書 3 章)	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
4	河本 進	散布度 (教科書 5・6.2 章)	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
5	河本 進	相関係数 (教科書 7 章)	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
6	河本 進	1 次関数と直線（1）	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
7	河本 進	1 次関数と直線（2）	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
8	河本 進	2 次関数	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
9	河本 進	連立方程式と 2 次方程式	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
10	河本 進	べき乗の一般化と幾何平均	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
11	河本 進	指数関数	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
12	河本 進	対数関数	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
13	河本 進	等比数列	小テストの試験勉強をすること。			4 時間
14	河本 進	等比級数	授業全体の内容を復習すること。			4 時間
教 科 書		・景山三平（監修）「経済・経営系のための統計入門（事例でわかる統計シリーズ）」実教出版 ・数学編は資料を配布する				
参 考 書		竹之内脩「経済・経営系数学概説（第 2 版）」新世社				
備 考		第 3 講から座席指定で講義をする。				

科 目 名	経営・経済のための数学			担 当 者	河本 進
科目ナンバリング	1080322562				常勤
D P	2,3			教 員 研 究 室	1228
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本科目では、社会科学の理論を定式化するのに必要な数学の基礎理論の講義をする。特に、最適化問題を考えるのに必要な 1 変数関数と 2 変数関数の微分法に関する講義及び多変数関数の比例的な関係を表現するのに必要な行列に関する講義を行う。なお、この講義は、数学の理論の解説を中心に進めていくが、講義のなかで、社会科学での応用事例を紹介する。				【課題等のフィードバック方法】 授業で課す小テストは、次の授業で返却する。	
【学習の到達目標】 ・ 1 変数関数と 2 変数関数の微分法の基本演算を出来るようにすること。 ・ 1 変数関数と 2 変数関数の極値問題を解けるようにすること。 ・ 行列の基本演算を出来るようにすること。				【履修上の注意・予習・復習について】 知識を積み上げていく講義なので、講義を理解するには「休まず出席すること」と「復習を欠かさないこと」が重要である。また、理解を深めるためには、基本的事項の計算を繰り返し行うことが必要不可欠である。	
【成績評価方法】 定期試験（50%）、小テスト（36%）、講義中に課す演習課題の取り組み状況（14%）で総合的に評価する。 ※第 3 講から第 14 講の講義で、前回までに学んだ内容を試験範囲にした小テストを行う。 ※出席時間数が 3 分の 2 に達していない者の（5 回以上欠席した者の）成績評価は、履修放棄（F）とする。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 公務員試験や資格試験、検定試験の中には、経済学系の問題を解答するのに微分法や行列の知識を必要になることがある。本科目では、これらの試験に対応するのに必要な最低限の知識を身に付けるための講義を行う。	
【実務家教員担当科目】 該当なし。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	河本 進	ガイダンス、微分法とは	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
2	河本 進	微分係数と導関数	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
3	河本 進	極値問題	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
4	河本 進	積の微分法	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
5	河本 進	商の微分法	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
6	河本 進	合成関数の微分法	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
7	河本 進	2 変数関数の微分法	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
8	河本 進	2 変数関数の極値問題（1）	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
9	河本 進	2 変数関数の極値問題（2）	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
10	河本 進	ベクトルと行列	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
11	河本 進	行列の積	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
12	河本 進	逆行列と連立方程式の解法	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
13	河本 進	行列の応用事例	小テストの試験勉強をすること。		4 時間
14	河本 進	まとめ	授業全体の内容を復習すること。		4 時間
教 科 書		講義資料を配布する			
参 考 書		竹之内脩「経済・経営系数学概説 第 2 版」新世社 鈴木孝弘『高校数学からはじめるやさしい経済数学テキスト』オーム社 尾田大輔・安田洋祐「改訂版 経済学で出る数学」日本評論社 石川秀樹「経済学と数学がイッキにわかる !!」学研			
備 考		第 3 講から座席指定で講義をする。			

2021～2024 年度入学者用カリキュラム

科 目 名	ボランティア探求			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	108011207				常勤
D P	1,3			教員研究室	1124
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・通年
授 業 形 式	実 習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 一年次に地域活動・ボランティアの科目を受講した学生を対象に、系統別ボランティア実践者からのレクチャー及びボランティアの実践実習を行い、それまでの講義・実習を受けて、ワークショップ及び実践実習で得たスキルを報告する					
【学習の到達目標】 各種ボランティア活動の実践を通じて、各種ボランティア指導者及び NPO・NGO 実践者・指導者等を目指すことを目的とする					
【成績評価方法】 実践実習活動報告（レポート）及び最終報告会のプレゼンにより評価し、認定される単位は認（2 単位）とする					
【課題等のフィードバック方法】 実際にボランティア活動を行うことで、社会的課題・検証についても学ぶことができる					
【履修上の注意・予習・復習について】 事前に行われるレクチャーを参考に実践実習で求められる活動内容を把握しておくこと また、損害保険の適用を前提とするため、事前に担当教員（単位認定者）へ届出すること					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 社会の仕組みを色々な角度から学ぶことで、社会的な視野が拡大すると共に社会的な信用が得られる 一年次の地域活動ボランティアの科目で培われたコミュニケーション能力の向上及び地域活動への理解が深くなる					
【実務家教員担当科目】 系統別ボランティア実践者からのレクチャー及び各施設等でのボランティアの実践実習を行う					
授 業 計 画					
1. ボランティア活動講座 講義Ⅰ 基礎講座（一年次の講座の確認） 講師：本学専任教員 講義Ⅱ～Ⅵ 系統別実践者からのレクチャー（講義・演習等） 講師：外部講師 環境系・福祉系（高齢・障害者・母子・児童福祉） ・生涯学習系・地域振興系 2. ボランティア活動実践実習 講義Ⅱ～Ⅵから 1・2 箇所選択し、都合 10 時間程度の実習を行い、実習活動報告書（レポート）を提出 3. ボランティア活動総括 ・それまでの講義・実践実習活動に関するワークショップ（連講 2 コマ） ・実践活動の報告会（1 コマ）					
教 科 書	使用しない、必要に応じて資料を配布				
参 考 書	講義時に必要に応じて紹介				
備 考	実践実習を伴うため、事業日以外の日程で実施する場合もあり、特に土日、夏季・冬季の休業期間を充てることも多く、また夜間の活動も含めて考慮すること				

科 目 名	現代国語表現			担 当 者	大泉 浩一
科目ナンバリング	108011208				非常勤
D P	1			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 14 回の授業で毎回作文を書くことによって、人に伝わる文章を作成するための基本技術を学ぶ。あわせて「人に伝わる」とはどういうことかについて、言葉とコミュニケーションの問題を中心に考察する。 作文が不得意でも受講、単位取得にはまったく問題はない。ただし主に作文提出をもって評価する。				【課題等のフィードバック方法】 作文を添削し、改善点を指摘する。	
【学習の到達目標】 具体的な例を挙げて、自分の考えを他者に明確に伝える文章が作成できるようになること。				【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻・私語等には厳しく対応する。出席不良の場合は評価対象外とする。	
【成績評価方法】 毎回の作文課題 50%、期末の作文課題 50%。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 「学習の到達目標」に同じ。 他の講義や実習で書くレポート、また就職活動で書く履歴書・エントリーシート・小論文試験、卒業後に仕事で書く文章の作成に役立つ。	
【実務家教員担当科目】 該当しない					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	大泉 浩一	オリエンテーション	高校までに習った作文・小論文の書き方を確認してくる。講義の内容を確認する。		4 時間
2	大泉 浩一	説明文の書き方（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
3	大泉 浩一	説明文の書き方（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
4	大泉 浩一	報告文の書き方（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
5	大泉 浩一	報告文の書き方（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
6	大泉 浩一	何を書くか・どう書くか（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
7	大泉 浩一	何を書くか・どう書くか（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
8	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
9	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
10	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（3）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
11	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（4）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
12	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（5）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
13	大泉 浩一	言葉の世界の広がり	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
14	大泉 浩一	まとめ	返却された作文を読み直し、反省点を次の機会に活かす。		4 時間
教 科 書		なし			
参 考 書		授業内で随時紹介する。			
備 考		なし			

科 目 名	芸術論			担 当 者	志賀野桂一
科目ナンバリング	1080112011				非常勤
D P	1			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選 択 2 単 位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 文化芸術と社会の関わりやその歴史を解説。また多様な芸術分野の作品を紹介し、パワーポイントで基礎知識を DVD など画像や動画を多用し、楽しく学ぶ講義とします。				【課題等のフィードバック方法】 講義中および終了後の時間で質問を受け付ける。小テストの実施をする。	
【学習の到達目標】 現代社会の様々な文化芸術を知り、芸術と生活の結びつき、人間の表現と創造性の深さを学び、自己の発想力やクリエイティブ能力を養う。				【履修上の注意・予習・復習について】 日頃の図書や、画像・動画で文化芸術に関心を持つほか、コンサートや映画など積極的に触れて欲しい。	
【成績評価方法】 定期試験 60%、小テスト 20%、毎回の提出物 20% の割合とする。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 文化芸術の内包する発想・創造の豊かさに深く接することで、自らの発想力・問題解決能力を高めることができる。	
				【実務家教員担当科目】 文化芸術のプロデューサーの経験を基に文化芸術を総合的に、かつリアルに解説していきます。様々な舞台芸術公演や、内外のアート実例を映像で体験させていきます。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	志賀野桂一	芸術文化の概説：芸術の本質・歴史・分野・社会との関係を解説。	文化芸術に関する本・下記の参考書を手に取ってみる。		
2	志賀野桂一	芸術と生活デザイン、ウィリアムモリスや民藝を取り上げる。	デザインに関する家具や雑貨など関心を持ち観察する。配布プリントを整理する。		
3	志賀野桂一	西欧美術の歴史と日本の美術、浮世絵やジャポニズムを解説する。	絵画やアートに関する本・雑誌 DVD・ナット資料を調べる。配布プリントを整理する。		
4	志賀野桂一	現代アートとは何かを掘り下げる。世界の美術館も紹介する。	バンクシーなど話題のアートに関する本・ネット資料を調べる。配布プリントを整理する。		
5	志賀野桂一	地域振興とアートフェスティバル、各地の事例を紹介。	文化芸術に関する本・雑誌 DVD・資料を調べる。配布プリントを整理する。		
6	志賀野桂一	パンデミックとアート、宮城の活動を解説する。	コロナなど社会的災害と文化に関する本新聞や資料を調べる。配布プリントを整理する。		
7	志賀野桂一	音楽の歴史、ルネサンスから現代まで。音楽祭の事例も紹介する。	音楽芸術に関する本・下記の参考書を手に取ってみる。配布プリントを整理する。		
8	志賀野桂一	西洋と東洋のダンスとバレエ・舞踏などの歴史。	ダンスに関する本・雑誌 DVD・資料を調べる。配布プリントを整理する。		
9	志賀野桂一	日本の伝統芸能（能楽・歌舞伎など）の特色を解説する。	古典芸能に関する本・雑誌 DVD・ネット資料を調べる。配布プリントを整理する。		
10	志賀野桂一	映画論：映画の歴史や黒沢映画・アニメ映画を紹介。	映画に関する本・雑誌 DVD・ネットを調べる。配布プリントを整理する。		
11	志賀野桂一	文学・村上春樹・原田マハなど文学の魅力を伝える。	小節を読んでみる。配布プリントを整理する。		
12	志賀野桂一	公立ホール、世界のホールの現状と実態を解説する。	県民ホールなどの計画に関する新聞や報道を調べる。プリントを整理する。		
13	志賀野桂一	総合芸術オペラの制作、舞台の過程を解説する。	舞台芸術に関する本・雑誌 DVD・資料を調べる。配布プリントを整理する。		
14	志賀野桂一	オペラ・ミュージカルなど映像を解説。	舞台公演に関する資料を調べる。プリントを整理する。		
教 科 書		ナシ 適宜授業で資料を配布します。			
参 考 書		『美術館の舞台裏』ちくま新書、高橋明也著、『音楽の危機』中公新書、岡田曉生著、『すべては音楽から生まれる』PHP 新書、茂木健一郎著、『プロデューサーズ』誠文堂新光社、『芸術論 20 講』光文社古典新訳文庫著、アラン著長谷川宏訳、			
備 考		講義の順番は変更することがあります。			

科 目 名	文化人類学			担 当 者	岡 恵介
科目ナンバリング	1080112012				常勤
D P	1			教 員 研 究 室	1321
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 所与の環境とどのようにつきあい、いかにそれを改変して暮らしていくのかは、人類の進化の過程や、地域の民族・住民が共有する文化・価値観によって異なってくる。 このような多様な環境と文化のあり方について、主としてアフリカの狩猟採集民や焼畑農耕民、北上山地山村の農耕民の具体的事例を参照しながら講義し、人類の進化を一方の軸としつつ、環境問題という視点をも絡めながら、文化人類学の基礎を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 各講義の最後に時間を設け、質問を受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 人類の文化・社会の多様性を理解するため、世界や東北地方の農山村の事例に学びつつ、文化人類学の人類的視点や基礎概念、多様な文化の存在と意義、人類の本来の暮らし方とその価値観について、一定程度理解する。				【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻は 15 分まで可。 飲食、携帯電話の使用は禁止。ただし、水分補給のためのペットボトルの持ち込みは可。前時のノートを整理してよく復習し、次回の講義範囲の予習をして、講義に臨むこと。板書をしながら講義を進めていくので、ノートを丹念に取ること。	
【成績評価方法】 基本的に、1～2 回のレポート（40%）と試験（60%、自筆のノート、教科書持ち込み可、ノートへのコピーの貼り込みは禁止）によって評価する。遠隔授業に移行した場合にはノートの提出を求める（ノート 20%、レポート 30%、試験 50%）。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 文化人類学の基礎と人類進化の方向性、人類文化の多様性を具体的な事例に基づいて学ぶことによって、異文化への理解や相対的なスタンスの持ち方と、伝統社会における環境問題を生じさせないシステムの理解が、今後の日本社会の再構築における視点として有効であることが学べる。	
				【実務家教員担当科目】 なし。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	岡 恵介	授業のすすめ方と、「文化人類学」とはどのような学問か？	人類の歴史と文化及び文化人類学の内容について予習し、板書をもとに様々な学問のなかでの文化人類学の位置づけについてノートをもとに復習する。		4 時間
2	岡 恵介	人類とはいかなる動物か？ 一直立 2 足歩行、道具使用、言語使用、文化の有無	人類とその他動物とを隔てる決定的な違いは何かについて自分で調べて予習し、ノートをもとに様々な視点からの検討を復習する。		4 時間
3	岡 恵介	狩猟採集民の社会① 一農耕を行わない社会の持続可能性	狩猟採集民とはどんな人たちなのか予習し、農耕を行わない社会がなぜ持続的に存続できていたのかについて、ノートをもとに復習する。		4 時間
4	岡 恵介	狩猟採集民の社会② 一労働時間の短さと何よりも平等を重んじる社会	狩猟採集民社会の特徴について予習し、5 つの特徴と、とくに重要な労働時間と平等性についてノートをもとに復習する。		4 時間
5	岡 恵介	狩猟採集民の社会③ 一現代社会との比較	世界の民族の様々な社会の生存戦略について予習し、タイムミニマイザー型社会とエナジーマキシマイザー型社会の類型化が意味するものを、ノートをもとに復習する。		4 時間
6	岡 恵介	焼畑農耕民の社会 一ザンビア国ベンバのチテメネ焼畑とクタナの論理	アフリカの焼畑農耕民の社会について予習し、ベンバの焼畑耕作の特徴と平等性への希求がもたらすものについて、ノートをもとに復習する		4 時間
7	岡 恵介	ネイティブ・アメリカンや北海道アイヌの社会—中緯度地帯の狩猟採集民	ネイティブ・アメリカンや北海道アイヌの歴史について予習し、中緯度狩猟採集民の社会の特徴と彼らが辿った歴史的過程について、ノートをもとに復習する。		4 時間
8	岡 恵介	農耕民としての日本人 一憑きもの、呪詛、定住化	人口の大半が農民だった江戸時代の日本人の農山村社会について予習し、定住化のメリット・デメリットについて、ノートをもとに復習する。		4 時間
9	岡 恵介	北上山地の暮らし① 一環境・生業・伝承	北上山地の山村の辿ってきた歴史について教科書で予習し、その環境利用や生業複合、伝承について、ノートと教科書をもとに復習する。		4 時間
10	岡 恵介	北上山地の暮らし②—継承されてきた狩猟採集などの生業文化	北上山地山村の自然環境を利用した生業についてノートと教科書で予習し、山村の生業複合の意味について、ノートと教科書をもとに復習する。		4 時間
11	岡 恵介	北上山地の暮らし③ 一雑穀を中心とする畑作と食文化	北上山地山村の畑作・焼畑、牧畜や森林利用、施肥についてノートと教科書で予習し、その特徴である米を主食としない文化について、ノートと教科書をもとに復習する。		4 時間
12	岡 恵介	北上山地の暮らし④ 一牧畜と森林、畑をめぐるエコシステム	北上山地山村の牧畜や森林利用、施肥についてノートと教科書で予習し、その特徴である生業複合の形成するエコシステムについて、ノートと教科書をもとに復習する。		4 時間
13	岡 恵介	北上山地の暮らし⑤ 一近世以降の飢饉との戦いと救荒食、山地特有の生業	北上山地山村の飢饉の歴史、救荒食、山地の生業についてノートと教科書で予習し、地域の資源を利用したサバイバル・ストラテジーや、それらを成立させた自然環境条件などについて、ノートと教科書をもとに復習する。		4 時間
14	岡 恵介	北上山地山村の暮らしの日本社会における位置づけと授業のふりかえり	これまでの授業をふりかえり、とくに重要であったと考える点についてノートと教科書で予習し、ふりかえりの授業でこれまで十分理解できていなかった点をノートと教科書をもとに復習する。		
教 科 書		講義の途中からテキスト「山棲みの生き方」七月社を使用する。			
参 考 書		講義のなかで紹介していく。			
備 考		なし。			

科 目 名		文学		担 当 者	大野 朝子	
科目ナンバリング		1080112013			常勤	
D P		1		教員研究室	1329	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 文学作品は、それぞれの時代の世相を反映し、社会システム、家族、個人の生き方、ジェンダー、階層、犯罪、貧困など、様々な問題を提起しています。この講義では、まずはじめに現代における「文学」の位置づけと役割を、新聞、テレビ、インターネット、映画、音楽など、他のメディアとの関連性から探っていきます。受講生は講義を一方的に「聴く」だけではなく、毎週ミニレポート提出という形で文学を積極的に「読み」、「考え」、自分のことばに置き換える練習をします。						
【課題等のフィードバック方法】 ミニ・レポートを回収した後、次週に学生のコメンを紹介し、文学の解釈を広げる。						
【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻、途中退室厳禁（大幅に減点する）。スマートフォンの使用を禁止する。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 文章表現を学び、日本語の運用能力を向上させることができる。						
【学習の到達目標】 国内外の多種多様な文学作品の読解を通して歴史や文化を学び多角的な視座を身につける。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
【成績評価方法】 出席重視。無断欠席、遅刻、無許可の途中退室は大幅に減点する。授業中に理解度チェックのために教員がランダムに学生を指名して質問することがある。毎授業後のミニレポート 50%・期末のプレゼンテーション（個人単位。発表時間は 10 分程度。スライドは 20 枚以上）50% で採点する。また、月に一度の読書課題（A4 で 2 枚前後）を必ず提出すること。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大野 朝子	オリエンテーション	予習：授業で取り上げてほしい文学作品、作家についてアンケートをとるので、考えておくこと 復習：紹介した作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと			4 時間
2	大野 朝子	東北にゆかりのある作家たち	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
3	大野 朝子	国内、国外の主な文学賞とその背景	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
4	大野 朝子	日本の文学：太宰治①	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
5	大野 朝子	日本の文学：太宰治②	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
6	大野 朝子	日本の文学：夏目漱石①	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
7	大野 朝子	日本の文学：夏目漱石②	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
8	大野 朝子	日本の文学：夏目漱石③	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
9	大野 朝子	日本の文学：村上春樹①	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
10	大野 朝子	日本の文学：村上春樹②	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
11	大野 朝子	海外の文学：シェイクスピア①	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
12	大野 朝子	海外の文学：シェイクスピア②	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
13	大野 朝子	海外の文学：アメリカ文学の紹介	予習：作家・作品について、図書館などで自分で調べて知識を深めておくこと 復習：紹介した作家の作品を各自で読んでおく			4 時間
14	大野 朝子	まとめ	予習：これまでの授業内容について、質問事項を考えておく 復習：学んだ内容について、理解できなかった部分を調べておく			4 時間
教 科 書		適宜資料を配布し、テキストは使用しない。				
参 考 書		開講時に指示する。				
備 考		なし				

科 目 名		宗教学		担 当 者	鳥居 建己	
科目ナンバリング		1080112014			非常勤	
D P		1		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 「宗教学」とは自分や他者の「宗教」・「信仰」を理解しようとする学問である（宗教を実践するための（信仰するための）学問ではない）。この授業では、世界のいろいろな宗教について学ぶことで、異文化に接する姿勢を養い、理解力を育む。また、日本における宗教の多様な在り方にも注目し、自文化への理解を深める。授業では映像（動画）も多用しながら、宗教を学ぶ。 【学習の到達目標】 普段は自分たちに関係がないと、あるいは「怪しいもの」と思いがちな「宗教」が、実はとても身近にあるものと気付けるようになる。また、「宗教」を手がかりにして、今日の様々な問題を理解する。自分と「違う」価値観や考え方を批判し、拒絶するのではなく、尊重し、許容できる能力を養う 【成績評価方法】 毎授業における授業内容に関する意見や感想の提出、質疑への参加 56%、定期試験 44% により評価する。 【課題等のフィードバック方法】 授業後に授業内容についての感想や質問を提出してもらい、次の授業で教員がコメントやレスポンスを加える。 【履修上の注意・予習・復習について】 出席時は退室前に必ずミニット・ペーパー（感想や質問）を提出すること。授業には積極的に参加すること。日頃から、講義内容を振り返る時間と、身近な宗教や信仰に関心をもつこと。定期試験は持込み可とする。1 回目のイントロダクションでは受講上の諸注意等を説明するため、履修を予定している学生は出席してもらいたい。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 現代の社会で時に問題となる他者の宗教・信仰への向き合い方を養う。日頃は見過ごすことが多い自分の宗教や信仰を見つめ直すことで、その理解を身につける。 【実務家教員担当科目】 該当なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	鳥居 建己	ガイダンス	予習：特になし 復習：授業内容を確認し、質問があればまとめておく。		4 時間	
2	鳥居 建己	宗教学の始まりと展開	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
3	鳥居 建己	ユダヤ教―神との契約―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
4	鳥居 建己	キリスト教―神の愛―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
5	鳥居 建己	イスラーム―神への服従―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
6	鳥居 建己	宗教の寛容―自由と暴力―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
7	鳥居 建己	日本のクリスマス―受容と変容―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
8	鳥居 建己	仏教―自利と利他―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
9	鳥居 建己	日本の神道と仏教―混淆と分離―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
10	鳥居 建己	ブドゥー―シンクレティズムとゾンビ―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
11	鳥居 建己	ヴァナキュラー宗教①―供養―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
12	鳥居 建己	ヴァナキュラー宗教②―祈願―	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
13	鳥居 建己	現代日本における宗教的営み	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
14	鳥居 建己	まとめ	予習：Google Classroom で配布する資料を必ず事前に確認する。 復習：授業内容を再考し、質問があればまとめておく。		4 時間	
教 科 書		特に使用しない（必要に応じて資料等を配布する）。				
参 考 書		都度紹介する。				
備 考		授業計画は進捗に応じて変更する場合がある。				

科 目 名	倫理学			担 当 者	栗山 勝行
科目ナンバリング	1080112016				非常勤
D P	1			教員研究室	非常勤講師室
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 規範倫理学やメタ倫理学、そして政治哲学といった倫理学の主要分野を概観する。そしてそれを通じて、現代倫理学についての理解を深める。				【課題等のフィードバック方法】 Google Classroom などを通じて行う。	
【学習の到達目標】 倫理学における基本的な立場や概念などを理解し、それを実際の生活の中で応用できるようになる。さらに、倫理学的な問題や概念について考えることを通じて、人間というものについての理解を深める。				【履修上の注意・予習・復習について】 マナーを守って受講してください。	
【成績評価方法】 筆記試験（100%）				【受講して得られる効果・メリット、その他】 倫理学におけるさまざまな立場や考え方を学ぶことで、実生活の中でバランスの取れた倫理的判断を下すことができるようになるでしょう。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	栗山 勝行	倫理学とはどういう学問か	倫理学とはどういう学問であるかについて、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
2	栗山 勝行	規範倫理学：①功利主義	功利主義という考え方について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
3	栗山 勝行	功利主義に関する補足：幸福について	幸福に関するいくつかの立場について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
4	栗山 勝行	規範倫理学：②義務論	義務論やカント的人間観について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
5	栗山 勝行	義務論に関する補足：尊厳について	尊厳とは何か、そして尊厳の根拠とは何かについて、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
6	栗山 勝行	規範倫理学：③徳倫理学	徳倫理学の基本的な発想と、その問題点について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
7	栗山 勝行	個性、自分らしさについて	自分らしさとは何か、それを発揮するとはどういうことかについて、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
8	栗山 勝行	メタ倫理学：①道徳における客観主義と主観主義	客観主義と主観主義の両方の内容を、400 字～1000 字程度で要約すること。		4 時間
9	栗山 勝行	メタ倫理学：②相対主義——時代や文化が変われば道徳も変わるのか	相対主義の内容と、その問題点について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
10	栗山 勝行	メタ倫理学：③相対主義を乗り越える	相対主義の乗り越え方について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
11	栗山 勝行	責任と自由①	責任と自由の関係、そして自由をめぐる議論について 400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
12	栗山 勝行	責任と自由②	個人とその環境との関係について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
13	栗山 勝行	政治哲学入門：右派と左派、あるいは保守とリベラル	保守とリベラルがそれぞれどういうものかについて、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
14	栗山 勝行	政治哲学入門：現代をどう生きるか	現代政治における主な対立軸について、400 字～1000 字程度のレポートをまとめること。		4 時間
教 科 書	教科書の購入は必要ありません。こちらで作成した資料を配布します。				
参 考 書	講義中にお示しします。				
備 考	特になし。				

科 目 名	健康科学			担 当 者	犬塚 剛
科目ナンバリング	1080112017				常勤
D P	1			教員研究室	1311
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人間にとって心身の健康を確保することは大変重要な課題といえる。健康で充実した人生を送るためには身体活動を無視することはできない。世間ではフィットネスクラブの流行、雑誌の健康特集、健康グッズ、健康食品ブームなど国民の健康に対する関心の高さがうかがえる。本講義では、現代社会や我々の日常生活と密接に結びついている健康諸問題についての基礎的知識を学習する。				【課題等のフィードバック方法】 講義内容の疑問点等の振り返りを次週の講義冒頭で行う。	
【学習の到達目標】 自分の健康状態を観察し管理する能力を学び健康なライフスタイルを身につけること。				【履修上の注意・予習・復習について】 規定の出席日数に到達しない者は評価対象外とする。講義時にミニットペーパーを課す予定としている。	
【成績評価方法】 成績評価については、毎回の授業時に課す確認小テスト・小レポート・課題レポート等の点数を合計した総合評価とする。確認小テスト（70%）、各種レポート（30%）により評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 自分自身の心身の健康に対する意識を高め、行動変容を図ること。特に、生活習慣の健康への影響（病気や心身の不調）を学習し理解することで生涯にわたる健康づくりへの意識改革や実践方法を身につけることができる。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	犬塚 剛	講義概要	健康に関する最近のトピックスを一つ学習しておく。		4 時間
2	犬塚 剛	加齢と老化 地域在住高齢者の健康の実態について	平均寿命と健康寿命の違いや地域で暮らす高齢者の実態から健康長寿へヒントについて理解すること。		4 時間
3	犬塚 剛	健康と身体活動	自分の日常生活を振り返り、日頃の身体活動について考察すること。		4 時間
4	犬塚 剛	健康と疲労	自分の日常生活を振り返り、疲労について考察すること。		4 時間
5	犬塚 剛	健康と栄養	自分の日常生活を振り返り、毎日の食生活について考察すること。		4 時間
6	犬塚 剛	運動と栄養摂取	運動と栄養摂取の関係性について、過去の運動経験などから考察すること。		4 時間
7	犬塚 剛	トレーニングの原理	トレーニングの原理原則について理解し、実践に結び付けるように学習すること。		4 時間
8	犬塚 剛	トレーニングの原理	レジスタンストレーニングの方法の違いによる筋への影響を理解し、実践に結び付けるように学習すること。		4 時間
9	犬塚 剛	筋の働き	筋収縮の仕組みやエネルギーなどについて理解することでトレーニングの方法に応用すること。		4 時間
10	犬塚 剛	健康づくりのための身体活動基準 2013- アクティブガイドについて	厚労省の身体活動基準について理解し、自分の日常の身体活動量について考察すること。		4 時間
11	犬塚 剛	Mets を用いたエネルギー消費量の算出方法	日常の身体活動によるエネルギー消費量の求め方を理解し、自分の毎日の身体活動量の算出ができるように学習すること。		4 時間
12	犬塚 剛	生活習慣と行動変容	自分の日常生活を振り返り、不健康な行動をいかに変容に結び付けるか考察すること。		4 時間
13	犬塚 剛	現代社会と健康	高齢化が進む現代社会の中で表出する諸々の問題点などを学習すること。		4 時間
14	犬塚 剛	嗜好品と健康（喫煙・飲酒）	日本社会におけるタバコ産業と政界、監督官庁との関係性について理解すること。		4 時間
教 科 書		適宜プリントを配布			
参 考 書		「健康学がわかる」朝日新聞社 「21 世紀の健康学」東洋書店 「ストレングストレーニング&コンディショニング」ブックハウス 「重力と闘う筋」山海堂「自分でつくる筋力トレーニングプログラム」山海堂 「健康運動指導マニュアル」文光堂			
備 考		特になし			

科 目 名		現代思想		担 当 者	菅原 宏道	
科目ナンバリング		1080112018			非常勤	
D P		1		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この講義は、近代までの哲学・思想や倫理学とくらべ多様化し、広範な領域に進展している現代思想のうち、欧米の代表的なものを取りあげて学んでゆく。						
【学習の到達目標】 (1) 現代思想がどのような学的営みであるかを理解できる。(2) 現代のさまざまな思想について、整理して理解し、知識として定着させることができる。(3) それらの知識に基づき、自分自身の主張とその理由を読み手（聞き手）に伝えることができる。						
【成績評価方法】 (1) 課題 50% (2) 試験 50% 成績評価の基準は「学習の到達目標」(1)～(3)への到達度とします。						
【課題等のフィードバック方法】 Google Classroom と e メールを利用し、提出物や質問などに対して、必要に応じたフィードバックを個別に行います。						
【履修上の注意・予習・復習について】 [重要] Google Classroom や e メールを使用して、履修者全員あるいは個別に連絡をすることがあります。履修者は、常用する PC やスマートフォンなどのデバイスで教員からの連絡を常に受信できるようにしておいてください。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 近代までの伝統的な知の枠組みとは異なる現代の思想の多様な展開を学ぶことで、自分自身の判断や行為の選択の幅を広げることができると思います。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	菅原 宏道	イントロダクション：近代の哲学と現代の思想	[予習] 本科目のシラバスを理解しておく。 [復習] 講義内容を整理し理解し、知識として定着させる。			4 時間
2	菅原 宏道	現代思想の源流 1：マルクス、ニーチェ	[予習] 資本主義と共産主義、ニヒリズムについて考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
3	菅原 宏道	現代思想の源流 2：フロイト、フッサール	[予習] 意識と無意識、事実と現象について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
4	菅原 宏道	言語の思想：ウィトゲンシュタイン	[予習] 言語の意味について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
5	菅原 宏道	構造主義：ソシュール、レヴィ＝ストロース	[予習] 全体とその要素の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
6	菅原 宏道	ポスト構造主義：フーコー、デリダ	[予習] 権力と社会秩序について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
7	菅原 宏道	プラグマティズム 1：パース、ジェイムズ	[予習] 真理の有用性について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
8	菅原 宏道	プラグマティズム 2：デューイ、他	[予習] 目的のための手段としての道具について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
9	菅原 宏道	倫理思想 1：基準としての真偽と善悪	[予習] 私たちが生きる上で大切にしている価値について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
10	菅原 宏道	倫理思想 2：帰結主義と義務論	[予習] 判断や行為の正しさについて考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
11	菅原 宏道	政治思想 1：ミル、ヘア	[予習] ベンサム功利主義の難点について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
12	菅原 宏道	政治思想 2：ロールズ、ノージック、	[予習] 自由の程度について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
13	菅原 宏道	政治思想 3：サンデル、ローティ	[予習] 共同体と自文化について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
14	菅原 宏道	政治思想 4：セン	[予習] 社会で生きる上での選択肢について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。			4 時間
教 科 書		レジュメに基づいて講義してゆきます。レジュメは配布および Google Classroom にアップロードします。				
参 考 書		『本当にわかる現代思想』、岡本裕一郎（著）、日本実業出版社、2012 年 『はじめての政治哲学』、小川仁志（著）、講談社現代新書、2010 年				
備 考		オフィスアワーは、初回の講義と Google Classroom で伝えます。				

科 目 名	医学総論			担 当 者	沼崎 宗夫
科目ナンバリング	1080112022				常勤
D P	1			教員研究室	3207
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 身体の仕組み、疾患の成り立ちおよび日本の医療の現状				【課題等のフィードバック方法】 質問があれば随時対応する	
【学習の到達目標】 身体の仕組みと疾患の成り立ちを理解して、健康の維持および疾患の予防に役立てる				【履修上の注意・予習・復習について】 授業内容に関連のある高校の生物の教科書を参照するのが望ましい	
【成績評価方法】 試験 100%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 身体の仕組みと疾患の成り立ちを理解することは、健康の維持および疾患の予防に役立つ	
				【実務家教員担当科目】 該当せず	

科 目 名		英語 I		担 当 者	○大野 朝子・増井三千代	
科目ナンバリング		1080112026			常勤	
D P		1,3		教 員 研 究 室	1329	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 □自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 以下のことを行う。 ・Speaking/Listening：聞き取り、会話活動を中心に、様々な状況で使われる英語表現力を高める。 【学習の到達目標】 英語コミュニケーション能力を総合的に伸ばすことを目指す。 ・日常の平易な質問及び応答が口頭でスムーズにできるようになる。 ・他者の発言を聞いて理解し、自らの考えを伝える積極的な態度を身につける。 ・英文を読んで内容を理解する力を養うとともに、読解技術の基本を習得する。 【成績評価方法】 授業への参加、課題、テストなどを総合的に判断する。 詳細は初回授業時に説明する。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻に関しては経過時間によっては欠席扱いになる。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 実践的な英語授業を通して、日常生活からビジネスの場まで対応できる英語基礎運用能力を高められる。 【実務家教員担当科目】 該当しない		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大野 朝子・増井三千代	オリエンテーション	予習は目次で全体の内容を把握する。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
2	大野 朝子・増井三千代	問題に対する自分の意見表明・交換、決定のプロセスに慣れる。(1)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える			1 時間
3	大野 朝子・増井三千代	問題に対する自分の意見表明・交換、決定のプロセスに慣れる。(2)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
4	大野 朝子・増井三千代	問題に対する自分の意見表明・交換、決定のプロセスに慣れる。(3)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
5	大野 朝子・増井三千代	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める。(1)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
6	大野 朝子・増井三千代	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める。(2)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
7	大野 朝子・増井三千代	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める。(3)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
8	大野 朝子・増井三千代	言い換え（パラフレーズ）のコツ (1)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
9	大野 朝子・増井三千代	言い換え（パラフレーズ）のコツ (2)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
10	大野 朝子・増井三千代	受動的ではなく、能動的に聴く方法 (1)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
11	大野 朝子・増井三千代	受動的ではなく、能動的に聴く方法 (2)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
12	大野 朝子・増井三千代	受動的ではなく、能動的に聴く方法 (3)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
13	大野 朝子・増井三千代	受動的ではなく、能動的に聴く方法 (4)	予習はテキストの次の Unit の単語を調べる。復習は授業で学習した単語のスペルを覚える。			1 時間
14	大野 朝子・増井三千代	まとめ	予習はこれまでの授業に関する質問を考える。復習は理解できなかった箇所を重点的に勉強し直す。			1 時間
教 科 書		所属する組によって購入する教科書が異なるので注意する。				
参 考 書		適宜授業時に指示する。 文法書を用意し、予習、復習で利用するのが望ましい。文法書は高校で使用したものでかまわない。				
備 考		9 万語以上の単語を収録した「ジーニアス英和辞典」（大修館）か、それと同等レベルの辞書・電子辞書を用意すること。				

科 目 名		英語Ⅱ		担 当 者	○馬内 里美・立花顕一郎	
科目ナンバリング		1080112027			常勤	
D P		1,3		教員研究室	1223,1229	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク ☑プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 「英語Ⅰ」で学んだ能力をさらに伸ばすことを目的とする。Reading/ Writing を中心に英語読解力を高めながら、実用に即した語彙力、文法力、英作文能力の強化を図る。				【課題等のフィードバック方法】 授業終了後、質問を受け付け回答する。		
【学習の到達目標】 構成を意識しながら英文を読み、大意把握ができるようになる。 テーマに応じて使用される語彙をベースにしながら、意味のあるまとまった英文を書くことができる。 自分のことや考えを英文で表現できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業での取り組みを重視する。遅刻に関しては各担当教員で対応が異なることもあるが、経過時間によっては欠席扱いになるので、遅刻しないように心がけてほしい。 ・教科書・辞書を持参すること。		
【成績評価方法】 授業への参加、課題、テストなどを総合的に判断する。 担当教員によって配分等は異なる。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 実践的な英語授業を通して、日常生活からビジネスの場まで対応できる英語基礎運用能力を高められる。		
				【実務家教員担当科目】 該当者なし		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	馬内 里美・立花顕一郎	オリエンテーション	この授業の進め方や毎回の授業の目的および成績評価の方法を説明し、クラスビルディングアクティビティを行う。			1 時間
2	馬内 里美・立花顕一郎	大意把握から重要語句の確認 (1)	テキストの目次を読み、教科書全体の内容を把握しておく。授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
3	馬内 里美・立花顕一郎	大意把握から重要語句の確認 (2)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
4	馬内 里美・立花顕一郎	大意把握から重要語句の確認 (3)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
5	馬内 里美・立花顕一郎	クリティカルリーディングとイディオムの習得 (1)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
6	馬内 里美・立花顕一郎	クリティカルリーディングとイディオムの習得 (2)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
7	馬内 里美・立花顕一郎	クリティカルリーディングとイディオムの習得 (3)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
8	馬内 里美・立花顕一郎	情報収集、下書き、訂正、編集のライティングプロセスに慣れる (1)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
9	馬内 里美・立花顕一郎	情報収集、下書き、訂正、編集のライティングプロセスに慣れる (2)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
10	馬内 里美・立花顕一郎	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習 (1)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
11	馬内 里美・立花顕一郎	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習 (2)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
12	馬内 里美・立花顕一郎	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習 (3)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
13	馬内 里美・立花顕一郎	ビジネス英語の構文と表現 (1)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
14	馬内 里美・立花顕一郎	ビジネス英語の構文と表現 (2)	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスベルを覚える。			1 時間
教 科 書		所属する組によって購入教科書が異なる場合がある。また「英語基礎Ⅰ」等で使用している教科書を使用する場合もあるので、後期教科書購入リストを確認すること。				
参 考 書		適宜、授業時に指示する				
備 考		9 万語以上の単語を収録した「ジーニアス英和辞典」（大修館）か、それと同等レベルの辞書・電子辞書を用意すること。				

科 目 名		英語Ⅲ		担 当 者	馬内 里美	
科目ナンバリング		1080122028			常勤	
D P		1,3		教 員 研 究 室	1229	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選 択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 必要な情報のやり取りやコミュニケーションを円滑に進めるなど、ビジネスに限らず日常生活でも応用できる会話表現を、ペアワークなどを通して練習を重ねていく。また関連した内容の文書や手紙の読解やライティングの練習を通じて、総合的な英語力の向上を目指す。 【学習の到達目標】 ビジネスに関連した基本的語彙を身につける。 日常生活でよく使われる基本的表現を用いた会話ができる。 英文での手紙の形式に慣れる。 【成績評価方法】 小テスト 40%、課題 20%、 中間テスト 20%、期末テスト 20% 【課題等のフィードバック方法】 課題は次の授業の前に提出してもらい、授業内で解説を行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 履修条件：「英語基礎Ⅰ」と「英語基礎Ⅱ」の単位を修得していること。 辞書を持参すること。スマートフォン、その他の電子機器の使用は不可とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 語彙力増強 円滑なコミュニケーションに役立つ表現の習得 総合的な英語能力の向上 【実務家教員担当科目】 該当者なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	馬内 里美	Introduction	予習：会話文の内容および語彙確認 復習：会話口頭練習およびライティング課題		1 時間	
2	馬内 里美	Clarifying meanings (1)	予習：会話文の内容および語彙確認 復習：会話口頭練習および語彙習得		1 時間	
3	馬内 里美	Clarifying meanings (2)	予習：広告文の内容および手紙の形式 復習：手紙文ライティング課題		1 時間	
4	馬内 里美	Phone conversation (1)	予習：会話文の内容および語彙確認 復習：会話口頭練習および数字ディクテーション		1 時間	
5	馬内 里美	Phone conversation (2)	予習：会話文の内容および語彙確認 復習：会話口頭練習およびディクテーション		1 時間	
6	馬内 里美	Phone conversation (3) 中間テスト	予習：会話の口頭練習および語彙 復習：内容確認		1 時間	
7	馬内 里美	Appointments (1)	予習：会話文の内容および語彙確認 復習：会話口頭練習およびライティング課題		1 時間	
8	馬内 里美	Appointments (2)	予習：応用会話文作成 復習：ディクテーション		1 時間	
9	馬内 里美	Invitation	予習：会話文の内容および語彙確認 復習：会話口頭練習およびライティング課題		1 時間	
10	馬内 里美	Location (1)	予習：会話文内容および語彙確認 復習：会話口頭練習および部署名		1 時間	
11	馬内 里美	Location (2)	予習：応用会話文作成 復習：メールライティング課題		1 時間	
12	馬内 里美	Direction (1)	予習：会話文内容および語彙確認 復習：会話口頭練習およびライティング課題		1 時間	
13	馬内 里美	Direction (2)	予習：応用会話文作成 復習：ディクテーション		1 時間	
14	馬内 里美	Shopping 期末総復習	予習：会話文内容および語彙確認 復習：確認		1 時間	
教 科 書		工藤多恵著 First Steps to Office English（センゲージラーニング）				
参 考 書		特に指定しない				
備 考		9 万語以上の単語を収録した「ジーニアス英和辞典」（大修館）か、それと同等レベルの辞書・電子辞書を用意すること。				

科 目 名		英語Ⅳ		担 当 者	大野 朝子
科目ナンバリング		1080122029			常勤
D P		1,3		教 員 研 究 室	1329
学 科（専 攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		選 択 1 単 位			
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 世界の法律に関する情報をレベルの高い単語、熟語を使って学ぶ。		【課題等のフィードバック方法】 授業後に質疑応答の時間を設ける。			
【学習の到達目標】 400 語程度の長文を読み、重要な専門用語を身につけ、社会で応用できるようにすること。		【履修上の注意・予習・復習について】 テキストをなるべく購入し、毎回持参すること。毎週の予習と復習課題を提出すること。			
【成績評価方法】 毎週の予習、復習の課題、レポート、プレゼンテーションから総合的に判断する。		【受講して得られる効果・メリット、その他】 英文読解力を高め、豊富なボキャブラリーを身につけ、世界の法律の知識を学ぶ。			
		【実務家教員担当科目】 該当なし			

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	大野 朝子	オリエンテーション	予習：テキストの目次を読み、教科書全体の内容を把握しておく 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
2	大野 朝子	ドイツの法律（1）	予習：次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
3	大野 朝子	ドイツの法律（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
4	大野 朝子	アメリカの法律（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
5	大野 朝子	アメリカの法律（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
6	大野 朝子	イタリアの法律（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
7	大野 朝子	イタリアの法律（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
8	大野 朝子	ハンガリーの法律（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
9	大野 朝子	ハンガリーの法律（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
10	大野 朝子	中東の法律（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
11	大野 朝子	中東の法律（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
12	大野 朝子	スイスの法律（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
13	大野 朝子	スイスの法律（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える	1 時間
14	大野 朝子	まとめ	予習：教員への質問を考えておく 復習：理解できなかった箇所を重点的に勉強し直す	1 時間

教 科 書	Funny Laws in the World『世界おもしろ比較文化：法律から学ぶ文化事情』（南雲堂）
参 考 書	開講時に指示する。
備 考	なし

科 目 名		フィールドワーク英語 I		担 当 者	立花顕一郎
科目ナンバリング		1080122030			常勤
D P		1,4		教員研究室	1223
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 海外でフィールドワークを実践する学生を対象とする。企画書作成、先行研究分析、現地インタビュー、アンケート文案、地理・文化調査などに関連する英語を習得する。 【学習の到達目標】 フィールドワークを行う地域の歴史や文化を英語で調査し、理解したうえで、独自の研究テーマに基づいた調査が可能になる。実践的な英語を用いてインタビューやアンケートを実施できる。学内の海外渡航予定者のための補助金を申請できる。 【成績評価方法】 学期末プレゼンテーション（30%）、フィールドワーク計画書の評価（40%）、授業中のディスカッションおよび課題に対する取り組み評価（30%） 【課題等のフィードバック方法】 講義中および終了後に質疑応答の時間を設ける。フィールドワーク計画書の推敲指導、プレゼンテーション用パワーポイントの作成指導を授業中に行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中のアクティビティへの積極的参加を重視します。受講年度内に海外に実際に行ってリサーチやフィールドワークを行うか、そのための大学の補助金獲得のための申請を必ず行ってください。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 海外で実際にフィールドワークを行うための英文文献の読み方、英文メールの書き方、補助金申請書の作成のしかた、インタビューの英語を学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	立花顕一郎	オリエンテーション	授業の進め方、使用教材、成績評価の方法を概説	1 時間
2	立花顕一郎	事前調査	先行研究の調査：渡航予定国・地域の地理や文化についての先行研究を調査する	1 時間
3	立花顕一郎	調査計画書の作成	調査の目的、期待される成果、課題の洗い出しを行う	1 時間
4	立花顕一郎	インタビュー調査の種類と手順	現地の人に英語でアンケートを行う際に必須の会話とボキャブラリーを学ぶ。	1 時間
5	立花顕一郎	事前調査記録の作成、電話・電子メールの英語	記録書の書き方、現地で電話や電子メールを使う際に必要な英語を学ぶ。	1 時間
6	立花顕一郎	調査に必要な倫理的配慮と危機管理コミュニケーション	現地の人々とのコミュニケーション時に配慮すべき事や緊急時の危機管理に必要な英語を学ぶ。	1 時間
7	立花顕一郎	補助金申請準備（1）	補助金申請のための企画書を準備する。	1 時間
8	立花顕一郎	企画書内容と補助金申請積算を議論	企画書に具体的な目標を示し、目標実現のための手段と予算をリストアップしその妥当性を議論する。	1 時間
9	立花顕一郎	フィールドノート作成	フィールドノート作成の方法を学ぶ。	1 時間
10	立花顕一郎	報告書の作成	帰国後の報告書を作成する方法を学ぶ。	1 時間
11	立花顕一郎	プレゼンテーション準備（1）	プレゼンテーションの基本構成であるイントロダクション、ボディ、結論の文案を作成する。	1 時間
12	立花顕一郎	プレゼンテーション準備（2）	プレゼンテーションを行う際に使用するパワーポイントなどのビジュアルを作成する。	1 時間
13	立花顕一郎	ファイナル・プレゼンテーションの実施	フィールドワークの成果を実際に発表する。	1 時間
14	立花顕一郎	学びの振り返りとレポート提出	学期中に学んだことについて振り返るレポートを作成する。	1 時間
教 科 書		開講時に指示します		
参 考 書		教員が授業で適時指示する。		
備 考		毎回授業で教員が資料を配布します。遅刻は2回で欠席1回となります。		

科 目 名		フィールドワーク英語Ⅱ		担 当 者	増井三千代	
科目ナンバリング		1080122031			常勤	
D P		1,4		教員研究室		1328
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		2 年次・後期
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 「フィールドワーク英語Ⅰ」に引き続き、海外でフィールドワークを実践する学生を対象とする。初回授業時に各学生はフィールドワーク対象国を決定し、情報収集、企画書作成、インタビュー、アンケートなどに関する英語表現を学び、実際の場面を想定した演習を行う。 【学習の到達目標】 ・フィールドワークを行う地域の文化や歴史を理解し、自らその課題を発見できる。 ・フィールドワークを行うのに必要な実践的な英語表現力を身につける。 【成績評価方法】 学期末プレゼンテーション（30%）、フィールドワーク計画書の評価（40%）、授業中のディスカッションおよび課題に対する取り組み評価（30%） 【課題等のフィードバック方法】 講義中および終了後に質疑応答の時間を設ける。フィールドワーク計画書の推敲指導、プレゼンテーション用パワーポイントの作成指導を授業中に行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・重要な説明を行うので、履修希望者は初回授業に必ず出席すること。 ・受講年度内に海外に実際に行ってリサーチやフィールドワークを行うか、そのための大学の補助金申請を必ず行うこと。 ・プレゼンテーションの無断欠席及び企画書の未提出は、いずれも不合格となる。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 海外で実際にフィールドワークを行うための英文文献の読み方、英文メールの書き方、補助金申請書の作成の仕方、インタビューの英語を身につけることができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	増井三千代	オリエンテーション	シラバスを熟読し、海外で実施するフィールドワークをイメージしておく。			1 時間
2	増井三千代	事前調査	先行研究の調査：渡航予定国・地域の地理や文化についての先行研究を調査する。			1 時間
3	増井三千代	インタビュー調査の種類と手順および関連英語（理解）	現地の人に英語でインタビューをする際に有効な質問の種類と英語表現をノートにまとめる。			1 時間
4	増井三千代	インタビュー調査の種類と手順および関連英語（実践）	現地の人に英語でインタビューをする際に有効な英語表現を口頭で練習する。			1 時間
5	増井三千代	電話および電子メールの英語表現	現地での電話や電子メールを使う際に必要な語彙や英語表現をノートにまとめる。			1 時間
6	増井三千代	調査に必要な倫理的配慮と危機管理コミュニケーション	現地の人々とのコミュニケーション時に配慮すべき事や緊急時の危機管理に必要な英語表現をノートにまとめる。			1 時間
7	増井三千代	補助金申請準備（1）企画書とは？	補助金申請のための企画書の構成や説得力のある書き方についてノートにまとめる。			1 時間
8	増井三千代	補助金申請準備（2）企画書作成	企画書に具体的な目標を示し、目標実現のための手段をノートにまとめる。			1 時間
9	増井三千代	フィールドノート作成	フィールドノート作成の方法をノートにまとめる。			1 時間
10	増井三千代	報告書の作成	帰国後の報告書を作成する方法をノートにまとめる。			1 時間
11	増井三千代	プレゼンテーション準備（1）	プレゼンテーションの基本構成であるイントロダクション、ボディ、結論で活用できる英語表現をノートにまとめる。			1 時間
12	増井三千代	プレゼンテーション準備（2）	プレゼンテーションを行う際に使用する Prezi やパワーポイントなどの効果的な使い方をノートにまとめる。			1 時間
13	増井三千代	ファイナル・プレゼンテーションの実施	プレゼンテーション終了後に受けたコメントやフィードバックをノートにまとめる。			1 時間
14	増井三千代	学びの振り返りとレポート提出	学期中に学んだことについて振り返るレポートを作成する。			1 時間
教 科 書		毎回授業で資料を配布する。				
参 考 書		授業で適宜紹介する。				
備 考		特になし。				

科 目 名	中国語Ⅲ			担 当 者	王 元
科目ナンバリング	1080122034				常勤
D P	1,3			教員研究室	1324
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 (1)必要な中級前期文法の説明，作文，短文の和訳を中心とする。 (2)中国語会話に有用な口語的表現や慣用的表現を習得するため，聴力の練習も行う。CD やビデオの使用によって，出来るだけ中国語の原体験を多くする。又これによって動機づけを強化したい。				【課題等のフィードバック方法】 予習・復習を求めます。授業終了後、質問を受け付け、回答します。 質問を以下のアドレスへと送信すれば、個別に回答します。ywang@pm.tbgu.ac.jp	
【学習の到達目標】 資格試験で言えば，中国語検定試験 4 級を目指す。聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。				【履修上の注意・予習・復習について】 (1)継続学習することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。 (2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。 (3)練習問題は基本動詞を基礎とした具体的なものから発展的に並べられているので，自発的なドリルが大きな進歩をとげる助けとなる。 (4)選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。 外国語で，その国の文化や人間を学習していることを忘れないようにしましょう。	
【成績評価方法】 中間試験 20%、期末試験 40%、課題提出や、授業での発言・質問など（40%）。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 中国語の中級前期段階の修得である。マルチメディアの手段を使って中国語を実践的に習得すること。中国語検定試験 4 級を目指しています。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
第 1 週	ガイダンス、前年度の復習				
第 2 週	第 15 課(1)				
第 3 週	第 15 課(2)				
第 4 週	第 16 課(1)				
第 5 週	第 16 課(2)				
第 6 週	第 17 課(1)				
第 7 週	第 17 課(2)				
第 8 週	第 18 課(1)				
第 9 週	第 18 課(2)				
第 10 週	第 19 課(1)				
第 11 週	第 19 課(2)				
第 13 週	第 20 課(1)				
第 14 週	第 20 課(2)				

科 目 名	中国語Ⅳ			担 当 者	王 元
科目ナンバリング	1080122035				常勤
D P	1,3			教 員 研 究 室	1324
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 (1)必要な中級前期の文法の説明，作文，短文の和訳を中心とする。 (2)中国語会話に有用な口語的表現や慣用的表現を習得するため，聴力の練習も行う。CD やビデオの使用によって，出来るだけ中国語の原体験を多くする。又これによって動機づけを強化したい。				【課題等のフィードバック方法】 授業終了後、質問を受け付け、回答します。 質問を以下のアドレスへと送信すれば、個別に回答します。 ywang@pm.tbgu.ac.jp	
【学習の到達目標】 資格試験で言えば，中国語検定試験 4 級を目指す。 聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。 言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。				【履修上の注意・予習・復習について】 中国語発音の練習のためには、大きな声を出して言うことが大切であり、また、繰り返しの訓練が必要である。欠席しないで継続学習することが大事である。 必要に応じて宿題を出すこともある。予習よりも復習に重点を置いていく。	
【成績評価方法】 小テスト 20%、中間試験 30%、授業での発言・質問など 20%、最終レポート 30%。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 授業の目的は中国語の中級前期段階の修得である。 マルチメディアの手段を使って中国語を実践的に習得すること。 中国語検定試験 4 級を目指しています。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	王 元	オリエンテーション	前期の内容を復習する。		1 時間
2	王 元	第 21 課(1)	方向補語、進行の“在”、禁止表現について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。		1 時間
3	王 元	第 21 課(2)	方向補語、進行の“在”、禁止表現について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。		1 時間
4	王 元	第 22 課(1)	結果補語、処置文、助動詞“可以”について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。		1 時間
5	王 元	第 22 課(2)	結果補語、処置文、助動詞“可以”について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。		1 時間
6	王 元	中国語検定試験(1)	中国語検定試験 4 級の文法の復習。		1 時間
7	王 元	中国語検定試験(2)	中国語検定試験 4 級の文法の復習。		1 時間
8	王 元	中国語検定試験(3)	中国語検定試験 4 級の文法の復習。		1 時間
9	王 元	中国語検定試験(4)	中国語検定試験 4 級のヒヤリングの練習問題。		1 時間
10	王 元	中国語検定試験(5)	中国語検定試験 4 級のヒヤリングの練習問題。		1 時間
11	王 元	中国动漫(1)	中国の漫画に字幕をつける練習。		1 時間
12	王 元	中国动漫(2)	中国の漫画に字幕をつける練習。		1 時間
13	王 元	中国动漫(3)	中国の漫画に字幕をつける練習。		1 時間
14	王 元	中国动漫(4)	中国の漫画に字幕をつける練習。		1 時間
教 科 書		杉野元子・黄漢青『改訂版 大学生のための初級中国語 24 回』白帝社 2019 年 12 月初版発行 定価：2,400 円			
参 考 書		王元『現代中国の軌跡』白帝社 2007 年			
備 考		中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。中国語検定試験 4 級に挑戦する。中国の漫画に字幕をつける練習もする。			

科 目 名		韓国語Ⅲ		担 当 者	文 慶 詰
科目ナンバリング		1080122038			常勤
D	P	1,3		教員研究室	1302
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位
		選択 1 単位			
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 現代社会を生きる私達に、外国語の必要性はますます増加しつつある。情報化時代に生き残るためにも、外国語を理解し、そこから必要な情報をゲットする必要がある。そのなかでも韓国語は、韓国との活発な人的、物的交流は勿論、最近文化開放によって学習者の数も急激に増えている。このような現象は、一時的なブームというよりも日本と韓国の地理的、歴史的において密接な関係を築いてきたことを考慮すると当然の結果とも言えよう。 どうすれば、その外国語がマスターできるのか。ある外国語を聞いて、話せるためには、その言葉の背景にある文化も理解しなければならない。本講義では、韓国語の会話能力すなわち「聞く」、「話す」ことに重点を置くが、合わせて韓国文化も体験しながら行う。 基本文型を中心にしながらも、すぐ使える表現の習得を目指す。なぜなら言葉と表現は時代によって変化するからである。会話文は、身近なところから話題を提供し、会話の練習では全員が主体的に参加することを求める。授業中は、話題の韓国ドラマや映画も取り入れて行う。 【課題等のフィードバック方法】 ・課題は添削し、重要ポイントをつけて返す。・質問は出席表で受け付け、その都度答える 【履修上の注意・予習・復習について】 授業の進捗に沿って予習・復習のための適切な課題を出す 【受講して得られる効果・メリット、その他】 韓国や韓国文化を理解し、広い視野の情報の獲得やグローバル的な考え方を身に付ける。 【実務家教員担当科目】 韓国語のネイティブでありながら、日本語と韓国語の領域において通訳や翻訳などで多くの経験を有している。					
【学習の到達目標】 基本文型を 40、400 位の名詞と 60 位の動詞、形容詞の運用ができる。自己紹介、場所、趣味、天気表現と敬語体と普通体、肯定と否定、時制等の運用能力の習得できる。 【成績評価方法】 小テスト、課題提出（50%）、期末試験（50%）					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	文 慶 詰	韓国語の歴史と世界的位置	予習；ハンゲル母音と子音の書き方と発音 復習；韓国語と日本語の共通点と相違点		1 時間
2	文 慶 詰	語彙の発音と基本挨拶	予習；ハンゲル語彙の発音とパッチムの有無 復習；基本挨拶の練習		1 時間
3	文 慶 詰	名詞文と尊敬文とその応用	予習；名詞文と尊敬文を作る練習 復習；名詞文と尊敬形を使った文の作り		1 時間
4	文 慶 詰	自己紹介の実践会話とその練習	予習；自分の名前をハンゲルで書く、自己紹介の練習 復習；自己紹介文を作る		1 時間
5	文 慶 詰	動詞の名詞化、現在連体形とその応用	予習；動名詞と現在連体形を作ってみる 復習；動詞の名詞化で例文を作る、現在連体形の例文を作る		1 時間
6	文 慶 詰	交通の実践会話とその練習	予習；交通に関する語彙、地下鉄の乗るための語彙を覚える 復習；交通関係の例文を作る		1 時間
7	文 慶 詰	形容詞の現在連体形、形容詞名詞化とその応用	予習；連体形の理解と形容詞の名詞化語彙を覚える 復習；形容詞の現在連体形と名詞化例文を作る		1 時間
8	文 慶 詰	食堂での実践会話とその練習	予習；食事に関する語彙と食堂での実践会話を練習する 復習；食堂での会話の例文を作ってみる		1 時間
9	文 慶 詰	確認と理由を表す表現とその応用	予習；確認と理由を表す表現を理解する 復習；確認と理由を表す表現の例文を作ってみる		1 時間
10	文 慶 詰	街の案内の実践会話とその練習	予習；街案内の語彙と実践会話文を覚える 復習；街案内の実践会話文を作ってみる		1 時間
11	文 慶 詰	文法整理と韓国文化コラム	予習；いままでの文法と韓国文化についてを理解する 復習；連体形、名詞化、活用を復習する		1 時間
12	文 慶 詰	試してみる文と状況説明、その応用	予習；試しと状況説明文を理解する 復習；試しと状況説明文の例文を作ってみる		1 時間
13	文 慶 詰	ナンタ公演、過去の経験、試みるの表現とその応用	予習；過去や試みの表現を理解する 復習；過去や経験や試みの例文を作ってみる		1 時間
14	文 慶 詰	新村での実践会話とその練習	予習；新村で人に聞くときの語彙を覚える 復習；道を聞くときの例文を作ってみる		1 時間
教 科 書		『かんたん！韓国語 実践会話編』 文 慶 詰等 朝日出版社			
参 考 書		『朝鮮語辞典』 小学館			
備 考		受講生への要望）授業を休まないこと。声を出して練習すること。			

科 目 名		韓国語Ⅳ		担 当 者	文 慶 詰
科目ナンバリング		1080122039			常勤
D P		1,3		教 員 研 究 室	1302
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 現代社会を生きる私達に、外国語の必要性はますます増加しつつある。情報化時代に生き残るためにも、外国語を理解し、そこから必要な情報をゲットする必要がある。そのなかでも韓国語は、韓国との活発な人的、物的交流は勿論、最近文化開放によって学習者の数も急激に増えている。このような現象は、一時的なブームというよりも日本と韓国の地理的、歴史的において密接な関係を考慮すると当然の結果とも言えよう。本講義では、韓国語の会話能力すなわち「聞く」、「話す」ことに重点を置くが、合わせて韓国文化も体験しながら行う。 基本文型を中心にしながらも、すぐ使える表現の習得を目指す。なぜなら言葉と表現は時代によって変化するからである。会話文は、身近なところから話題を提供し、会話の練習では全員が主体的に参加することを求める。授業中は、話題の韓国ドラマや映画も取り入れて行う。					
【課題等のフィードバック方法】 ・課題は添削し、重要ポイントをつけて返す。・質問は出席表で受け付け、その都度答える。					
【履修上の注意・予習・復習について】 授業の進度に沿って予習・復習のための適切な課題を出す。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 日本語や日本文化の源流を理解し、広い視野の情報の獲得やグローバル的な考え方の習得。					
【実務家教員担当科目】 韓国語のネイティブでありながら、日本語と韓国語の領域において通訳や翻訳などで多くの経験を有している。					
【学習の到達目標】 韓国語会話を中心にすぐ使える表現の習得をできる。800 語彙位の語彙力と文法的には動詞、形容詞の活用等の基本文法の理解、また 80 位の基本表現の習得をできる。					
【成績評価方法】 小テスト・課題提出（50%）、期末試験（50%）					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	文 慶 詰	条件や仮定、依頼表現とその応用	予習；条件、仮定や依頼表現に使う文法形式を理解、語彙を覚える 復習；条件、仮定や依頼文の例文を作ってみる		1 時間
2	文 慶 詰	故宮での実践会話とその練習	予習；ソウルの故宮に関連する語彙と表現を覚える 復習；故宮で使う実践会話文を作ってみる		1 時間
3	文 慶 詰	可能と勧誘文とその応用	予習；可能と勧誘の文法形式を理解し、関連語彙を覚える 復習；可能と勧誘の例文を作ってみる		1 時間
4	文 慶 詰	南山タワーでの実践会話とその練習	予習；南山タワーで使う語彙と表現を覚える 復習；南山タワーでの実践会話の例文を作ってみる		1 時間
5	文 慶 詰	先行動作、原因・理由を表す文とその応用	予習；先行動作・原因・理由を表す文法形式、関連語彙を覚える 復習；原因・理由を表す表現の例文を作ってみる		1 時間
6	文 慶 詰	民俗村での実践会話とその練習	予習；民俗村での語彙、表現を覚える 復習；民俗村関連表現の例文を作ってみる		1 時間
7	文 慶 詰	意志や推量、時を表す文とその応用	予習；意志・推量・時を表す文法形式を理解し関連語彙を覚える 復習；推量・時を表す表現の例文を作ってみる		1 時間
8	文 慶 詰	遊園地での実践会話とその練習	予習；遊園地での関連語彙と会話表現を覚える 復習；遊園地関連表現の例文を作ってみる		1 時間
9	文 慶 詰	許可と禁止を表す表現とその応用	予習；許可・禁止を表す文法形式を理解し、関連語彙を覚える 復習；許可・禁止表現の例文を作ってみる		1 時間
10	文 慶 詰	動作の進行を表す文と助詞、その応用	予習；動作の進行表現を覚える 復習；動作の進行表現の例文を作ってみる		1 時間
11	文 慶 詰	コンビニでの実践会話とその練習	予習；コンビニ関連語彙と実践会話を覚える 復習；コンビニ関連語会話の例文を作ってみる		1 時間
12	文 慶 詰	丁寧な依頼、尊敬の文とその実践会話	予習；依頼、尊敬の文法形式を理解する。 復習；依頼、尊敬の例文を作ってみる		1 時間
13	文 慶 詰	特殊敬語表現と応用、実践会話	予習；特殊敬語表現を覚える 復習；特殊敬語の例文を作ってみる		1 時間
14	文 慶 詰	不可能表現とその練習、実践会話	予習；不可能表現の形式を理解し、関連語彙を覚える 復習；不可能表現の例文を作ってみる		1 時間
教 科 書		『かんたん！韓国語 実践会話編』 文 慶 詰等 朝日出版社			
参 考 書		『朝鮮語辞典』 小学館			
備 考		受講生への要望）授業を休まないこと。声を出して練習すること。			

科 目 名		キャリア戦略Ⅰ（キャリア構想）			担 当 者	王 元	
科目ナンバリング		1080122045				常勤・非常勤	
D P		2,3			教員研究室		1324
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次		2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 激変する社会・経済環境に近い将来社会に身を置くこととなる学生が、社会人として必要な基礎能力を身につけ、適切な進路選択に必要な情報収集の方法を学ぶのがこの授業の目的である。 【学習の到達目標】 1. 社会や経済の仕組みを知り、自らの進むべきキャリアを考えられるようになる。 2. 今の自分の準備状況を把握し、さらに必要になる情報収集に備える。 【成績評価方法】 毎回のレポート 84%、最終レポート等 16%							
【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問やコメントを受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・平常点は各回次の本人による出席コメント提出によって認められる。代理での提出は認めない。（全部または一部の出席をしても提出がない場合は、欠席扱いとする） ・講義中は私語厳禁。教室内での飲食は認めない。（最低限の水分補給は認める） ・スマートフォンや携帯電話は指示以外での使用は原則禁止とする。 ・全 14 回の講義中 10 回以上の出席を単位認定要件とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 様々な情報が溢れている就職活動において、自分に必要な情報の種類や活用法を知ることができる。 【実務家教員担当科目】 該当しない							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	王 元	オリエンテーション	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。				4 時間
2	王 元	世の中を知る①	経済情勢や雇用環境について調べてみる。				4 時間
3	王 元	世の中を知る②	経済情勢や雇用環境について調べてみる。				4 時間
4	王 元	社会を知る①	インターネットや新聞等で気になる記事をチェックする。				4 時間
5	王 元	社会を知る②	インターネットや新インターネットや新聞等で気になる記事 をチェックする。				4 時間
6	王 元	ビジネスを知る①	お店の店頭を観察したり、どのような消費者のニーズがあるのかを調べてみる。				4 時間
7	王 元	ビジネスを知る②	お店の店頭を観察したり、どのような消費者のニーズがあるのかを調べてみる。				4 時間
8	王 元	業界・業種を知る①	教科書を使って、講義内容を復習する。				4 時間
9	王 元	業界・業種を知る②	教科書を使って、講義内容を復習する。				4 時間
10	王 元	一般常識テスト受検	解答冊子を見て自分の得意・不得意分野を把握する。				4 時間
11	王 元	インターンシップ入門①	インターンシップの目的や意義を把握する。				4 時間
12	王 元	インターンシップ入門②	インターンシップの内容と具体例を把握する。				4 時間
13	王 元	一般常識テスト解説	テスト結果を見て自分の得意・不得意分野を把握する。				4 時間
14	王 元	まとめ・レポート	半年間学習した内容を基に、残りの学生生活の過ごし方を計画する。				4 時間
教 科 書		授業内で資料を配布する					
参 考 書		授業内で資料を配布する					
備 考		なし					

科 目 名		キャリア戦略Ⅱ（キャリア構想）		担 当 者	王 元	
科目ナンバリング		1080122046			常勤・非常勤	
D P		2,3		教員研究室	1324	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 激変する社会・経済環境に近い将来社会に身を置くこととなる学生が、社会人として必要な基礎能力を身につけ、適切な進路選択に必要な情報収集の方法を学ぶのがこの授業の目的である。 【学習の到達目標】 1. 社会や経済の仕組みを知り、自らの進むべきキャリアを考えられるようになる。 2. 今の自分の準備状況を把握し、さらに必要になる情報収集に備える。 【成績評価方法】 毎回のレポート 70%、最終レポート 等 30% 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問やコメントを受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・平常点は各回次の本人による出席コメント提出によって認められる。代理での提出は認めない。（全部または一部の出席をしても提出がない場合は、欠席扱いとする） ・講義中は私語厳禁。教室内での飲食は認めない。（最低限の水分補給は認める） ・スマートフォンや携帯電話は指示以外での使用は原則禁止とする。 ・全 14 回の講義中 10 回以上の出席を単位認定要件とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 様々な情報が溢れている就職活動において、自分に必要な情報の種類や活用法を知ることができる。 【実務家教員担当科目】 該当しない						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	王 元	オリエンテーション	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。			4 時間
2	王 元	企業・会社を知る①	世の中にどのような企・会社があるか調べてみる。			4 時間
3	王 元	企業・会社を知る②	いま業績を伸ばしている企業がなぜそうなっているのかを調べてみる。			4 時間
4	王 元	公務員の仕事を知る①	公務員にはどのような職種があるのかを確認する。			4 時間
5	王 元	公務員の仕事を知る②	それぞれの職種がどのような仕事をしているのか確認する。			4 時間
6	王 元	自己分析①	様々な自己分析サイトを活用して、多面的に自己理解を進める。			4 時間
7	王 元	自己分析②	他者からのフィードバックを踏まえて、どの点に納得したかを考えてみる。			4 時間
8	王 元	就活・インターンシップマナー①理論編	マナーの理論を学んだことを日常生活の中で活用してみる。			4 時間
9	王 元	就活・インターンシップマナー②実践編	マナーの理論を学んだことを日常生活の中で活用してみる。			4 時間
10	王 元	能力適性テスト受検	解答冊子を読んで出題内容を復習する。			4 時間
11	王 元	就職に必要な論文作成威力をつける	就職試験で問われる文章課題を知り実際に書いてみる。			4 時間
12	王 元	進路決定総合研究会（質問会）	今後の進路選択するにあたって疑問に感じていることを整理し考察する。			4 時間
13	王 元	能力適性テスト解説	テスト結果を見て自分の得意・不得意分野を把握する。			4 時間
14	王 元	まとめ・レポート	半年間学習した内容を基に、残りの学生生活の過ごし方を計画する。			4 時間
教 科 書		キャリアタス就活『就活支援ブック社会探究編』				
参 考 書		必要に応じて、講義の中でレジュメを用意する。				
備 考		なし				

科 目 名	キャリア戦略Ⅲ（企業研究）			担 当 者	○王 元・東海林早貴
科目ナンバリング	1080132047				常勤・非常勤
D P	2,3			教 員 研 究 室	1324・非常勤講師室
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 各進路における就職活動準備において必要な自己分析と業界・企業・職種研究を進め、エントリーシートや履歴書等の出願書類を各自が自力で作成することを目指す。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問やコメントを受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 1. 自己分析と業界・企業・職種研究を深め、自分の進路の選択肢を拡げる。 2. 志望先に個人の能力や資質が確実に伝わり理解される応募書類等の書き方を知る。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・平常点は各回次の本人による出席コメント提出によって認められる。代理での提出は認めない。（全部または一部の出席をしても提出がない場合は、欠席扱いとする） ・講義中は私語厳禁。教室内での飲食は認めない。（最低限の水分補給は認める） ・スマートフォンや携帯電話は指示以外での使用は原則禁止とする。 ・全 14 回の講義中 10 回以上の出席を単位認定要件とする。	
【成績評価方法】 毎回のレポート 84%、最終レポート等 16%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・様々な進路を想定したうえでの模擬応募書類課題を提出し、現時点での到達度を把握できる。 ・志望先から求められる要素と自分の特性のマッチングを意識した応募を可能とする。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	東海林早貴	オリエンテーション	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。	4 時間
2	東海林早貴	自己分析について	自己分析ツールの活用のほか、自己分析ノートを作成する。	4 時間
3	東海林早貴	職務適性テスト受験会	解答冊子を読んで出題内容を復習する。	4 時間
4	東海林早貴	面接の基礎と実際	講義内容をふまえ学内外の様々な場面で実践練習してみる。	4 時間
5	東海林早貴	業界・企業・職種について	「業界地図」や「業界マップ」「業界研究本」などで、興味関心の対象を広げてみる。	4 時間
6	東海林早貴	業界・企業研究の仕方	実際に関心のある企業や組織を取り上げ、実際に研究してみる。	4 時間
7	東海林早貴	職種研究の仕方	自分にとってあまり関心のない職種についても調べてみる。	4 時間
8	東海林早貴	職務適性テスト解説	テスト結果を見て自分の得意・不得意分野を把握する。	4 時間
9	東海林早貴	エントリーシート・面接カードの書き方について①	OpenES 等を使って、実際に書いてみる。	4 時間
10	東海林早貴	エントリーシート・面接カードの書き方について②	これまでの自己分析内容をふまえて、自己 PR ポイントを再確認する。	4 時間
11	東海林早貴	エントリーシート・面接カードの書き方について③	学生時代の経験をまとめるとともに、どのようにそれを言語化するかポイントを整理する。また指定課題に取り組んでみる。	4 時間
12	東海林早貴	企業等志望先へのアプローチについて	実際に就職情報サイトに触れてみる。	4 時間
13	東海林早貴	グループディスカッション・グループワークの基礎	ワーク後に自分がどのような役割や貢献を果たせたのか、自己確認と相互確認する。	4 時間
14	東海林早貴	まとめ・レポート	返却課題の振り返り、自己分析、企業・業界研究、応募書類作成ノートをまとめる。	4 時間
教 科 書		キャリアタス就活 『就活支援ブック 大学生の就活編』		
参 考 書		なし（必要に応じてレジュメを用意）		
備 考		なし		

科 目 名	キャリア戦略Ⅳ（実践）			担 当 者	王 元
科目ナンバリング	1080132048				常勤・非常勤
D P	2,3			教 員 研 究 室	1324
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 キャリア科目の最終形として就活についてのまとめを行い、より具体的な選考の対策を行っていく。特に ES の書き方や面接の知識だけでなく、文章能力（論理性・具体性）、コミュニケーション能力（自分の意見を体格に自ら発信していく能力）などを強化する。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 1. 就活の流れを理解し、志望先に合わせた応募書類が作成できるようになる。 2. 筆記試験の種類や問題形式を把握し、苦手分野がある場合は模試や問題集を利用して繰り返し問題を解く。 3. 面接試験の目的を理解し、採用担当者に熱意や自分の魅力、強みを伝えるためのマナーや効果的な方法を身につける。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・原則として遅刻者の入室は認めない。 ・講義中の私語は厳禁とする。注意後、止まなければ退室を命ずる。 ・教員の許可を得ずに無断で途中退出した場合は、講義終了まで再入室を認めない。 ・出席カードの提出をもって当該講義の出席扱いとする。 ・全 14 回の講義中 10 回以上の出席をもって単位認定要件とする。9 回以下は評価判定をしない。	
【成績評価方法】 毎回のレポート 70%、最終レポート等 30%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 毎回講義を受講することによって、現在の自分のレベル、弱点を把握することができ、それらを改善するための力が養われる。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	王 元	オリエンテーションと業界・企業研究	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる。		4 時間
2	王 元	インターンシップ	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
3	王 元	ES/ 履歴書の書き方	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
4	王 元	自己 PR の作成	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
5	王 元	志望動機の書き方	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
6	王 元	ビジネスマナー・ヒューマンスキル	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
7	王 元	企業パネルディスカッション①	レジュメを使って、講義内容を復習し、自己 PR を完成させる。		4 時間
8	王 元	面接①（基礎編）	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
9	王 元	面接②（応用編）	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
10	王 元	グループディスカッション	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
11	王 元	企業パネルディスカッション②	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
12	王 元	筆記試験シミュレーション	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
13	王 元	まとめ・合同企業説明会の回り方	レジュメを使って、講義内容を復習する。		4 時間
14	王 元	企業研究実践（学外）	学修した内容をもとに、企業研究を行う。		4 時間
教 科 書		毎回の授業でレジュメを配布する。ワーク中心の授業の際には、レジュメがない場合がある。			
参 考 書		適宜、授業時に紹介する。			
備 考		授業内容を記録する専用のノートを用意することを推奨する。			

科 目 名	企業等インターンシップⅠ			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	1080122049				常勤
D P	2,4			教 員 研 究 室	1124
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・通年
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 キャリアサポートセンターの担当者と連携の上、インターンシップとは何かを学び、グループワークによる企業研究を行い、実際に企業等で一日体験を行い、体験結果を報告する				【課題等のフィードバック方法】 次年度の本格的なインターンシップ実習（企業等インターンシップⅡ）実施のためのスキルを磨く	
【学習の到達目標】 実社会の状況を経験することで、ビジネス・コミュニケーションスキルの基本を学ぶ				【履修上の注意・予習・復習について】 キャリアサポートセンターの担当者との間で、インターンシップに係る企業情報を共有すると共に、然るべき指導を受け、実施する前に必ず担当教員のガイダンスを受けること この科目を修了してはじめて次年度の企業等インターンシップⅡを受講することができる	
【成績評価方法】 実際に行った企業体験について報告書を求めると共に報告会を開き、その折のプレゼンの内容を評価する				【受講して得られる効果・メリット、その他】 大学の枠を超えた就業体験をすることで、社会性を養うと共に社会的視野の拡大に繋がる	
				【実務家教員担当科目】 キャリアサポートセンターの担当者との連携の上実施する	
授 業 計 画					
本授業は講義形式ではなく、以下の順序で行う ※全てキャリアサポートセンターの担当者と連携しながら実施 1. インターンシップの基礎について学ぶ 2. インターンシップを行うためのガイダンス（3 年次の企業等インターンシップⅡと合同） 3. グループワークによる企業研究 4. 具体的候補先を選定し、相手先の企業研究を行う 5. インターン先への応募用紙を提出 6. 採用可否の確認 7. 受け入れ先における就業体験 8. 終了後凡そ 2 週間以内に「一日企業体験レポート」「一日企業体験後アンケート」を提出 9. 実施結果の報告会を実施 10. 担当教員が評価					

科 目 名	企業等インターンシップⅡ			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	1080132050				常勤
D P	2,4			教員研究室	1124
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・通年
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 民間企業、自治体等におけるインターンシップ研修に参加することで、社会活動体験やビジネス・コミュニケーションスキルを修得し、その後の学習活動への寄与、牽いては卒業後の進路選択にも好影響がある				【課題等のフィードバック方法】 実施先毎に「インターンシップ活動報告書」の提出を求める（報告会実施の際の資料とする）	
【学習の到達目標】 インターンシップの経験を通じて、社会に求められるビジネス・コミュニケーションスキルの基本を身に付け、就業への意欲を高める				【履修上の注意・予習・復習について】 2 年次の企業等インターンシップⅠを修了した者のみ受講を可とする ※但し、3 年次に転学部した学生に関しては、2 年次の企業等インターンシップⅠと併行して受講することを認める	
【成績評価方法】 受入れ先の実習として 5 日以上活動を行い、「インターンシップ活動報告書」を実習後速やかに提出を求め（概ね 2 週間以内）、その内容に沿って総合的に評価する ※本来は 1 企業で 5 日間以上実習するのが望ましいが、数企業併せて 5 日間以上実施した場合も可とする				【受講して得られる効果・メリット、その他】 大学の枠を超えて就業体験をすることによる将来進路の準備ができると共に、各人の資質と社会の適合性を自覚でき、またインターンシップを実施する事で、実際に業務の一部を体験することで、社会人の基礎力を付けることができる	
				【実務家教員担当科目】 キャリアサポートセンターの担当者との連携の上実施する	
授 業 計 画					
本授業は講義形式ではなく、以下の順序で行う ※全てキャリアサポートセンターの担当者で連携しながら実施 1. インターンシップを行うためのガイダンス（2 年次の企業等インターンシップⅠと合同） 2. 具体的候補先を選定し、相手先の企業研究を行う 3. 担当者とアポイントを取り、個々にインターンシップに係るガイダンスを受ける 4. インターン先への応募用紙を提出 5. 採用可否の確認 6. 受け入れ先における就業体験 7. 終了後凡そ 2 週間以内に「インターンシップ活動報告書」を提出 8. インターン先から実施中の勤務状況についての報告 9. 実施結果の報告会を実施 10. 担当教員が評価					
教 科 書		なし			
参 考 書		別途指示する			
備 考		実習体験を含め、通常の時間割外の土日及び夏季・冬季の休業時に集中講義で実施			

科 目 名	基礎ゼミナールⅠ			担 当 者	○未定（常勤）・文 慶喆 広原 雄二・関口 晃治 河本 進・増井三千代 大野 朝子・馬内 里美 久保田茂裕・淡路 智典 秋山まゆみ・鄭 舜玉 佐藤 千洋・王 元
科目ナンバリング	1080222056				常勤
D P	1,2			教員研究室	1324
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用	□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 教員が示したテーマに基づいて深く学んでいく少人数の授業を行う。 ここでは教養に関わる分野の入門的な内容をじっくりと掘り下げていく。 各 SA の専門性によりグループで行うこともある。大学生活に必要なアカデミックスキルを身に付ける。				【課題等のフィードバック方法】 別途説明する。	
【学習の到達目標】 大学での基礎学力を身につける。そして、この内容を基礎ゼミナールⅡへと繋げていく。				【履修上の注意・予習・復習について】 テストは行わず日々の課題の達成状況などで評価をするので、出席はもちろんのこと、課題提出などはきちんと期間内に行うこと。	
【成績評価方法】 課題提出、発言・質問と受講態度などを総合的に判断する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 専門ゼミナールを受講する上で、基礎的学力を身につけることができる。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	学科教員	ガイダンス	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる		4 時間
2	学科教員	グループワーク①	テーマについて調査する		4 時間
3	学科教員	グループワーク②	テーマについて調査する		4 時間
4	学科教員	グループワーク③	テーマについて調査する		4 時間
5	学科教員	グループワーク④	テーマについて調査する		4 時間
6	学科教員	グループワーク⑤	発表資料作成		4 時間
7	学科教員	グループワーク⑥	発表資料作成		4 時間
8	学科教員	グループワーク⑦	予選発表		4 時間
9	学科教員	グループワーク⑧	最終発表		4 時間
10	学科教員	研究室紹介①	研究室訪問・面談		4 時間
11	学科教員	研究室紹介②	研究室訪問・面談		4 時間
12	学科教員	研究室紹介③	研究室訪問・面談		4 時間
13	学科教員	研究室紹介④	研究室訪問・面談		4 時間
14	学科教員	まとめ	セミ顔合わせ		4 時間
教 科 書	開講時に指示する				
参 考 書	特になし				
備 考	特になし				

科 目 名		基礎ゼミナールⅡ		担 当 者		○未定（常勤）・立花顕一郎 文 慶喆・加藤 由美 吉田 裕人・広原 雄二 関口 晃治・河本 進 増井三千代・大野 朝子 馬内 里美・久保田茂裕 淡路 智典・秋山まゆみ 鄭 舜玉・佐藤 千洋 王 元	
科目ナンバリング		1080222057				常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室		1324	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない	
【授業内容】 基礎ゼミナールⅠで行ったことを引き継ぎ、教員が示したテーマに基づいて深く勉強していく少人数の授業を行う。ここでは教養に関わる分野の入門的な内容をじっくりと勉強していく。 各 SA の専門性によりグループで行うこともある。				【課題等のフィードバック方法】 別途説明する。			
【学習の到達目標】 大学での基礎学力を身につける。それにより、3 年次に選択する専門ゼミナールに入った時点で基本的な情報収集・論文執筆・プレゼンテーションができるようになっていること。				【履修上の注意・予習・復習について】 テストは行わず日々の課題の達成状況などで評価をするので、出席はもちろんのこと、課題提出などはきちんと期間内に行うこと。			
【成績評価方法】 課題提出、発言・質問と受講態度などを総合的に判断する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 より高度な情報収集方法や論文知識を得ることにより、大学生に必要な学士力を一層発展させる。基礎ゼミナールⅠの時点よりも、より高度なレベルでプレゼンの方法を習得できる。			
				【実務家教員担当科目】 該当なし			
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	学科教員	ガイダンス	授業を受講するまでに授業内容を、シラバス等を使って確認しておく。				4 時間
2	学科教員	テキストの読み方	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
3	学科教員	輪読①	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
4	学科教員	輪読②	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
5	学科教員	輪読③	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
6	学科教員	輪読④	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
7	学科教員	輪読⑤	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
8	学科教員	輪読⑥	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
9	学科教員	輪読⑦	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
10	学科教員	輪読⑧	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
11	学科教員	輪読⑨	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
12	学科教員	輪読⑩	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
13	学科教員	輪読⑪	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
14	学科教員	まとめ	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を確認しておく。				4 時間
教 科 書		開講時に指示する					
参 考 書		特になし					
備 考		特になし					

科 目 名	契約法			担 当 者	秋山まゆみ
科目ナンバリング	1080222060				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	1121 研究室
学 科 (専攻)	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 民法は私達の日常生活に最も深く関係する法律で、家族生活や自由な経済活動のためのルールを定めています。本講義ではその中でも特に契約に関するルールについて学びます。 具体的には契約の役割、種類、成立、解除、契約内容に応じた権利・義務関係等について考えていきます。また、民法（債権）改正に対応しつつ、なるべく身近な具体的な事例を使ってわかりやすい講義を目指します。				【課題等のフィードバック方法】 講義中にオンラインでミニッツペーパーを配り、疑問点を書いてもらったりミニテスト等に活用します。 次回以降の講義の中で回答・解説等を行います。	
【学習の到達目標】 ①契約法の体系と基本知識を説明できる ②関連する条文について説明できる ③具体的な問題に役立つ能力を習得できる				【履修上の注意・予習・復習について】 法学概論と民法総則を履修していることが望ましい。 教科書の指定されたページを事前に読んで、予習しておいてください。 消費者契約法を履修しようと思っている人は必ず契約法を履修してください・	
【成績評価方法】 定期試験・レポート提出 60% 練習問題、ミニッツペーパーの提出等で判断 40%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 契約法に関する基礎的知識が身に付きます。 法的紛争に巻き込まれた際に、自ら解決へと導くことができるような知識が身に付きます。 資格試験、公務員試験、就職試験等で役立つ知識が修得できます。	
【実務家教員担当科目】 なし					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	秋山まゆみ	< 契約総論 > 契約の拘束力と契約自由の原則	①下記の内容の予習・復習を行う 契約の意義、拘束力、契約自由の原則	4 時間
2	秋山まゆみ	契約の成立とその周辺	①下記の内容の予習・復習 契約の成立、懸賞広告等、情報提供義務	4 時間
3	秋山まゆみ	契約関係存続中の諸問題 (1)	①下記の内容の予習・復習 同時履行の抗弁権	4 時間
4	秋山まゆみ	契約関係存続中の諸問題 (2)	①下記の内容の予習・復習 危険負担、事情変更法理	4 時間
5	秋山まゆみ	契約の解除 (1)	①下記の内容の予習・復習 解除とその種類、制度趣旨、解除権の行使	4 時間
6	秋山まゆみ	契約の解除 (2)	①下記の内容の予習・復習 解除の効果、消滅	4 時間
7	秋山まゆみ	< 契約各論 > 売買 (1)	①下記の内容の予習・復習 典型契約総論、売買の成立	4 時間
8	秋山まゆみ	売買 (2)	①下記の内容の予習・復習 効力 (1)	4 時間
9	秋山まゆみ	売買 (3)	①下記の内容の予習・復習 効力 (2)	4 時間
10	秋山まゆみ	売買 (4)	①下記の内容の予習・復習 特殊の売買	4 時間
11	秋山まゆみ	消費者契約法 (1)	①下記の内容の予習・復習 制定の背景、目的	4 時間
12	秋山まゆみ	消費者契約法 (2)	①下記の内容の予習・復習 規制内容等	4 時間
13	秋山まゆみ	第三者のためにする契約	①下記の内容の予習・復習 第三者のためにする契約、契約上の地位の移転	4 時間
14	秋山まゆみ	まとめ	①下記の内容の予習・復習 総まとめ	4 時間
教 科 書		『有斐閣ストウディア 民法5 契約』 有斐閣		
参 考 書		六法全書を持ってくることが望ましい。		
備 考		消費者法を履修しようと思っている人は、必ず契約法を履修してください。		

科 目 名			物 権 法		担 当 者	関口 晃治	
科目ナンバリング			1080222061			常勤	
D P			1,2		教 員 研 究 室		1225
学 科（専攻）			経営法学科		配 当 年 次		2 年次・前期
授 業 形 式			講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング			☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用			☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 物権法は民法典の第 2 編に位置付けられ 10 の章に分けられている。この章の中でも、第 1 章総則、第 2 章占有権、第 3 章所有権は物権総論と呼ばれている。この授業で解説されるのはこの物権総論の部分である。具体的には、民法は人を権利の主体とし、物を権利の客体としていることから、人が物を支配する支配権である所有権を中心に解説する。 【学習の到達目標】 ・財産権の中でも基本的な権利である所有権とはどのような権利であるかを理解できるようになる。 ・授業内容とテキストを使用して各種国家試験等の問題が回答できるようになる。 【成績評価方法】 定期試験 50% 小問題およびコメントシート 50% 【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業の最後に提出するコメントシートに、授業内容などに関する問題の解答を書いてもらい、その内容を次回の授業で解説する。このコメントシートの作成については、周りの学生たちと話し合って作成することを推奨する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・教科書の内容に沿いながら、必要に応じて資料を配布し授業を進める。 ・授業中の私語や携帯電話の使用など、他の学生に迷惑な行為は厳禁とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 物権法を学ぶことによって、民法がどのような権利を手厚く守っているかを知ることができるようになる。また、財産権の中でも最も基本的な所有権を理解することは、不動産を所有したり物を所有する場合などに、どのような保護を受けることができるかを知ることができる。 【実務家教員担当科目】 特になし							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予 習・復 習				学修時間
1	関口 晃治	ガイダンス：民法の解釈について	(予習) テキストの補論を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
2	関口 晃治	物と財産と所有権：物権法の重要性	(予習) テキストの総論を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
3	関口 晃治	物権とは：物権と債権	(予習) テキストの序論を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
4	関口 晃治	物権変動①：基本構造と派生問題	(予習) 第 1 章第 1 節のⅠとⅡを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
5	関口 晃治	物権変動②：登記制度と人的範囲	(予習) 第 1 章第 1 節のⅢと第 2 節のⅠを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
6	関口 晃治	物権変動③：取消しと登記、および、取得時効と登記	(予習) 第 1 章第 2 節のⅡとⅢを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
7	関口 晃治	物権変動④：対抗問題から即時取得へ、および、占有改定と即時取得	(予習) 第 1 章第 3 節のⅠとⅡを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
8	関口 晃治	所有権①：所有権絶対と物権法定主義	(予習) 第 2 章第 1 節のⅠを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
9	関口 晃治	所有権②：物権的請求権	(予習) 第 2 章第 1 節のⅡを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
10	関口 晃治	所有権③：所有権の制限（基本構造）	(予習) 第 2 章第 2 節のⅠを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
11	関口 晃治	所有権④：所有権の制限（生活妨害）	(予習) 第 2 章第 2 節のⅡを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
12	関口 晃治	共同所有①：概観	(予習) 第 2 章第 3 節のⅠを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
13	関口 晃治	共同所有②：共有と紛争	(予習) 第 2 章第 3 節のⅡを読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。				4 時間
14	関口 晃治	問題演習	(予習) これまでの授業内容のうちの所有権を中心に復習しておく。 (復習) 授業で解いた問題をテキストの内容を踏まえながら解く。				4 時間
教 科 書		大村敦志『新基本民法 2 物権編 財産の帰属と変動の法（第 3 版）』（有斐閣、2022 年）ISBN978-4-641-13889-6					
参 考 書		潮見佳男・道垣内弘人「民法判例百選Ⅰ第 9 版 総則・物権」別冊ジュリスト 262 号（2023 年）					
備 考		特になし					

科 目 名	刑法			担 当 者	岩田摩美子
科目ナンバリング	1080222062				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 事例を素材にしながら、刑法総論と刑法各論の基礎知識を解説する。 刑事手続についても適宜触れる。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け、回答する。 学習内容の理解度を確認するため、不定期に授業の終盤に小テストを実施する。	
【学習の到達目標】 (1) 刑法総論と刑法各論の基礎知識の修得。 (2) 犯罪、刑罰に関する報道等を見聞した際、論点を把握し、自分の意見を持つこと及び把握した論点について、法的見地から他人に説明できるようになること。				【履修上の注意・予習・復習について】 パワーポイントの撮影、私語や携帯電話・スマートフォンでの会話等、他の受講者に迷惑をかける行為、授業の進行に支障を来す行為を厳禁する。	
【成績評価方法】 期末試験による（期末試験以外のレポート等の提出は求めない予定）。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 刑法に関する基礎知識を修得することにより、社会で生起する犯罪及び刑罰について関心を持てるようになるとともに、これらについて自分の意見を述べ、説明できるようになる。	
				【実務家教員担当科目】 弁護士である教員が実際に発生した事件等を交えて講義する。	

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	岩田（以下同じ）	ガイダンス、刑法の意義、刑罰論	配布したレジュメを熟読する（以下同じ）	4 時間
2		犯罪論、構成要件該当性（1）		4 時間
3		構成要件該当性（2）		4 時間
4		構成要件該当性（3）、違法性（1）		4 時間
5		違法性（2）		4 時間
6		責任		4 時間
7		構成要件の修正形式（1）		4 時間
8		構成要件の修正形式（2）		4 時間
9		個人的法益に対する罪（1）		4 時間
10		個人的法益に対する罪（2）		4 時間
11		個人的法益に対する罪（3）		4 時間
12		個人的法益に対する罪（4）		4 時間
13		社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪		4 時間
14		刑法のまとめ		4 時間
教 科 書		ポケット六法令和 7 年版（有斐閣）		
参 考 書		大塚裕史・十河太朗・塩谷毅・豊田兼彦「基本刑法Ⅰ総論（第3版）」、「基本刑法Ⅱ各論（第3版）」（日本評論社）		
備 考		期末試験では、ポケット六法と授業で配布したレジュメの持ち込みを認める予定（教室で試験を実施する場合）。		

科 目 名		政治学		担 当 者	王 元
科目ナンバリング		1080222063			常勤
D P		1,2		教 員 研 究 室	1324
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式				単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人間は社会的動物である。政治は人間の社会的利害を調整するしくみである。人々が生活する社会における秩序を形成し、維持し、修正し、また時には破壊することを通じて実行される活動と手段である。 政治学は古代ギリシアに誕生して以来、長い歴史を刻んできた。しかし、政治行動の判断基準や結論には必ずしも法則性があるとはいえない。むしろ、政治を担う人の個性やイデオロギー、感情、さらには偶然性に左右される側面もある。総合的に知識や手法も駆使して最善の政策決定を促すところに、政治学の目的や妙味がある。政治学の基礎知識と発想方法を解説する。政治学の面白さと大切さを伝え、政治現象一般を把握する視点を身に付けてもらうことがこの講義のねらいである。講義形式を基本とする。ただし適宜ビデオ教材を利用する。 【学習の到達目標】 近代社会の特徴、主たる政治思想の歴史、自由主義と民主主義の思想などについて基本的な知識を習得することをめざす。併せて政治現象への洞察力を高め、政治判断の能力を培いたい。 【成績評価方法】 定期試験（50%）、課題提出や、授業での発言・質問など（50%）。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	王 元	ガイダンス：政治学概念と体系	政治とは何か、政治学とは何、科学的な政治学は可能でしょうか		4 時間
2	王 元	国家統治と主権	主権概念の史的経緯 市民社会・国民国家の成立と政治的統合		4 時間
3	王 元	権力	権力の性質、支配・権威・リーダーシップ・影響とソフトパワー		4 時間
4	王 元	中央と地方	集権と分権 地方自治の意義・過疎と過密		4 時間
5	王 元	選挙と投票行動	代表制と選挙制度、選挙の諸原則 代表制の類型と選挙制度		4 時間
6	王 元	世論の形成と民意の表出	現代政治を変貌させる SNS 政治無関心と民主主義の後退		4 時間
7	王 元	政党政治	代議制民主主義における政党の機能と組織 議会の機能・審議過程と野党の役割		4 時間
8	王 元	利益団体と圧力団体	発生の原因と活動の原理 第二期トランプ MAGA 政権		4 時間
9	王 元	官僚制	政治と行政 官僚制の概念と官僚制化		4 時間
10	王 元	代表的な政治体制	議院内閣制、大統領制と党国体制 米国、英国、日本と中国などそれぞれの特徴		4 時間
11	王 元	政治文化と政治発展	政治意識 民主主義の維持と拡大		4 時間
12	王 元	国際政治	グローバリゼーション 国際政治と国内政治		4 時間
13	王 元	地理政治学	地理的な視点から人類政治を巨視的に見る		4 時間
14	王 元	現代政治の課題	福祉国家の成立、維持と発展		4 時間
教 科 書		教科書は用いず、適宜プリントを配布する。			
参 考 書		堀江湛・岡沢憲夫編『現代政治学』（法学書院、2011）。			
備 考		日々の新聞を読み、国内と国際政治情勢の把握に努められたい。			

科 目 名		社会保障概論			担 当 者	小 淵 高 志
科目ナンバリング		1080222064				常勤
D P		1,2			教 員 研 究 室	1305
学 科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 医療保険や年金などの諸制度は、今日、人々が社会生活を送っていく上で欠かすことのできないものとなっています。このように、国民の生活を保障するために制度化されているのが社会保障です。社会保障の諸制度は、それぞれどのような仕組みとなっているのか、どのような考え方で、どのようにして生み出されてきたのか、といった点の理解を深めるとともに、少子・高齢化、グローバルゼーションが進む現代社会において、それぞれの制度の今日的な役割と意義を評価するとともに、各制度が抱える問題点の検討を行います。さらに、福祉国家から福祉社会へという流れの中で、これからの社会保障がどのような方向を目指すべきかを考えていきます。						
【学習の到達目標】 社会保障制度の全体像を把握し、それぞれの制度の役割を理解します。						
【成績評価方法】 課題レポート（40%）、筆記試験（60%）による総合評価とします。						
【課題等のフィードバック方法】 授業中の課題提出の解説を次回の授業で行う。講義終了後に、質問を受け付け回答する。授業中にグーグルクラスルームのチャットやアンケートフォームなどを使い、質疑応答や意見交換やグループ・ディスカッションを行います。						
【履修上の注意・予習・復習について】 授業の最後に、次回の学習範囲を予告します。そのときに、必読文献や作業課題などを提示します。そして、復習のための作業課題なども同時に提示します。指示に従って、必ず予習と復習をしてください。授業の録画を振り返り（復習）、分からないことや理解を深めたいことを、グーグルミートのメッセージ機能を使って質問してください。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 社会保障制度の基礎的な知識が身につきます。						
【実務家教員担当科目】 該当しない						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	小 淵 高 志	社会保障とは何か	年金などの身近な社会保障制度を調べておこう。	4 時間
2	小 淵 高 志	ライフステージと社会保障	ライフステージについて社会的な理解を深めておこう	4 時間
3	小 淵 高 志	社会保障の歴史（戦前）	明治維新後の日本近代史の復習をしておこう。	4 時間
4	小 淵 高 志	社会保障の歴史（戦後）	「ベヴァリッジ報告」を読んでおこう。	4 時間
5	小 淵 高 志	社会保障の実施体制	制度成立の背景を考察してみよう。	4 時間
6	小 淵 高 志	年金保険制度（1）	財源の問題や一元化論の考察をしておこう。	4 時間
7	小 淵 高 志	年金保険制度（2）	ほかの制度との関連を整理しておこう。	4 時間
8	小 淵 高 志	医療保険制度（1）	医療保険の成立過程を整理しておこう。	4 時間
9	小 淵 高 志	医療保険制度（2）	ほかの制度との関連を整理しておこう。	4 時間
10	小 淵 高 志	介護保険制度	介護保険のサービスを調べておこう。	4 時間
11	小 淵 高 志	社会福祉制度	高齢者や児童、障害者への社会福祉制度にはどのようなものがあるか、調べておこう。	4 時間
12	小 淵 高 志	労働保険制度	就労支援とミスマッチの問題の考察をしておこう。	4 時間
13	小 淵 高 志	民間保険制度	私保険と公的制度との領域の確認をしておこう。	4 時間
14	小 淵 高 志	諸外国の社会保障制度	海外の制度を比較してみよう。	4 時間
教 科 書		今井伸『新わかる・みえる社会保障論 - 事例でつかむ社会保障入門 -』みらい		
参 考 書		授業の中で適宜紹介		
備 考		授業開始時刻より 10 分以上の遅刻者の受講を禁止します。授業時間中の飲食、私語、許可のない入退出を禁止します。授業時間中における携帯電話（スマートフォン等）での通話やメール送受信等を禁止します。		

科 目 名		マクロ経済学		担 当 者	久保田茂裕	
科目ナンバリング		1080222067			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1227	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディバート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 経済学は伝統的にミクロ経済学とマクロ経済学の二つの分野に大きく分けられるが、この講義では後者のマクロ経済学について、その基礎的な概念や分析方法を学んでいく。マクロ経済学は、一国の経済状況の変化をさぐり、経済が安定かつ成長するような経済政策のあり方を解明する分野である。新聞やニュース等で「GDP（国内総生産）」や「デフレーション」といった言葉を見聞きしたことがあるかと思う。これらは一国全体の経済状況をあらわした用語であり、マクロ経済学の学習範囲である。						
【課題等のフィードバック方法】 授業内で確認テストの解答解説を行う。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ・教科書に沿った配布プリントと板書きで授業を進める。 ・私語、携帯電話の使用など、他の受講生に迷惑になる行為は厳禁である。守られない場合は退出を求める。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・ミクロ経済学とともに、マクロ経済学の基礎理論を学習することで、専門科目の学習がスムーズになる。 ・本科目は、公務員試験（教養・専門）をはじめとする各種公的試験等で出題される「経済原論」や「経済学」の出題範囲に該当する。						
【実務家教員担当科目】 特になし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	久保田茂裕	ガイダンス：授業の概要	予習：特になし 復習：シラバスを熟読し、履修の計画を立てる			4 時間
2	久保田茂裕	経済をマクロからとらえる（9章）：マクロ経済学と GDP	予習：教科書 9 章の p.243 ～ p.257 を読む 復習：マクロ経済の鳥瞰図を頭に入れる			4 時間
3	久保田茂裕	経済をマクロからとらえる（9章）：マクロ経済学と GDP	予習：教科書 9 章の p.258 ～ p.264 を読む 復習：GDP の構成と三面等価の原則を理解する			4 時間
4	久保田茂裕	経済をマクロからとらえる（9章）：マクロ経済における需要と供給	予習：教科書 9 章の p.265 ～ p.276 を読む 復習：需要面・供給面からみた GDP を理解する			4 時間
5	久保田茂裕	有効需要と乗数メカニズム（10章）：マクロで見た需要	予習：教科書 10 章の p.277 ～ p.284 を読む 復習：限界消費性向と乗数について理解する			4 時間
6	久保田茂裕	有効需要と乗数メカニズム（10章）：需要の決定とマクロ経済の均衡	予習：教科書 10 章の p.285 ～ p.300 を読む 復習：マクロ経済の均衡について理解する			4 時間
7	久保田茂裕	貨幣の機能（11 章）：貨幣の定義の機能	予習：教科書 11 章の p.301 ～ p.307 を読む 復習：貨幣の機能について理解する			4 時間
8	久保田茂裕	貨幣の機能（11 章）：マネーストックと信用乗数	予習：教科書 11 章の p.308 ～ p.317 を読む 復習：ハイパワードマネーと信用乗数について理解する			4 時間
9	久保田茂裕	貨幣の機能（11 章）：貨幣供給と物価	予習：教科書 11 章の p.318 ～ p.328 を読む 復習：貨幣需要と金利の関係について理解する			4 時間
10	久保田茂裕	マクロ経済政策（12 章）：財政政策と金融政策	予習：教科書 12 章の p.329 ～ p.344 を読む 復習：財政政策及び金融政策を理解する			4 時間
11	久保田茂裕	マ ク ロ 経 済 政 策（12 章）：IS-LM 分析	予習：教科書 12 章の p.329 ～ p.344 を読む 復習：IS-LM 分析を理解する			4 時間
12	久保田茂裕	マクロ経済政策（12 章）：マクロ経済政策をめぐる論争	予習：教科書 12 章の p.345 ～ p.354 を読む 復習：政策手段と政策目標、及びこれに関する論争を理解する			4 時間
13	久保田茂裕	インフレ・デフレと失業（13 章）：インフレーション、デフレーション	予習：教科書 13 章の p.355 ～ p.370 を読む 復習：インフレーション及びデフレーションについて理解する			4 時間
14	久保田茂裕	インフレ・デフレと失業（13 章）：失業	予習：教科書 13 章の p.371 ～ p.392 を読む 復習：失業率などの雇用関連統計について理解する			4 時間
教 科 書		伊藤元重『入門経済学 第 4 版』日本評論社（後半部分）				
参 考 書		1：矢口和宏・坂本直樹編著『経済学概論』（株式会社みらい） 2：マンキュー『入門経済学・第 4 版』（東洋経済新報社） 3：井堀利宏『入門マクロ経済学・第 4 版』（新世社） 4：新家義貴『予測の達人が教える経済指標の読み方』（日本経済新聞出版）				
備 考		特になし				

科 目 名		経営戦略論		担 当 者	佐藤 千洋	
科目ナンバリング		1080222068			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1221	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本科目では、ビジネス環境で活躍するための基礎となる経営戦略の主要な概念や理論、フレームワークについて学修する。具体的な企業の取り組みの検討を通じて、企業の戦略的行動を分析・考察するための視点を養うことを狙いとする。 ※授業時は、事例に関するグループワークなど適宜行う。						
【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に、質問を受けつける。						
【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻はしないこと。毎回の授業に関する内容をノートなどにまとめること。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 経営戦略論の基礎を蓄積しておくことで、将来、就職する場合でも、起業する場合でも役立つ内容となっている。						
【実務家教員担当科目】 東証プライム上場メーカーでの技術、事業戦略などの実務経験、国立大学での産学連携大型プロジェクトの管理運営および調査分析などの実務経験を有する。						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	佐藤 千洋	オリエンテーション	予習：翌週分の教科書に目を通しておくこと。 復習：資料および講義ノートを用いて復習し、要点をまとめておくこと。	4 時間
2	佐藤 千洋	戦略の基本	同上	4 時間
3	佐藤 千洋	戦略の分析① 外部環境分析	同上	4 時間
4	佐藤 千洋	戦略の分析② 外部環境分析	同上	4 時間
5	佐藤 千洋	戦略の分析③ 内部環境分析	同上	4 時間
6	佐藤 千洋	戦略の分析④ 内部環境分析	同上	4 時間
7	佐藤 千洋	前半のふり返り	同上	4 時間
8	佐藤 千洋	戦略の構想① 戦略デザイン	同上	4 時間
9	佐藤 千洋	戦略の構想② 未来構想の手法	同上	4 時間
10	佐藤 千洋	戦略の構想③ 逆転の発想による戦略構想	同上	4 時間
11	佐藤 千洋	全社戦略① 事業戦略と全社戦略	同上	4 時間
12	佐藤 千洋	全社戦略② シナジー	同上	4 時間
13	佐藤 千洋	全社戦略③ 垂直統合と水平分業	同上	4 時間
14	佐藤 千洋	期末テストと解説	同上	4 時間
教 科 書		井上達彦・中川功一・川瀬真紀著（2020）『経営戦略』中央経済社、2,400 円 + 税（購入要） ISBN 978-4-502-32501-4		
参 考 書		授業中に紹介		
備 考		なし		

科 目 名		流通論		担 当 者	矢口 義教	
科目ナンバリング		1080222069			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 企業のマーケティング活動における流通の位置づけを学ぶとともに、流通という仕組み・企業活動の役割について学ぶ。						
【学習の到達目標】 マーケティングと流通の関係性と、流通そのもの、または流通業に携わる企業や業界の特性を理解できるようになる。						
【成績評価方法】 授業中の小レポート (30%)、授業中の演習 (10%)、期末レポート (60%) で評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 小レポートや演習については、希望に基づいて点数を公表し、コメントも付与していく。						
【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の私語や居眠りなど、不誠実な行為に対しては注意を行う。受講態度が改善しない場合には、単位修得の権利を失うこともある。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 皆さんの将来のキャリア選択において、有効な指針を得られる。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	矢口 義教	オリエンテーション	予習：流通論について、イメージする。 復習：成績評価などの注意事項を管理する。		4 時間	
2	矢口 義教	マーケティングと流通の定義	予習：マーケティング・流通の定義について調べる。 復習：自身の定義と合致しているか確認する。		4 時間	
3	矢口 義教	企業とは何か	予習：様々な企業について思慮を巡らせる。 復習：企業のイメージを整理する。		4 時間	
4	矢口 義教	企業の形態、とくに株式会社	予習：気になる株式会社を調べてみる。 復習：株式会社の仕組みを整理する。		4 時間	
5	矢口 義教	マーケティングの意義と発端	予習：マーケティングとは何かを考えてくる。 復習：マーケティングの果たす役割を整理する。		4 時間	
6	矢口 義教	マーケティング・ミックスと流通 (1)	予習：4P とプロダクトについて考えてくる。 復習：4P を整理する。		4 時間	
7	矢口 義教	マーケティング・ミックスと流通 (2)	予習：製品・サービスの価格について調べてくる。 復習：プライスとプロモーションについてまとめる。		4 時間	
8	矢口 義教	マーケティング・ミックスと流通 (3)	予習：流通の全体像をイメージする。 復習：プレイス（流通）についてまとめる。		4 時間	
9	矢口 義教	STP と PLC (セグメンテーションなど)	予習：顧客特性やターゲットの在り様について調べる。 復習：STP と PLC を整理する。		4 時間	
10	矢口 義教	小売業と流通：全体像	予習：小売業の形態について調べる。 復習：関心のある小売形態を深堀する。		4 時間	
11	矢口 義教	小売業と流通 (1) 百貨店と GMS	予習：百貨店の種類と身近な百貨店について調べる。 復習：百貨店と GMS の違いをまとめる。		4 時間	
12	矢口 義教	小売業と流通 (2) SM と CVS	予習：スーパーマーケットについて、身近なスーパーを調べてみる。 復習：SM の特徴について整理する。		4 時間	
13	矢口 義教	小売業と流通 (3) SPA や SC など	予習：ショッピングセンターやモールについて、調査をする。 復習：SPA や SC についてまとめる。		4 時間	
14	矢口 義教	全体のまとめ、期末レポート解説	予習：期末レポートの展望について思案する。 復習：授業全体の復習をする。		4 時間	
教 科 書		使用しない。				
参 考 書		石原武政ほか編著（2018）『1 からの流通論＜第2版＞』碩学舎				
備 考		誠実にまじめに授業に向き合ってください。				

科 目 名		簿記論Ⅱ		担 当 者	日下 儀雄	
科目ナンバリング		1080222071			非常勤	
D P		1,2		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本講座は、工業簿記の体系を理解して、製品の原価を計算する方法と帳簿記入方法について学習します。また、その製品の実際原価と目標原価（予定）との差異を分析することにより原価管理に役立てることを学びます。						
【課題等のフィードバック方法】 課題等実施ごとに、解答のポイントおよび出題意図を説明します。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ①この授業では「教科書」の前半を、後期の「簿記論Ⅲ」で後半を実施します。 ②多くの問題演習からしっかりと知識技術を身に付けましょう。 ③何でも質問しましょう。わかるまで質問しましょう。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 日本経済の強みである「ものづくり」を、どのように体系化されているかを学び、さらに計数的観点からコスト削減などの意思決定を学ぶことができます。企業のリーダーとなる時の意思決定に多いに役立ちます。						
【実務家教員担当科目】 該当無						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	日下 儀雄	第1章 工業簿記とは 工業簿記の基本	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
2	日下 儀雄	第1章 工業簿記のしくみ 工業簿記の勘定連絡	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
3	日下 儀雄	第3章 材料費計算 材料費の購入と消費	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
4	日下 儀雄	第3章 材料費の計算 材料費の予定消費	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
5	日下 儀雄	第4章 労務費の計算 労務費の支払と消費（実際と予定）	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
6	日下 儀雄	第5章 経費計算 経費の分類と処理	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
7	日下 儀雄	第6章 製造間接費計算 製造間接費の実際配賦と予定配賦	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
8	日下 儀雄	第6章 製造間接費計算 単純個別原価計算の演習	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
9	日下 儀雄	第6章 製造間接費計算 仕掛品勘定と原価計算表	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
10	日下 儀雄	中間まとめ 費目別計算と原価計算表	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
11	日下 儀雄	第7章 部門別個別原価計算 部門別個別原価計算	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
12	日下 儀雄	第7章 部門別個別原価計算 予定配賦と差異分析	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
13	日下 儀雄	第8章 個別原価計算 個別原価計算の総合演習	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
14	日下 儀雄	総まとめ	シラバスに沿って教科書を予習復習	4 時間
教 科 書		検定簿記講義 2 級工業簿記 検定ワークブック 2 級工業簿記		
参 考 書		参考書 必要に応じて授業中に紹介します		
備 考		本講義から、あらたな展開が生まれ、更なる成長へ繋がることを期待しています。		

科 目 名		簿記論Ⅲ		担 当 者	広原 雄二	
科目ナンバリング		1080222072			常勤	
D P		1,2		教員研究室		1323
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 本講義では、簿記論Ⅱに引き続き工業簿記を理解するうえで、必要な基本的用語の説明を行うとともに、各計算手法についての習得を行う。とりわけ、ここでは標準原価計算についての理解を深める。 【学習の到達目標】 工業簿記の基本的な概要を理解して、標準原価計算についての理解を深める。 【成績評価方法】 課題提出及び確認試験並びに期末試験から、学則および試験規則に従い、総合的に評価します 期末試験 50%+ 授業時の確認試験 50% 【課題等のフィードバック方法】 課題等実施の際、解答のポイントおよび出題意図を説明する。 【履修上の注意・予習・復習について】 特になし 【受講して得られる効果・メリット、その他】 決算書の仕組みを理解できる。 【実務家教員担当科目】 該当無						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	広原 雄二	工業簿記概説	授業を受講するまでにシラバス等で授業内容を理解しておく。			4 時間
2	広原 雄二	標準原価計算の基礎	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
3	広原 雄二	標準原価計算（2 分法）	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
4	広原 雄二	標準原価計算（3 分法）	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
5	広原 雄二	標準原価計算（4 分法）	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
6	広原 雄二	CVP 分析	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
7	広原 雄二	原価予測の方法 1	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
8	広原 雄二	原価予測の方法 2	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
9	広原 雄二	直接原価計算 1	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
10	広原 雄二	直接原価計算 2	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
11	広原 雄二	製品の受払い	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
12	広原 雄二	営業費の計算	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
13	広原 雄二	工場会計の独立	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
14	広原 雄二	まとめ	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、ワークブック等を使って復習しておく。			4 時間
教 科 書		検定簿記講義／2 級工業簿記、検定簿記ワークブック／2 級工業簿記				
参 考 書		特になし				
備 考		特になし				

科 目 名		社会学概論		担 当 者	我妻 秀栄
科目ナンバリング		1080222073			非常勤
D	P	1,2		教員研究室	非常勤講師室
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 基礎的な社会学の考え方および社会問題の調べ方を学んだ後、21 世紀初頭現在の社会学者たちが注目する主要なテーマについて取り上げていく。		【課題等のフィードバック方法】 質問およびコメントなどは次回授業時に紹介する。期末試験の模範的な解答および解説は全員の採点後に Google Classroom へアップロードし、解答用紙は電子データにて個別に返却する予定である。			
【学習の到達目標】 ①社会学の理論（考え方）および社会問題の調査方法（調べ方）を理解できる。 ②さまざまな問題意識を個人的なレベルにとどめるのではなく、社会全体の動向と関連付けて説明できるようになる。		【履修上の注意・予習・復習について】 配布資料は Universal Passport へアップロードするゆえ、PC およびノートを持参することが望ましい。授業においては積極的な発言および質問を歓迎する。正当な理由が無い 5 回以上の欠席は、単位修得不可とするので注意されたい。			
【成績評価方法】 毎回の復習コメント（40%）および期末試験（60%）により評価する。		【受講して得られる効果・メリット、その他】 あなた自身や社会全体がこれまで当然だと考えてきたことを批判的に捉え直し、一人ひとりが抱える問題を個人レベルではなく、社会全体の動向と関連付けて論じられるようになる。			
		【実務家教員担当科目】 該当しない。			
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	我妻 秀栄	社会とは何か	[予習] 原始・古代・中世・近代がどのような時代だったかについて簡単に調べておく と理解しやすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けながらコメントを報告する。		4 時間
2	我妻 秀栄	ヴェーバーが考える社会	[予習] キリスト教・イスラーム・仏教などの宗教が有する死生観について簡単に調 べておく と理解しやすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自 身の意見 を分けながらコメントを報告する。		4 時間
3	我妻 秀栄	デュルケームが考える社会	[予習] キリスト教・イスラーム・仏教などの宗教が有する行事について簡単に調 べておく と理解しやすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自 身の意見 を分けながらコメントを報告する。		4 時間
4	我妻 秀栄	ジンメルが考える社会	[予習] 人間が発達していく段階について簡単に調べておく と理解しやすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けながらコメントを報告する。		4 時間
5	我妻 秀栄	シカゴ学派が発見した社会	[予習] 身近な知人に人生の経歴を尋ねてみたり、興味のある場所へ訪れたりして おく と理解しやすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けながらコメントを報告する。		4 時間
6	我妻 秀栄	統計学を通して読み解く社会	[予習] 高校数学の教科書などを参考にしつつ、中心極限定理について簡単に調 べておく と理解しやすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自 身の意見 を分けながらコメントを報告する。		4 時間
7	我妻 秀栄	近代社会は家族の在り方をどのよう に固定化していたのか	[予習] ジェンダーとはどのような性差なのかについて簡単に調べておく と理解し やすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けな がらコメント を報告する。		4 時間
8	我妻 秀栄	近代社会は学校の在り方をどのよう に固定化していたのか	[予習] 日本または欧米諸国における近代以降の教育の歴史について簡単に調 べておく と理解し やすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けな がらコメント を報告する。		4 時間
9	我妻 秀栄	近代社会は労働の在り方をどのよう に固定化していたのか	[予習] 労働者を保護するためにどのような法令があるのかについて簡単に調 べておく と理解し やすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けな がらコメント を報告する。		4 時間
10	我妻 秀栄	メディア・リテラシーを向上させ るために	[予習] さまざまなメディアの長短について簡単に調べておく と理解し やすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けな がらコメント を報告する。		4 時間
11	我妻 秀栄	国民国家は平和な秩序を維持でき るのか	[予習] ナショナリズムおよびその考え方に従って形成された国民国家とは何かに ついて簡単に調 べておく と理解し やすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実および自身の意見 を分けな がらコメント を報告する。		4 時間
12	我妻 秀栄	国民国家は最低限度の生活を保障 できるのか	[予習] 日本にはどのような社会保障制度があるのかについて簡単に調 べておく と理解し やすい。/[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実と意見を分けながらコ メント を報告する。		4 時間
13	我妻 秀栄	社会問題の社会学	[予習] 事前に選択および提示した社会問題に関する賛否について入念に調 べておく。 /[復習] 信頼できる情報源を参照しつつ、事実と意見を分けながらコメント を報告 する。		4 時間
14	我妻 秀栄	期末試験および全体総括	[予習] これまでの内容を復習し、自身が最も関心を抱く社会問題について調査・考 察して おく。/[復習] 分からなかったところ、間違えたところを見直す。		4 時間
教 科 書		指定しない。			
参 考 書		授業中に適宜指示する。			
備 考		教員連絡先：tbgu18002@cc.tbgu.ac.jp			

科 目 名	環境論入門			担 当 者	栁川 信弘
科目ナンバリング	1080222074				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 気候変動や海洋汚染など地球規模の環境問題に焦点をあて、「食」（消費者）と「農」（生産者）および「流通・加工」（運輸・卸/小売・加工業者）などの視点から環境問題に関する経済学および経営学的な解決策について考える。				【課題等のフィードバック方法】 講義中に質疑応答を実施し、認識不十分と考えられる場合には適切な補足説明を行うこととするが、講義の欠席等によって認識が不足する受講生には自らの責任において修正することを求める。	
【学習の到達目標】 農業や農業関連産業等の経済活動が地球規模の環境問題に関与している点を理解し、環境問題の解決に必要な経済システムの修正を創造する実行可能な手法を提案する。				【履修上の注意・予習・復習について】 教科書の精読と記載内容の理解は本講義を受講し、単位を取得するための前提条件である。また、presentation は final goal ではなく、口頭試問型の討議を通した follow-up によって brush-up を訓練するための通過点にすぎない。	
【成績評価方法】 担当教員の指示に従う group work と当該活動の成果発表（資料作成を含む）50%、当該発表に関する口頭試問（follow-up）50% の得点配分で成績を評価する。したがって、講義に参加し、指示された活動に全力を尽くすことが単位取得の前提となる。なお、プレゼン資料の作成には Google Slide を使用する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地球/地域環境および政治経済構造の健全化を志向する経済学/経営学的思考法が獲得できる。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	栁川 信弘	ガイダンス	講義の全体像と、成績評価の方法を説明する。		4 時間
2	栁川 信弘	食生活と地球環境問題☞何を如何に食べるべきか？	食生活と地球環境の関係や地球環境を守るための食べ方について考える。		4 時間
3	栁川 信弘	食生活と農業☞環境に影響を与えるフードシステム	地球環境を保全する賢い食べ方☞土、水、大気および心身の健康を重視するGAP!		4 時間
4	栁川 信弘	2025 年という転換期の農業・農法（農業技術体系）	農業の二面性☞農業・農法は地球環境の悪化/改善の双方に影響を与える。2025 年時点における現実？		4 時間
5	栁川 信弘	農産物市場を考える☞環境を保全する農業を支援しうる市場？	地球環境を守る農業には担い手の生活保証が不可欠！その役割を担う市場とは？		4 時間
6	栁川 信弘	フードシステムとして食品流通問題を捉える	EU の新たなスローガン "from Farm to Fork!" その含意と日本国内への導入？交通の恩恵と地球環境問題の解決につながる食品輸送？		4 時間
7	栁川 信弘	SDGs と農業・農法体系	地球規模の飢餓・飽食 & globalization of food-system ☞食農起点の解決法に関する実行可能性？		4 時間
8	栁川 信弘	新基本法の政策含意☞企業による先端技術の導入！	食料・農業・農村基本法が 2024 年に改訂☞家族経営（旧）から法人経営（新）への転換を推進！		4 時間
9	栁川 信弘	新指標の挿入☞ ex. 地球温暖化係数の最小化 etc.	地球環境問題を解決する新たな農法や新たな農業経営体の創造☞激動する国際情勢（chaos）への適応		4 時間
10	栁川 信弘	排出権市場の普及・拡大	幻想的指標からの脱出と排出権市場導入への挑戦		4 時間
11	栁川 信弘	総括	食と農の視点からの地球環境問題へのアプローチ		4 時間
12	栁川 信弘	group-work	group-work on the new type food & farming systems to solve the global environmental problems.		4 時間
13	栁川 信弘	presentation	presentation of each group/member result		4 時間
14	栁川 信弘	follow-up	follow-up of group-work & presentation		4 時間
教 科 書		下川哲『食べる経済学』（大和書房）			
参 考 書		講義中に関連情報を提供しているインターネット・サイトなどを紹介する。			
備 考		特になし			

科 目 名		地域文化論		担 当 者	岡 恵介	
科目ナンバリング		1080222075			常勤	
D P		2,3		教員研究室		1321
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 約 160 年前まで東京は江戸と呼ばれ、鎖国政策ではほとんど外国の物資が入ってこない中で、同時代の欧米の都市と比べても後れを取らない生活文化が営まれていた。近世では世界最大の都市といえる人口 100 万都市の江戸の膨大な日常消費は、草の根レベルの活発なりサイクルで支えられていた。藁、竹、灰、みな太陽エネルギーの有効利用で捨てずにリサイクルされていた。現代社会のお手本ともなりうる循環型リサイクル社会であった江戸を、地域文化という視点から探っていく。						
【学習の到達目標】 エネルギー利用を中心とした循環型リサイクル社会としての江戸の実態を理解し、今後の日本社会にどのように反映していくべきかを述べる事が出来る。						
【成績評価方法】 作成したレジメの内容を含む発表内容 80%、毎時の質問内容と回数 20% により評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 各講義の最後に時間を設けて、質問を受け付け回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 毎時質問を用意するための予習を課す。全員質問できるように準備しておくこと。 発表時は、各人発表内容を分かりやすくまとめたレジメを用意し、発表前に担当教員のチェックを受けること。答えられなかった質問には、後日調べて回答すること。 遅刻は 15 分まで可。飲食禁止、水分補給のためのペットボトルの持ち込みは可。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 江戸におけるエコロジカルな視点や技術について学び、実生活に応用することができるようになる。						
【実務家教員担当科目】 なし。						

授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	岡 恵介	ガイダンス～本講義の意図と展開～	授業概要から授業内容と流れを予習し、ノートをもとに授業の意図するところを復習し、自分が使う教科書を手配して入手しておく。		4 時間	
2	岡 恵介	江戸のリサイクルの実態を探索	教科書の該当部分を読んで予習し、講義内容についてノートをもとに復習しておく。		4 時間	
3	岡 恵介	照明は植物由来や魚由来の油	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
4	岡 恵介	稲藁で様々な民具や防寒具が作られた	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
5	岡 恵介	プラスチック登場前の重要素材だった竹	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
6	岡 恵介	衣類は、麻などの畑作物や古着の再利用で	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
7	岡 恵介	古い蔵に棲む微生物が、世界に類を見ない酒日本酒を醸した	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
8	岡 恵介	畑作物収穫→食料→人糞尿→肥料→畑作物収穫のリサイクル	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
9	岡 恵介	竈や囲炉裏の灰があく抜きや糶しの溶媒となった	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
10	岡 恵介	適度な樹木の伐採が、里山を形成した	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
11	岡 恵介	物流は船で、日本海側が大動脈だった	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
12	岡 恵介	豊かな森林の保護が、旨い魚を育てた	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
13	岡 恵介	森林保水力が川の流れを維持し、水車を回すエネルギーを生んだ	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジメと質疑内容について復習しておく。		4 時間	
14	岡 恵介	振り返りとまとめ	これまでの発表レジメを読み返して予習し、これまでの授業で聞いた発表内容から江戸のリサイクル文化についてまとめる。		4 時間	
教 科 書		アズビー・ブラウン著「江戸に学ぶエコ生活術」阪急コミュニケーションズ。				
参 考 書		授業のなかで紹介していく。				
備 考		なし。				

科 目 名		データ分析入門		担 当 者	○河本 進・久保田茂裕	
科目ナンバリング		1080222076			常勤	
D P		2,3		教員研究室	1228・1227	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 近年、算数・数学の学習指導要領に小学校・中学校で「データの活用」、高等学校で「データの分析」が含まれるなど、統計教育が強化されている。しかし、実際のデータの加工を手作業で行うには無理があり、これらの学んだ知識を活かしたデータの加工をするにはコンピューターを用いる必要がある。そこで、本科目では、一番手軽に利用できるデータ処理ソフトである MS-Excel を用いたデータの加工方法を解説する。 【学習の到達目標】 ・MS-Excel の数式や関数を効率的に使えるようにすること。 ・MS-Excel を用いた適切なグラフの作成力を身につけること。 【成績評価方法】 各授業で課す課題（40 点）、総合演習課題（30 点）、定期試験振替課題（30 点）で総合的に評価する。 ※遅刻は講義ごとに 1 点減点、20 分以上の遅刻は欠席扱いとする。 ※出席時間数が 3 分の 2 に達していない者の（5 回以上欠席した者の）成績評価は、履修放棄（F）とする。 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 コンピューターの操作を修得するには、数多くの例題で復習することが重要である。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・社会に出てから必要になる MS-Excel を用いたデータ分析の基礎を身につけることができる。 ・2 年次・後期の「データ解析」は、本科目で学んだことを前提に講義をする。 【実務家教員担当科目】 該当なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	河本 進・久保田茂裕	・ガイダンス	アカデミックスキルズ I で学んだ MS-Excel の基礎について復習すること。		4 時間	
2	河本 進・久保田茂裕	・MS-Excel 入門	教科書 2 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
3	河本 進・久保田茂裕	・ワークシートの活用（1） ・総合演習課題 1 配布	教科書 3 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
4	河本 進・久保田茂裕	・ワークシートの活用（2）	教科書 4 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
5	河本 進・久保田茂裕	・グラフの作成（1） ・総合演習課題 2 配布	教科書 5 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
6	河本 進・久保田茂裕	・グラフの作成（2）	教科書 6 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
7	河本 進・久保田茂裕	・ワークシートの活用（2） ・総合演習課題 3 配布	教科書 4 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
8	河本 進・久保田茂裕	・データ検索関数	教科書 8 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
9	河本 進・久保田茂裕	・データベース ・総合演習課題 4 配布	教科書 7 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
10	河本 進・久保田茂裕	・データベースと関数 ・Excel の応用	教科書 7・8 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
11	河本 進・久保田茂裕	・文字列関数 ・総合演習課題 5 配布	教科書 8 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
12	河本 進・久保田茂裕	・Excel と Word の連携	教科書 8 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
13	河本 進・久保田茂裕	・Excel と Word の連携 ・シート間の計算	教科書 8 章の演習問題で復習すること。		4 時間	
14	河本 進・久保田茂裕	・まとめ ・定期試験振替レポート課題配布	授業全体の内容を復習して、定期試験振替レポート課題に取り組むこと。		4 時間	
教 科 書		実教出版企画開発部編『30 時間でマスター Excel 2019』実教出版				
参 考 書		講義で指示をする。				
備 考		講義には、教科書を必ず持参すること。				

科 目 名		統計学		担 当 者	河本 進
科目ナンバリング		1080222079			常勤
D	P	2,3		教員研究室	1228
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 統計学は、調査や実験などから得られたデータの中に存在する法則性を科学的に分析、考察するための手法の一つであり、「政策基礎数理Ⅰ」では観測したデータを整理・要約する記述統計学の基礎を学修した。本科目では、時系列データの分析、変数間の関係をモデル化して予測を行う回帰分析、調査対象の一部分から抽出したデータから調査対象の特性を推測する推測統計学の基礎を解説する。また、実際の統計データを出来る限り例題に用いることで、統計データを活用する能力を高めることを目指す。					
【課題等のフィードバック方法】 授業毎に課す小テストは、次の授業で返却する。					
【履修上の注意・予習・復習について】 知識を積み上げていく講義なので、講義を理解するには「休まず出席すること」と「復習を欠かさないこと」が重要である。また、理解を深めるためには、基本的事項の計算を繰り返し行うことが必要不可欠である。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・本科目では、資格試験や統計検定・経済学検定などの検定試験で出題される「統計学」の導入部分の講義を行う。 ・2 年次・後期の「データ解析」は、本科目で学んだことを前提に講義をする。					
【実務家教員担当科目】 該当なし。					
統計学の基礎知識（用語）と基本的な考え方を身に付けること。					
【成績評価方法】 定期試験（50%）、小テスト（36%）、講義中に課す演習課題の取り組み状況（14%）で総合的に評価する。 ※第3 講から第14 講の講義で、前回までに学んだ内容を試験範囲にした小テストを行う。 ※出席時間数が3 分の2 に達していない者の（5 回以上欠席した者の）成績評価は、履修放棄（F）とする。					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	河本 進	ガイダンス、データの整理 (教科書 1・2 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
2	河本 進	算術平均と加重平均 (教科書 3・4 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
3	河本 進	時系列データの分析（1） (教科書 14・15 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
4	河本 進	時系列データの分析（2） (教科書 4・14・15 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
5	河本 進	時系列データの分析（3） (教科書 4・14・15 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
6	河本 進	散布度と相関係数 (教科書 5・6.2・7 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
7	河本 進	回帰分析（1） (教科書 9 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
8	河本 進	ジニ係数とローレンツ曲線 (教科書 6.1 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
9	河本 進	確率分布 (教科書 8.1 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
10	河本 進	区間推定 (教科書 8.2 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
11	河本 進	仮説検定（1） (教科書 8.3 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
12	河本 進	仮説検定（2） (教科書 8.3 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
13	河本 進	回帰分析（2） (教科書 10・11 章)	小テストの試験勉強をすること。	4 時間
14	河本 進	回帰分析（3） (教科書 12・13 章)	授業全体の内容を復習すること。	4 時間
教 科 書		景山三平（監修）「経済・経営系のための統計入門（事例でわかる統計シリーズ）」実教出版		
参 考 書		森棟公夫 他（著）「統計学」有斐閣 日本統計学会（編）「統計検定 3 級対応データの分析」東京図書 日本統計学会（編）「統計検定 2 級対応統計学基礎」東京図書		
備 考		第3 講から座席指定で講義をする。		

科 目 名		データ解析		担 当 者	○河本 進・久保田茂裕	
科目ナンバリング		1080222080			常勤	
D P		2,3		教員研究室	1228・1227	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 データを用いて社会問題を分析するには統計学や数学を駆使してデータを分析する必要がある。そのために「統計学」および「政策基礎数理」で分析手法の基礎を学修した。また、実際のデータを加工するにはコンピューターの力を使う必要がある。そのために「データ分析入門」で MS-Excel を用いたデータの加工方法の基礎を学修した。本科目では、これらの講義で学修したことを用いて、データを収集・加工・分析する方法を解説する。また、演習例題に公表されている統計データを用いることで、データを使いこなす能力を高めることを目指す。						
【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ・「統計学」と「データ分析入門」で学修した内容を前提にして講義をするので、「統計学」と「データ分析入門」をすでに履修しているのが望ましい。 ・コンピューターの操作を修得するには、数多くの例題で復習することが重要である。 ・自宅で課題に取り組むには、MS-Excel を利用できる PC が必要である。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 実務で必要なデータ処理の基礎を身につけることができる。						
【実務家教員担当科目】 担当者が民間のシンクタンクに勤務し、経済予測や市場調査をしていた経験を生かして、経済・社会の事象を捉えるためのデータのハンドリング方法と分析手法を解説する。						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	河本 進・久保田茂裕	ガイダンス	「データ分析入門」で学んだ MS-Excel の基礎について復習すること。		4 時間
2	河本 進・久保田茂裕	MS-Excel の基本操作 (教科書 3 講)	教科書でキーワードの予習をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
3	河本 進・久保田茂裕	時系列データの分析 (1)	参考書 14 章の予習 (「統計学」の復習) をすること。		4 時間
4	河本 進・久保田茂裕	時系列データの分析 (2) (教科書 6 講)	教科書でキーワードの予習をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
5	河本 進・久保田茂裕	度数分布表とヒストグラム (教科書 7 講)	教科書でキーワードの予習をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
6	河本 進・久保田茂裕	代表値と散布度 (教科書 8 講)	教科書でキーワードの予習をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
7	河本 進・久保田茂裕	総合指数と幾何平均 (教科書 10 講)	教科書でキーワードの予習をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
8	河本 進・久保田茂裕	相関と回帰分析	参考書 7 章と 9 章の予習 (「統計学」の復習) をすること。		4 時間
9	河本 進・久保田茂裕	データの並べ替え、抽出とジニ係数 (教科書 12 講)	教科書でキーワードの予習、参考書 6.1 章の予習 (「統計学」の復習) をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
10	河本 進・久保田茂裕	クロス集計 (教科書 13 講)	教科書でキーワードの予習をすること。 教科書の演習問題で復習すること。		4 時間
11	久保田茂裕・河本 進	実践課題 (1)	公的機関が公表している統計データを利用して、様々な分析を試みること。		4 時間
12	久保田茂裕・河本 進	実践課題 (2)	公的機関が公表している統計データを利用して、様々な分析を試みること。		4 時間
13	河本 進・久保田茂裕	実践課題 (3)	公的機関が公表している統計データを利用して、様々な分析を試みること。		4 時間
14	河本 進・久保田茂裕	・まとめ ・レポート課題	授業全体の内容を復習すること。		4 時間
教 科 書		櫻本健（編著）「経済系のための情報活用 1 Office2019 対応」実教出版			
参 考 書		景山三平（監修）「経済・経営系のための統計入門」実教出版（2 年前期「統計学」の教科書）			
備 考		講義には、教科書を必ず持参すること。			

科 目 名	家族法			担 当 者	田村 幸一
科目ナンバリング	1080232081				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 夫婦、親子間の家族関係や相続をめぐる法律関係について解説するとともに、社会問題となっている性同一性障害、生殖補助医療、夫婦別姓などの現代的な課題についても検討する。					
【学習の到達目標】 親族、相続に関する法律関係を体系的に理解し、身の回りに生起しうる家族の具体的問題についても法律的に整理して考える能力を養う。					
【成績評価方法】 期末試験（80%）、授業への取組（20%）					
【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け、回答する。					
【履修上の注意・予習・復習について】 初回の講義の際に、14 回分の講義全体のレジメを配布するので、それを利用して予習、復習を行う。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 社会生活の中で誰しもが直面する親族、相続の問題について、法律的に適切な対応ができる実践的な知識、考え方を修得できる。					
【実務家教員担当科目】 裁判官を 40 年務め、現役の弁護士である教員が、家裁関係も含めた豊富な実務経験を活かし、事例を織り交ぜながら講義を進める。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	田村 幸一	家族法概論・親族	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
2	田村 幸一	婚姻・離婚（1）	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
3	田村 幸一	婚姻・離婚（2）	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
4	田村 幸一	婚姻・離婚（3）	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
5	田村 幸一	婚姻外の男女関係	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
6	田村 幸一	実子	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
7	田村 幸一	養子	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
8	田村 幸一	親権	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
9	田村 幸一	後見・扶養	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
10	田村 幸一	相続人・相続分	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
11	田村 幸一	相続財産の範囲、相続の承認・放棄	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
12	田村 幸一	遺産分割	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
13	田村 幸一	遺言	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
14	田村 幸一	遺留分	レジメを利用して、予習、復習を行う。		4 時間
教 科 書		特に使用しない。			
参 考 書		最新の民法改正に対応した家族法の体系書			
備 考		「ポケット六法」（有斐閣）等の小型の六法を講義時に持参するのが望ましい。			

科 目 名		消費者法		担 当 者	秋山まゆみ
科目ナンバリング		1080232082			常勤
D	P	1,2		教員研究室	1121 研究室
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		単 位		選択 2 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人は社会生活を送るうえで、意識せずとも法律関係の中に組み込まれています。また、人々が自由かつ平等で安全に暮らすためには、単に自由に暮らすのではなく、安全・警察・公衆衛生・福祉・取引対等性などの様々な観点からの法律による介入が必要です。 本講義では、このように自由かつ平等で安全に暮らすための諸法律のうち、特に消費生活に関する法システムについて考察します。更に、事例を取り入れ、クラス全体で考えることにより、より深く理解できるような講義を目指します。		【課題等のフィードバック方法】 講義中にオンラインでミニッツペーパーを配り、疑問点を書いてもらったりミニテスト等に活用します。 次回以降の講義の中で回答・解説等を行います。			
【学習の到達目標】 ①消費者法の体系と基本知識を説明できる ②関連する条文について説明できる ③具体的な問題に役立つ能力を習得できる		【履修上の注意・予習・復習について】 法学概論、民法総則、契約法を履修していることが望ましい。 教科書の指定されたページを事前に読んで、予習しておいてください。			
【成績評価方法】 定期試験・レポート提出 60% 練習問題、ミニッツペーパー等の提出物で判断 40%		【受講して得られる効果・メリット、その他】 消費者法に関する基礎的知識が身に付きます。 法的紛争に巻き込まれた際に、自ら解決へと導くことができるような知識が身に付きます。 消費生活相談員資格試験、就職試験等で役立つ知識が修得できます。			
【実務家教員担当科目】 なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	秋山まゆみ	ガイダンス 消費者問題とは何か	①下記内容の予習・復習を行う 消費者問題の発生、消費者被害の現状と対策		4 時間
2	秋山まゆみ	消費者基本法	①下記内容の予習・復習を行う 消費者の権利、消費者政策の変遷		4 時間
3	秋山まゆみ	民法の射程と限界	①下記内容の予習・復習を行う 行為能力制度、錯誤・詐欺・脅迫、契約締結過程、契約内容の公正性		4 時間
4	秋山まゆみ	消費者契約法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 立法の背景、規制内容（1）		4 時間
5	秋山まゆみ	消費者契約法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 規制内容（2）、契約取消権		4 時間
6	秋山まゆみ	割賦販売法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 立法の背景、規制内容（1）		4 時間
7	秋山まゆみ	割賦販売法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 規制内容（2）、信用情報機関		4 時間
8	秋山まゆみ	安全性の確保・安全規制、概要	①下記内容の予習・復習を行う 消費者庁の設立		4 時間
9	秋山まゆみ	安全性の確保・安全規制、製造物責任法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 立法の背景、規制内容（1）		4 時間
10	秋山まゆみ	安全性の確保・安全規制、製造物責任法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 規制内容（2）		4 時間
11	秋山まゆみ	安全性の確保・安全規制、消費者安全法（1）	①下記内容の予習・復習を行う 立法の背景、規制内容（1）		4 時間
12	秋山まゆみ	安全性の確保・安全規制、消費者安全法（2）	①下記内容の予習・復習を行う 規制内容（2）		4 時間
13	秋山まゆみ	公正・自由な競争と消費者（1）	①下記内容の予習・復習を行う 公正・自由な競争秩序の意義、独占禁止法（1）		4 時間
14	秋山まゆみ	公正・自由な競争と消費者（2）	①下記内容の予習・復習を行う 独占禁止法（2）		4 時間
教 科 書		『新・消費者法これだけは』法律文化社			
参 考 書		六法全書を持ってくることが望ましい。			
備 考		なし			

科 目 名		会社法		担 当 者	関口 晃治	
科目ナンバリング		1080242083			常勤	
D	P	1,2		教員研究室	1225	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 □自主学習支援 □該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 世界中のビジネスの多くが会社によって行われていることを理解し、会社が権利や義務の主体となることを、法がどのように認めているかを解説する。具体的には、「会社」には元手となる資金や人手といった資源が必要になるが、これらの利害関係者の利害調整の方法を定めたルールである「会社法」の内容について解説する。				【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業の最後に提出するコメントシートに、授業内容などに関する問題の解答を書いてもらい、その内容を次回の授業で解説する。このコメントシートの作成については、周りの学生たちと話し合って作成することを推奨する。		
【学習の到達目標】 ・会社に関連した利害関係者の利害調整の方法を理解できるようになる。 ・授業内容とテキストを使用して各種国家試験等の問題が回答できるようなになる。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・教科書の内容に沿いながら、必要に応じて資料を配布し授業を進める。 ・授業中の私語や携帯電話の使用など、他の学生に迷惑な行為は厳禁とする。		
【成績評価方法】 定期試験 50% 小問題およびコメントシート 50%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 日々報道されている企業に関するニュースを、会社法の内容を通じて見るができるようになり、社会で起こっている出来事を知識に結びつけて理解できるようになる。また、将来の就職活動の際に、多くの学生が就職することになる企業が、どのような組織であるかを「会社法」を通じて理解することができるようになる。		
【実務家教員担当科目】 特になし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	関口 晃治	ガイダンス：会社とは何か	予習：授業内容をシラバスで確認しておく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
2	関口 晃治	設立：設立手続と責任	予習：第 2 章を読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
3	関口 晃治	株式①：株式の内容	予習：第 3 章Ⅰを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
4	関口 晃治	株式②：株式の譲渡と権利行使の方法および大きさの調整	予習：第 3 章ⅡおよびⅢを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
5	関口 晃治	機関①：株式会社の機関設計と株主総会	予習：第 4 章ⅠおよびⅡを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
6	関口 晃治	機関②：取締役と取締役会	予習：第 4 章Ⅲを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
7	関口 晃治	機関③：監査役等	予習：第 4 章Ⅳを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
8	関口 晃治	資金調達①：募集株式の発行等	予習：第 5 章Ⅰを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
9	関口 晃治	資金調達②：新株予約権	予習：第 5 章Ⅱを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
10	関口 晃治	資金調達③：社債	予習：第 5 章Ⅲを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
11	関口 晃治	計算：会計情報の記録・作成・開示と余剰金の分配	予習：第 6 章を読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
12	関口 晃治	組織再編①：組織再編の手法と株主の保護	予習：第 7 章ⅠおよびⅡを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
13	関口 晃治	組織再編②：組織再編の手法と債権者の保護	予習：第 7 章Ⅲを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
14	関口 晃治	組織再編③：違法な組織再編に対する救済方法	予習：第 7 章Ⅳを読んでおく 復習：授業内容を踏まえてテキストを読む			4 時間
教 科 書		伊藤武雄・笠原武朗・得津晶『会社法』（日本評論社、2021 年）ISBN：978-4-535-80686-3				
参 考 書		神作裕之・藤田友敬・加藤貴仁『会社法判例百選（第 4 版）』別冊ジュリスト 254 号（2021 年）				
備 考		特になし				

科 目 名		不動産法		担 当 者	田村 幸一	
科目ナンバリング		1080242084			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 前半は、民法による規律を中心に不動産に関わる基礎的な法体系を解説し、後半は、都市計画法、宅建業法、建築基準法等の特別法による規律を中心に不動産をめぐる実際の取引や活用、投資等についてその実情や問題点を検討する。						【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け、回答する。
【学習の到達目標】 不動産に関する法律関係を体系的に理解し、実社会における具体的な問題について法律的に整理して考える能力を養う。						【履修上の注意・予習・復習について】 初回講義の際に 14 回分の講義全体のレジメを配布するので、それを利用して予習、復習をする。
【成績評価方法】 定期試験（80%）、授業への取組（20%）						【受講して得られる効果・メリット、その他】 マイホームなどの身近な不動産に関する諸問題について、法律的な知識、考え方を身につけるとともに、就職に有利な宅地建物取引士等の資格の取得に役立つ知識も修得できる。
【実務家教員担当科目】 裁判官を 40 年間勤め、現役の弁護士である教員が、その実務経験を活かし、社会において実際に生じた事例を織り交ぜながら、講義を進める。						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	田村 幸一	不動産とは	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
2	田村 幸一	不動産登記制度	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
3	田村 幸一	不動産の所有権（1）	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
4	田村 幸一	不動産の所有権（2）	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
5	田村 幸一	不動産の使用収益権	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
6	田村 幸一	不動産の担保権	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
7	田村 幸一	土地に関する行政的規制	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
8	田村 幸一	建物に関する行政的規制	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
9	田村 幸一	不動産の評価	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
10	田村 幸一	不動産の取引実務（1）	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
11	田村 幸一	不動産の取引実務（2）	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
12	田村 幸一	マンションの法律関係	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
13	田村 幸一	住宅ローン	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
14	田村 幸一	不動産の活用・投資	レジメを利用して予習、復習をする。	4 時間
教 科 書		特に使用しない。		
参 考 書		「不動産法入門」秋山靖浩著（日本評論社）		
備 考		「ポケット六法」（有斐閣）等の小型の六法を講義時に持参するのが望ましい。		

科 目 名		行政法総論		担 当 者	淡路 智典	
科目ナンバリング		1080242085			常勤	
D P		1,2		教員研究室		1224
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		3 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 「行政法」の難しいところは、「民法」や「刑法」と違い、「行政法」という名前のついた法律がないことである。行政法とは学問の上の分類に過ぎず、各種の行政に関係する法律が「行政法」に分類されているだけである。この授業ではこのように独習に向かない行政法について、入門的な内容から、「誰が行政を担うのか」を規定した行政組織法、そして「行政主体は何を行うのか」を規定した行政作用法までなるべく体系的に伝える。項目ごとに理解度を確保するためのグループワークを数回、行う。						
【学習の到達目標】 行政法に関する基本的な概念を理解することにより、行政への興味・関心を持つようになること。						
【成績評価方法】 期末試験の点数に平常点を加味して決定する。 内訳：期末試験 80%、毎回の小テスト 20%						
【課題等のフィードバック方法】 授業の疑問点を Google classroom に書いてもらい、次回の授業の冒頭で回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 予習は特に要求しないが、わからなかった部分はスライドを確認し復習すること。 他の受講生の迷惑になることはしないこと。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 行政法の理解を深めることによって、現実の行政の問題点、改善点を発見できるようになることが期待される。						
【実務家教員担当科目】 該当しない。						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	淡路 智典	ガイダンス・行政法とは何か	講義内容の復習。	4 時間
2	淡路 智典	行政は誰が行うのかー行政組織法 1	行政組織について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
3	淡路 智典	行政は誰が行うのかー行政組織法 2	行政組織について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
4	淡路 智典	行政法の基礎理念 1ー法治主義	法治主義について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
5	淡路 智典	行政法の基礎理念 2ー法律の留保、法律の優位	法律の留保等について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
6	淡路 智典	行政法の基礎理念 3ー透明・公正な行政過程	行政過程について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
7	淡路 智典	行政法の基礎理念 4ー行政のコントロール、情報公開制度	情報公開制度等について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
8	淡路 智典	行政はどのように行われるのかー行政処分 1	行政処分について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
9	淡路 智典	行政はどのように行われるのかー行政処分 2	行政処分について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
10	淡路 智典	行政はどのように行われるのかー行政処分 3	行政処分について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
11	淡路 智典	行政はどのように行われるのかー行政処分 4	行政処分について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
12	淡路 智典	行政はどのように行われるのかー行政指導	行政指導について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
13	淡路 智典	行政はどのように行われるのかーその他の行政行為の行為形式	行政立法等について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
14	淡路 智典	行政の実効性確保	行政の実効性確保の手法について理解できた場所、できなかった場所を把握すること。	4 時間
教 科 書		使用しない。		
参 考 書		石川敏行他『はじめての行政法（第 5 版）』（有斐閣、2022 年） 芝池義一『行政法読本（第 4 版）』（有斐閣、2016 年） 藤田宙靖『行政法入門（第 7 版）』（有斐閣、2016 年）		
備 考		特になし。		

科 目 名		行政学		担 当 者	○王 元・淡路 智典	
科目ナンバリング		1080242086			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1324	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 行政の内容、組織などに関する標準的な理論、学説を説明し、具体的な問題に即して検討する。				【課題等のフィードバック方法】 授業の疑問点を出席・コメントカードに書いてもらい、次の授業の冒頭で回答する。		
【学習の到達目標】 行政に関する基本的な概念を理解し、具体的な行政の問題に興味関心を持てるようになること。				【履修上の注意・予習・復習について】 予習は特に要求しないが、わからなかった部分は配布レジュメを使い復習すること。 他の受講生の迷惑になることはしないこと。		
【成績評価方法】 定期試験（50%）、課題提出や、授業での発言・質問など（50%）。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 行政に対する理解を深めることによって、現実の行政の問題点、改善点を発見できるようにことが期待される。		
				【実務家教員担当科目】 該当なし		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	王 元	ガイダンス・行政とは何か	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
2	王 元	行政学とは何か	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
3	王 元	行政サービスの範囲	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
4	王 元	行政サービスの範囲 2	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
5	王 元	政治と行政 1	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
6	王 元	政治と行政 2	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
7	王 元	政官関係	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
8	王 元	中央と地方	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
9	王 元	官僚制と民主制	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
10	王 元	公務員制度	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
11	王 元	政策形成と政策立案	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
12	王 元	中央省庁	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
13	王 元	行政改革	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
14	王 元	まとめ	レジュメを用いて、授業で理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。			4 時間
教 科 書		使用せずに毎回レジュメを配布する。				
参 考 書		西尾勝『行政学（新版）』有斐閣、2001 年 曾我謙悟『行政学』有斐閣、2013 年				
備 考		特になし。				

科 目 名	労働法			担 当 者	上林 佑
科目ナンバリング	1080242087				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 事例等も取り上げながら、労働法の基礎知識を解説する。				【課題等のフィードバック方法】 出席カードに講義に関する質問があれば記載して提出してもらう。 次回以降の講義で、質問部分について、講義の補足をする。	
【学習の到達目標】 労働法の全体像を理解するとともに、労働法の基礎知識を修得し、労働問題に関する法的素養を身につけること。				【履修上の注意・予習・復習について】 私語や携帯電話の使用といった他の受講者に迷惑をかけ、授業の進行に支障を来す行為を厳禁する。授業後の復習（授業で説明した箇所について参考書を読むなど）が望ましい。	
【成績評価方法】 期末試験（100%）				【受講して得られる効果・メリット、その他】 今後、社会に出て他者を雇う立場であっても、他者に雇われて働く立場であっても労働法の知識は必要不可欠である。労働法の基礎知識を修得することにより、労働を取り巻く法的問題に対処し得るようになる。	
				【実務家教員担当科目】 現役弁護士として、労働事件を手掛けていることから、実務的な観点での講義も織り交ぜる。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	上林 佑	ガイダンス・労働法の全体像	講義で配布したレジメの復習		4 時間
2	上林 佑	労働契約の成立	講義で配布したレジメの復習		4 時間
3	上林 佑	労働条件の決定	講義で配布したレジメの復習		4 時間
4	上林 佑	人事	講義で配布したレジメの復習		4 時間
5	上林 佑	賃金	講義で配布したレジメの復習		4 時間
6	上林 佑	労働時間・休憩・休日	講義で配布したレジメの復習		4 時間
7	上林 佑	休暇・休業	講義で配布したレジメの復習		4 時間
8	上林 佑	安全衛生・労働災害	講義で配布したレジメの復習		4 時間
9	上林 佑	労働契約の終了	講義で配布したレジメの復習		4 時間
10	上林 佑	非典型雇用	講義で配布したレジメの復習		4 時間
11	上林 佑	労働組合・不当労働行為	講義で配布したレジメの復習		4 時間
12	上林 佑	団体交渉・労働協約	講義で配布したレジメの復習		4 時間
13	上林 佑	団体行動	講義で配布したレジメの復習		4 時間
14	上林 佑	労働紛争の解決手段	講義で配布したレジメの復習		4 時間
教 科 書		ポケット六法もしくはコンパクト六法			
参 考 書		小畑史子、緒方桂子、竹内（奥野）寿 「労働法」（有斐閣ストゥディア）			
備 考		小型のもので構わないので、六法（コンパクト六法等）を持参していただきたい。			

科 目 名		知的財産権法		担 当 者	関口 晃治	
科目ナンバリング		1080242088			常勤	
D	P	1,2		教員研究室	1225	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 知的財産とは「財産的価値を有する情報」という特徴を持っている。情報は利用することにより消費されることがないことから、メリットとデメリットがある。このような特徴を考慮しつつ、知的財産の創作者に対して一定期間の独占権を与えるものを知的財産法と呼ぶ。この授業では、著作権法と特許法を中心に解説する。 【学習の到達目標】 ・知的財産に関する諸法を理解し、そのそれぞれについての役割を理解できるようになる。 ・授業内容とテキストを使用して各種国家試験等の問題が回答できるようなになる。 【成績評価方法】 定期試験 50% コメントシート 50% 【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業の最後に提出するコメントシートに、授業内容などに関する問題の解答を書いてもらい、その内容を次回の授業で解説する。このコメントシートの作成については、周りの学生たちと話し合って作成することを推奨する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・教科書の内容に沿いながら、必要に応じて資料を配布し授業を進める。 ・授業中の私語や携帯電話の使用など、他の学生に迷惑な行為は厳禁とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 毎日何気なく利用しているものや、読んでいる本、または、見ている映像などが知的財産として法の保護にあることを意識することができるようになる。このことによって、身の回りのあるとあらゆるものが知的財産関連法で保護されていることを知ることができる。知的財産の知識を有する者は、迂闊に他者の権利を侵害しないで済む。 【実務家教員担当科目】 特になし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	関口 晃治	ガイダンス：法によって守られる権利について。	(予習) シラバスで授業内容を確認する。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む		4 時間	
2	関口 晃治	知的財産とは：知的財産権に関する法律と活用事例	(予習) テキスト第 1 章を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
3	関口 晃治	著作権法①：著作権法の目的と諸策者の権利	(予習) 第 2 章 1 から 6 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
4	関口 晃治	著作権法②：著作権の保護とその制限	(予習) 第 2 章 7 および第 3 章 8 から 12 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
5	関口 晃治	著作権法③：権利侵害	(予習) 第 3 章 13 から 16 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
6	関口 晃治	著作権法④：判例解説	(予習) 第 2 章と第 3 章を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストと判例を読む。		4 時間	
7	関口 晃治	特許法①：特許法の目的と保護対象	(予習) 第 4 章 1 から 3 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
8	関口 晃治	特許法②：職務発明制度と異議の申立て	(予習) 第 4 章 4 および第 5 章 5 から 11 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
9	関口 晃治	特許法③：特許権の侵害とその判例	(予習) 第 5 章 12 から 14 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストと判例を読む。		4 時間	
10	関口 晃治	意匠法：意匠法の内容とその目的	(予習) 第 6 章を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
11	関口 晃治	商標法①：商標法の内容とその目的	(予習) 第 7 章 1 から 5 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
12	関口 晃治	商標法②：商標権侵害とその判例	(予習) 第 7 章 6 と 7 を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストと判例を読む。		4 時間	
13	関口 晃治	不正競争防止法：不正競争防止法の内容とその目的	(予習) 第 8 章を読んでおく。 (復習) 授業内容を踏まえてテキストを読む。		4 時間	
14	関口 晃治	問題演習：知的財産管理技能検定問題演習	(予習) これまでの授業内容を復習しておく。 (復習) 授業で解いた問題を改めてテキストを参照しながら解いてみる。		4 時間	
教 科 書		中川勝吾『知的財産入門（第 3 版）』（一般社団法人発明推進協会、2022 年）ISBN978-4-8271-1370-9				
参 考 書		小泉直樹・田村善之・駒田泰士・上野達弘「著作権判例百選（第 6 版）」別冊ジュリスト 242 号（2019 年）				
備 考		特になし				

科 目 名		行政救済法		担 当 者	淡路 智典	
科目ナンバリング		1080242089			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1224	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 行政組織法、行政作用法を扱った行政法総論に続いて、「行政によって侵害された権利・利益をどのように救済するのか」を規定した行政救済法を扱う。項目ごとに理解度を確認するためのグループワークを数回、行う。						
【課題等のフィードバック方法】 授業の疑問点を Google classroom に書いてもらい、次回の授業の冒頭で回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 予習は特に要求しないが、わからなかった部分は授業のスライドを使い復習すること。 他の受講生の迷惑になることはしないこと。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 行政法の理解を深めることによって、現実の行政の問題点、改善点を発見できるようにことが期待される。						
【実務家教員担当科目】 該当しない。						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	淡路 智典	行政救済とは何か	行政救済の基本事項について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
2	淡路 智典	行政事件訴訟法―訴訟類型（その 1）	訴訟類型について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
3	淡路 智典	行政事件訴訟法―訴訟類型（その 2）	訴訟類型について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
4	淡路 智典	訴訟要件の問題	訴訟要件について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
5	淡路 智典	執行停止の問題	執行停止について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
6	淡路 智典	行政上の不服申し立て制度の意義	行政不服申し立てについて理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
7	淡路 智典	行政不服審査法（その 1）	行政不服審査について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
8	淡路 智典	行政不服審査法（その 2）	行政不服審査について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
9	淡路 智典	行政審判（その 1）	行政審判について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
10	淡路 智典	行政審判（その 2）	行政審判について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
11	淡路 智典	国家賠償制度の意義と概要	国家賠償制度について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
12	淡路 智典	国家賠償法第 1 条	公権力行使責任について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
13	淡路 智典	国家賠償法第 2 条	営造物管理責任について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
14	淡路 智典	その他の被害補填制度	被害補填制度について理解できた場所、理解できなかった場所を把握しておくこと。	4 時間
教 科 書		使用しない。		
参 考 書		石川敏行他『はじめての行政法（第 5 版）』（有斐閣、2022 年） 芝池義一『行政法読本（第 4 版）』（有斐閣、2016 年） 藤田宙靖『行政法入門（第 7 版）』（有斐閣、2016 年）		
備 考		特になし。		

科 目 名		地域行政論		担 当 者	石川 享行	
科目ナンバリング		1080242090			非常勤	
D P		1,2		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 講師は、現役の地方自治体職員であり、リアルな地域行政の中で日々業務に取り組んでいます。その経験を事例として提供することで、地域行政の目的と課題を学生が自らのことと認識し、関連する情報、知識を積極的に収集し、さらには、それらを統合、考察し、よりよい地域行政とは何かについて考えていく力を身に着けます。				【課題等のフィードバック方法】 レポートについて、適宜、質疑応答を実施し、フィードバックを行います。		
【学習の到達目標】 地域行政の現状について認識し、問題意識を持つことで、地域行政全体の現状と課題を認識し、必要な情報を収集し、課題解決方法について考えることができることを目指します。				【履修上の注意・予習・復習について】 日々のニュースや新聞記事の中から、地域の自治体に関するものに目を通す習慣を身に着けることが望ましいと考えます。		
【成績評価方法】 ミニレポート：テーマは学習の進捗状況により、その都度示します。また、グループワークでの発言内容等と合わせて、総合的に評価します。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 日常生活の中で身近に感じつつも、その実態がつかみにくい地域行政に対する知識が増すことで、興味をもって地域社会と関わるできるようになります。また、将来、地方行政職員として働くことを目指す学生にとっては、その役割を実感する機会となるものと思います。		
				【実務家教員担当科目】 講師自身が地方行政の実践者であり、その経験を事例として提供します。また、地域行政や地域活動、ボランティアに携わっている実践者から、それぞれの現状について説明を受ける場合もあります。		

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	石川 享行	地方行政の現状について①	必要に応じて指示をします。	4 時間
2	石川 享行	地方行政の現状について②	必要に応じて指示をします。	4 時間
3	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
4	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
5	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
6	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
7	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
8	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
9	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
10	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
11	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
12	石川 享行	事例研究	必要に応じて指示をします。	4 時間
13	石川 享行	事例研究ふりかえり	必要に応じて指示をします。	4 時間
14	石川 享行	事例研究まとめ	必要に応じて指示をします。	4 時間
教 科 書		特にありません。進捗状況により指示をする場合もあります。		
参 考 書		特にありません。進捗状況により指示をする場合もあります。		
備 考		特にありません。		

科 目 名	経営組織論			担 当 者	佐藤 千洋
科目ナンバリング	1080232091				常勤
D P	1,2			教員研究室	1221
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本科目では、経営組織論の主要な概念や理論、また事例研究を通じて、組織の実態について学ぶ。具体的には、モチベーションやリーダーシップなどの内部組織のマネジメント、企業戦略やイノベーションなどの外部環境のマネジメントについて、基本的な知識を習得することを狙いとする。 ※授業時には、事例に関するグループワークなど適宜行う。 【学習の到達目標】 1. 経営組織論に関する基礎的な内容について、専門用語や概念を理解することができる。/2. 実際の組織を構成する個人の行動について、組織論の概念や理論で説明することができる。 【成績評価方法】 授業毎の課題 40%、期末テスト 60% で総合的に評価する。 【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に、質問を受けつける。 【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻はしないこと。毎回の授業に関する内容をノートなどにまとめること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 経営組織論の基礎を蓄積しておくことで、将来、就職する場合でも、起業する場合でも役立つ内容となっている。 【実務家教員担当科目】 東証プライム上場メーカーでの技術、事業戦略などの実務経験、国立大学での産学連携大型プロジェクトの管理運営および調査分析などの実務経験を有する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	佐藤 千洋	オリエンテーション	予習：翌週分の教科書に目を通しておくこと。 復習：資料および講義ノートを用いて復習し、要点をまとめておくこと。		4 時間
2	佐藤 千洋	組織論の目的	同上		4 時間
3	佐藤 千洋	組織における分業と調整	同上		4 時間
4	佐藤 千洋	組織を動かすメカニズム①官僚制組織	同上		4 時間
5	佐藤 千洋	組織を動かすメカニズム②科学的管理法	同上		4 時間
6	佐藤 千洋	組織を動かすメカニズム③人間関係論	同上		4 時間
7	佐藤 千洋	前半のふり返り	同上		4 時間
8	佐藤 千洋	組織の構造	同上		4 時間
9	佐藤 千洋	リーダーシップの行動論	同上		4 時間
10	佐藤 千洋	モチベーション理論	同上		4 時間
11	佐藤 千洋	組織文化のマネジメント	同上		4 時間
12	佐藤 千洋	より良い意思決定	同上		4 時間
13	佐藤 千洋	組織における環境	同上		4 時間
14	佐藤 千洋	期末テストと解説	同上		4 時間
教 科 書	鈴木竜太著（2022）『経営組織論』東洋経済新報社、2,200 円 + 税（購入要）ISBN 978-4492502952				
参 考 書	授業中に紹介				
備 考	なし				

科 目 名	経営史			担 当 者	三石 誠司
科目ナンバリング	1080232092				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 19 世紀以降の欧米と日本企業の経営を中心に、担当教員の経験に基づく実例を交え、教科書に沿って講義を行う。必要に応じて学生との質疑応答などを実施する。				【課題等のフィードバック方法】 Google Classroom におけるコメントや質問に対する回答を中心に、毎回の講義でフィードバックを実施する。	
【学習の到達目標】 19 ～ 20 世紀の経営史全体の流れを把握し、重要な用語を適切に用いて概要を説明できること。				【履修上の注意・予習・復習について】 シラバスの該当章を予習として読み、授業に参加すること。また、終了後はノートなどに整理すること。決して、聞くだけにしない。ノートを取る。	
【成績評価方法】 毎回の授業への貢献度及び期末試験あるいは最終レポートによる。授業への貢献度は（毎回の授業内容に関する質問・コメント、なお質問は翌週の授業でレビューを兼ねて回答し、理解の共有を図る）30%、期末テストあるいはレポートは 70% で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 19 世紀以降の経営史の全体像について、基礎的な知識を習得できる。	
				【実務家教員担当科目】 担当教員は実務家教員である。22 年間にわたり JA 全農において穀物貿易や経営計画の立案、海外現地法人の経営に従事しており、教科書の内容についてもそれらの経験を踏まえた説明を行う。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	三石 誠司	はじめに・19 世紀のビジネス	第 1 ～ 2 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
2	三石 誠司	近代産業と金融・サービス	第 3 ～ 4 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
3	三石 誠司	大量生産方式の登場	第 5 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
4	三石 誠司	垂直統合と組織（20 世紀）	第 6 ～ 7 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
5	三石 誠司	欧米の現代企業	第 8 ～ 9 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
6	三石 誠司	欧州企業の組織と日本企業	第 10 ～ 11 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
7	三石 誠司	日本の企業と財閥	第 12 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
8	三石 誠司	米国大企業と新産業（20 世紀）	第 13 ～ 14 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
9	三石 誠司	欧州の企業金融	第 15 ～ 16 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
10	三石 誠司	中小企業と日本の大企業	第 17 ～ 18 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
11	三石 誠司	日本のビジネスと競争	第 19 ～ 20 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
12	三石 誠司	日本の企業間競争と市場	第 21 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
13	三石 誠司	経営者企業の動揺と米国企業の復活	第 22 ～ 23 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
14	三石 誠司	金融・サービスと産業地域の復活	第 24 ～ 25 章を読み、まとめる。復習は当該回の授業を 1 頁にまとめる。		4 時間
教 科 書	鈴木良隆・大東英祐・武田晴人『ビジネスの歴史』、有斐閣アルマ				
参 考 書	教科書各章末に指定されている参考文献を関心に応じて参照して下さい。				
備 考	基本は教科書に沿った講義型授業です。19 世紀以降、現代に至るビジネスの歴史の概要を学びたい人に適しています。				

科 目 名		現代のマーケティング			担 当 者	鄭 舜玉
科目ナンバリング		1080232093				常勤
D P		1,2			教員研究室	1226
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 企業の新たなイノベーションやビジネスモデルなどを取り上げながら、企業のマーケティング戦略や理論などを包括的に捉え、現代のマーケティング・マネジメントを学習する。 【学習の到達目標】 ①企業活動・消費者行動についての知識・理解を身につける。 ②自らマーケティングに関するデータや情報を収集することができる。 ③マーケティング関連の具体的な事例分析および実態調査を行うことができる。 ④マーケティング知識に基づいた考え方やものの見方、課題発見・企画ができる。 【成績評価方法】 期末試験（70%）、中間小テスト（15%）、課題発表（15%） 【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に、質問を受け付け回答する。 中間小テストの結果は、次の授業内で回答・解説する。 課題発表の成果については、授業内でコメントをするなどフィードバックをする。 【履修上の注意・予習・復習について】 「マーケティング論」を履修しておくことが望ましい。 「受身の授業」ではなく「双方向型の授業」を行なうため、講義中の問いかけに対する応答や発言など、積極性を重視する。授業中の私語はもちろんスマートフォンの使用、パワーポイントスライドの撮影を厳禁する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 マーケティングに基づく思考力は、洞察力・問題解決力・企画力に結び付くとともに、殆どのビジネス分野で必要とされるため、進路選択や仕事に活用できる。 【実務家教員担当科目】 飲食および語学ビジネスのオーナー経営など、起業の経験を有する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	鄭 舜玉	ガイダンス（講義概要および成績評価基準の説明）	シラバスを熟読すること、初回の授業で教員に聞きたい事柄を整理しておくこと			4 時間
2	鄭 舜玉	マーケティングとマーケティング戦略の関係、メーカーと小売業のマーケティング戦略の違い	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
3	鄭 舜玉	ブランド・マネジメント、ブランドエクイティ、ブランドポートフォリオ戦略	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
4	鄭 舜玉	サービス・マーケティング① ：定義など基本的概念とケーススタディ	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
5	鄭 舜玉	サービス・マーケティング② ：サービスの経験価値、サービス・リカバリー	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
6	鄭 舜玉	関係性マーケティング	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
7	鄭 舜玉	アドボカシーマーケティング	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
8	鄭 舜玉	中間小テスト、ケーススタディ	小テストに備え、第 2 回～7 回までの授業内容を徹底的に復習しておくこと			4 時間
9	鄭 舜玉	コーズマーケティング、レコメデーション・マーケティング、マーケティング・コンシェルジュ・システム	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
10	鄭 舜玉	価値創造と Storytelling ① ：定義など基本概念	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
11	鄭 舜玉	価値創造と Storytelling ② ：観光と Storytelling	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
12	鄭 舜玉	課題発表 ：企業マーケティングの成功事例と失敗事例分析	学んだ理論に基づき、企業のマーケティングの成功・失敗事例を分析し、プレゼンテーションを準備する			4 時間
13	鄭 舜玉	課題発表 ：企業マーケティングの成功事例と失敗事例分析	学んだ理論に基づき、企業のマーケティングの成功・失敗事例を分析し、プレゼンテーションを準備する			4 時間
14	鄭 舜玉	グローバル・マーケティング ：標準化戦略と現地化戦略、ケーススタディ	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
教 科 書		篠原淳、鄭 舜玉他『マーケティング概論』学文社、2023 年。				
参 考 書		コトラー & ケラー『マーケティング・マネジメント基本編』第 3 版。 神原理『サービス・マーケティング概論』ミネルヴァ書房、2019 年。				
備 考		毎日、新聞やニュースを見て、日常的に経済活動や企業のマーケティング関連ニュースに関心を持つこと。				

科 目 名		流通政策		担 当 者	矢口 義教	
科目ナンバリング		1080232094			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 政府の経済政策の一環としての流通政策について見ていく。とくに、現在の小売や流通体系の形成における政策の役割に焦点を当てる。 【学習の到達目標】 企業活動（ミクロ）に与える政府の政策（マクロ）の与える影響や、身近な流通業における政策の役割を理解する。 【成績評価方法】 授業中の小レポート（30%）、授業中の演習（10%）、期末レポート（60%）で評価する。						【課題等のフィードバック方法】 小レポートや演習については、希望に基づいて点数を公表し、コメントも付与していく。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の私語や居眠りなど、不誠実な行為に対しては注意を行う。受講態度が改善しない場合には、単位修得の権利を失うこともある。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 皆さんの将来のキャリア選択において、有効な指針を得られる。 【実務家教員担当科目】 該当なし
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	矢口 義教	オリエンテーション	予習：流通政策をイメージする。 復習：履修上の注意を確認する。			4 時間
2	矢口 義教	そもそも政策とは何か	予習：様々な政策を調べる。 復習：政策の意味を再考する。			4 時間
3	矢口 義教	政策における経済政策と流通政策	予習：経済政策をイメージする。 復習：経済政策における流通政策の意義を調べる。			4 時間
4	矢口 義教	流通政策の体系	予習：流通政策をイメージする。 復習：流通政策の内訳を分析・整理する。			4 時間
5	矢口 義教	流通政策の歴史（1）戦後～1970 年代	予習：戦後から 1970 年代までの日本の経済的背景を調べてくる。 復習：同年代の歴史をまとめる。			4 時間
6	矢口 義教	流通政策の歴史（2）1980～2000 年代	予習：1980 年代から 2000 年代までの日本の経済的背景を調べてくる。 復習：同年代の歴史をまとめる。			4 時間
7	矢口 義教	商業環境関連法：不正競争防止法	予習：不正競争の意味について考えてくる。 復習：不正競争防止法についてレポートをまとめる。			4 時間
8	矢口 義教	商業行動関連法：製品・価格関連法	予習：製品や価格に関する法制を調べてくる。 復習：製品・価格関連法についてレポートをまとめる。			4 時間
9	矢口 義教	商業機関関連法（1）大店法	予習：大店法について調べてくる。 復習：大店法についてレポートをまとめる。			4 時間
10	矢口 義教	商業機関関連法（2）市街地域活性化法	予習：市街地域活性化法について調べてくる。 復習：市街地域活性化法についてレポートをまとめる。			4 時間
11	矢口 義教	商業機関関連法（3）バイイングパワー	予習：バイイングパワーについて調べてくる。 復習：バイイングパワーについてレポートをまとめる。			4 時間
12	矢口 義教	商業機関関連法（4）流通系列化政策	予習：流通系列化政策について調べてくる。 復習：流通系列化政策についてレポートをまとめる。			4 時間
13	矢口 義教	海外の流通政策の概要	予習：海外の流通政策について調べてくる。 復習：海外の流通政策についてレポートをまとめる。			4 時間
14	矢口 義教	全体のまとめ	予習：授業の全体像をまとめる。 復習：期末テストについてまとめる。			4 時間
教 科 書		使用しない。				
参 考 書		篠原一壽（2016）『商業政策論序説』税務経理協会				
備 考		とくに無し。				

科 目 名		金融論		担 当 者	大塚 芳宏
科目ナンバリング		1080232095			非常勤
D	P	1,2		教員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 お金は、経済の実体面の動きと綿密な関係を持ち、相互に影響を及ぼしながら、私たちの生活と一体となって重要な役割を演じている。こうしたお金の流れを含む金融の知識を習得することは、生活を送る上で必要不可欠であるが、極めて複雑で、多義にわたっている。この授業では、できるだけ平易に、金融を中心として経済全般の状況や動向を講義していく。 【学習の到達目標】 生活を送る上で必要な金融の知識や新聞テレビ等で報じられる金融に関する分析能力を身に付け、社会に出た後、その動向に適切に対応できることを目標とする。 【成績評価方法】 各回で実施する課題（100%） 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け、回答する。また、メールでの問い合わせについても随時対応する。連絡先および方法については、初回講義で連絡する。 【履修上の注意・予習・復習について】 私語は周囲の学生の迷惑になるため、慎むこと。復習を欠かさないこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 私たちの生活に密接に関係する経済・金融の動向が理解でき、必要に応じて、適切な対応ができるようになる。 【実務家教員担当科目】 該当なし。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	大塚 芳宏	講義概要・金融システム（1）	予習：テキスト第1章 1.1-1.2 を読む 復習：テキストを入手し、講義内容を復習する		4 時間
2	大塚 芳宏	金融システム（2）	予習：テキスト第1章 1.3-1.6 を読む 復習：関心のある金融機関の HP を調べ、どのような活動をしているか確認する。		4 時間
3	大塚 芳宏	金融システム（3）	予習：テキスト第1章 1.7-1.10 を読む 復習：TOPIX のチャートを入手し、動きから経済情勢を調べる。		4 時間
4	大塚 芳宏	貨幣（1）	予習：テキスト第2章 2.1-2.2 を読む 復習：マネーストックの定義を確認する。		4 時間
5	大塚 芳宏	貨幣（2）	予習：テキスト第2章 2.3-2.4 を読む 復習：CPI を入手し、その動きから現在の物価情勢を確認する。		4 時間
6	大塚 芳宏	企業の資金調達	予習：テキスト第3章を読む 復習：自分の身近にある情報の非対称問題について考える。		4 時間
7	大塚 芳宏	銀行の役割と課題	予習：テキスト第4章を読む 復習：身近な銀行を調べ、財務状況を確認する。		4 時間
8	大塚 芳宏	金融規制	予習：テキスト第5章を読む 復習：身近な銀行を調べ、自己資本比率を確認する。		4 時間
9	大塚 芳宏	金融市場（1）：利子率	予習：テキスト第6章 復習：国債の発行状況を調べ、財務省のシミュレーターを操作してみる。		4 時間
10	大塚 芳宏	金融市場（2）：株価（1）	予習：テキスト第7章 7.1-7.3 を読む 復習：関心あるテーマでポートフォリオを構築してみる。		4 時間
11	大塚 芳宏	金融市場（2）：株価（2）	予習：テキスト第7章 7.4-7.7 を読む 復習：近年の M&A の事例を調べる。		4 時間
12	大塚 芳宏	金融市場（3）：為替レート	予習：テキスト第8章 復習：ドル円レートの時系列チャートを入手し、その動きから最近の経済状況を考える。		4 時間
13	大塚 芳宏	金融政策（1）：貨幣市場の需要と供給	予習：テキスト第9章を読む 復習：貨幣供給のデータを入手し、近年の動向を調べる。		4 時間
14	大塚 芳宏	金融政策（2）：金融政策	予習：テキスト第10章を読む 復習：非伝統的金融政策とは何かを調べる。		4 時間
教 科 書		細野薫・石原秀彦・渡部和孝共著 「グラフィック 金融論（第2版）」新世社、2019 年 ISBN：978-4-88384-289-6			
参 考 書		内田浩史「金融」、有斐閣、2016 年			
備 考		なし			

科 目 名		財政学		担 当 者	坂本 直樹	
科目ナンバリング		1080232096			非常勤	
D P		1,2		教員研究室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 財政とは、政府の経済活動に伴う資金の出入りのことをいう。政府は、私たちから徴収した税金や、公債という、いわば「借金」からも資金を調達している。この資金を使って、社会保障や公共投資などの様々な政策が行われているのである。財政学は、こうした政府の経済活動を対象にした経済学の1つの分野である。このうち、この講義では、わが国の財政の現状や財政の役割について説明した上で、租税や公債といった歳入に関する財政理論を解説する。 【学習の到達目標】 最新のデータをもとに、わが国の財政の現状に関する確かな理解を得る。市場経済における財政の役割を理解する。租税原則を理解する。公債が経済に及ぼす効果を長期的視野で理解する。 【成績評価方法】 授業全体で小テストを 20 問出題し（授業 1 回あたり 1、2 問）、1 問あたり 5 点を配点して 100 点により成績を評価する。合格点（60 点）に満たない場合は、10 点満点のレポート課題の提出を認め、小テストとレポートを合算した得点を成績とするが、この場合、成績の上限を 60 点とする。 【課題等のフィードバック方法】 課題として小テストを実施したのち、解説を付けた採点結果を配付する。さらに、それに基づくディスカッションを行う。なお、小テストの提示、解答入力、採点、解説の提示はすべてオンラインにより双方向で行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 静かな教室環境を保つため、私語をする学生には退室を求める。配付する資料を活用して予習と復習を十分に行うこと。授業に先立って、参考書に挙げた財務省のホームページにアクセスするなどして、わが国の財政問題への関心を深めておくことが望ましい。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 わが国の財政の現状を知ることができる。租税や国債といった歳入に関する財政理論を学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	坂本 直樹	応用経済学としての財政学	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
2	坂本 直樹	日本財政の現状と課題（歳入と歳出の構造）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
3	坂本 直樹	日本財政の現状と課題（財政赤字の累積とその要因）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
4	坂本 直樹	日本財政の現状と課題（財政健全化とその経済的影響）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
5	坂本 直樹	財政の役割（市場の失敗）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
6	坂本 直樹	財政の役割（財政の機能）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
7	坂本 直樹	公債の理論（財政収支と基礎的財政収支）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
8	坂本 直樹	公債の理論（財政の持続可能性）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
9	坂本 直樹	公債の理論（公債負担論）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
10	坂本 直樹	公債の理論（公債の中立命題）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
11	坂本 直樹	租税の理論（租税原則）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
12	坂本 直樹	租税の理論（消費税）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
13	坂本 直樹	租税の理論（死荷重損失と課税の中立性）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
14	坂本 直樹	租税の理論（所得税）	事前に配布する資料を読んで授業に臨み、授業後、よく復習して小テストに取り組む。		4 時間	
教 科 書		使用しない。資料を配付する。				
参 考 書		日本の財政を考える（財務省ウェブサイト） https://www.mof.go.jp/zaisei/index.htm				
備 考		経済学関連の科目をあわせて履修することが望ましい。				

科 目 名		国際経済学		担 当 者	伊鹿倉正司	
科目ナンバリング		1080242097			非常勤	
D	P	1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 外国為替相場は、家計の視点からは物価や資産運用、海外旅行、企業の視点からは貿易や海外生産ネットワークの構築、資金調達手段や企業買収など、政府の視点からは、為替相場選択や貿易政策など、あらゆる経済主体の行動に影響を大きな与えている。本講義の前半部分では、外国為替市場の仕組みといくつかの外国為替相場について学ぶ。後半部分では、長期・中期・短期の視点から外国為替相場の変動要因について学ぶ。 【学習の到達目標】 ・外国為替市場と外国為替相場に関する基本的知識を身につける。 ・様々な視点から将来の外国為替相場を自分なりに説明・予想できるようになる。 【成績評価方法】 成績評価は、課題（100 点）によって総合的に評価する。 課題レポートについては 14 回の講義ごとに課し、その内容は講義内容の復習問題である。 【課題等のフィードバック方法】 今回の講義の中で課題の解説を行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 特になし 【受講して得られる効果・メリット、その他】 過去・現在・将来といった時間軸に基づいて物事を深く考察できるようになる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	伊鹿倉正司	講義ガイダンス、外国為替市場の基本的な仕組み、世界の外国為替市場の特徴	国際決済銀行（BIS）のホームページにある「Triennial Central Bank Survey 2022」を入手し、世界の外国為替取引の実態を概観しておく。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
2	伊鹿倉正司	外国為替市場の主要参加者（銀行、仲介業者、顧客）の外国為替取引行動	外国為替市場の主要参加者に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
3	伊鹿倉正司	外国為替市場の主要参加者（中央銀行）の為替取引行動	外国為替市場の主要参加者に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
4	伊鹿倉正司	外国為替相場の表し方（直接相場方式と間接相場方式）、銀行間相場、対顧客相場	銀行間市場・対顧客市場・直物相場・先物相場に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
5	伊鹿倉正司	直物相場、先物相場	直物相場と先物相場、企業の為替リスクの管理手法に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
6	伊鹿倉正司	企業の為替リスクの管理手法	企業の為替リスクの管理手法と通貨オプションに関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
7	伊鹿倉正司	通貨オプション	通貨オプションに関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
8	伊鹿倉正司	絶対的購買力平価、相対的購買力平価	絶対的購買力平価と相対的購買力平価に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
9	伊鹿倉正司	バラッサ＝サミュエルソンの定理	バラッサ＝サミュエルソンの定理とカバーなし金利平価に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
10	伊鹿倉正司	カバーなし金利平価（金利裁定取引の解説）	カバーなし金利平価とカバー付き金利平価に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
11	伊鹿倉正司	カバーなし金利平価（金利平価式の導出）、カバー付き金利平価	カバーなし金利平価とカバー付き金利平価に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
12	伊鹿倉正司	伸縮価格マネタリーモデル、硬直価格マネタリーモデル	伸縮価格マネタリーモデルと硬直価格マネタリーモデルに関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
13	伊鹿倉正司	効率的市場仮説、ニュースの理論	効率的市場仮説とニュースの理論に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
14	伊鹿倉正司	行動経済学からみた外国為替取引の特徴	行動経済学に関する予習に取り組む。課題を通じて復習に取り組む。		4 時間	
教 科 書		指定しない				
参 考 書		指定しない				
備 考		特になし				

科 目 名	地域経済論			担 当 者	奥山 忠裕
科目ナンバリング	1080242098				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 地域経済の基盤である産業とその担い手に焦点を当てて、地域の経済発展の基礎と論理について考察します。				【課題等のフィードバック方法】 講義中に課題等の回答のヒントを示唆する。	
【学習の到達目標】 地域や経済、まちの成立に関わる要件を理解し今後の地域の発展について考えることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 6 回以上の欠席が確認された場合は履修放棄とみなす場合がある。	
【成績評価方法】 講義中の課題、最終テストによる評価（状況によってはレポートに変更する）。なお講義中に若干のグループワークを行ってもらう可能性がある。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域の発展の理論を学ぶことでまちづくりの基礎を習得し実務的な活動の基盤とすることができる。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	奥山 忠裕	地域経済学の課題	予習：地域経済とは何かについて調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
2	奥山 忠裕	日本の地域構造、地域経済と所得形成	予習：日本の所得分布について調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
3	奥山 忠裕	地域の成長と地域間格差	予習：地域間格差とは何かについて調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
4	奥山 忠裕	産業の立地と都市の成立	予習：産業の種類について調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
5	奥山 忠裕	都市システム	予習：都市の人口について調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
6	奥山 忠裕	土地利用、土地問題と土地政策	予習：土地問題の事例について調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
7	奥山 忠裕	住宅市場と住宅政策、都市交通と環境	予習：空き家および住宅の密集問題について調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
8	奥山 忠裕	地域政策と都市政策	予習：市町村のホームページをみて政策例を調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
9	奥山 忠裕	地域における文化資源の役割(1)	予習：文化資源とは何かを調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
10	奥山 忠裕	地域における文化資源の役割(2)	予習：文化財で有名な観光地を調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
11	奥山 忠裕	資源問題に関わる制度	予習：環境省のホームページをみて日本の資源問題について調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
12	奥山 忠裕	リサイクルシステムの検討	予習：企業のホームページをみてリサイクルシステムについて調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
13	奥山 忠裕	地域におけるエネルギー利用とシステム	予習：日本のエネルギー需要と供給について経済産業省のホームページから調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
14	奥山 忠裕	自然災害と地域防災	予習：都道府県の防災対策を調べる。 復習：講義中に提示されたお題を行う。		4 時間
教 科 書		講義中に指示する。			
参 考 書		山田浩之、徳岡一幸「地域経済学入門第3版」、有斐閣、2018			
備 考		講義内容は学生の習熟度に合わせて変わる可能性がある。			

科 目 名	中小企業論			担 当 者	姉菌 一紀
科目ナンバリング	1080242099				非常勤
D P	1,2			教員研究室	非常勤講師室
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 この科目では中小企業の経営について、ビジネスモデルの側面から学ぶ。特に顧客と、企業体が提供する価値について重点的に学び、それを収益化するための方法について、ビジネスモデル・キャンパスをベースに学んでいく。					
【学習の到達目標】 自分自身で基本的なビジネスモデルを分析・構築できるようになる事を目標とする。授業の最終回ではビジネスモデル・キャンパスの作成に取り組み、モデルのプレゼンテーションを行う。					
【成績評価方法】 授業ごとの課題で 50%、期末の試験で 50% の評定とする。					
【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に質問を受け付けるほか、ac@aneha.jp へのメールでの質問も受け付ける。					
【履修上の注意・予習・復習について】 「Google Classroom」と大学で付与したメールのアカウント（・・@cc.tbgu.ac.jp の形式）による出欠確認および課題提出を行うこと。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ビジネスモデルの基礎について学ぶ事により、就職時、また就職後の企業理解につながる。結果として就職が容易になるだけでなく、就職後の業務理解に役立つ。企業を志す場合にも役に立つ。					
【実務家教員担当科目】 通信販売による小売業経営も行う、現役の民間コンサルタントが授業を担当する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	姉菌 一紀	ガイダンス。本講義の進め方とビジネスモデルの基本について説明。	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
2	姉菌 一紀	顧客セグメント	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
3	姉菌 一紀	価値提案	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
4	姉菌 一紀	好きな事をビジネスにする	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
5	姉菌 一紀	顧客との関係性	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
6	姉菌 一紀	顧客とのチャネル	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
7	姉菌 一紀	主要活動	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
8	姉菌 一紀	パートナー	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
9	姉菌 一紀	リソース	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
10	姉菌 一紀	ビジネスモデルの構築	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
11	姉菌 一紀	収益の流れ	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
12	姉菌 一紀	コスト構造	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
13	姉菌 一紀	収益モデルの構築	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
14	姉菌 一紀	ビジネスモデルキャンパスの書き出し	講義内容に基づく課題があります。		4 時間
教 科 書		指定なし			
参 考 書		ビジネスモデル・ジェネレーション アレックス・オスターワルダール（著）、イヴ・ピニユール（著）、小山龍介（翻訳） 翔泳社刊 ISBN：9784798122977			
備 考		特になし			

科 目 名	ロジスティック論			担 当 者	田邊 文彦
科目ナンバリング	10802420100				常勤
D P	1,2			教員研究室	1222
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 夏期集中講義 7/30、7/31、8/1 の 3 日間 対面授業 他の時期が重なる集中講義と同時履修不可 内容は、価値ある商品を市場に送り出す EC（エレクトリック・コマース）によるマーケティングプランを、インタビュー調査を行いながら策定し、ピッチと呼ばれるプレゼンテーションを実施する授業です。 取り上げる商品は、シェア 1-2 位の商品や誰でも知っている有名商品はあえて取り上げません。ニッチ（すき間）商品を、本気で全国レベルにしたいと思う学生に向いている授業です。 【学習の到達目標】 1. アントレプレナーシップ（起業家意識）を持てる／2. 課題に対してできない言い訳をするのではなく結果を出すことに集中できる／3. 自己主張に必ず相応の理由・根拠を示すことができる 【成績評価方法】 集中全 3 日間でビジネスプランを作成し発表する、ワークシートの作成 50%、ビジネスプランの作成 30%、発表（ピッチ）20%					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	田邊 文彦	イントロダクションアイスブレイクとグループ分け	パソコンを使って、検索し、ワークシートを埋める作業		4 時間
2	田邊 文彦	経営課題を解決するロジスティック	同上		4 時間
3	田邊 文彦	EC（エレクトリック・コマース）の定義と基礎	同上		4 時間
4	田邊 文彦	EC 起業の基礎	同上		4 時間
5	田邊 文彦	EC 起業の具体的商品提案	同上		4 時間
6	田邊 文彦	製品の価格計画の設定	同上		4 時間
7	田邊 文彦	販売数量計画の設定	同上		4 時間
8	田邊 文彦	売上計画の設定	同上		4 時間
9	田邊 文彦	仮説検証の設定	同上		4 時間
10	田邊 文彦	販路計画の設定	同上		4 時間
11	田邊 文彦	EC マーケティングプランの作成 1	同上		4 時間
12	田邊 文彦	EC マーケティングプランの作成 2	同上		4 時間
13	田邊 文彦	EC マーケティングプランの作成 3	同上		4 時間
14	田邊 文彦	EC マーケティングプランの発表	同上		4 時間
教 科 書	なし。授業中に Google Spread Sheet で配布				
参 考 書	授業中に紹介				
備 考	夏期集中講義 7/30、7/31、8/1 の 3 日間 他の時期が重なる集中講義と同時履修不可				

科 目 名		消費者行動入門			担 当 者	鄭 舜玉
科目ナンバリング		10802420101				常勤
D	P	1,2			教員研究室	1226
学科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 企業が自信を持って提供した製品やサービスが消費者に受け入れられないことはよくあることである。なぜならば、消費者の購買行動はとても複雑なものであり、様々な要因に影響され、また他の消費者にも影響を与えるからである。本講義では、消費者が何を感じ、何を考え、何を選択するのか、消費者行動プロセスを明らかにする。そのため、消費者行動を基礎から学び理解した上で、様々な事例に当てはめて学習する。						
【課題等のフィードバック方法】 毎回の講義終了後に質問を受け付け回答する。 中間小テストの結果は、次回の授業内で回答・解説する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 1、2 年次に「マーケティング論」「現代のマーケティング」を履修しておくことが望ましい。本講義は「受身の授業」ではなく「双方向型授業」を目指すため、講義中の問いかけに対する応答や発言など、積極性を重視する。また、毎回授業の始めには前回講義の重要ポイントを復習するため、講義内容は必ず復習しておく。 授業中の私語はもちろんスマートフォンの使用やパワーポイントスライドの撮影を厳禁する。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 消費者の行動や心理を理解できることで、消費者の立場で考えることができる。したがって、消費者の満足度を高められる商品企画やプロモーション企画に役に立つ。						
【実務家教員担当科目】 食および語学ビジネスのオーナー経営など、起業の経験を有する。 また、多数の市場調査および消費者行動調査の経験を有する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	鄭 舜玉	ガイダンス：授業の概要、目的および授業の進め方について	シラバスを熟読することと、初回の授業で教員に聞きたい事柄を整理しておくこと			4 時間
2	鄭 舜玉	消費者行動研究の意義・発展	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
3	鄭 舜玉	消費者行動のアプローチ① ：経済学的アプローチ、社会的アプローチ	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
4	鄭 舜玉	消費者行動のアプローチ② ：心理的アプローチ、文化的アプローチ	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
5	鄭 舜玉	消費者行動の基本プロセス：消費者意思決定プロセス、AIDA、AIDMA、AISAS、SIPS モデル	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
6	鄭 舜玉	消費者行動の内的要因：個人的要因、心理的要因	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
7	鄭 舜玉	消費者行動の外的要因：文化的要因、社会的要因	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
8	鄭 舜玉	中間小テスト、ケーススタディ	小テストに備え、第 2 回～7 回までの授業内容を徹底的に復習しておくこと			4 時間
9	鄭 舜玉	消費者関与度	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
10	鄭 舜玉	消費者行動満足の概念：価値と価格	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
11	鄭 舜玉	消費者行動とマーケティング	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
12	鄭 舜玉	消費者行動とブランド	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
13	鄭 舜玉	消費者行動とプロモーション	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
14	鄭 舜玉	消費者の意識変化と消費動向	シラバスで提示した授業内容のキーワードの意味をテキストや参考文献を活用しながら調べておくことと、学んだ内容はその日のうちに整理しておくこと			4 時間
教 科 書		篠原淳、鄭 舜玉他『マーケティング概論』学文社、2023 年。				
参 考 書		松江宏編著『現代消費者行動論』創成社、2009 年。 平久保伸人『消費者行動論』ダイヤモンド社、2005 年。				
備 考		毎日、新聞やニュースを見て、日常的に経済活動や企業のマーケティング関連ニュースに関心を持つこと。				

科 目 名		起業論		担 当 者	姉 歯 一 紀	
科目ナンバリング		10802420102			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 この科目ではゼロから事業を興し、世の中に価値を提供する方法の基礎について学ぶ。題材として、稼げることや世の中のに役に立つ事ではなく自分自身が好きなこと、得意な事を取り上げ、受講者自身が楽しみながら起業について学べる講義を行う。 【学習の到達目標】 学問的なアントレプレナーシップ論より、実践的に起業を目指す知識と技術を身につけ、会社組織の中でも高い付加価値を発揮できるようになる事を目標とする。 【成績評価方法】 授業ごとの課題で 50%、期末のレポート試験で 50% の評定とする。 【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に質問を受け付けるほか、ac@aneha.jp へのメールでの質問も受け付ける。 【履修上の注意・予習・復習について】 「Google Classroom」と大学で付与したメールのアカウント（・・・@cc.tbgu.ac.jp の形式）による出欠確認および課題提出を行うこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 自分自身の能力を世の中の人たちの欲求に応じて活用し、課題解決のために使う方法を身につけられる。このため企業でも付加価値の高い人材として重宝されるようになる。 【実務家教員担当科目】 通信販売による小売業経営も行う、現役の民間コンサルタントが授業を担当する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	姉 歯 一 紀	イントロダクション。本授業の進め方と、全体像について説明。	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
2	姉 歯 一 紀	販売の重要性と、基本的な販売戦略	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
3	姉 歯 一 紀	顧客の注意を引きつけるキャッチコピー	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
4	姉 歯 一 紀	起業初期の課題とチャンス	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
5	姉 歯 一 紀	1 億～10 億の企業を作るイノベーション	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
6	姉 歯 一 紀	ビジネススピードの重要性と販売の準備	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
7	姉 歯 一 紀	販売後に商品を改善する	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
8	姉 歯 一 紀	マーケティングの狙いを定める	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
9	姉 歯 一 紀	成長期で経営者が直面する課題とチャンス	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
10	姉 歯 一 紀	事業を 10 億以上に成長させるために必要なこと	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
11	姉 歯 一 紀	大企業トップとしての仕事と人材の確保	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
12	姉 歯 一 紀	大企業の組織運営	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
13	姉 歯 一 紀	大企業の課題とチャンス	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
14	姉 歯 一 紀	成熟企業の機会と自社への投資	講義内容に基づく課題を出す事があります。			4 時間
教 科 書		特になし				
参 考 書		参考書大富豪の起業術 著者：マイケル・マスターソン（小川忠洋監訳） 出版者：ダイレクト出版株式会社 ISBN978-4-04-105675-2				
備 考		特になし				

科 目 名	国際経営論			担 当 者	三石 誠司
科目ナンバリング	10802420103				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 グローバル化が進展する現代の国際社会における経営の様々な側面について、担当教員の経験に基づく実例を交え、教科書に沿った形で基礎的な講義を行う。				【課題等のフィードバック方法】 出席確認と合わせ、Google Classroom でのコメントや質問を受け、次の講義の冒頭で振り返りを兼ねてフィードバックを実施する。	
【学習の到達目標】 国際経営の様々な側面を理解するとともに、今後の日本企業の海外展開について様々な観点から考察ができること。				【履修上の注意・予習・復習について】 シラバスの該当章を予習として読み授業に参加し、教科書にない項目は参考書などで事前に調べてから参加すること。	
【成績評価方法】 毎回の授業への貢献度および期末テスト（場合によってはレポート）による。テスト 70%、授業への貢献度 30% で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 国際経営の全体像について基礎的な知識を習得できる。	
				【実務家教員担当科目】 担当教員は、22 年間にわたり穀物輸出入・海外現地法人経営などに従事している。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	三石 誠司	国際経営とは	第 1 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
2	三石 誠司	国際経営戦略	第 2 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
3	三石 誠司	国際マーケティング	第 3 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
4	三石 誠司	海外生産	第 4 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
5	三石 誠司	技術移転と海外研究開発	第 5 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
6	三石 誠司	国際取引の基本	予習は別途指示します。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
7	三石 誠司	国際経営マネジメント	第 6 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
8	三石 誠司	多国籍企業と M&A	予習は別途指示します。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
9	三石 誠司	多国籍企業の知識・技術	予習は別途指示します。 復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
10	三石 誠司	北米・欧州の中の日本企業	第 7 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
11	三石 誠司	アジアの中の日本企業	第 8 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
12	三石 誠司	新興国市場と日本企業	第 9 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
13	三石 誠司	サービス企業の海外進出	第 11 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
14	三石 誠司	国際経営の新展開	第 11 章を読み、まとめる。復習は該当回の内容を 1 頁にまとめてみる。		4 時間
教 科 書		吉原秀樹『国際経営』（第 5 版）、有斐閣アルマ			
参 考 書		原田順子・洞口治夫『新訂 国際経営』			
備 考		国際経営に限らず、企業経営の全体像を掴みたい方にも適しています。じっくりと教科書を読むことで、確実に読解力と理解力が習得できます。			

科 目 名	経営情報論			担 当 者	姉 菌 一 紀
科目ナンバリング	10802420104				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 この科目では企業の中で日々発生する情報を活用し、経営の分析する方法について学ぶ。その分析の中で経営課題の設定を行い、解決のための施策を検討する能力についても身につけていく。また、顧客からの情報を整理するためのテキストマイニングの基礎についても演習を行う。					
【学習の到達目標】 企業の中で扱われている情報の種類と、その情報の持つ意味を理解し、背景にある課題やチャンスを発見できるようになる事を目標とする。					
【成績評価方法】 授業ごとの課題で 50%、期末のレポート試験で 50% の評定とする。					
【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業終了後に質問を受け付けるほか、ac@aneha.jp へのメールでの質問も受け付ける。					
【履修上の注意・予習・復習について】 「Google Classroom」と大学で付与したメールのアカウント（・・・@cc.tbgu.ac.jp の形式）による出欠確認および課題提出を行うこと。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 会社運営の中で日々発生する情報から価値を生み出し、企業の業績改善に役立てられる能力が身につくため、企業の中でも重宝される人材となる。					
【実務家教員担当科目】 通信販売による小売業経営も行う、現役の民間コンサルタントが授業を担当する。					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	姉菌 一紀	イントロダクション。本授業の進め方と、全体像について説明。	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
2	姉菌 一紀	企業の中の情報システム	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
3	姉菌 一紀	企業の情報活用の実態	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
4	姉菌 一紀	売上の公式を経営に生かす	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
5	姉菌 一紀	利益を出すための収益計算式	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
6	姉菌 一紀	「売上」よりも「顧客」に着目した情報処理	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
7	姉菌 一紀	マーケティングリサーチ	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
8	姉菌 一紀	マーケティングリサーチ演習	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
9	姉菌 一紀	情報処理ツールとしてのエクセル	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
10	姉菌 一紀	エクセルで行う顧客管理	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
11	姉菌 一紀	エクセルで行う顧客管理演習	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
12	姉菌 一紀	テキスト情報のデータ化と分析	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
13	姉菌 一紀	テキストマイニングの基礎	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
14	姉菌 一紀	テキストマイニング演習	講義内容に基づく課題を出す事があります。	4 時間
教 科 書		授業中にスライドで提示		
参 考 書		特になし		
備 考		特になし		

科 目 名		地方財政論		担 当 者	貝山 道博	
科目ナンバリング		10802420105			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 経済学的観点から日本の地方財政の現状と問題点及び解決策について学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 計 5 回のレポートを提出してもらう。その都度コメントを添えてレポートを返却する。		
【学習の到達目標】 日本の地方財政の現状を冷静な目で見つめ、諸問題の解決策を自分で構想できるようになる。				【履修上の注意・予習・復習について】 毎回出席をとる。無断欠席をしないこと。		
【成績評価方法】 定期試験（筆記試験）50 点、レポート（計 5 回）25 点、小テスト（計 2 回）10 点、毎回の授業での提出物 15 点の合計 100 点満点。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地方財政についての経済学的理解ができるようになる。地方公務員を目指す学生には必須科目である。		
				【実務家教員担当科目】 該当しない。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	貝山 道博	地方財政とは	「地方財政とは」の復習・「地方財政の単位と国との関係」の予習			4 時間
2	貝山 道博	地方財政の単位と国との関係	「地方財政の単位と国との関係」の復習・「地方政府の会計制度と予算編成」の予習			4 時間
3	貝山 道博	地方政府の会計制度と予算編成	「地方政府の会計制度と予算編成」の復習・「財政の 3 機能から見た地方と国の役割分担」の予習			4 時間
4	貝山 道博	財政の 3 機能から見た地方と国の役割分担	「財政の 3 機能から見た地方と国の役割分担」の復習・「地方の役割とオーツの地方分権化定理」の予習			4 時間
5	貝山 道博	地方の役割とオーツの地方分権化定理	「地方の役割とオーツの地方分権化定理」の復習・「地方公共財のスピルオーバー効果と国の役割」の予習			4 時間
6	貝山 道博	地方公共財のスピルオーバー効果と国の役割	「地方公共財のスピルオーバー効果と国の役割」の復習・「地方財政白書を読む 1- 地方財政の役割」の予習			4 時間
7	貝山 道博	地方財政白書を読む 1- 地方財政の役割	「地方財政白書を読む 1- 地方財政の役割」の復習・「地方財政白書を読む 2- 歳入・歳出の概況」の予習			4 時間
8	貝山 道博	地方財政白書を読む 2- 歳入・歳出の概況	「地方財政白書を読む 2- 歳入・歳出の概況」の復習・「地方財政白書を読む 3- 財政構造分析と将来の財政負担問題」の予習			4 時間
9	貝山 道博	地方財政白書を読む 3- 財政構造分析と将来の財政負担問題	「地方財政白書を読む 3- 財政構造分析と将来の財政負担問題」の復習・「地方財政白書を読む 4- 地方財源の状況と税収の地域間格差問題」の予習			4 時間
10	貝山 道博	地方財政白書を読む 4- 地方財源の状況と税収の地域間格差問題	「地方財政白書を読む 4- 地方財源の状況と税収の地域間格差問題」の復習・「地方財政白書を読む 5- 地方経費の内容」の予習			4 時間
11	貝山 道博	地方財政白書を読む 5- 地方経費の内容	「地方財政白書を読む 5- 地方経費の内容」の復習・「地方財政白書を読む 6- 地方経費の構造（義務的経費・投資的経費・その他の経費）」の予習			4 時間
12	貝山 道博	地方財政白書を読む 6- 地方経費の構造（義務的経費・投資的経費・その他の経費）	「地方財政白書を読む 6- 地方経費の構造（義務的経費・投資的経費・その他の経費）」の復習・「事例研究 1：夕張市の財政破綻と再建策」の予習			4 時間
13	貝山 道博	事例研究 1：夕張市の財政破綻と再建策	「事例研究 1：夕張市の財政破綻と再建策」の復習・「事例研究 2：ふるさと納税と新たな税収格差問題」の予習			4 時間
14	貝山 道博	事例研究 2：ふるさと納税と新たな税収格差問題	「事例研究 2：ふるさと納税と新たな税収格差問題」の復習			4 時間
教 科 書		使用しない。プリントを配布する。				
参 考 書		総務省『地方財政の状況』（令和 2 年 3 月）				
備 考		すでに財政学を履修していることが参加の必須条件である。自分が関係する地方自治体に関心がある学生、まじめな態度で授業に取り組む学生の参加を望む。				

科 目 名		財務会計 I		担 当 者	日下 儀雄	
科目ナンバリング		10802320106			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 会計学は、企業の経済活動を認識・測定するための学問をいう。これには、大きく財務会計と管理会計の領域がある。本講義では、前者の知識の習得を目指す。具体的には、貸借対照表や損益計算書の仕組みとともに、これを支える理論について学んでいく。 【学習の到達目標】 財務会計の基本的な知識を得ることによって、決算書の基本的な仕組みを理解する。 【成績評価方法】 課題提出及び確認試験並びに期末試験から、学則および試験規則に従い、総合的に評価します 期末試験 50%+ 授業時の確認試験 50% 【課題等のフィードバック方法】 課題等実施の際、解答のポイントおよび出題意図を説明する。 【履修上の注意・予習・復習について】 特になし 【受講して得られる効果・メリット、その他】 決算書の仕組みを理解できる。 【実務家教員担当科目】 該当無						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	広原 雄二	会計学の領域	授業を受講するまでに授業内容を、シラバス等を使って確認しておく。		4 時間	
2	広原 雄二	財務会計の概要	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
3	広原 雄二	発生主義会計の概念	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
4	広原 雄二	取得原価主義会計の概念	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
5	広原 雄二	会計基準	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
6	広原 雄二	貸借対照表の仕組み	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
7	広原 雄二	資産の会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
8	広原 雄二	負債の会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
9	広原 雄二	純資産の会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
10	広原 雄二	損益計算書の仕組み	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
11	広原 雄二	収益・費用の会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
12	広原 雄二	キャッシュ・フロー計算書の仕組み	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
13	広原 雄二	財務諸表の概要	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
14	広原 雄二	まとめ	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。		4 時間	
教 科 書		授業開始時に指示する。				
参 考 書		特になし				
備 考		特になし				

科 目 名		財務会計Ⅱ		担 当 者	広原 雄二	
科目ナンバリング		10802320107			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1323	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 会計学は、企業の経済活動を認識・測定するための学問をいう。これには、大きく財務会計と管理会計の領域がある。本講義では、前者の知識の習得を目指す。具体的には、貸借対照表や損益計算書の仕組みとともに、これを支える理論について学んでいく。				【課題等のフィードバック方法】 課題等実施の際、解答のポイントおよび出題意図を説明する。		
【学習の到達目標】 財務会計の基本的な知識を得ることによって、決算書の基本的な仕組みを理解する。				【履修上の注意・予習・復習について】 特になし		
【成績評価方法】 課題提出及び確認試験並びに期末試験から、学則および試験規則に従い、総合的に評価します 期末試験 50%+ 授業時の確認試験 50%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 決算書の仕組みを理解できる。		
【実務家教員担当科目】 該当無						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	広原 雄二	有形固定資産	授業を受講するまでに授業内容を、シラバス等を使って確認しておく。			4 時間
2	広原 雄二	減損会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
3	広原 雄二	無形固定資産	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
4	広原 雄二	繰延資産	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
5	広原 雄二	負債	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
6	広原 雄二	引当金	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
7	広原 雄二	資本	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
8	広原 雄二	組織再編会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
9	広原 雄二	収益の認識方法	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
10	広原 雄二	費用の認識方法	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
11	広原 雄二	連結会計の意義	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
12	広原 雄二	連結会計の作成	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
13	広原 雄二	税務会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
14	広原 雄二	まとめ	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、教科書やノートを使って復習しておく。			4 時間
教 科 書		授業開始時に指示する。				
参 考 書		特になし				
備 考		特になし				

科 目 名		管理会計		担 当 者	日下 儀雄	
科目ナンバリング		10802420108			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本講義では、まず管理会計の習得に際して必要な基本的な用語や考え方を学ぶ。それとともに、ここでは管理会計を経営管理機能の側面から体系化されるものとして位置づけ、業績管理会計と意思決定会計の側面から各項目の理解を深める。						
【課題等のフィードバック方法】 課題等実施の際、解答のポイントおよび出題意図を説明する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 特になし						
【学習の到達目標】 管理会計の基本的な概要を理解して、企業の経営管理の仕組みを理解する。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 経営戦略の実行手段である管理会計による経営管理の仕組みを理解できる。						
【成績評価方法】 課題提出及び確認試験並びに期末試験から、学則および試験規則に従い、総合的に評価します 期末試験 50%+ 授業時の確認試験 50%						
【実務家教員担当科目】 該当無						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	広原 雄二	管理会計概説	授業を受講するまでにシラバス等で授業内容を確認しておく。		4 時間	
2	広原 雄二	管理会計の原価と利益の概念	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
3	広原 雄二	利益計画と予算管理	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
4	広原 雄二	原価管理と標準原価計算	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
5	広原 雄二	短期利益計画と原価計算	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
6	広原 雄二	CVP 分析	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
7	広原 雄二	業務執行の意思決定と管理会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
8	広原 雄二	戦略的意思決定と管理会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
9	広原 雄二	財務諸表分析と管理会計	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
10	広原 雄二	戦略管理会計とライフサイクル・コストینگ	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
11	広原 雄二	戦略管理会計と原価企画	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
12	広原 雄二	戦略管理会計と ABC/ABM	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
13	広原 雄二	戦略管理会計と品質原価計算	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
14	広原 雄二	管理会計の今後の展開	毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。		4 時間	
教 科 書		特になし。				
参 考 書		特になし。				
備 考		特になし				

科 目 名		国際関係論		担 当 者	生田目学文
科目ナンバリング		10802320109			非常勤
D	P	1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 国際関係論の入門として、第一に、近現代の歴史を概観します。第二に、基本的な諸理論を理解し、現実の国際社会に照らし合わせて分析します。第三に、自衛隊の成り立ちからその変遷を通じて日本の世界における位置付けと役割について考察します。					
【課題等のフィードバック方法】 課題については、授業中あるいはその前後にフィードバックをします。					
【履修上の注意・予習・復習について】 映像資料を多用しますが、戦争のやや残酷と思われるシーンも含まれますので、配慮が必要な人は前もってお知らせください。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 複雑な国際関係はどのような構造になっているのかを理解し、現在の国際関係は今後どうあるべきか自分の考えを持つことができるようになります。自衛隊の歴史や役割の変遷について学ぶことを通じて、日本を取り巻く国際問題について具体的な理解を深めることができます。					
【実務家教員担当科目】 なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	生田目学文	序説：授業内容の説明と講義の進め方、評価方法の確認などを行います。	予習：シラバスの内容を確認しておこう。 復習：次回から定期試験への講義の流れを理解し、これから何を学修できるのか確認しよう。		4 時間
2	生田目学文	国際関係とは：国際関係の基本的な事項について学びます。	予習：自分が関心を持つ国や国際関係について考えておこう。 復習：狭義と広義の「国際」について誰かに説明してみよう。		4 時間
3	生田目学文	国際化とグローバル化：似て非なる二つの概念について理解します。	予習：国際関係はいつから始まったのか、考えてみよう。 復習：グローバル化の定義と国際化との違いについて誰かに説明してみよう。		4 時間
4	生田目学文	国際関係史（1）ウェストファリア体制：ウェストファリア体制成立による近代国際政治について理解します。	予習：20 世紀の世界大戦はなぜ起きたのか、考えてみよう。 復習：「ウェストファリア体制」と国家主権の 3 要素について誰かに説明してみよう。		4 時間
5	生田目学文	国際関係史（2）第一次世界大戦：19 世紀から世界大戦に至る国際関係の動きについて理解します。	予習：第一次世界大戦後の世界はどうなったのか、調べてみよう。 復習：第一次世界大戦に至る歴史について説明できるようにしよう。		4 時間
6	生田目学文	国際関係史（3）第二次世界大戦：史上最大の戦争について理解します。	予習：原子爆弾の効果について調べてみよう。 復習：第二次世界大戦に至る歴史について説明できるようにしよう。		4 時間
7	生田目学文	核兵器と国際関係（1）：核兵器が冷戦期国際関係に及ぼした影響について考えます。	予習：「核による平和」という言葉について考えてみよう。 復習：核兵器が戦後世界にどのような影響をもたらしたか誰かに説明してみよう。		4 時間
8	生田目学文	核兵器と国際関係（2）：核抑止論について学びます。	予習：「汝平和を欲さば、戦への備えをせよ」という警句について考えておこう。 復習：核抑止論の是非を誰かと議論してみよう。		4 時間
9	生田目学文	国際関係学理論：基本的な国際関係学理論について学びます。	予習：自衛隊誕生の経緯について調べてみよう。 復習：現実主義と自由主義の論点を整理しておこう。		4 時間
10	生田目学文	自衛隊（1）：自衛隊創設の背景について学びます。	予習：自衛隊の海外派遣の歴史について調べてみよう。 復習：自衛隊誕生の経緯について誰かに説明してみよう。		4 時間
11	生田目学文	自衛隊（2）：冷戦期から終結後の役割の変化について学びます。	予習：安全保障関連法について調べてみよう。 復習：自衛隊の海外派遣とその役割の変化について誰かに説明してみよう。		4 時間
12	生田目学文	自衛隊（3）：現在の状況と安全保障関連法下での今後の姿について考えます。	予習：岸田政権の安保 3 文書について調べてみよう。 復習：自衛隊のさらなる変化について誰かに説明してみよう。		4 時間
13	生田目学文	日本の国際関係：日米の安全保障を軸とした国際関係について総合的に考えます。	予習：これまでの講義内容をまとめ、期末試験に備えよう。 復習：今後日本がどのような役割を世界で果たすことになるのか、誰かと話し合ってみよう。		4 時間
14	生田目学文	まとめ：これまでの講義内容についてまとめ、今後の国際関係の展望を考察します。	復習：これまで学んだ講義内容と試験内容について誰かに説明してみよう。		4 時間
教 科 書		なし			
参 考 書		生田目学文「第 8 章 戦後日本における安全保障政策とアイデンティティ」長谷川雄一編『日本外交のアイデンティティ』南窓社 2004 年 242-279 頁 ウォルター・ラフィーバー著『日米の衝突』彩流社 2017 年			
備 考		なし			

科 目 名	持続的農業論			担 当 者	栉川 信弘
科目ナンバリング	10802320110				非常勤
D P	1,3			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科 (専攻)	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 1 年次に学んだ「環境論入門」をふまえたうえで、持続的な農林業に関する諸事例を対象として、それらの持続性を生み出す要因を分析的に認識し、その認識に基づいて近未来に登場するであろう持続的な農林業を展望する。				【課題等のフィードバック方法】 講義中の質疑応答によって受講生の理解度を判断し、理解が十分ではないと考えられる場合には適切な補足説明を行う。	
【学習の到達目標】 地球環境問題の深刻化や新たな国家 / 民族主義の台頭などの与件の下で、衰退産業の一つと見なされる農業部門において健全な経営を運営するために必要とされる政治経済的発想法およびマネジメント能力を修得する。				【履修上の注意・予習・復習について】 本講義の成績評価の対象となる group work および presentation、さらに follow-up では、事前に教科書を理解していることが求められる。すなわち、教科書を精読し、その記載内容を理解することが本講義で単位を取得するための前提条件となる。	
【成績評価方法】 group work に基づく presentation を 50%、それに関する follow-up を 50% という得点配分で成績を評価する。なお、プレゼン資料の作成には Google Slide を使用する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 人間の生命および自然環境の保全に不可欠な農業本来のあり方を理解するとともに、持続性を担保しうる農業経営の具体的な未来形を展望しうる。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	栉川 信弘	ガイダンス	講義目的および全過程に関する説明		4 時間
2	栉川 信弘	地域自給網の構築①	「開かれた地域自給のネットワーク」に基づき「地域自給」の理念について考える。		4 時間
3	栉川 信弘	地域自給網の構築②	地域自給ネットワークに基づく組織体および企業経営について考える。		4 時間
4	栉川 信弘	産業 = 福祉型起業①	「ほんまの福祉」という考え方にに基づき、高齢者が元気に暮らせる福祉とは何かを考える。		4 時間
5	栉川 信弘	産業 = 福祉型起業②	「ほんまの福祉」の考え方にに基づき、産業型福祉および農山村立地型起業について考える。		4 時間
6	栉川 信弘	食農教育①	「地産地消と学校給食」に基づき、生命の循環がもつ価値を考える。		4 時間
7	栉川 信弘	食農教育②	地産地消や有機農業を重して学校給食を行う意義について食農教育の視点から考える。		4 時間
8	栉川 信弘	食農教育③	学校給食を起点として、地産地消に基づく地域政策に取り組む行政手法の可否について考える。		4 時間
9	栉川 信弘	農市民によるまちづくり①	「市民皆農のすすめ」に基づき、都市の居住空間設計および創造について考える。		4 時間
10	栉川 信弘	農市民によるまちづくり②	市民が自ら農を実践し、食の「自産自消」に取り組む意味を考える。		4 時間
11	栉川 信弘	農市民によるまちづくり③	欧米で普及している city farmer, Dacha, CSA 等の手法や考え方について考える。		4 時間
12	栉川 信弘	group work & presentation	carrying out the group work & presentation of sustainable agriculture.		4 時間
13	栉川 信弘	group work & presentation	carrying out the group work & presentation of sustainable agriculture.		4 時間
14	栉川 信弘	follow-up	follow-up of group work and presentation		4 時間
教 科 書	大江正章『地域の力―食・農・まちづくり』岩波文庫				
参 考 書	講義中に関連情報を提供しているインターネット・サイトなどを紹介する。				
備 考	特になし				

科 目 名	グリーンツーリズム論			担 当 者	栉川 信弘
科目ナンバリング	10802420111				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本講義は「環境論入門」、「持続的農業論」及び教科書に基づき、予測不能な未来に希望を見出す方法を学ぶ。ここで、tourism（観光）は闇の先に光を見出すこと、green は「緑」に象徴される生命活動を意味している。					
【課題等のフィードバック方法】 講義中の質疑応答から理解度を判断し、理解が不十分であると考えられる場合には適切な補足説明を行う。但し、欠席して理解できないのは本人の問題であり、欠席者の努力によって理解することが求められる。					
【学習の到達目標】 「グリーンツーリズム」という考え方を理解し、人生という時間旅行（time travel）を豊かで実りあるものにする思考法を身につける。					
【履修上の注意・予習・復習について】 本講義は教科書の精読と内容の理解が前提とされる。また、理解の程度は group work、presentation および follow-up によって検証され、成績評価に反映される。					
【成績評価方法】 グループワークに基づくプレゼンテーションを 50%、そのフォローアップを 50% として成績を評価する。なお、プレゼン資料の作成には Google Slide を使用する。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 欧米人が好む旅行形態の一つであるグリーンツーリズムとは何かという点を理解し、人生という「旅」をより魅力的なものにすることができる。					
【実務家教員担当科目】 該当しない					

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	栉川 信弘	グリーンツーリズムとは？	講義内容、教科書活用法、成績評価法等を解説し、green tourism 学習法を概説（教科書 pp.1-27）	4 時間	
2	栉川 信弘	大学生と農業・水産業	大学生が農林水産業といかに関われるか？考える（教科書 pp.16-42）	4 時間	
3	栉川 信弘	農業の地域的多様性	「地域」という視点に立脚して農業について考える（教科書 pp.36-50）	4 時間	
4	栉川 信弘	品種を考える	品種開発の独自性という点に日本の強みを見出す（教科書 pp.36-70）	4 時間	
5	栉川 信弘	農業イメージの変革戦略①	農業の本質とは？現代農業の最前線について学ぶ（教科書 pp.60-92）	4 時間	
6	栉川 信弘	農業イメージの変革戦略②	スマート農業、六次化、在来種への愛着、先端と伝統の共存 / 多様性 / カオス（教科書 pp.92-126）	4 時間	
7	栉川 信弘	食農問題①「自給率」	食料自給率の何が問題？いかに解決しうるか？（教科書 pp.130-155）	4 時間	
8	栉川 信弘	食農問題②「食品ロス」	食品ロス実態と解決方法（教科書 pp.130-155）	4 時間	
9	栉川 信弘	食農問題③「人材不足・耕作放棄」	担い手不足・耕作放棄の深刻化と解決方法？（教科書 pp.130-155）	4 時間	
10	栉川 信弘	総括①	農林水産省での働き方？（教科書 pp.158-188）	4 時間	
11	栉川 信弘	総括②	農林水産省の変え方？（教科書 pp.158-188）	4 時間	
12	栉川 信弘	group work	green tourism (GT) に関する project based learning (PBL) を group work (GW) で実施	4 時間	
13	栉川 信弘	presentation	GT に関する PBL 成果の presentation (PR) ☞ group/member の発表	4 時間	
14	栉川 信弘	follow-up	GT-PBL の GW 成果および PR に関する follow-up ☞ group/member 達成度評価	4 時間	
教 科 書	白石優生『タガヤセ！日本』（河出書房新社）				
参 考 書	講義中に関連情報を提供しているインターネット・サイトなどを紹介する。				
備 考	特になし				

科 目 名	アグリビジネス論			担 当 者	栉川 信弘
科目ナンバリング	10802420112				非常勤
D P	1,4			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 監査法人トーマツが作成した経営事例集に基づいて、農産物市場に適応しうる経営を展開する企業を対象に、農業分野の企業が直面する諸課題および対策に関する理解を深めるとともに、日本におけるアグリビジネスの将来像について考える。				【課題等のフィードバック方法】 講義中の質疑応答から理解度を判断し、理解が不十分であると考えられる場合には適切な補足説明を行う。但し、欠席して理解できないのは本人の問題であり、欠席者の努力によって理解することが求められる。	
【学習の到達目標】 農業経営の成功事例に基づき、海外からの食料輸入に依存する日本社会に求められる新たなアグリビジネスを生み出す政治経済構造における現実的な契機を検出する。				【履修上の注意・予習・復習について】 本講義は教科書の精読と内容の理解が前提とされる。また、理解の程度は group work、presentation および follow-up によって検証され、成績評価に反映される。	
【成績評価方法】 グループワークに基づくプレゼンテーションを 50%、そのフォローアップを 50% として成績を評価する。なお、プレゼン資料の作成には Google Slide を使用する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 生命維持に不可欠な農業部門の真の価値とは何かについて真摯に考える経験を通し、自らのライフスタイルを健全化しうる羅針盤を手に入れることができる。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	栉川 信弘	ガイダンス	講義の趣旨、学び方、成績評価等についての説明	4 時間
2	栉川 信弘	モスが認めたメーカー型のレタスづくり	鈴生の求める能力に関し group work（GW）および presentation（PR）を用いて考える。	4 時間
3	栉川 信弘	元金融マンの挑戦と挫折	サラダボウルの転換点と経営理念について GW と PR を用いて考える。	4 時間
4	栉川 信弘	売上百億円を目指す！農業コンビニ	舞台ファームの価値創造フードシステムについて GW と PR を用いて考える。	4 時間
5	栉川 信弘	売上百億円を目指す！農業コンビニ	舞台イズムの経営理念に基づく成長戦略について GW と PR を用いて考える。	4 時間
6	栉川 信弘	2 千億円市場に挑戦する九条ねぎ	こと京都の強みと経営戦略について GW と PR を用いて考える。	4 時間
7	栉川 信弘	ブランドに依存しない 6 次産業化	六星の 6 次化戦略とは？GW と PR を用いて考える。	4 時間
8	栉川 信弘	6 次産業化によるみかんのビジネス化	若者が共感する早和果樹園の 6 次化戦略を GW と PR を用いて考える。	4 時間
9	栉川 信弘	野菜の値段を自分で決めるという挑戦	農家が野菜くらぶを支持する理由とは？ GW と PR を用いて考える。	4 時間
10	栉川 信弘	野菜の値段を自分で決めるという挑戦	流通過程の initiative を掌握する方法を GW と PR を用いて考える。	4 時間
11	栉川 信弘	group work	agri-business に関する project based learning（PBL）を group work（GW）で実施	4 時間
12	栉川 信弘	presentation	agri-business に関する PBL/GW result の発表①	4 時間
13	栉川 信弘	presentation	agri-business に関する PBL/GW result の発表②	4 時間
14	栉川 信弘	follow-up	agri-business に関する PBL/GW の follow-up	4 時間
教 科 書	監査法人トーマツ農林水産業ビジネス推進室『アグリビジネス進化論』（プレジデント社）			
参 考 書	講義中に関連情報を提供しているインターネット・サイトなどを紹介する。			
備 考	特になし			

科 目 名		東北文化論		担 当 者	岡 恵介	
科目ナンバリング		10802420113			常勤	
D P		1,4		教員研究室		1321
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		3 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 この講義では、日本文化のなかで東北の特性を位置づけながら、東北が生み出した文化・芸術を、それにかかわった個人に焦点を当ててその生き様を探りながら、つまるところ「東北」とは何かを考えていく。 履修者は下にあげたテーマのうちのいずれかを選択し、参考文献を自らの手で探し、レジュメを作成・配布し、毎回順番に発表していく。						
【課題等のフィードバック方法】 講義の最後に時間を設け、質問を受け付け回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 発表形式の授業なので、予習としてレジュメの作成を個別の指導を受けながら進める。発表時に十分に答えられなかった質問に対して、復習して調べ次の時間に報告する。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 東北の文化と、そこで育まれてきた人々の業績や生き方について自ら調べ、多くの人の前で発表することにより東北地方固有の文化について知ることができ、本を読んでその内容と自分の考えをまとめ、その最も重要なエッセンスをいかにわかりやすく他者に伝え、質疑を通じて共通理解に至るプレゼンテーションの技法を実践的に身につけることができる。さらに書店や図書館、古書店、インターネットの検索などを駆使して、自分の知りたい情報を自分で探し手に入れる方法も身につけることができる。						
【実務家教員担当科目】 なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	岡 恵介	授業内容および進め方の説明と個人担当テーマの選択	シラバスから授業で取り上げる人物の業績について予習し、選択したテーマについて復習する。			4 時間
2	岡 恵介	東北文化の特性を考える	東北の地域文化にはどのような特性があるのかを予習し、授業で学習した地域特性についてノートをもとに復習する。			4 時間
3	岡 恵介	照葉樹林文化論と東北	照葉樹林文化論について参考書で予習し、その東北地方の地域特性との関連についてレジュメをもとに復習する。			4 時間
4	岡 恵介	ナラ林文化論と東北	ナラ林文化論について参考書で予習し、その東北地方の地域特性との関連についてレジュメをもとに復習する。			4 時間
5	岡 恵介	東北の森の暮らしとマタギ	マタギという生業について参考書で予習し、実際のマタギの猟法、信仰、森林生態系との関わりをレジュメをもとに復習する。			4 時間
6	岡 恵介	こけしが語る木地師の世界	こけしの由来や産地のについて参考書で予習し、木地師の信仰、技術伝播、森林生態系との関わりをレジュメをもとに予習する。			4 時間
7	岡 恵介	宮澤賢治が描いた岩手のネパール	宮沢賢治の生涯と作品について予習し、彼が岩手の大地に仮託した夢や妹の死を経験して得た想いについてレジュメをもとに復習する。			4 時間
8	岡 恵介	柳宗悦が会った東北の手仕事	柳宗悦の生涯と民芸運動について予習し、彼が会った東北の手仕事に何を見出していたのかを、レジュメをもとに復習する。			4 時間
9	岡 恵介	柳田国男、日本民俗学の幕開けと遠野物語	柳田国男の生涯と日本民俗学について予習し、民俗学の開拓に寄与した遠野物語の意味について、レジュメをもとに復習する。			4 時間
10	岡 恵介	津軽三味線・高橋竹山の芸と旅の人生	高橋竹山の生涯と演奏について予習し、津軽という地域風土に育まれた津軽三味線の独自性について、レジュメをもとに復習する。			4 時間
11	岡 恵介	津軽文化を体現した棟方志功の版画	棟方志功の生涯と作品について予習し、棟方の津軽人らしい独特のキャラクターと勢いのある作品の美について、レジュメをもとに復習する。			4 時間
12	岡 恵介	中野清見と戦後農山村の農地解放	中野清見の生涯について参考書から予習し、戦後の農地解放が東北の農山村に何をもたらしたのか、レジュメをもとに復習する。			4 時間
13	岡 恵介	大牟羅良と岩手の農山村の戦後	大牟羅良の生涯について参考書から予習し、戦後～高度経済成長期に農山村が抱えていた問題について、レジュメをもとに復習する。			4 時間
14	岡 恵介	寺山修司の芸術活動の軌跡	寺山修司の生涯と作品について予習し、彼の芸術活動と東北人であることがどのように関連していたのかについて、レジュメをもとに復習する。			4 時間
教 科 書		講義のはじめに配布するリストの中から自分が担当するテキストを選び、自分でそのテキストを探して手に入れるところから学修をはじめる。				
参 考 書		講義の中で紹介していく。				
備 考		なし。				

科 目 名		東北の民俗		担 当 者	岡 恵介	
科目ナンバリング		10802420114			常勤	
D P		1,3		教員研究室		1321
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次		3 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 宮本常一の「生きていく民俗」を手がかりに、日本の近現代において生業がどのように発達、衰退してきたのかを時代背景や技術の進展、人々の考え方の変化などと併せながら探りつつ、それが東北地方にあってはどうだったかについて発表形式で学んでいく。 【学習の到達目標】 東北を含む日本の地域社会における民俗と生業の関係性と特色について理解する。 【成績評価方法】 レジュメ・発表の内容 75%、他の発表に対する質問、コメント、感想の内容 25% で評価。						
【課題等のフィードバック方法】 各講義の最後に時間を設け、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 発表形式の授業なので、予習としてレジュメの作成を個別の指導を受けながら進める。発表時に十分に答えられなかった質問に対して、復習して調べ次の時間に報告する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 日本における民俗の特色を理解することによって、社会生活や企業活動、対人関係の構築において、日本人的な民俗を根源に持つ心性を踏まえたコミュニケーションを取るための基礎的なふるまいや考え方を身につけることが出来る。 【実務家教員担当科目】 なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	岡 恵介	民俗学とはどんな学問か	民俗学について予習し、ノートをもとに復習する。			4 時間
2	岡 恵介	東北の地域社会、とくに山村の民俗の特徴	東北の民俗について予習し、ノートをもとに復習する。			4 時間
3	岡 恵介	自給社会	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
4	岡 恵介	交易社会	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
5	岡 恵介	職業貴賤観	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
6	岡 恵介	海に生きる	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
7	岡 恵介	山に生きる	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
8	岡 恵介	旅のにない手	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
9	岡 恵介	村の職業	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
10	岡 恵介	流浪の民	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
11	岡 恵介	振売と流し職	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
12	岡 恵介	身売から出稼へ	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
13	岡 恵介	手職と市と店	教科書の該当部分を熟読して予習し、レジュメをもとに復習する。			4 時間
14	岡 恵介	丁稚奉公と授業のまとめ	教科書の該当部分を熟読して予習し、ノートをもとに復習する。			4 時間
教 科 書		「生きていく民俗 生業の推移」 宮本常一、河出文庫。				
参 考 書		授業のなかで紹介する。				
備 考		特になし。				

科 目 名	医療福祉経済論			担 当 者	吉田 裕人
科目ナンバリング	10802420115				常勤
D P	1,2			教員研究室	1201
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本講義の前半は、日本の少子高齢化の現状を把握することからはじめ、医療・福祉に関連する経済学の基本的な理論を展開する。具体的には、ミクロ経済学の視点から他の財・サービスとは異なる医療サービスの特徴について学習する。 講義の後半では、日本の医療費や医療保険制度について理解を深める。さらには医療制度改革がもたらした現状を整理し、その課題について検討する。また、介護保険制度の概要と改革の課題についても説明する。					
【学習の到達目標】 医療・福祉を考えるにあたっての基本的な経済学の知識を習得し、日本の医療・介護保険制度の機能と役割を理解する。					
【成績評価方法】 定期試験の結果により評価する。					
【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。					
【履修上の注意・予習・復習について】 医療・福祉なしでは人の生活は成立しない。暮らしに密着した社会保障制度などに関心を持つ。そういった姿勢を本講義を通じて身につけてもらい、興味・関心が広がっていくことを期待する。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 一部ではあるが、基本的なミクロ経済学を学習できるとともにそれを通じて、医療という身近な存在の役割などを理解することができる。 また、少子高齢化が進行する日本における高齢者医療の問題、医療制度改革の課題などを客観的に見る目を養うことができる。					
【実務家教員担当科目】 該当なし					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	吉田 裕人	少子高齢化社会	日本の高齢化の現状など	4 時間
2	吉田 裕人	市場について	消費者余剰・生産者余剰など	4 時間
3	吉田 裕人	市場の失敗①	外部性の存在による社会的厚生への損失	4 時間
4	吉田 裕人	市場の失敗②	情報の非対称性による社会的厚生への損失	4 時間
5	吉田 裕人	医療サービスの経済学的特徴	社会保険の必要性について	4 時間
6	吉田 裕人	医療サービスの需要	医療サービスの価格の需要弾力性など	4 時間
7	吉田 裕人	医療問題の構造①	医療におけるモラルハザードなど	4 時間
8	吉田 裕人	医療問題の構造②	応能負担・応益負担など	4 時間
9	吉田 裕人	医療問題の構造③	保険者・政府から医療機関へのお金の流れなど	4 時間
10	吉田 裕人	日本の医療制度①	日本の社会保険の種類など	4 時間
11	吉田 裕人	日本の医療制度②	日本の医療制度の課題など	4 時間
12	吉田 裕人	日本の医療制度③	診療報酬について	4 時間
13	吉田 裕人	介護保険制度①	介護保険制度導入の背景など	4 時間
14	吉田 裕人	介護保険制度②	介護保険制度改革と課題	4 時間
教 科 書		使用しない。		
参 考 書		国民衛生の動向（最新版） 編集・発行：一般財団法人 厚生労働統計協会		
備 考		定期試験の再試験は実施しない。		

科 目 名	医療政策論			担 当 者	吉田 裕人
科目ナンバリング	10802420116				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	1201
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本講義では、日本の少子高齢化の現状を把握することからはじめ、医療に関連する経済学の基本的な理論を展開する。具体的にはミクロ経済学の視点から他のサービスとは異なる医療サービスの特徴について学習し、これを通じて我が国の医療政策について理解を深め、その現状と課題を整理する。 【学習の到達目標】 医療を考えるにあたっての基本的な経済学の知識を習得し、日本の医療保険制度の機能と役割を理解する。 【成績評価方法】 定期試験の結果により評価する。 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 医療なしでは人の生活は成立しない。暮らしに密着した医療に関心を持つ。そういった姿勢を本講義を通じて身につけてもらい、興味・関心が広がっていくことを期待する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 一部ではあるが、基本的なミクロ経済学を学習できるとともにそれを通じて、医療という身近な存在の役割などを理解することができる。 また、少子高齢化が進行する日本における高齢者医療の問題、医療制度改革の課題などを客観的に見る目を養うことができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし。					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	吉田 裕人	少子高齢化社会	日本の高齢化の現状など	4 時間
2	吉田 裕人	市場について	消費者余剰・生産者余剰など	4 時間
3	吉田 裕人	市場の失敗①	外部性の存在による社会的厚生への損失	4 時間
4	吉田 裕人	市場の失敗②	情報の非対称性による社会的厚生への損失	4 時間
5	吉田 裕人	医療サービスの経済学的特徴	社会保険の必要性について	4 時間
6	吉田 裕人	医療サービスの需要	医療サービスの価格の需要弾力性など	4 時間
7	吉田 裕人	医療問題の構造①	医療におけるモラルハザードなど	4 時間
8	吉田 裕人	医療問題の構造②	応能負担・応益負担など	4 時間
9	吉田 裕人	医療問題の構造③	保険者・政府から医療機関へのお金の流れなど	4 時間
10	吉田 裕人	日本の医療制度①	日本の社会保険の種類など	4 時間
11	吉田 裕人	日本の医療制度②	診療報酬制度について①	4 時間
12	吉田 裕人	日本の医療制度③	診療報酬制度について②	4 時間
13	吉田 裕人	日本の医療制度④	日本の医療制度の課題など	4 時間
14	吉田 裕人	まとめ	13 回までの内容の総まとめ	4 時間
教 科 書		使用しない。		
参 考 書		国民衛生の動向（最新版） 編集・発行：一般財団法人 厚生労働統計協会		
備 考		定期試験の再試験は実施しない。		

科 目 名		企業福祉論		担 当 者	森田慎二郎	
科目ナンバリング		10802420117			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	3305	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 企業福祉（福利厚生）は、企業経卒業後、一般企業だけでなく、医療・福祉施設でも役立つ知識を得られる。営に必要な人事管理施策の一つの役割として、さらに国の社会保障制度を補完する役割として、従業員とその家族に行う福祉施策である。 授業では、この企業福祉を歴史的、体系的にとらえ、さらに具体的な施策を検討することで、卒業後の仕事に役立つことをめざしている。						
【学習の到達目標】 1 企業福祉の基本的役割を理解できる。 2 企業福祉の発展過程を、資本主義のプロセスとともに理解する。 3 組織と経営についての一般的知識を得る。						
【成績評価方法】 中間レポート 50%、期末レポート 50%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間		
				予習・復習		学修時間
1	森田慎二郎	ガイダンス、企業福祉とは何か、就活と企業福祉		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
2	森田慎二郎	現代日本の全体像と具体例、国際比較		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
3	森田慎二郎	企業福祉の法体系課題①健康管理		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
4	森田慎二郎	企業福祉の法体系と課題②ワークライフバランス		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
5	森田慎二郎	企業福祉の法方体系と課題③退職金・企業年金		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
6	森田慎二郎	公務員、医療福祉系の福利厚生、CSR と企業福祉		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
7	森田慎二郎	欧米における企業福祉の誕生（世界遺産ニューラナーク）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
8	森田慎二郎	福沢諭吉と荘田平五郎（三菱重工長崎）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
9	森田慎二郎	紡績業の企業福祉（武藤山治・大原孫三郎など）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
10	森田慎二郎	製糸業の企業福祉（世界遺産富岡製糸場など）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
11	森田慎二郎	鉱業の企業福祉（世界遺産軍艦島など）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
12	森田慎二郎	技術立国日本の企業福祉（日立、ソニー）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
13	森田慎二郎	企業福祉の変容（松下電器など）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
14	森田慎二郎	まとめ（1970 年モデルから 2025 年モデルへ）		配布資料で復習することが望ましい。		4 時間
教 科 書		使用しない。				
参 考 書		読書レポートとして、授業中に紹介する。				
備 考		特になし				

科 目 名		医療管理学Ⅰ			担 当 者	○加藤 由美・石橋 千賀 石垣 亨
科目ナンバリング		10802420118				常勤
D	P	1,2			教 員 研 究 室	1301
学 科（専攻）		経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 医療管理学は社会におけるヘルスケアサービス提供のあり方を検討する学問領域である。この科目では、ヘルスケアマネジメントの視点から地域の活性化や課題について事例等に基づき実践的に学ぶ。一連の授業に共通する目的は、少子高齢化と人口減少の進む地域社会に自身がどう主体的に関わっていくかを考えることである。 【学習の到達目標】 ・地域の医療介護をヘルスケアマネジメントの視点で捉えることが出来る ・データ等に基づいて地域の強みや課題を見出すことが出来る ・ヘルスケアマネジメントの視点から、自身が地域社会にどうコミットするかを考えることが出来る 【成績評価方法】 下記①②③の合算で評価する（詳細はオリエンテーションで説明） ①指示された事前学習の達成度を問う「予習課題」（複数回）の平均点：10 点 ②各授業の理解度を問う「確認テスト」（複数回）の平均点：10 点 ③テーマ毎の学修達成度を問う「領域レポート」（2 回）の平均点：80 点 【課題等のフィードバック方法】 classroom でフィードバックを行う 【履修上の注意・予習・復習について】 授業は BYOD（Bring Your Own Device）で行う。PC またはタブレットを必ず持参のこと 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・ヘルスケアマネジメントの視点が醸成される。この視点は汎用性が高く、社会の多様な領域や場面で活用できる。 ・予習課題や確認テストへの取り組みを通じて、能動的な学びの姿勢が身につく ・2 回にわたる領域レポート作成を通じて、独自の考察を根拠に基づき適切に表現する力が涵養される 【実務家教員担当科目】 医療ソーシャルワーカーの職歴を有する教員が、臨床経験を援用した実践的内容の講義を行う。外部講師は地域活動を行う NPO 法人役員 1 名及びヘルスケア関連企業経営者 1 名である。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	加藤 由美	科目オリエンテーション	予習：シラバスを熟読し、科目概要を理解する。 復習：オリエンテーション内容に即した学修をスタートさせる。			4 時間
2	加藤 由美	医療を取り巻く環境/医療の特性	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
3	加藤 由美	データでみる少子化と人口減少 (1)	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
4	加藤 由美	データでみる高齢化と人口減少 (2)	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
5	石垣 亨 加藤 由美	住民主体の地域活性化とヘルスケアマネジメント～私—仕事—地域社会	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：外部講師の講義内容について、疑問点や意見等をまとめる。			4 時間
6	加藤 由美	地域包括ケアシステムの枠組み	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
7	加藤 由美	地域包括ケアシステムの構築・展開事例～宮城県東松島市	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
8	加藤 由美	地域包括ケアシステムの評価事例～宮城県東松島市	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
9	加藤 由美	領域レポート作成 (1)	予習：指定されたテーマに関する自身の考察をまとめる。 復習：領域レポートの評価に基づき、理解と考察の深化を図る。			4 時間
10	石橋 千賀 加藤 由美	社会創生と地域医療マネジメント～越境する医療介護	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：外部講師の講義内容について、疑問点や意見等をまとめる。			4 時間
11	加藤 由美	最後まで自分らしく生き切るために～アドバンスケアプランニング	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
12	加藤 由美	クライアントの自己決定支援～インフォームドコンセント	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
13	加藤 由美	地域共生社会の枠組み	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。			4 時間
14	加藤 由美	領域レポート作成 (2)	予習：指定されたテーマに関する自身の考察をまとめる。 復習：領域レポートの評価に基づき、理解と考察の深化を図る。			4 時間
教 科 書		なし				
参 考 書		必要に応じて適宜指示する				
備 考		なし				

科 目 名		医療管理学Ⅱ		担 当 者	○加藤 由美・菊地 知憲 土井 孝博
科目ナンバリング		10802420119			常勤
D	P	1,2		教 員 研 究 室	1301
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	選 択 2 単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 医療管理学は社会におけるヘルスケアサービス提供のあり方を検討する学問領域である。この科目では地域のヘルスケアシステムを社会インフラと捉え、2 事例（①地域介護システム、②地域医療システム）に基づいて実践的に学ぶ。一連の授業に共通する目的は、少子高齢化と人口減少の進む地域社会に自身がどう主体的に関わっていくかを考えることである。				【課題等のフィードバック方法】 classroom でフィードバックを行う。	
【学習の到達目標】 ・ヘルスケアマネジメントの視点で地域づくりや地域活性化をイメージできる ・データを用いて当該地域における医療介護の強みや課題を読み解くことができる ・地域の課題解決や活性化に向けた自身の考えを、根拠に基づいて説明できる				【履修上の注意・予習・復習について】 授業は BYOD（Bring Your Own Device）で行う。PC またはタブレットを必ず持参のこと	
【成績評価方法】 下記①②③の合算で評価する（詳細はオリエンテーションで説明） ①指示された事前学習の達成度を問う「予習課題」（複数回）の平均点：10 点 ②各授業の理解度を問う「確認テスト」（複数回）の平均点：10 点 ③テーマ毎の学修達成度を問う「領域レポート」（2 回）の平均点：80 点				【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・ヘルスケアマネジメントの視点が醸成される。この視点は汎用性が高く、社会の多様な領域や場面で活用できる。 ・予習課題や確認テストへの取組みを通じて、能動的な学びの姿勢が身につく ・2 回にわたる領域レポート作成を通じて、独自の考察を根拠に基づき適切に表現する力が涵養される	
【実務家教員担当科目】 医療ソーシャルワーカーの職歴を有する教員が、臨床経験を援用した実践的内容の講義を行う。外部講師は特別養護老人ホーム施設長 1 名及び医療ソーシャルワーカー 1 名である。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	加藤 由美	科目オリエンテーション	予習：シラバスを熟読し、科目概要を理解する。 復習：オリエンテーション内容に即した学修をスタートさせる。		4 時間
2	加藤 由美	地域共生社会の包括ケアシステム	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
3	加藤 由美	（公的）介護保険の仕組み（1）	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
4	加藤 由美	（公的）介護保険の仕組み（2）	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
5	土井 孝博 加藤 由美	社会インフラとしての地域介護システム	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：外部講師の講義内容について、疑問点や意見等をまとめる。		4 時間
6	加藤 由美	要介護者の住まいと生活（1）施設	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
7	加藤 由美	要介護者の住まいと生活（2）居宅等	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
8	加藤 由美	多分野・多職種による地域ヘルスケアネットワーク	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
9	加藤 由美	領域レポート作成（1）	予習：指定されたテーマについて自身の考えをまとめる。 復習：レポートの評価に基づき、理解と考察の深化を図る。		4 時間
10	菊地 知憲 加藤 由美	社会インフラとしての地域医療システム	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：外部講師の講義内容について、疑問点や意見等をまとめる。		4 時間
11	加藤 由美	（公的）医療保険と診療報酬の仕組み	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
12	加藤 由美	国民医療費の概要	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
13	加藤 由美	地域における医療機能の分化・分担と連携	予習：予習課題の指示があればそれに取り組み、期日までに提出する。 復習：確認テストの結果に基づき授業内容の理解を深める。		4 時間
14	加藤 由美	領域レポート作成（2）	予習：指定されたテーマについて自身の考えをまとめる。 復習：小レポートの評価に基き、理解と考察の深化を図る。		4 時間
教 科 書		なし			
参 考 書		必要に応じて適宜指示する			
備 考		なし			

科 目 名		非営利組織論		担 当 者	桃生 和成	
科目ナンバリング		10802420120			非常勤	
D P		1,2		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 特定非営利活動促進法（NPO 法）が施行されて 25 年以上が経過した。社会情勢が激しく変化する中、福祉・環境、人権・ジェンダー、教育、まちづくり、文化・芸術等さまざまな分野における社会課題の解決に取り組む非営利組織（NPO）への関心が高まっている。本講義では、非営利組織に関する基本的な知識、組織の仕組み、特徴、マネジメント、社会的意義、SDGs との関係性、他セクターとの協働等について、具体的な事例をや最新の動向を踏まえながら包括的に学ぶ。授業は、講義を中心に小レポートやワーク等を加えた構成となる。 【学習の到達目標】 ・非営利組織の仕組み、特徴、マネジメント等について、理解し説明ができる。 ・非営利組織の社会的な意義について、理解し説明ができる。 ・非営利組織の最新の動向について、理解し説明ができる。 【成績評価方法】 レポート（最終）60% 小レポート（毎回）40%						
【課題等のフィードバック方法】 講義内で出た質問や意見については、講義内にてできるだけ対応する。対応できない場合は、次回以降講義にて対応する。小レポートは次回の講義内でフィードバックを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・15 分以上の遅刻は欠席扱いとする場合がある。 ・講義中は積極的に質問や意見をする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・本講義を通して、社会課題の解決手法を学び、実生活や実社会でその知識とスキルを応用して活かすことができる。 ・企業や行政に加え、キャリア形成の新たな選択肢として非営利組織を位置づけ、可能性を広げることができる。 【実務家教員担当科目】 中間支援組織 NPO に長年勤務し現在、非営利組織の代表を務める教員が、その経験を活かし、非営利組織の基本的な知識から専門的なノウハウまで具体的な事例を交えながら講義を行う。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	桃生 和成	ガイダンス	10 団体程度の NPO について、活動内容について調べまとめておく。			4 時間
2	桃生 和成	非営利組織とは（基礎）①	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
3	桃生 和成	非営利組織とは（基礎）②	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
4	桃生 和成	NPO のマネジメント①	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
5	桃生 和成	NPO のマネジメント②	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
6	桃生 和成	NPO と中間支援組織	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
7	桃生 和成	NPO と協働・マルチパートナーシップ	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
8	桃生 和成	NPO と SDGs	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
9	桃生 和成	NPO 事例分析①	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
10	桃生 和成	NPO 事例分析②	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
11	桃生 和成	NPO 事例分析③	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
12	桃生 和成	NPO の最新動向	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
13	桃生 和成	NPO をつくり方	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
14	桃生 和成	まとめ	講義内で配布した資料の該当部分について A4 用紙 1 枚程度のポートにまとめる。			4 時間
教 科 書		なし				
参 考 書		「一夜でわかる NPO のつくり方」加藤哲夫（主婦の友社） 「テキストブック NPO」雨森孝悦（東洋経済新聞社） 「はじめての NPO 論」澤村明ほか（有斐閣）				
備 考		なし				

科 目 名		多文化共生論		担 当 者	大野 朝子	
科目ナンバリング		10802420121			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1329	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 多文化共生推進について、総務省は「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、改訂を重ねている。その主な内容は「外国人住民の増加・多国籍化」への対応であるが、「多文化共生」という用語は、これまで一般的に「異文化理解」「国際交流」を目指す活動、事業とともに使用されることが多かった。しかし、実際はもっと私たちの日常生活に密接に関わるものであり、たとえば SDGs のコンセプトはまさに「多文化共生」とは切り離すことができない。この講義では「多文化共生と SDGs」に注目して学びを深め、学生 1 人 1 人が身近な場所から多文化共生の社会づくりに貢献できる方法を探っていく。						
【課題等のフィードバック方法】 講義中にミニレポートの内容を紹介し、受講生の中でも、さまざまな意見があることを確認する（個人情報保護のため、誰の意見かは紹介しない）。						
【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻、授業中での無駄話を禁止する。授業時間数の三分の二以上の出席がなければ単位を認めない。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 多様性への理解、SDGs への理解を深める。						
【学習の到達目標】 この講義の目標は、①多文化共生について学び、社会状況を理解すること、②具体的な事例を検討しながら、学生一人一人が、自分とは立場の異なる人々の価値観を理解し、想像力を育むこと、③自分の頭で考え、行動し、問題処理能力を身につけること である。						
【実務家教員担当科目】 なし						
【成績評価方法】 毎週の予習課題、毎週授業終了前に提出するコメントペーパー、学期末のプレゼンで総合的に評価する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大野 朝子	ガイダンス：多文化共生とは何か	授業で紹介した内容に関するニュースの記事をチェックすること。			4 時間
2	大野 朝子	SDGs と多文化共生	SDGs について事前に調べておく。授業後は授業内容で興味を持った SDGs ゴールについて調べること。			4 時間
3	大野 朝子	仙台市における多文化共生への取り組み	仙台市の取り組みについて、事前に調べておく。授業後は内容に関するデータを行政機関の HP 等でチェックすること。			4 時間
4	大野 朝子	仙台市と山形市の国際交流イベント	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するデータを行政機関の HP 等でチェックすること。			4 時間
5	大野 朝子	多文化共生と現代社会：ヘイトクライムを考える（1）	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
6	大野 朝子	多文化共生と現代社会：ヘイトクライムを考える（2）	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
7	大野 朝子	多文化共生と現代社会：LGBTQ、SOGI について	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
8	大野 朝子	ジェンダー格差をめぐる問題	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
9	大野 朝子	家庭環境、家族像の変化	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
10	大野 朝子	教育をめぐる諸問題	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
11	大野 朝子	「働くこと」を考える	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
12	大野 朝子	気候変動と世界の若者たちの活動	事前に授業内容について調べておく。授業後は内容に関するニュース等をチェックすること。			4 時間
13	大野 朝子	受講生によるプレゼン大会（1）	プレゼンに向けて各自準備をすること。			4 時間
14	大野 朝子	受講生によるプレゼン大会（2）	プレゼンに向けて各自準備をすること。			4 時間
教 科 書		テキストの指定はなし。適宜資料を配布する。				
参 考 書		参考資料については講義中に適宜紹介する。				
備 考		授業の中で質疑応答タイムを設けるので、不明な点、確認したい点があった場合は、遠慮なく質問をしてください。授業中に質問をしにくい場合は、担当者のメールで連絡をしましょう。				

科 目 名		韓国研究		担 当 者	文 慶 詰	
科目ナンバリング		10802420122			常勤	
D	P	1,2		教員研究室	1302	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 韓国研究では、韓国全般を対象として行う。すなわち言語、歴史、宗教、思想から風俗、習慣、一般民衆の暮らしまでをその領域とする。韓国は日本の一番近い国であり、古くから交流が行われてきた。また、韓国は昔から多方面にわたって中国の影響も受けている。この韓国、日本、中国はお互いに影響しあいながら、独自の文化を発展させてきた。本講義では、韓国全般を扱いながら、日本、中国とも比較し、その共通点と相違点を探ってみる。 また、これから未来に向けて、当地域の共通の問題と課題を探り、解決の道を模索する。						
【課題等のフィードバック方法】 ・出席表を通じて感想や質問を受け付け、次の授業で説明したり、補足の資料を配る。						
【履修上の注意・予習・復習について】 授業進度に沿って予習や復習の範囲を指定する。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 韓国文化を理解することによって日本文化の原点を探ることはもちろん、これからよりよい日韓関係の未来を構築する原動力となる。アジアにおける日本と韓国の関係を理解し、国際社会に通用する人材育成を目指す。						
【実務家教員担当科目】 日本と韓国の国際交流に多方面で携わっている。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	文 慶 詰	韓国研究の意義	予習；韓国の地政学的位置について調べる 復習；韓国と日本の国際的な関係		4 時間	
2	文 慶 詰	韓国の歴史（古代、中世、近世）	予習；日本と韓国の歴史の時代的区分 復習；韓国の古代から現代までの歴史		4 時間	
3	文 慶 詰	韓国の近代史	予習；韓国の近代にいたるまでの出来事について 復習；韓国の近代の歴史を理解する		4 時間	
4	文 慶 詰	日韓交流史（朝鮮通信使を中心に）	予習；日本と韓国の交流について理解する 復習；朝鮮通信使による日韓交流の内容を理解する		4 時間	
5	文 慶 詰	韓国の食文化	予習；韓国の食文化について調べてみる 復習；韓国の食文化の特徴を理解する		4 時間	
6	文 慶 詰	韓国の服飾	予習；韓服について調べてみる 復習；韓国の服飾の歴史と特徴について理解する		4 時間	
7	文 慶 詰	韓国の住まいと暮らし	予習；オンドルついて調べてみる 復習；オンドルと韓国の住について理解する		4 時間	
8	文 慶 詰	韓国の風俗	予習；韓国の祝日について調べてみる 復習；韓国人の生活と風習について理解する		4 時間	
9	文 慶 詰	韓国の民族信仰と宗教	予習；韓国人の宗教について調べてみる 復習；韓国の民族宗教と外来宗教との関係について理解する		4 時間	
10	文 慶 詰	韓国の産業と経済	予習；韓国の産業構造と経済の実情について調べてみる 復習；韓国経済における日本の役割を理解する		4 時間	
11	文 慶 詰	韓国の教育制度	予習；韓国の学年制度について調べてみる 復習；韓国の教育制度と入試の実情について理解する		4 時間	
12	文 慶 詰	韓国人の価値観	予習；韓国の儒教の歴史について調べてみる 復習；韓国人の生活と価値観について理解する		4 時間	
13	文 慶 詰	韓国の兵役制度（冷戦体制とその終結）	予習；韓国の兵役について調べてみる 復習；冷戦と韓国の国際関係、分断の現実について理解する		4 時間	
14	文 慶 詰	韓国の若者と結婚事情	予習；韓国の就職難について調べてみる 復習；韓国人の結婚観と実情ついて理解する		4 時間	
教 科 書		毎回授業時に資料を配る。				
参 考 書		『韓国伝統文化事典』国立国語院編 教育出版				
備 考		出席を重視し、積極的な議論への参加を求める。				

科 目 名		中国研究		担 当 者	王 元	
科目ナンバリング		10802420123			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1324	
学科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 中国の発展は本物であるのか、チャンスかそれとも脅威か。特に米中の覇権争いにより中国の未来への展望が急に不透明になってきた。西洋の問題意識と学術概念をもって、中国に当てはめることは、あらゆるところからずれ、ねじれ現象が生じる。そして、研究方法がミクロ分析に頼りすぎていることで、巨大な中国を見る時、乱反射がおきて全貌が見えなくなってしまったのではないだろうか。中国社会の実態について様々な側面から分析し、現体制が直面する課題について検討する。						
【課題等のフィードバック方法】 予習・復習を求めます。講義内容に関する質問を以下のアドレスへと送信すれば、個別に回答する。ywang@pm.tbgu.ac.jp						
【履修上の注意・予習・復習について】 私語及び携帯電話の使用禁止。 受け身にならず、自ら探究心を持つことが重要だ。 政治問題への関心を抱き、まず新聞を読む習慣を身に付けてほしい。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 マクロ的な視野の養成。中国社会の現状と問題点、とりわけ中国社会の特殊性について理解することと、中国社会をマクロ的視点から見る眼を養って、自分で中国の将来像などについて考えゆく手がかりを得られる。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
【成績評価方法】 定期試験（教科書持ち込み可）の成績（50%）、小テスト（20%）、授業での発言・質問など（15%）、最終レポート 15%。						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	王 元	オリエンテーション	日本にとって「中国とは何か」について考えましょう。	4 時間	
2	王 元	文明の基本空間(1)地理、気候	中国の地理、気候の基本的特徴について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
3	王 元	文明の基本空間(2)地域、文化	地域と文化社会の多様さについて予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
4	王 元	文明の基本空間(3)人民	人口と民族地図の形成について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
5	王 元	民族問題(1)	漢民族と少数民族について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
6	王 元	民族問題(2)	中国の民族政策について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
7	王 元	対外関係	中華思想と外交政策について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
8	王 元	衣食住	中国人が生活していく上で必要な、食事、衣服、居住について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
9	王 元	教育体制	教育体制について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
10	王 元	経済発展	中国の経済発展と大国化について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
11	王 元	社会格差	中国の社会格差について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
12	王 元	環境問題	環境問題と対策について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
13	王 元	社会変動のリズム	中国社会変動の周期性と地域性について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
14	王 元	まとめ	これまで 100 年の歩みと今後の展望について予習し、ノートをもとに議論の内容を復習する。	4 時間	
教 科 書		熊達雲・毛桂栄・王元・劉迪編著『中国政治概論』明石書店 2015 年			
参 考 書		王元編著『現代中国の軌跡』白帝社 ¥1,800 その他は随時指示する。			
備 考		特になし。			

科 目 名	アメリカ研究			担 当 者	立花顕一郎
科目ナンバリング	10802420124				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	1323
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 アメリカの今日的な社会問題とその背景にある歴史について、学生との議論を中心にしたアクティブ・ラーニング形式で学んでいきます。例えば経済・金融分野では、富裕層と貧困層の二極化が進んでいます。それはトランプ大統領支持者とそれ以外の国民との分断の拡大につながっています。さらには、ウクライナ問題や中国との貿易摩擦、中東での戦争に対する対処が急務です。トランプ政権の政策次第では日本政府および企業に多大な影響が及ぶため、国内外のメディアが伝えるアメリカの動向を調べて、日本への影響の可能性を議論します。 【学習の到達目標】 アメリカが歩んで来た 20 世紀から今日までの道のりの過程について、実際に起きた事件や論争について受講者全員が critical thinking の手法で議論しながら学んでいきます。アメリカで起きている経済問題や社会問題は、近い将来に日本でも起きるかもしれないという視点から、アメリカの変化をとらえて、日本を客観的に見る目を養います。 【成績評価方法】 学期末テスト (50%)、授業中の議論への貢献度 (25%)、小テスト (25%)					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	立花顕一郎	イントロダクション	2024 年の大統領選でさらに明確になったアメリカ国民の分断		4 時間
2	立花顕一郎	地域格差と教育格差	アメリカ国民の 2 極化の原因となっている地域格差と教育格差の実態		4 時間
3	立花顕一郎	市場主義、功利主義と後退する道徳感	市場主義、功利主義、新自由主義についての復習・予習を行う		4 時間
4	立花顕一郎	減少し続ける中流階級	なぜ中流階級は下流転落の不安を抱えるのか？		4 時間
5	立花顕一郎	ソーシャルメディアの功罪	なぜソーシャルメディアは国民を分断するのか？		4 時間
6	立花顕一郎	命や健康を市場で売買することは許されるのか？	アメリカの医療格差の問題について復習・予習を行う		4 時間
7	立花顕一郎	アメリカ大統領選挙の特殊な仕組み	アメリカ大統領制度の仕組みについて復習・予習を行う		4 時間
8	立花顕一郎	アメリカの奴隷制度と公民権運動	アフリカ系アメリカ人の苦難の歴史について復習・予習を行う		4 時間
9	立花顕一郎	麻薬問題と合法化論争	麻薬取締りと合法化論議をめぐる課題を復習・予習を行う		4 時間
10	立花顕一郎	銃規制とアメリカ国内の治安対策	銃規制をめぐる賛成論者、反対論者の主張を復習・予習を行う		4 時間
11	立花顕一郎	アメリカの消費文化の形成	アメリカ独自の消費文化について復習・予習を行う		4 時間
12	立花顕一郎	アメリカのエンタメ産業	アメリカの音楽産業について復習・予習を行う		4 時間
13	立花顕一郎	アメリカのマスメディアと言論の自由	アメリカの映画産業における赤狩りの歴史を復習・予習を行う		4 時間
14	立花顕一郎	アメリカと戦争：第二次世界大戦からキューバ危機まで	第二次大戦以前にアメリカが参戦した戦争について復習・予習を行う		4 時間
教 科 書		開講時に指示します			
参 考 書		授業中に適宜紹介する			
備 考		毎回授業で教員が資料を配布します。遅刻は 2 回で欠席 1 回となります。			

科 目 名	地域探求 I			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	10802320125				常勤
D P	2,4			教員研究室	1124
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 地域とは何かという命題にそって、当該地域の要素（自然・地形・歴史・文化・祭事・慣習・住民特性・居住状況・地域構造・社会インフラ・経済・生業等）の基礎的な調査方法のレクチャーを行い、地域を把握するためのデータ収集・解析の方法を学ぶ 【学習の到達目標】 地域を知るための調査方法を習得することで、新たに地域を見る目を養う 【成績評価方法】 受講記録やレポートの提出（2 回程度）を求め、その内容で評価する 【課題等のフィードバック方法】 講義によって培ったノウハウを実際に地域に於て検証することを望む 【履修上の注意・予習・復習について】 テキストは毎回 PP 資料により行うが、統計等の作り込み作業も行うので、最低限 Excel は使える様しておくこと 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域社会を視る目を養うことができる 【実務家教員担当科目】 地域行政に携わっている専門家（行政職員）や地域組織の運営を担っている管理者（町内会長等）にその実態をレクチャーしてもらう場合がある					
授 業 計 画					
1. ガイダンスと地域の定義について学ぶ（1 コマ） 2. 地域の要素の調査方法について学ぶ（2 コマ） 3. 地域把握のための収集と解析の方法について学ぶ（3 コマ） 4. 地域の実践者からのレクチャー（2 コマ） 5. グループに分かれて地域へ実際に赴き踏査を行う（4 コマ） 6. グループワークによる検証（1 コマ） 7. 調査報告（グループによるプレゼン）（1 コマ）					
教 科 書	授業毎のレジюмеと PP 資料				
参 考 書	別途指示する（行政資料）				
備 考	講義は机上の理論のみならず、実践者からのレクチャー・エクスカージョン（踏査）をもふくめるため、時間割外の土日、夏季休業中に半日もしくは 1 日単位で実施する場合もあるので心得ていること				

科 目 名	地域探求Ⅱ			担 当 者	渡 邊 洋 一
科目ナンバリング	10802320126				常勤
D P	2,4			教 員 研 究 室	1124
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 前期の地域探求Ⅰの受給者を対象とし、地域探求Ⅰで学んだノウハウを生かしてグループワークにより実際に地域の問題点を探し、地域振興・活性化に繋がる解決策を検討、企画案を作成する				【課題等のフィードバック方法】 授業中に作り上げた企画案が実現できるかを検討し、優秀作については、仙台市の各区役所で実施している「まちづくり活動助成事業」への参加も視野に入れる	
【学習の到達目標】 地域の問題点の把握と解決策を見出せるスキルを修得する				【履修上の注意・予習・復習について】 授業は時間割とは別に集中講義で行い、踏査や資料調査等についても土日、冬季休業等を利用して行うことになるため、時間的な配慮が必要となる	
【成績評価方法】 実際に地域振興・活性化に係る企画案を作り、その内容を報告することで評価				【受講して得られる効果・メリット、その他】 将来、行政職・シンクタンカー・コンサルタント業務への就業を目指している学生にとっては、実践の場の提供となる	
				【実務家教員担当科目】 地域探求Ⅰと同様、地域振興・活性化の実践者へのヒアリング等を実施	
授 業 計 画					
地域探求Ⅰで培ったノウハウを生かしてグループワークにより調査目的・対象地域を設定し、資料調査・踏査等を実施して企画書を作成、出来上がった企画書に基づいてプレゼンを行う					

科 目 名	地域連携 I			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	10802420127				常勤
D P	2,4			教員研究室	1124
学科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 2 年次の地域探求の単位取得者を対象とし、これまで作成してきた地域振興・活性化に関する企画案をブラッシュアップしていくと共に、地域活動に従事している実践者及び地域住民等との交流を深め、実際に実現可能な企画案の作成を行う（当該授業ではグループワークではなく個々による企画案の作成を前提とする）				【課題等のフィードバック方法】 作成された企画案を元にグループワーク等で検討を加える	
【学習の到達目標】 実際に実験可能な企画案を作成し、企画案実現に向けてクライアントとなる地域活動実践者等へプレゼンを行い協働を目指す				【履修上の注意・予習・復習について】 履修資格は原則 2 年次の地域探求の単位取得者とするが、専門ゼミナールで地域振興・活性化策、地域政策を学ぶものについては、担当教員との協議の上履修の是非を決定する	
【成績評価方法】 企画案及び報告書の作成とプレゼンの成果により評価する				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域振興・活性化等の企画作成を行うことで、地域が抱えている課題等を見出すことが出来、またそうした点の解決策を検討することで、社会性が向上する	
				【実務家教員担当科目】 地域活動実践者等	
授 業 計 画					
初回のガイダンス以降、必要に応じて地域活動の実践者・有識者に登壇戴きその実態事例等のレクチャーを受けると共に、そうしたことを考慮した上企画書の作成を行う 企画書の完成後は何度かグループワークによりブラッシュアップし、登壇してもらった有識者を交えてのプレゼンを行う					

科 目 名	地域連携Ⅱ			担 当 者	渡 邊 洋 一
科目ナンバリング	10802420128				常勤
D P	2,4			教 員 研 究 室	1124
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 前期の地域連携Ⅰで作成した企画案の実践を兼ねて、地域活動に従事し、地域課題を見出すスキルを学び、活動成果を求める 【学習の到達目標】 地域資源の活用方法等を実習等の活動より把握することで、地域活動・活性化に関する視点を養う 【成績評価方法】 実際に行った実習の成果の報告書の提示と活動のプレゼンにより評価 【課題等のフィードバック方法】 実習等で実際に地域活動を実践することで、地域課題の検討を行う 【履修上の注意・予習・復習について】 地域連携Ⅰの単位取得者のみで実施する 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域社会の一端を垣間見ること、社会的視野が拡大する 【実務家教員担当科目】 地域活動実践者等					
授 業 計 画					
前期の地域連携Ⅰの成果を検討し、実際に地域へ持ち込み実践してみるか、もしくは地域住民の中に入り込んで地域活動に従事することを授業内容とするため、時間割の授業ではなく、日常の活動の中に落とし込んだ形態とするため、最初のガイダンス、最終のプレゼンを集中講義で行う外は、フリーとする中で実践的活動を行うものとする					
教 科 書	なし				
参 考 書	なし				
備 考	実際に地域活動の実践とその報告をもとめるものであるため、時間割による授業とはしないが、日々の活動を以て成果とするため、予めその点を考慮すること				

科 目 名		専門ゼミナールⅠ		担 当 者	○立花 顕一郎・文 慶祐 王 元・加藤 由美 吉田 裕人・広原 雄二 関口 晃治・河本 進 増井三千代・大野 朝子 馬内 里美・久保田茂裕 淡路 智典・秋山まゆみ 鄭 舜玉・佐藤 千洋	
科目ナンバリング		10802420129			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1324	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☒ 自主学习支援 □該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 基礎ゼミナールⅡまでに身に着けた基礎的な知識を応用して、より専門的な内容の知識を習得する。それぞれの授業担当教員の専門性に従って、教員の指導の下に各自がテーマに従って学習を進める。授業の形態については、担当教員の指示に従うことになるが、グループワークやプレゼンテーションなども活用して、4 年時の必修科目である卒業研究の題材を見出すことが授業の内容となる。 【学習の到達目標】 これまで修得してきた、基礎的な学習能力を活用して、担当教員の専門性によった自身の専門分野を確定させることを目標とする。3 年生の後期科目となる専門ゼミナールⅡに移行する前に、自身の専門分野を確定させることを目標とする。 【成績評価方法】 レポート課題、報告（プレゼンテーション）、授業参加状況（グループワーク）などを総合的に判断する。 【課題等のフィードバック方法】 各専門ゼミナールの担当教員の方法による。 【履修上の注意・予習・復習について】 同様の科目名の授業がありますが、自分の担当教員の専門ゼミナールを履修すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 教員の専門性に従って、自分の関心のある分野の知識を、自らの考えで深めることができる。この、専門ゼミナールで修得する知識は、就職活動とも直結する知識となる。 【実務家教員担当科目】 該当しない						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	学科教員	ガイダンス	担当教員より、ゼミナールの進め方などの説明		4 時間	
2	学科教員	テーマ策定の方法について①	担当教員の専門分野より、ゼミナールで扱う範囲についての説明		4 時間	
3	学科教員	テーマ策定の方法について②	担当教員の専門分野より、ゼミナールで扱う範囲についての説明		4 時間	
4	学科教員	グループワーク①	テーマについてグループで話し合う		4 時間	
5	学科教員	グループワーク②	テーマについてグループで話し合う		4 時間	
6	学科教員	グループワーク③	テーマについてグループで話し合う		4 時間	
7	学科教員	個別報告のテーマ策定	個別報告に向けた、報告内容の決定		4 時間	
8	学科教員	個別報告①	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間	
9	学科教員	個別報告②	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間	
10	学科教員	個別報告③	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間	
11	学科教員	個別報告④	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間	
12	学科教員	個別報告⑤	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間	
13	学科教員	個別報告⑥	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間	
14	学科教員	総括	専門ゼミナールⅡへ向けての説明		4 時間	
教 科 書		各ゼミナールごとに異なるため、担当教員に確認する				
参 考 書		各ゼミナールごとに異なるため、担当教員に確認する				
備 考		専門ゼミナールは担当教員によって大きく内容の異なる授業となる。同シラバスは、専門ゼミナールの進行の一例となるので、具体的には自身の所属する担当教員に内容を確認する必要がある。				

科 目 名	専門ゼミナールⅡ			担 当 者	○立花 顕一郎・文 慶 祐 王 元・加藤 由美 吉田 裕人・広原 雄二 関口 晃治・河本 進 増井三千代・大野 朝子 馬内 里美・久保田茂裕 淡路 智典・秋山まゆみ 鄭 舜玉・佐藤 千洋
科目ナンバリング	10802420130				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	1324
学 科（専攻）	経営法学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 専門ゼミナールⅠまでに身に着けた基礎的な知識を応用して、より専門的な内容の知識を習得する。それぞれの授業担当教員の専門性に従って、教員の指導の下に各自がテーマに従って学習を進める。授業の形態については、担当教員の指示に従うことになるが、グループワークやプレゼンテーションなども活用して、4 年時の必修科目である卒業研究の題材を見出すことが授業の内容となる。				【課題等のフィードバック方法】 各専門ゼミナールの担当教員の方法による。	
【学習の到達目標】 これまで修得してきた基礎的な学習能力を活用して、担当教員の専門性によって確定された自身の専門分野をより深化させることを目標とする。4 年生科目となる卒業研究に移行する前に、自身の研究テーマを確定させることを目標とする。				【履修上の注意・予習・復習について】 同様の科目名の授業がありますが、自分の担当教員の専門ゼミナールを履修すること。	
【成績評価方法】 レポート課題、報告（プレゼンテーション）、授業参加状況（グループワーク）などを総合的に判断する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 教員の専門性に従って、自分の関心のある分野の知識を、自らの考えで深めることができる。この、専門ゼミナールで修得する知識は、就職活動とも直結する知識となる。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	学科教員	ガイダンス	担当教員より、ゼミナールの進め方などの説明		4 時間
2	学科教員	テーマ策定の方法について①	担当教員の専門分野より、ゼミナールで扱う範囲についての説明		4 時間
3	学科教員	テーマ策定の方法について②	担当教員の専門分野より、ゼミナールで扱う範囲についての説明		4 時間
4	学科教員	グループワーク①	テーマについてグループで話し合う		4 時間
5	学科教員	グループワーク②	テーマについてグループで話し合う		4 時間
6	学科教員	グループワーク③	テーマについてグループで話し合う		4 時間
7	学科教員	個別報告のテーマ策定	個別報告に向けた、報告内容の決定		4 時間
8	学科教員	個別報告①	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間
9	学科教員	個別報告②	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間
10	学科教員	個別報告③	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間
11	学科教員	個別報告④	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間
12	学科教員	個別報告⑤	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間
13	学科教員	個別報告⑥	報告担当者によるプレゼンテーション		4 時間
14	学科教員	総括	卒業研究へ向けての説明		4 時間
教 科 書	各ゼミナールごとに異なるため、各自確認すること。				
参 考 書	各ゼミナールごとに異なるため、各自確認すること。				
備 考	専門ゼミナールは担当教員によって大きく内容の異なる授業となる。同シラバスは、専門ゼミナールの進行の一例となるので、具体的には自身の所属する担当教員に内容を確認する必要がある。				

科 目 名		卒業研究		担 当 者	○立花顕一郎・文 慶喆 王 元・加藤 由美 吉田 裕人・広原 雄二 河本 進・関口 晃治 増井三千代・大野 朝子 馬内 里美・久保田茂裕 淡路 智典・秋山まゆみ 鄭 舜玉・佐藤 千洋	
科目ナンバリング		10802420131			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1324	
学 科（専攻）		経営法学科		配 当 年 次	4 年次・通年	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	120 時間	単 位	必修 4 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 担当教員の指導の下で、各ゼミ生が卒業研究を行う。大学生生活の集大成として、自らの問題意識を深め、幅広い視点から解決を探り、根拠に基づく研究を行う。 【学習の到達目標】 自らが選んだテーマに対して、オリジナルな内容や考察を含んだ卒業研究を行う。 研究内容を、卒業研究論文または卒業研究報告書にまとめる。 まとめた結果を発表・報告する。 【成績評価方法】 卒業研究の完成度とゼミでの取り組みを総合的に評価する。 ・提出物は、卒業論文または卒業研究報告書とする。 ・卒業論文または卒業研究報告書は報告会で発表する。 ・その際、別途定めた様式の卒業研究要旨の提出を必ず行う。				【課題等のフィードバック方法】 別途説明する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・自らが分野を選択した結果のゼミであることから、その活動は自主的に学生同士が互いに高め合うグループ活動である。 ・無断欠席は、その運営上、教員のみならず他のゼミ生にも多大な迷惑が及ぶため、欠席の際には、教員への事前連絡を原則とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 一つのテーマに対して、説得力のある考察を行い、それを論理的な文章でまとめることができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	学科教員	ガイダンス：ゼミの概要	シラバスを熟読し、履修の計画を立てる		1 時間	
2	学科教員	テーマの選択	テーマに対する論点を絞る		1 時間	
3	学科教員	テーマの選択	テーマに対する論点を絞る		1 時間	
4	学科教員	テーマの選択	テーマを仮決定する		1 時間	
5	学科教員	文献検索・資料収集	文献検索・資料収集を行う		1 時間	
6	学科教員	文献検索・資料収集	文献検索・資料収集を行う		1 時間	
7	学科教員	テーマの決定	テーマを本決定する		1 時間	
8	学科教員	目標規定文の作成	目標規定文を吟味する		1 時間	
9	学科教員	目標規定文の決定	目標規定文を決定する		1 時間	
10	学科教員	アウトラインの作成	アウトラインを吟味する		1 時間	
11	学科教員	アウトラインの作成	アウトラインを吟味する		1 時間	
12	学科教員	アウトラインの作成	アウトラインを吟味する		1 時間	
13	学科教員	アウトラインの作成	アウトラインを吟味する		1 時間	
14	学科教員	アウトラインの決定	アウトラインを決定する		1 時間	
15	学科教員	本論の執筆	本論を執筆する		1 時間	
16	学科教員	本論の執筆	本論を執筆する		1 時間	
17	学科教員	本論の執筆	本論を執筆する		1 時間	
18	学科教員	本論の執筆	本論を執筆する		1 時間	
19	学科教員	本論の執筆	本論を執筆する		1 時間	
20	学科教員	本論の完成	本論を完成させる		1 時間	
21	学科教員	中間報告	中間報告の結果を本論に反映させる		1 時間	
22	学科教員	本論の修正	本論以外を作成する		1 時間	
23	学科教員	本論の修正	本論以外を完成させる		1 時間	
24	学科教員	要旨の作成	要旨を執筆する		1 時間	
25	学科教員	卒業研究の完成	全ページを完成させる		1 時間	
26	学科教員	卒業研究報告会の準備	要点をプレゼン資料にする		1 時間	
27	学科教員	卒業報告会の実施	卒業研究報告会の結果から必要なら修正を行う		1 時間	
28	学科教員	卒業研究集の編集	卒業研究集を編集する		1 時間	
教 科 書		開講時に指示する				
参 考 書		開講時に指示する				
備 考		上記の授業計画は卒業論文を例として作成したものである 内容は担当の教員ごとに内容は異なる 要旨の締め切りは原則として 12 月 15 日				

東北文化学園大学

TOHOKU BUNKA GAKUEN UNIVERSITY

教務課

981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1
TEL 022-233-6116 FAX 022-233-6419
教務課 kyomu@office.tbgu.ac.jp